

岡崎市介護保険等実態調査 結果報告書

令和5年3月

岡崎市

目次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査対象及び調査方法	1
3.	回収数・回収率	2
4.	報告書の見方	2
II	一般高齢者の調査結果	3
1.	調査対象者本人について	3
2.	からだを動かすことや食べることについて	8
3.	毎日の生活について	13
4.	地域での活動について	22
5.	たすけあいについて	27
6.	健康について	31
7.	施設や通いの場の利用について	38
8.	介護サービス・介護保険料について	43
9.	その他	48
10.	各種のリスク判定について	50
III	若年者の調査結果	57
1.	調査対象者本人について	57
2.	日常生活の状況や介護予防について	59
3.	介護サービス・介護保険料について	67
4.	地域包括支援センターについて	68
5.	介護に関する情報について	69
6.	その他	72
IV	在宅サービス利用者の調査結果	73
1.	調査対象者本人について	73
2.	普段受けている介護について	78
3.	高齢者福祉・介護サービスについて	83
4.	施設入所意向について	91
5.	調査対象者を介護している人について	94
V	施設入所者の調査結果	101
1.	調査対象者について	101
2.	入所施設について	104

VI	居宅介護支援事業者の調査結果	109
	1. サービス事業者の運営形態や状況について	109
	2. 提供サービスの状況について	118
	3. 高齢者虐待の状況について	123
	4. その他	125
VII	在宅介護サービス事業者の調査結果	127
	1. サービス事業者の運営形態や状況について	127
	2. 提供サービスの状況について	137
	3. 高齢者虐待・リスクマネジメントについて	140
	4. 情報発信等について	143
	5. 事業種別の状況について	145
VIII	入所施設事業者の調査結果	153
	1. サービス事業者の運営形態や状況について	153
	2. 提供サービスの状況について	167
	3. 高齢者虐待防止について	169
	4. 過去1年間の新規の入居者・退去者について	170
	5. その他	175
IX	介護支援専門員の調査結果	177
	1. ケアプラン業務の状況について	177
	2. 介護サービス提供に対する評価・要望等について	191
	3. 在宅介護の継続について	193
	4. 高齢者虐待の状況について	195
	5. 介護支援専門員の資質向上のための対策について	197
X	調査結果のまとめ	199
XI	資料編	201
	1. 一般高齢者調査票	201
	2. 若年者調査票	209
	3. 在宅サービス利用者調査票	213
	4. 施設入所者調査票	219
	5. 居宅介護支援事業者調査票	221
	6. 在宅介護サービス事業者調査票	225
	7. 入所施設事業者調査票	231
	8. 介護支援専門員調査票	235

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、令和6年度を初年度とする第9期の「岡崎市地域包括ケア計画」の策定に向け、本市に居住する高齢者、介護サービス利用者、介護サービス事業者等の実態やニーズ、またその変化を把握し、高齢者福祉及び介護保険サービスのあり方を検討するための基礎資料として活用することを目的として実施しました。

2. 調査対象及び調査方法

全体で8種の調査を実施しました。実施した調査別の調査対象等は以下のとおりです。

	調査種別	調査対象	調査方法	調査期間
1	一般高齢者	要介護の認定を受けていない、65歳以上の市民（要支援及び事業対象者を含む。）から3,600人を無作為抽出	郵送配付・ 郵送回収	11月9日 （水）～ 25日（金）
2	若年者	要介護等の認定を受けていない、55～64歳の市民から1,000人を無作為抽出		
3	在宅サービス利用者	要介護等の認定を受けた市民のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受けて在宅介護サービスを利用している市民から1,500人を無作為抽出※1		
4	施設入所者	要介護等の認定を受けた市民のうち、介護保険施設等に入所または入居している市民から1,500人を無作為抽出		
5	居宅介護支援事業者	本市でサービスを提供する居宅介護支援事業者98件（全数）		
6	在宅介護サービス事業者	本市でサービスを提供する在宅介護サービス事業者299件（全数）		
7	入所施設事業者	本市でサービスを提供する入所施設事業者106件（全数）		
8	介護支援専門員	介護支援事業者調査の対象となった事業所に勤務する介護支援専門員（1事業所2名まで）※2		

※1：在宅サービス利用者については、個人情報利用の同意を得られた対象者のみ介護保険認定データを突合している。

※2：居宅介護支援事業者調査に同封して配付、回答者の選定は各事業者の任意による。

3. 回収数・回収率

アンケートの回収結果は以下のとおりです。回収された調査票のうち、調査対象者が何らかの事情で回答できない旨の回答があったもの（一般高齢者 33 件、若年者 3 件、在宅サービス利用者 149 件、施設入所者 220 件）及び質問への回答が全くなかったものについては無効回答とし、有効回収数には含めていません。

	調査種別	配付数	有効回収数	有効回収率	前回（R1年） 回収率
1	一般高齢者	3,600	2,687	74.6%	75.0%
2	若年者	1,000	541	54.1%	47.9%
3	在宅サービス利用者	1,500	845	56.3%	59.0%
4	施設入所者	1,500	704	46.9%	57.7%
5	居宅介護支援事業者	98	82	83.7%	80.0%
6	在宅介護サービス事業者	299	216	72.2%	76.3%
7	入所施設事業者	106	76	71.7%	69.1%
8	介護支援専門員	184	145	78.8%	75.7%

4. 報告書の見方

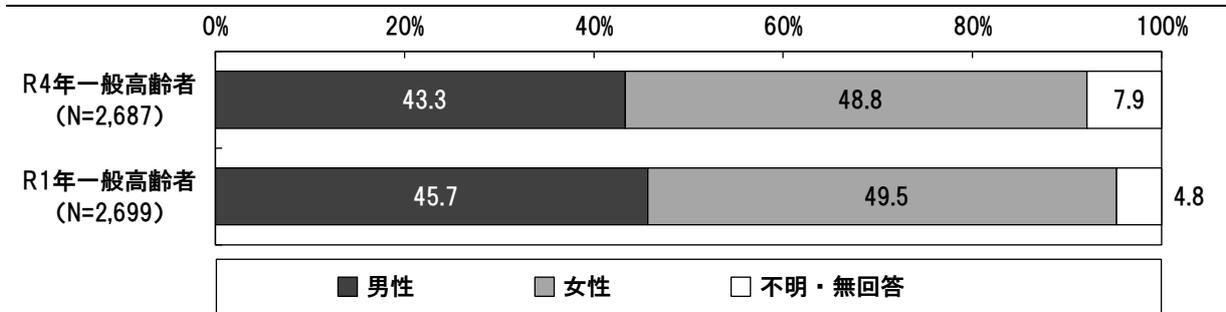
- (ア) 本調査結果については、前回調査で同様の設問があるものについては、基本的に前回調査結果と今回の調査結果を併記して示しています。R4年と表記しているのが今回の調査結果、R1年と表記しているのが前回の調査結果です。
- (イ) 回答結果の割合「%」は集計対象者総数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、選択肢からいずれか1つの選択肢を選ぶ設問であっても合計値が100.0%ちょうどにならない場合があります。
- (ウ) 複数回答（特に表記のない場合は、当てはまる選択肢をすべて選択する形式）の設問の場合、各選択肢の回答割合の合計が100.0%を超える場合があります。この形式の設問については、質問文の末尾に「複数回答」と表記しています。
- (エ) 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- (オ) 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（回答者を限定する設問の限定条件に該当する人の総数）を表しています。
- (カ) 本文中の設問・選択肢は簡略化している場合があります。

Ⅱ 一般高齢者の調査結果

1. 調査対象者本人について

問1. 性別をお答えください。

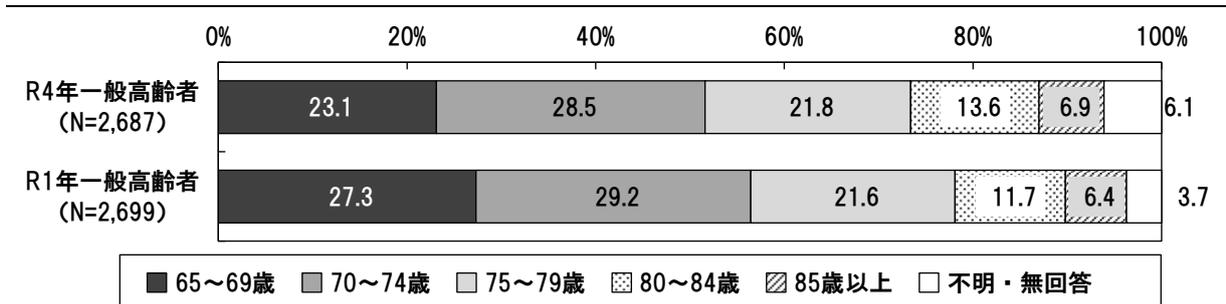
「男性」が43.3%、「女性」が48.8%となっています。



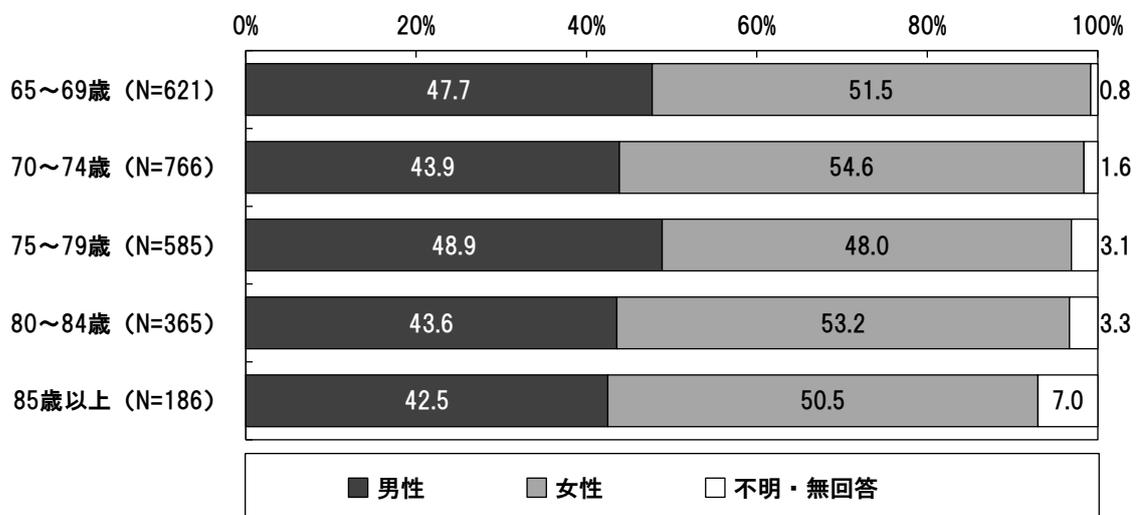
問2. 年齢（令和4年11月1日現在）をお答えください。

「70～74歳」が28.5%で最も多く、次いで「65～69歳」が23.1%となっています。

前回調査（R1年）と比べて、74歳までの年齢がやや減少し、75歳以上がやや増加しています。年齢別に性別を見ると、おおむね高齢になるほど男性の割合が減少します。



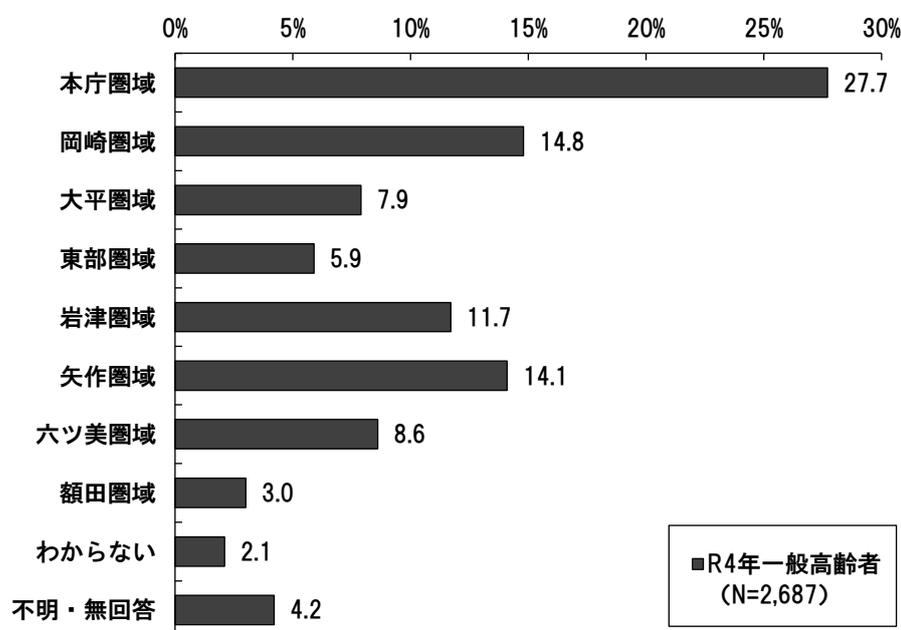
■年齢別に見た性別



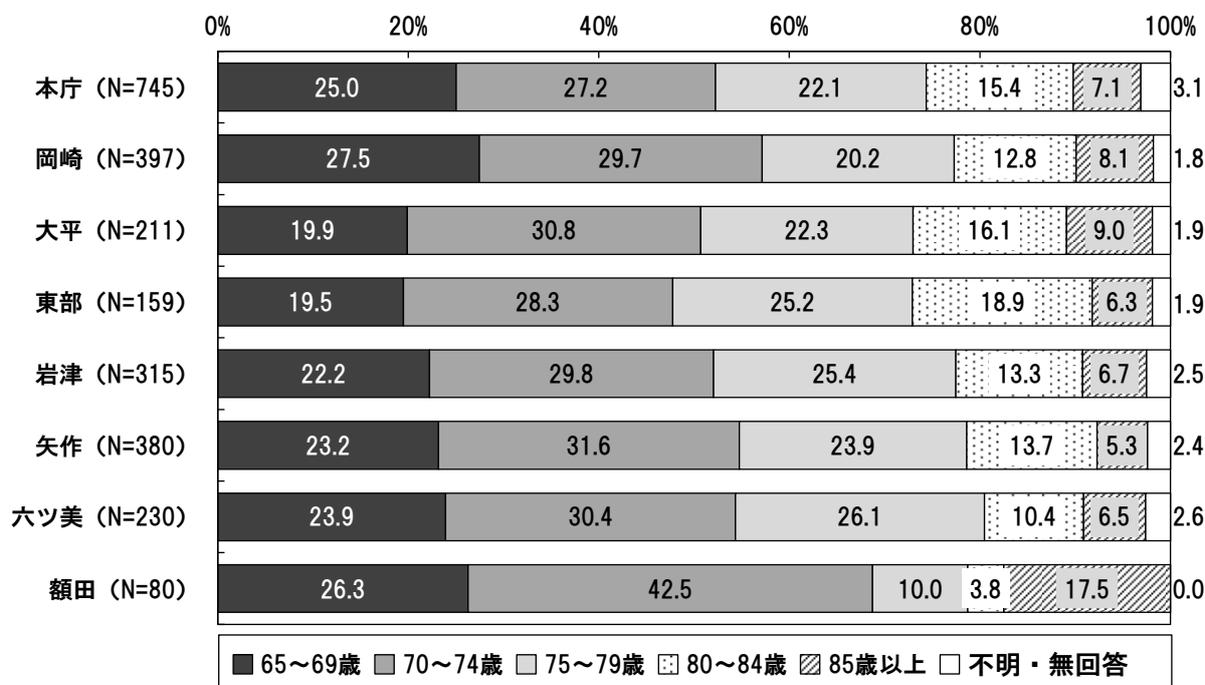
問3. 現在、どの小学校区にお住まいですか。

回答された小学校区を、圏域別に集計した結果を示します。前回調査とはサンプリングの方法を変更しています。

圏域別に回答者の年齢を見ると、74歳以下は額田で最も多く、東部で最も少なくなっています。80歳以上は大平、東部で多く、85歳以上は額田が最も多くなっています。



■ 圏域別に見た年齢

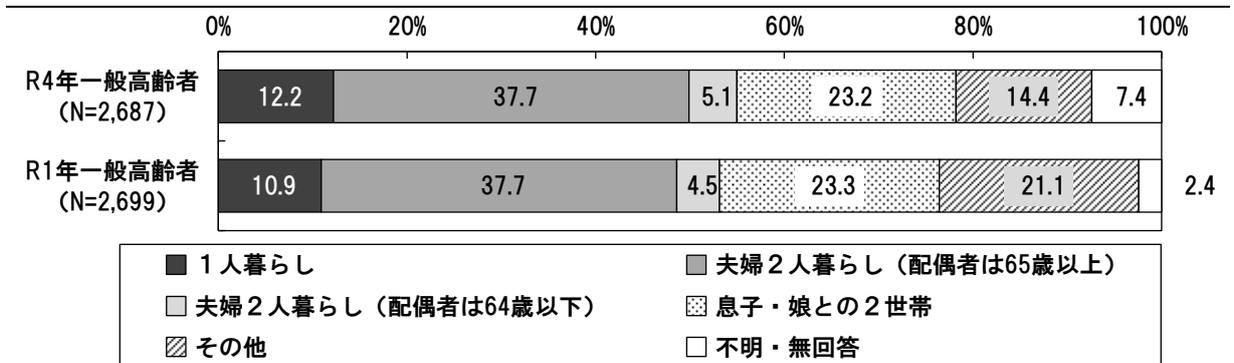


問4. 現在の世帯状況をお答えください。

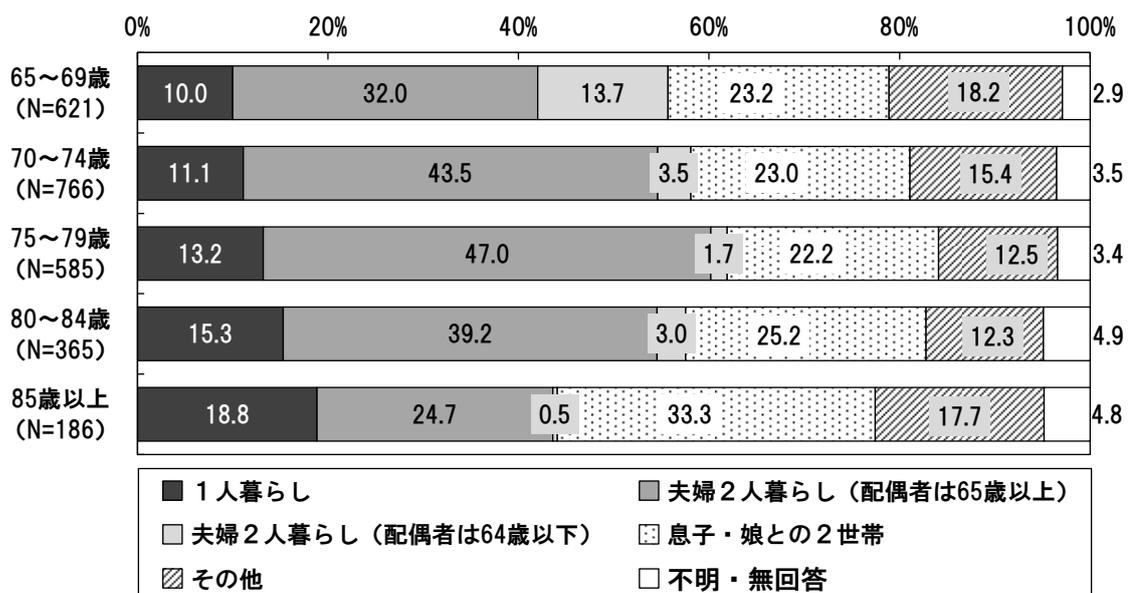
「夫婦2人暮らし（配偶者は65歳以上）」が37.7%で最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が23.2%となっています。

前回調査と大きな違いはありませんが、「1人暮らし」がわずかに増加しています。また、「その他」が減少しており、3世代同居が減っていることがうかがえます。

年齢別に見ると、高齢になるほど「1人暮らし」が増加しています。



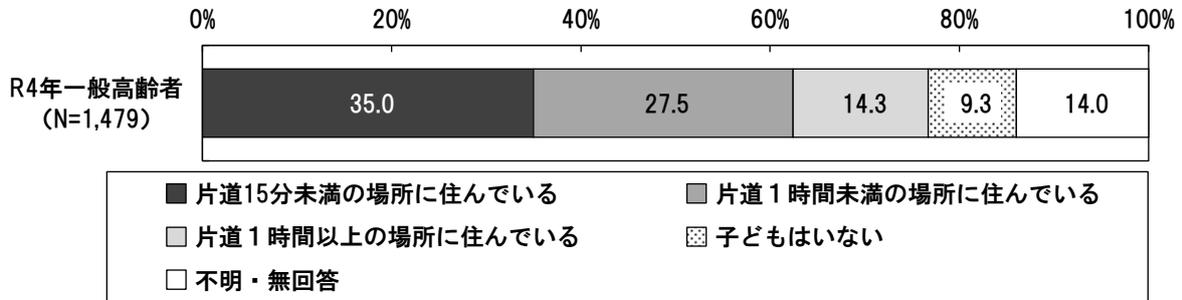
■年齢別に見た世帯状況



【問4において「ひとり暮らし」または「夫婦2人暮らし（配偶者は65歳以上）」
「夫婦2人暮らし（配偶者は64歳以下）」のいずれかに回答した人のみ】

①近くに住んでいる息子や娘がいますか。【最も近い1つを選択】

「片道15分未満の場所に住んでいる」が35.0%で最も多く、次いで、「片道1時間未満の場所に住んでいる」が27.5%となっています。

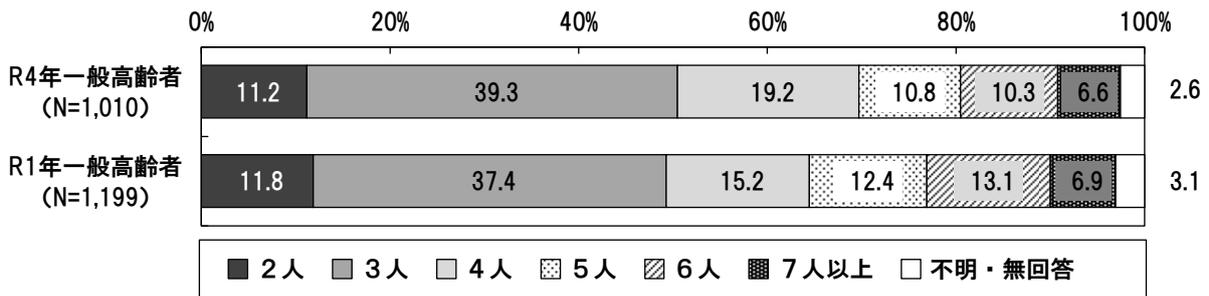


【問4において「息子・娘との2世帯」「その他」のいずれかを回答した人のみ】

②ご自分を含めて何人で暮らしていますか。

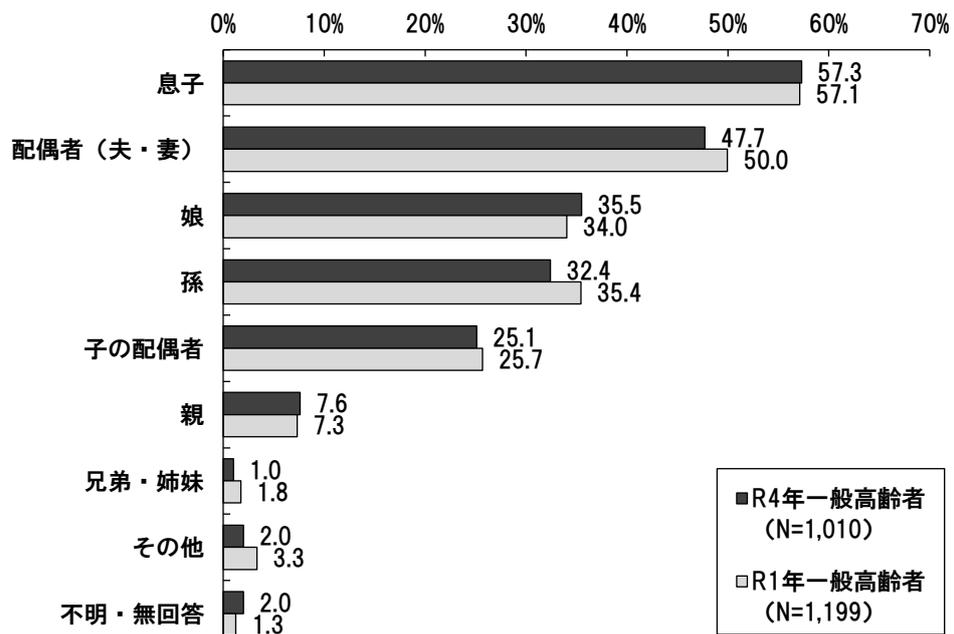
「3人」が39.3%で最も多く、次いで「4人」が19.2%となっています。

前回調査と比べて、「3人」「4人」がやや増加し、5人以上の回答が減少しています。



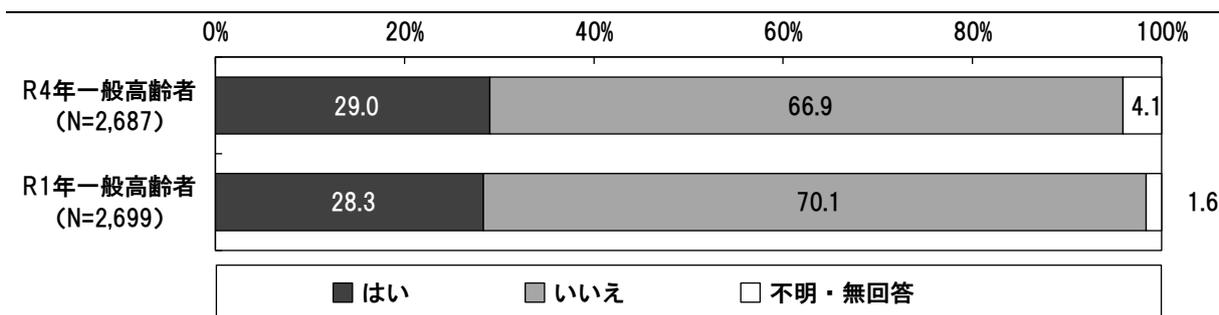
③また、同居されている方はどなたですか。【複数回答】

「息子」が57.3%で最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」が47.7%となっています。



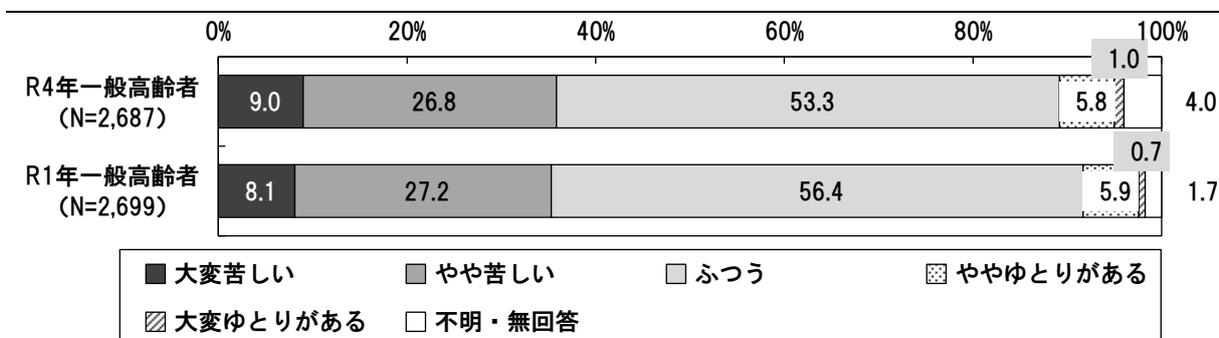
問5. 現在、収入のある仕事をしてしていますか。

収入のある仕事をしている人は29.0%となっており、わずかに増加しています。



問6. 今の暮らしは、経済的にみてどう感じますか。

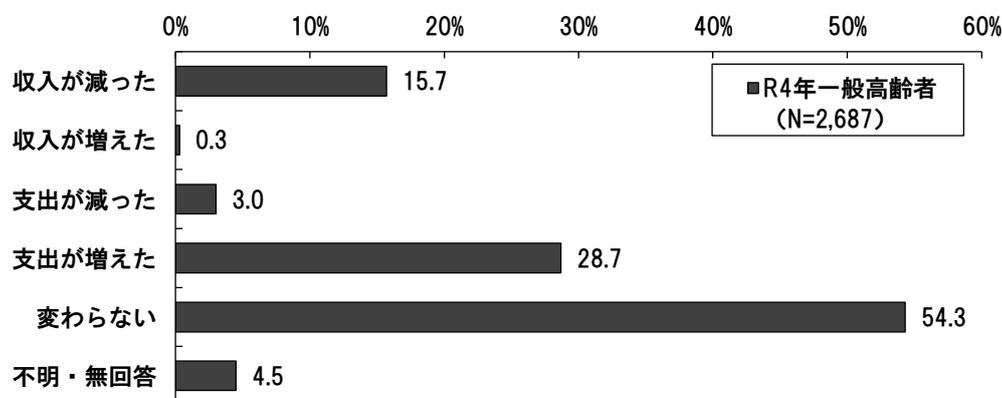
「ふつう」が53.3%で最も多く、次いで「やや苦しい」が26.8%となっています。



問7. 新型コロナウイルス感染症の拡大であなたの暮らしには経済的な影響がありましたか。

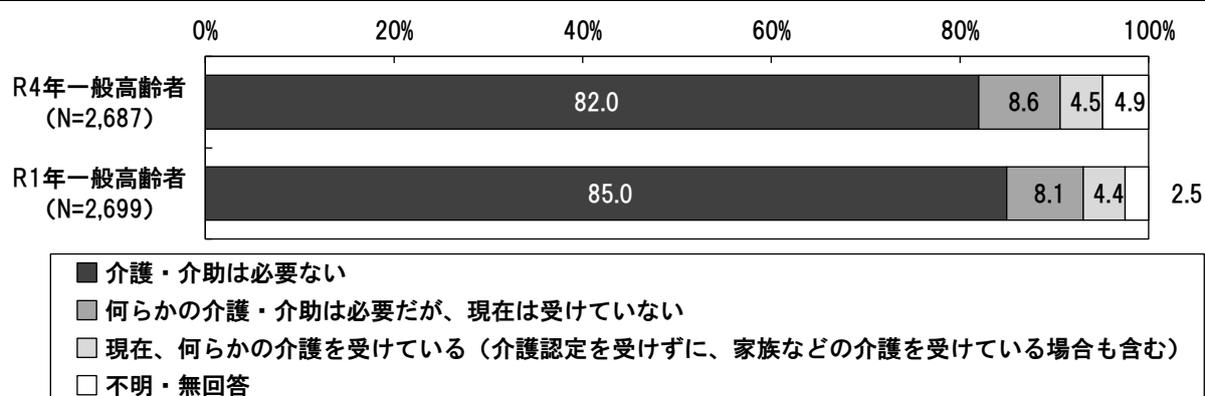
【複数回答】

「変わらない」が54.3%で最も多くなっています。影響があったという回答の中では、「支出が増えた」が28.7%、「収入が減った」が15.7%となっており、新型コロナウイルス感染症の拡大によって経済的に良くない影響を受けていることが多いことがうかがえます。



問8. 普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

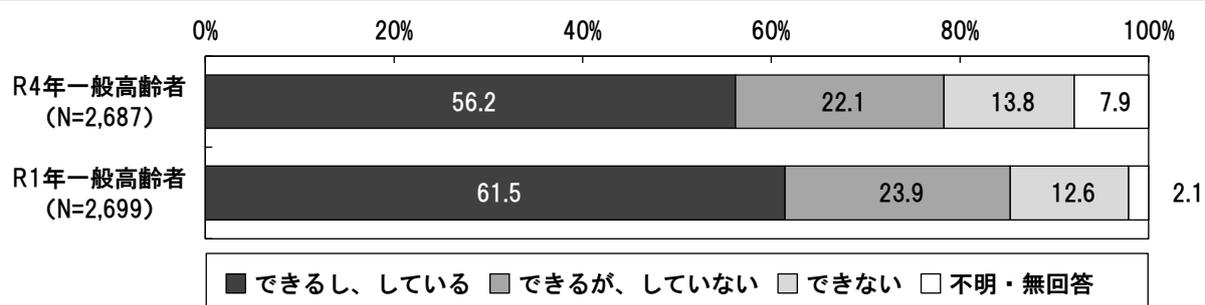
「現在、何らかの介護を受けている」が4.5%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が8.6%となっており、わずかに増加しています。



2. からだを動かすことや食べることについて

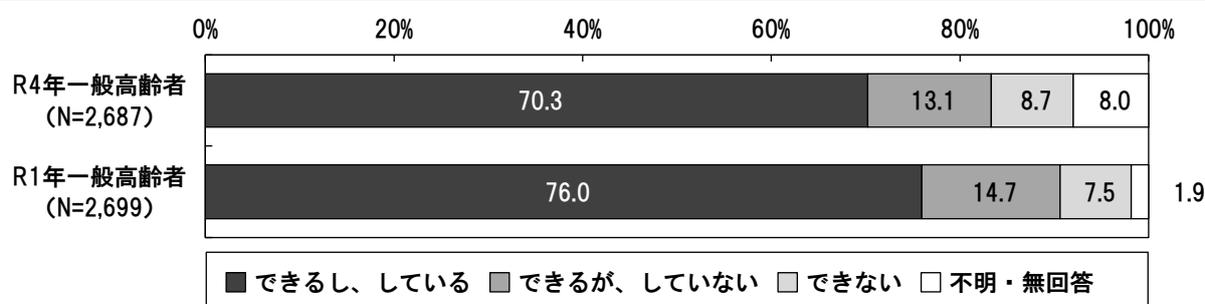
問9. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

「できない」が13.8%、「できるが、していない」が22.1%となっています。



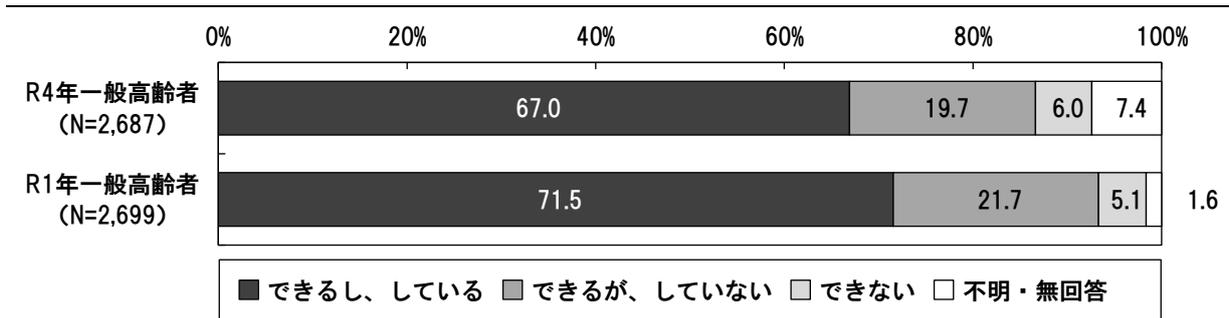
問10. 椅子に座った状態から何にもつかまらずに立ち上がっていますか。

「できない」が8.7%、「できるが、していない」が13.1%となっています。



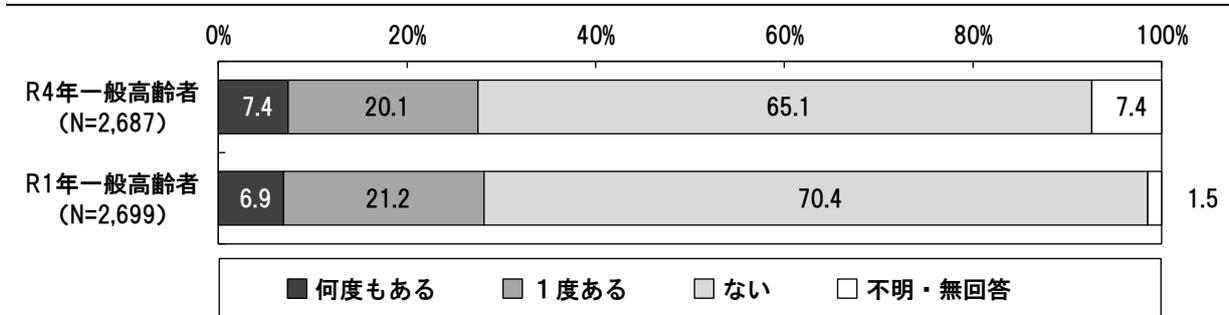
問 11. 15 分くらい続けて歩いていますか。

「できない」が6.0%、「できるが、していない」が19.7%となっています。



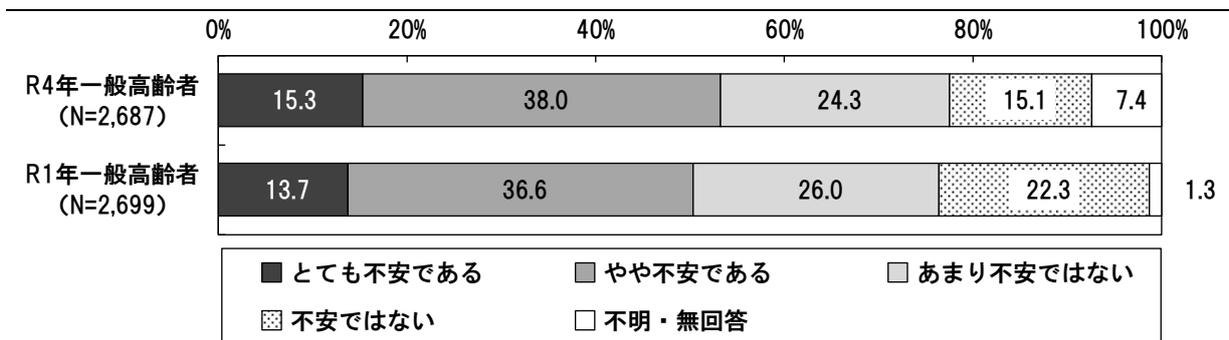
問 12. 過去 1 年間に転んだ経験がありますか。

「何度もある」が7.4%、「1度ある」が20.1%となっています。



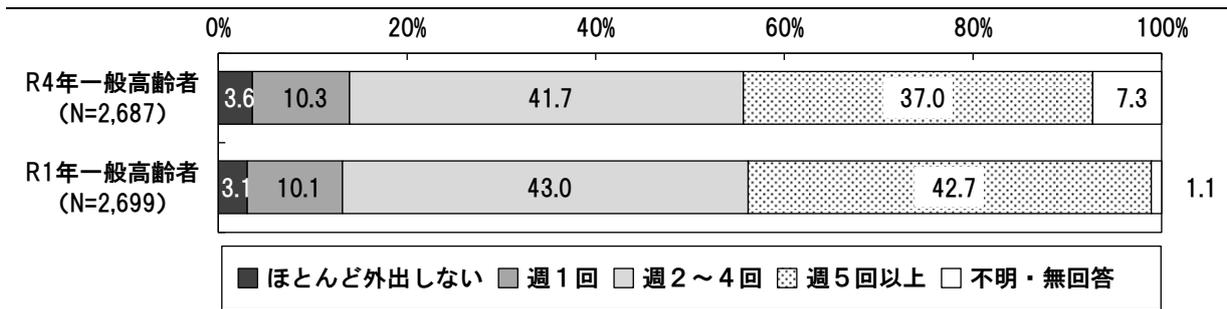
問 13. 転倒することへの不安は大きいですか。

「とても不安である」が15.3%、「やや不安である」の38.0%と合わせると、半数以上の高齢者が転倒することへの不安を感じています。



問 14. 週に1回以上は外出していますか。

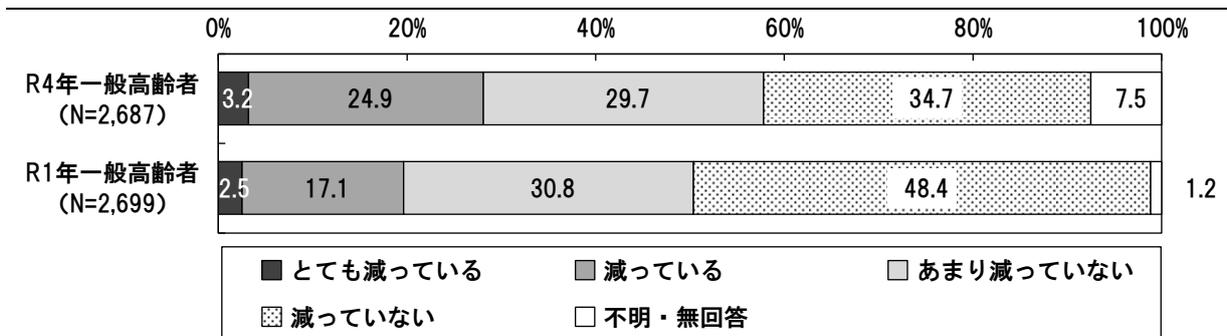
「ほとんど外出しない」が3.6%、「週1回」が10.3%となっています。



問 15. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

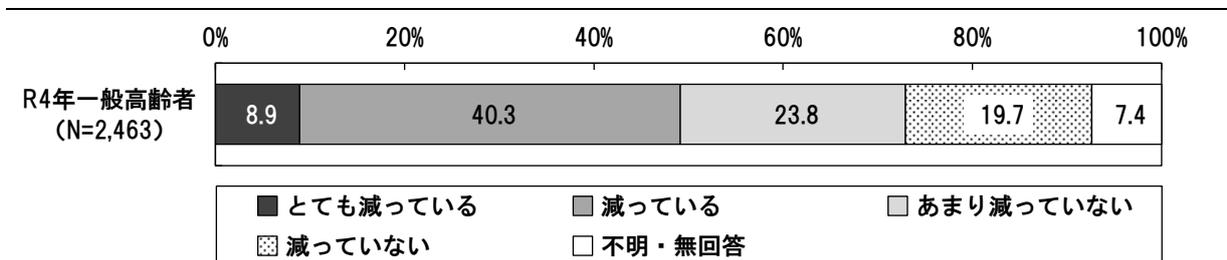
「とても減っている」が3.2%、「減っている」が24.9%となっています。

前回調査と比べて、「減っていない」が減少し、「減っている」が増加しています。



問 16. 新型コロナウイルス感染症の拡大前（令和2年2月より前）と比べて外出の回数が減っていますか。

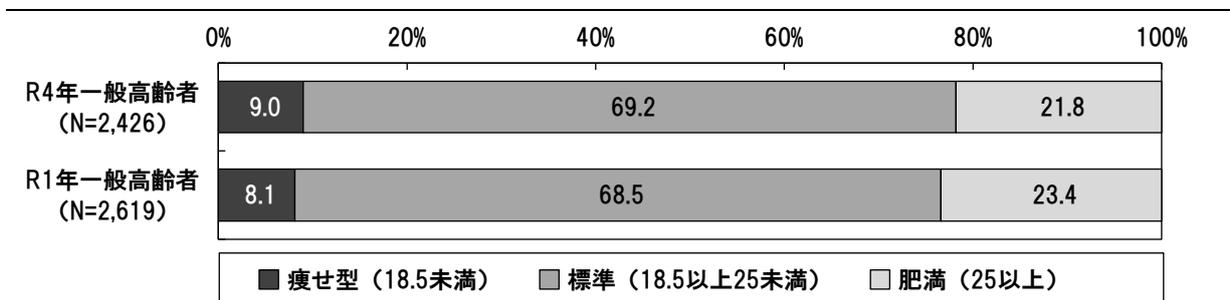
「とても減っている」が8.9%、「減っている」と合わせると、全体の約半数が、外出の回数が減っていると回答しています。



問 17. 身長・体重をご記入ください。（BMI 指数を算出）

身長・体重から算出された BMI 指数を見ると、「標準」が 69.2%、「痩せ型」が 9.0%、「肥満」が 21.8%となっています。

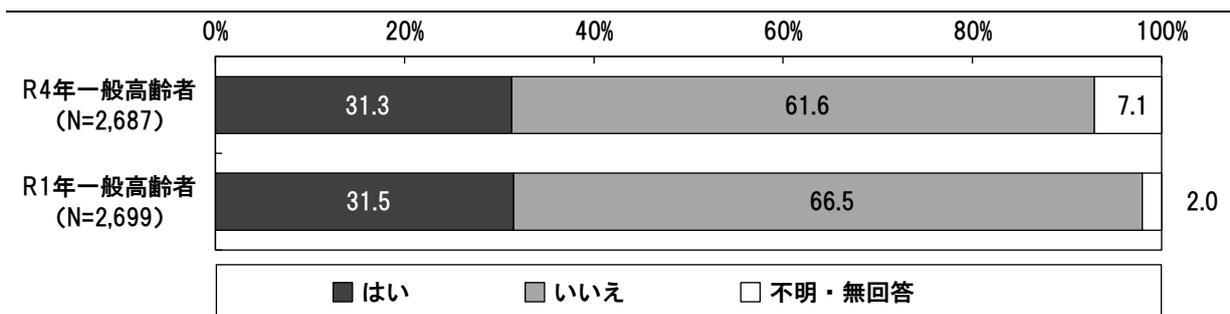
前回調査からの変化はあまりありません。



問 18. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

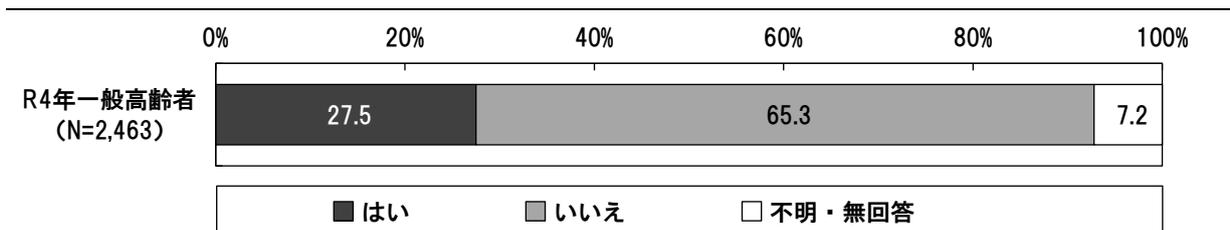
「はい」が 31.3%となっています。

前回調査からの変化はあまりありません。



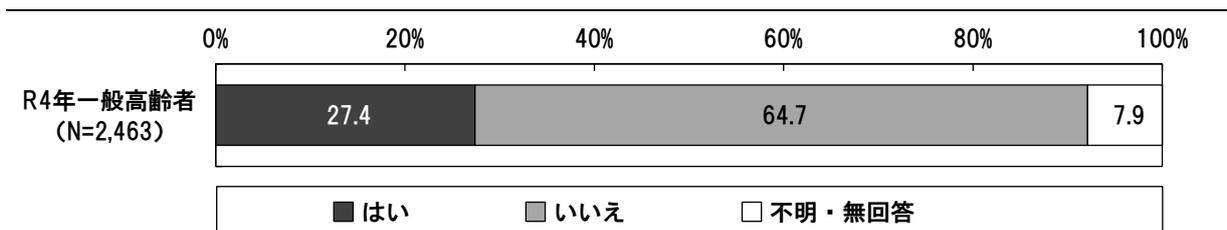
問 19. お茶や汁物等でむせることがありますか。

「はい」が 27.5%となっています。



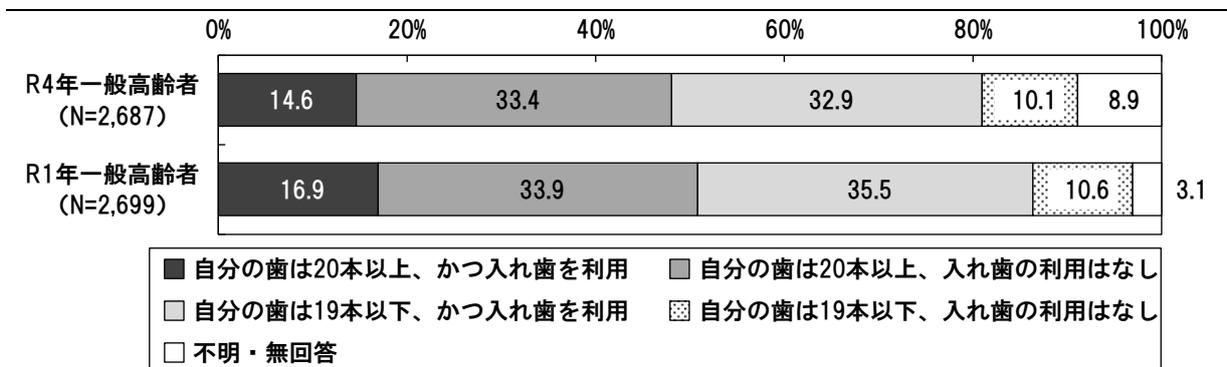
問 20. 口の渇きが気になりますか。

「はい」が27.4%となっています。



問 21. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

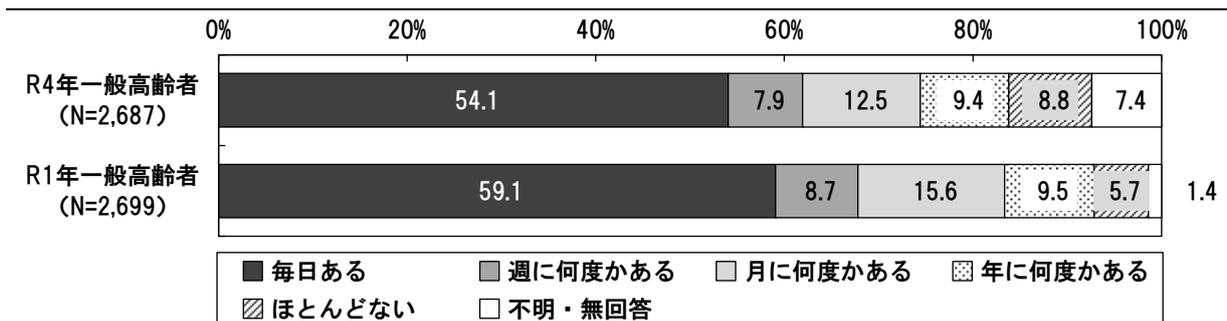
「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用はなし」が33.4%で最も多く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が32.9%となっています。全体で47.5%が入れ歯を利用しています。



問 22. どなたかと食事をとにもする機会がありますか。

「毎日ある」が54.1%で最も多く、次いで「月に何度かある」が12.5%となっています。

前回調査と比べると、「毎日ある」「月に何度かある」がやや減少し、「ほとんどない」がやや増加しています。

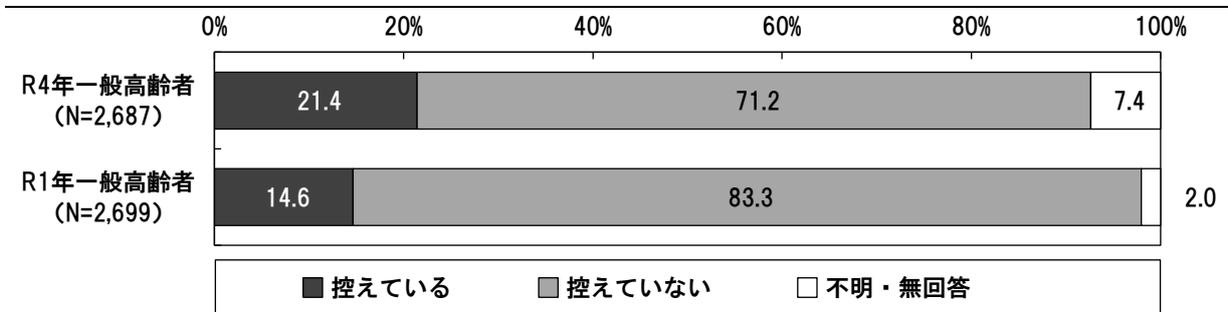


3. 毎日の生活について

問 23. 心身の状態により、外出を控えていますか。

「控えている」が21.4%となっています。

前回調査と比べて、「控えている」が増加しています。

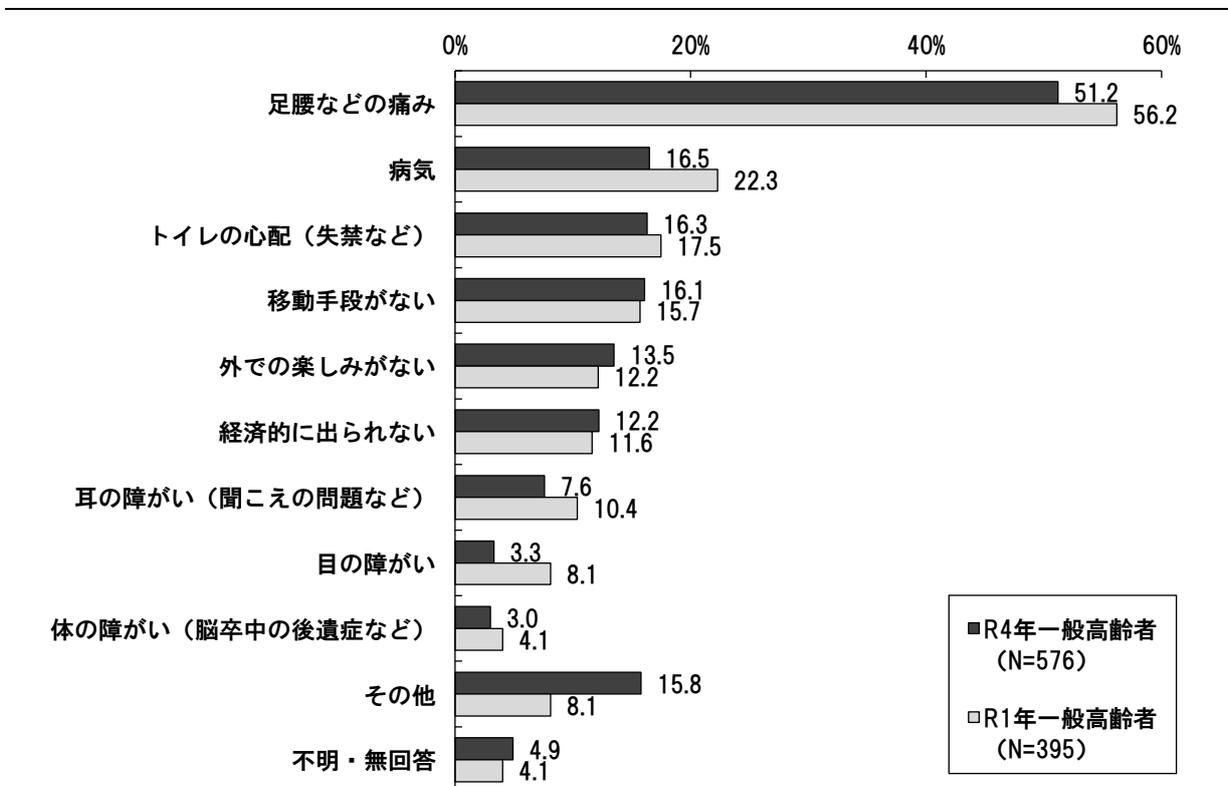


【問 23 において「控えている」と回答した人のみ】

① 外出を控えている理由は、次のどれですか。

「足腰などの痛み」が51.2%で最も多く、次いで「病気」が16.5%、「トイレの心配（失禁など）」が16.3%、「移動手段がない」が16.1%となっています。

前回調査と比べると、「足腰などの痛み」「病気」「目の障がい」がやや減少し、「その他」が増加しています。「その他」については、具体的に記載があった88件のうち、58件で新型コロナウイルス感染症に言及されており、これは回答者全体（576件）の10.1%にあたります。

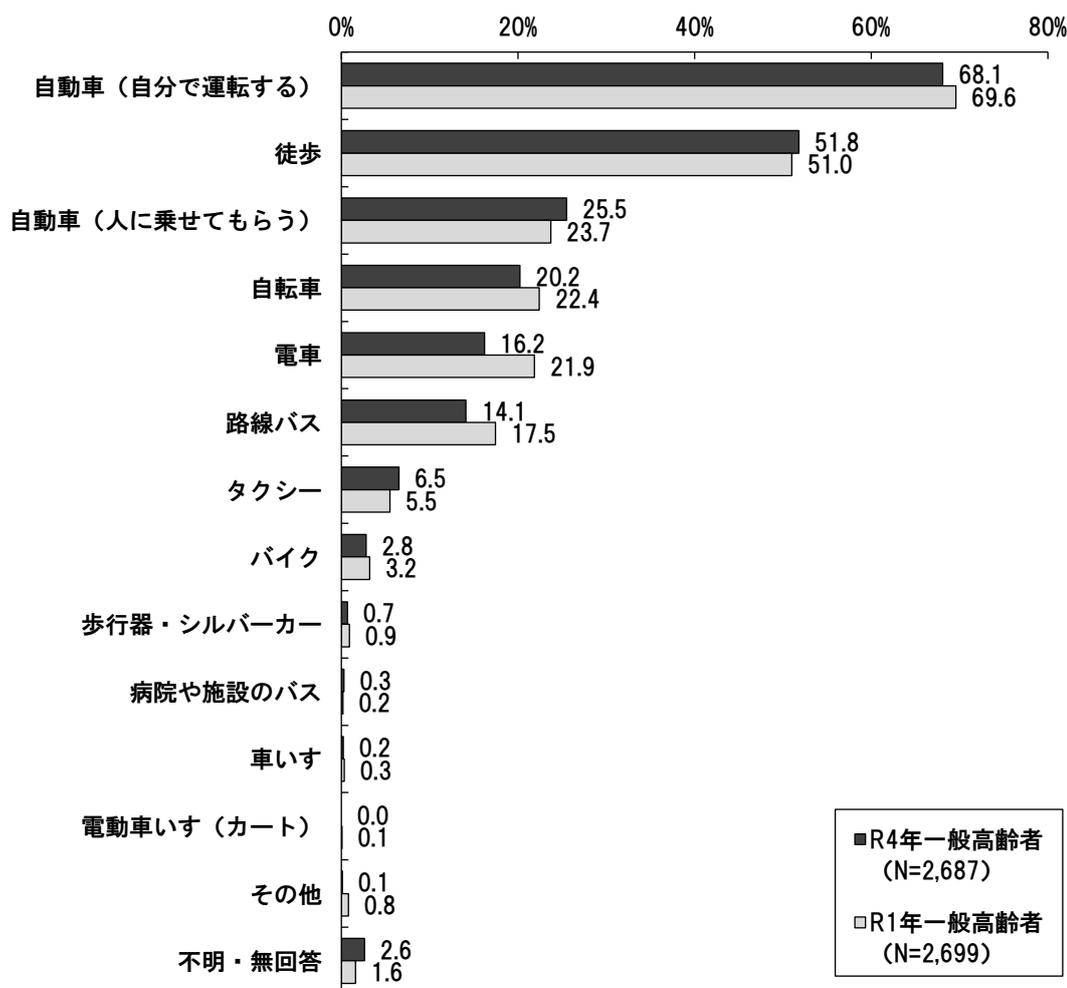


問 24. 外出する際の移動手段は何ですか。【複数回答】

「自動車（自分で運転する）」が68.1%で最も多く、次いで「徒歩」が51.8%となっています。前回調査と比べると、「電車」「路線バス」がやや減少しています。

年齢別に見ると、80歳代では、「自動車（自分で運転する）」が減少し、「自動車（人に乗せてもらう）」「タクシー」が増加しています。

圏域別に見ると、「徒歩」は本庁、「自転車」は矢作と六ツ美、「自動車（自分で運転する）」は額田、「電車」は東部、「路線バス」は本庁、大平、岩津で多くなっています。



■年齢別に見た外出する際の移動手段

単位 (%)

	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転する）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす
65～69歳 (N=621)	50.6	18.7	3.9	82.8	22.4	17.2	11.6	0.0	0.2
70～74歳 (N=766)	53.0	22.1	3.3	76.0	24.4	19.6	13.4	0.0	0.3
75～79歳 (N=585)	54.9	22.6	1.9	70.1	24.3	16.1	14.4	0.5	0.0
80～84歳 (N=365)	49.3	19.5	1.1	49.3	28.5	13.2	19.5	0.3	0.3
85歳以上 (N=186)	52.2	16.7	1.1	28.0	44.6	10.2	17.7	1.1	1.1

	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	不明・無回答
65～69歳 (N=621)	0.0	0.0	3.1	0.0	1.4
70～74歳 (N=766)	0.0	0.0	4.2	0.0	1.2
75～79歳 (N=585)	0.0	0.2	6.7	0.2	2.7
80～84歳 (N=365)	0.0	1.4	11.2	0.3	4.9
85歳以上 (N=186)	0.5	7.0	18.8	0.5	2.2

■圏域別に見た外出する際の移動手段

単位 (%)

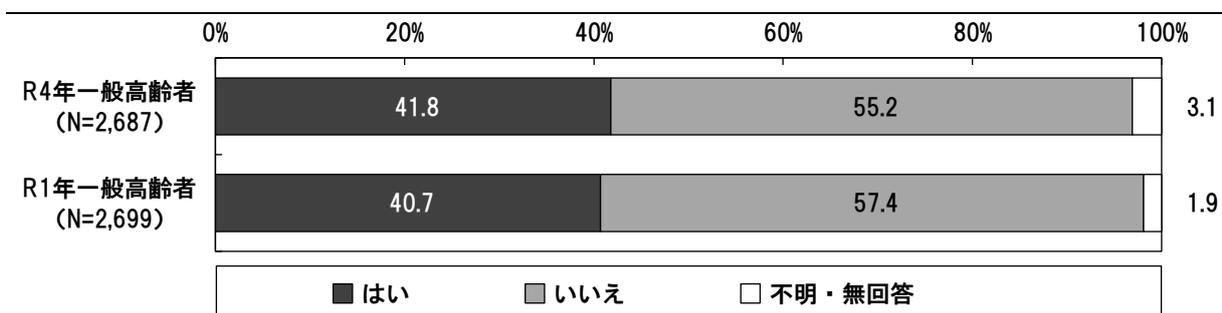
	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転する）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす
本庁 (N=745)	58.7	21.5	2.0	67.2	26.4	15.7	17.7	0.1	0.0
岡崎 (N=397)	51.6	19.9	2.3	66.5	24.9	16.4	14.6	0.0	0.5
大平 (N=211)	49.8	14.7	3.3	69.7	26.5	17.1	18.0	0.0	0.0
東部 (N=159)	48.4	12.6	3.8	68.6	23.3	26.4	8.2	0.0	0.0
岩津 (N=315)	50.8	13.7	2.5	70.2	22.9	14.0	18.7	0.3	0.6
矢作 (N=380)	48.9	28.4	2.9	67.4	30.3	17.9	7.9	0.5	0.3
六ツ美 (N=230)	46.5	29.1	3.5	73.9	24.8	13.5	10.0	0.4	0.0
額田 (N=80)	38.8	6.3	3.8	82.5	21.3	12.5	8.8	2.5	0.0

	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	不明・無回答
本庁 (N=745)	0.0	0.1	7.0	0.1	1.7
岡崎 (N=397)	0.3	0.8	8.3	0.3	3.3
大平 (N=211)	0.0	0.5	7.6	0.0	2.4
東部 (N=159)	0.0	0.6	7.5	0.0	1.9
岩津 (N=315)	0.0	1.0	5.1	0.0	2.2
矢作 (N=380)	0.0	1.1	5.8	0.0	2.6
六ツ美 (N=230)	0.0	0.9	3.9	0.0	2.2
額田 (N=80)	0.0	3.8	2.5	0.0	2.5

問 25. 物忘れが多いと感じますか。

「はい」が41.8%となっています。

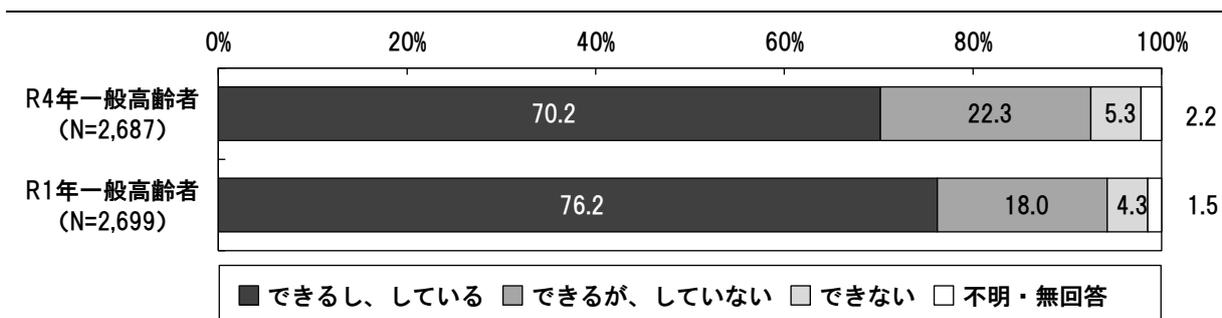
前回調査と比べて、「はい」がわずかに増加しています。



問 26. バスや電車を使って1人で外出していますか。

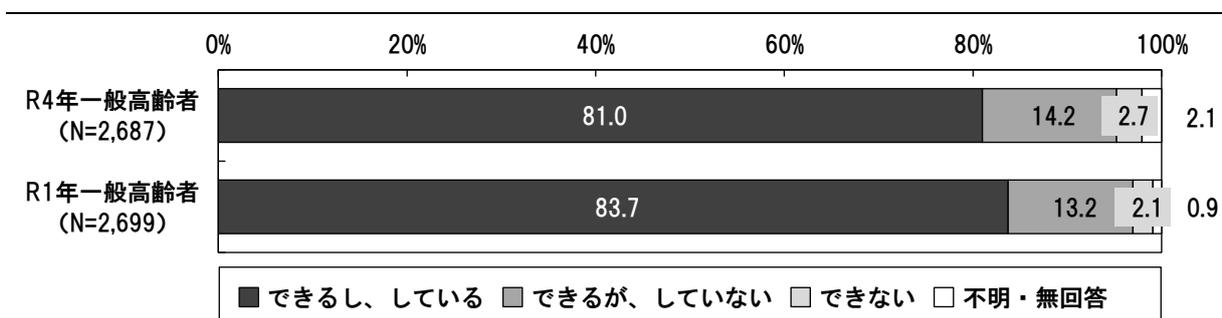
「できない」が5.3%、「できるが、していない」が22.3%となっています。

前回調査と比べると、「できるし、している」が減少し、「できるが、していない」が増加しています。



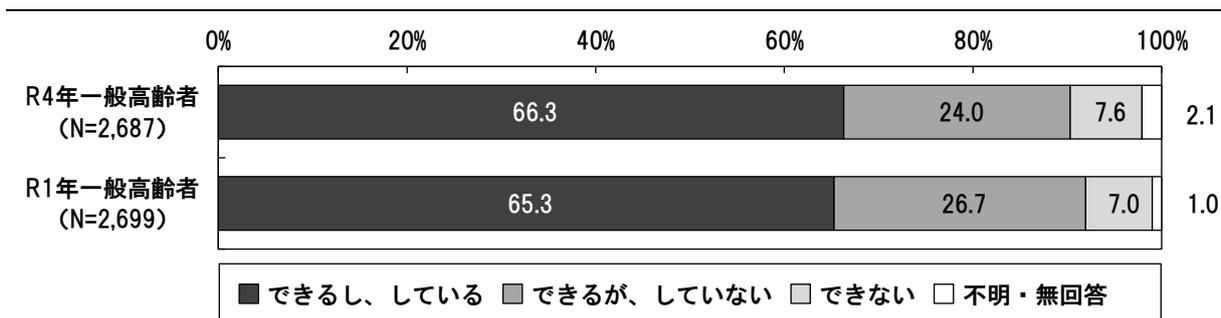
問 27. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。

「できない」が2.7%、「できるが、していない」が14.2%となっています。



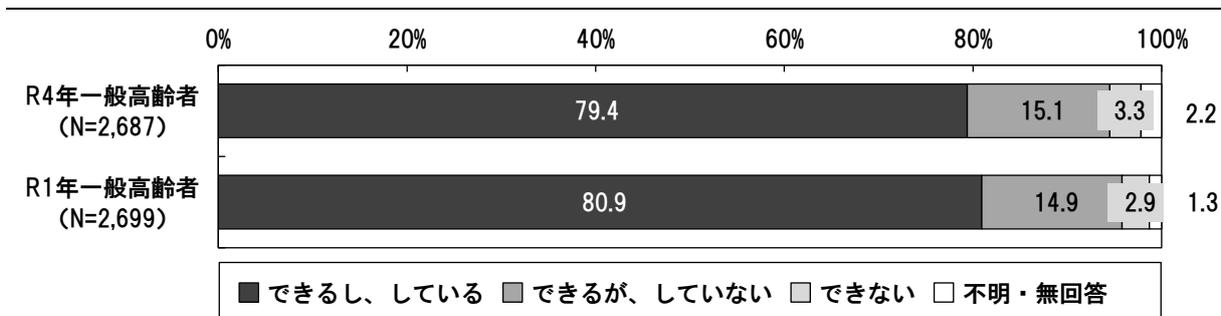
問 28. 自分で食事の用意をしていますか。

「できない」が7.6%、「できるが、していない」が24.0%となっています。



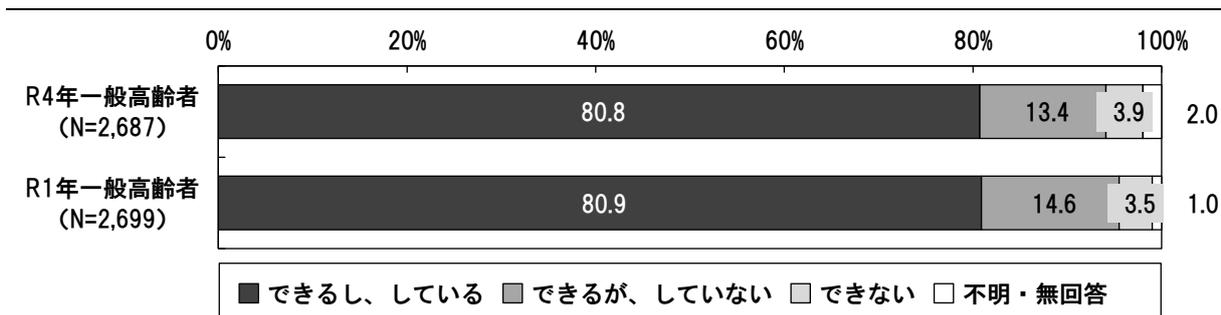
問 29. 自分で請求書の支払いをしていますか。

「できない」が3.3%、「できるが、していない」が15.1%となっています。



問 30. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

「できない」が3.9%、「できるが、していない」が13.4%となっています。



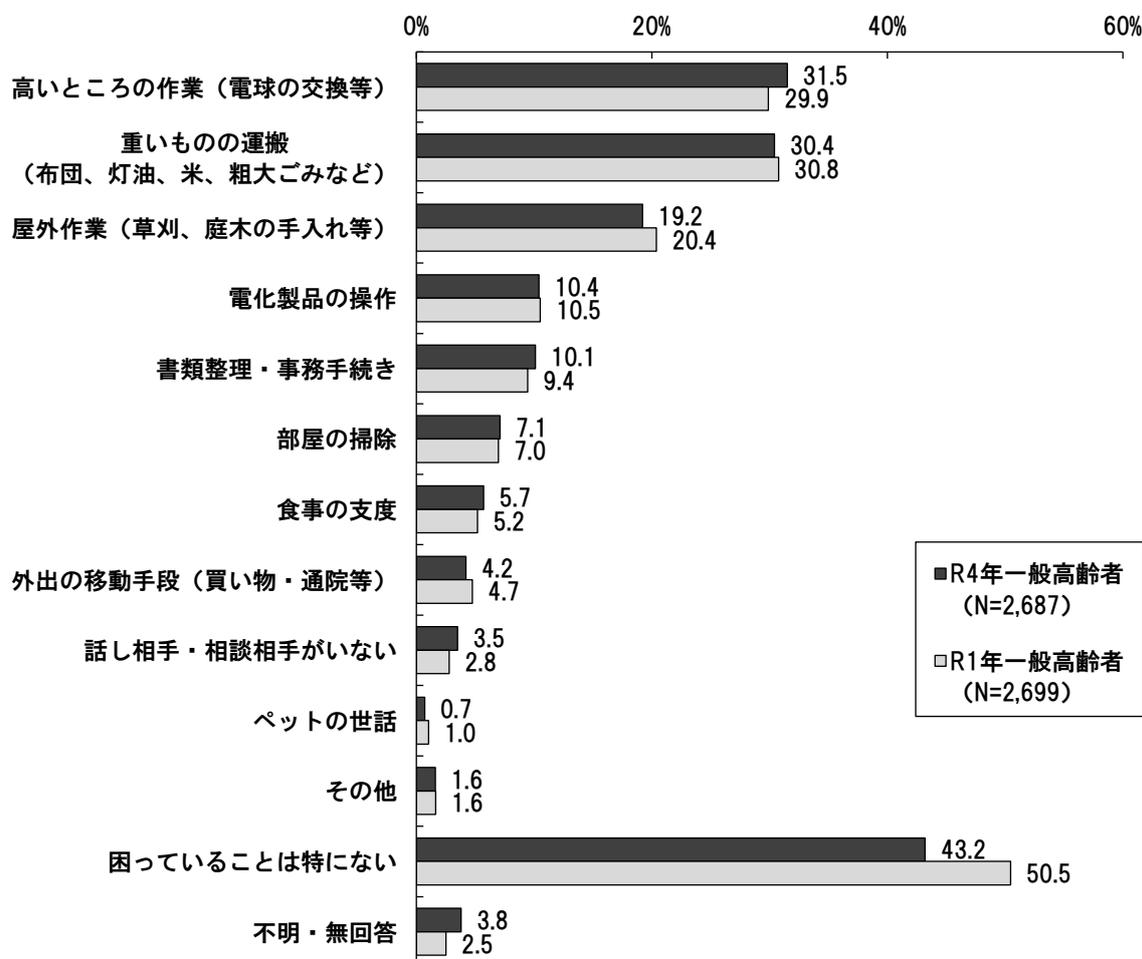
問 31. 日常生活において困っていることは何ですか。【複数回答】

「高い所の作業（電球の交換等）」が31.5%で最も多く、次いで「重いものの運搬（布団、灯油、米、粗大ごみなど）」が30.4%となっています。

前回調査とほぼ同様の結果ですが、「困っていることは特にない」が減少しています。

年齢別に見ると、高齢になるほど困りごとの回答が多くなっています。

圏域別では、あまり差は見られません。



■年齢別に見た日常生活で困っていること

単位 (%)

	高いところの作業（電球の交換等）	重いものの運搬（布団、灯油、米、	屋外作業（草刈、庭木の手入れ等）	部屋の掃除	電化製品の操作	書類整理・事務手続き	食事の支度	外出の移動手段（買い物・通院等）	話し相手・相談相手がいない
65～69歳 (N=621)	17.2	19.6	14.3	5.5	6.1	7.6	3.5	1.3	3.9
70～74歳 (N=766)	27.9	29.0	18.0	5.9	8.6	7.6	5.1	1.0	3.3
75～79歳 (N=585)	36.9	33.8	19.8	7.2	11.6	10.8	6.5	3.2	2.6
80～84歳 (N=365)	44.1	38.6	23.8	6.0	15.1	13.7	4.4	8.2	2.2
85歳以上 (N=186)	50.0	41.9	28.0	12.9	21.5	20.4	13.4	19.4	5.9

	ペットの世話	その他	困っていることは特にならない	不明・無回答
65～69歳 (N=621)	0.5	1.6	56.8	3.2
70～74歳 (N=766)	1.2	1.7	49.1	2.2
75～79歳 (N=585)	0.2	1.2	40.2	2.2
80～84歳 (N=365)	1.1	1.4	28.5	5.8
85歳以上 (N=186)	1.1	3.8	23.7	7.0

■圏域別に見た日常生活で困っていること

単位 (%)

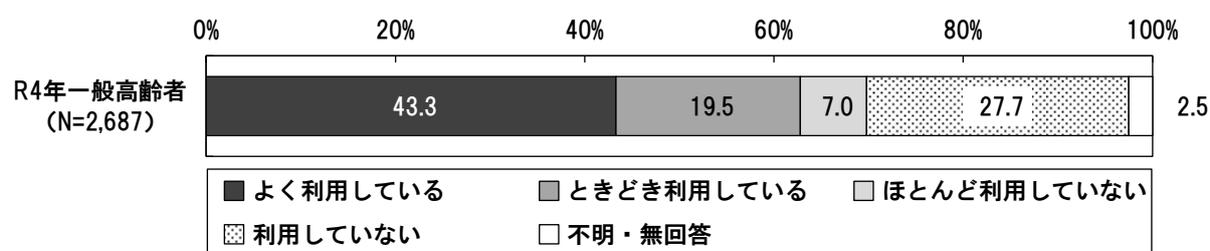
	高いところの作業（電球の交換等）	重いものの運搬（布団、灯油、米、	屋外作業（草刈、庭木の手入れ等）	部屋の掃除	電化製品の操作	書類整理・事務手続き	食事の支度	外出の移動手段（買い物・通院等）	話し相手・相談相手がいない
本庁 (N=745)	34.2	32.6	17.7	6.0	10.7	8.7	5.1	3.6	3.5
岡崎 (N=397)	32.7	33.2	20.4	7.3	10.6	10.8	4.8	5.5	3.5
大平 (N=211)	31.8	28.0	19.4	9.0	13.3	10.9	4.3	4.3	3.3
東部 (N=159)	30.2	30.2	20.8	7.5	7.5	10.7	5.0	6.3	2.5
岩津 (N=315)	30.5	29.5	17.8	6.3	11.7	12.4	6.7	2.5	3.2
矢作 (N=380)	29.5	29.5	21.3	8.2	8.7	10.0	6.3	5.5	2.9
六ツ美 (N=230)	30.0	25.7	17.8	6.1	11.3	11.3	8.3	1.3	3.5
額田 (N=80)	27.5	26.3	22.5	3.8	12.5	7.5	5.0	6.3	3.8

	ペットの世話	その他	困っていることは特にならない	不明・無回答
本庁 (N=745)	0.3	1.5	41.6	4.6
岡崎 (N=397)	1.0	1.3	42.3	2.5
大平 (N=211)	1.4	3.3	46.4	2.4
東部 (N=159)	1.3	0.0	50.3	1.3
岩津 (N=315)	1.0	2.2	46.3	2.9
矢作 (N=380)	0.5	1.3	42.6	4.2
六ツ美 (N=230)	1.3	2.2	43.9	2.6
額田 (N=80)	1.3	1.3	47.5	2.5

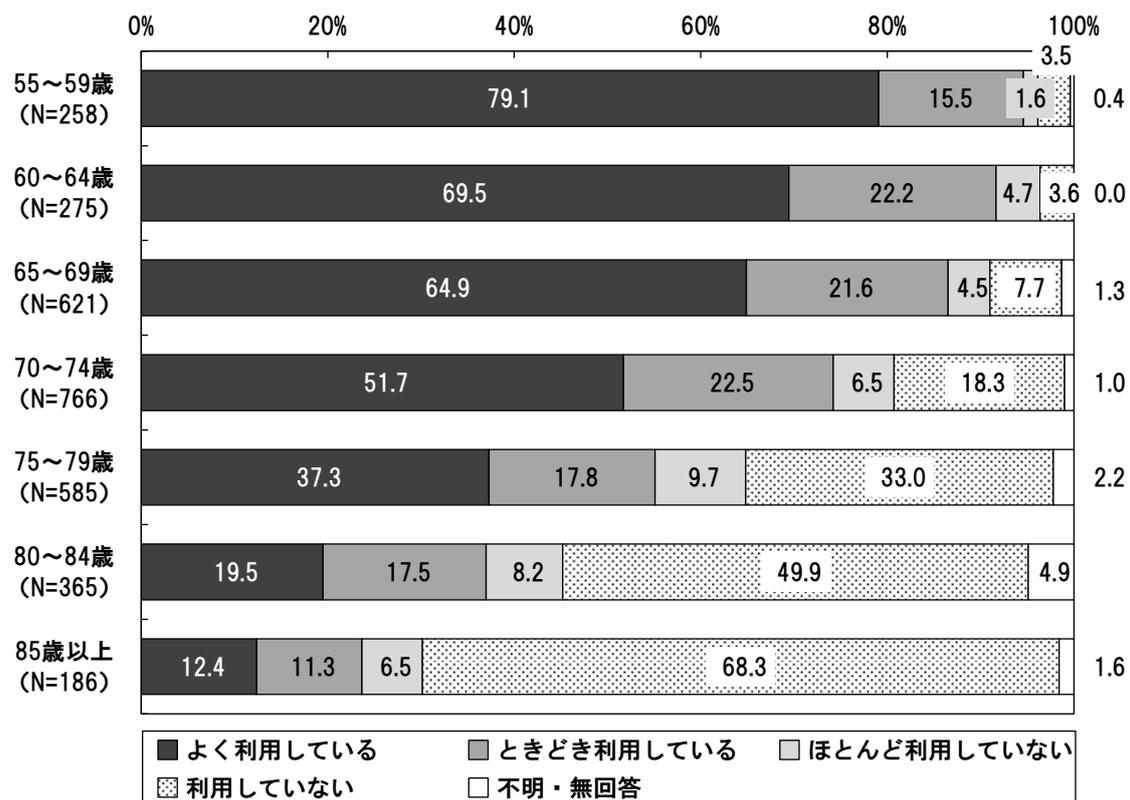
問 32. あなたは、パソコン、スマートフォンやタブレット端末等の情報通信機器を利用していますか。

「よく利用している」43.3%で最も多くなっています。一方で、「利用していない」が27.7%、「ほとんど利用していない」と合わせると、34.7%が情報通信機器を利用していないと回答しています。

年齢別で見ると、60歳代までは「よく利用している」が6割を超え、70～74歳でも5割を超えています。80歳代では「利用していない」が最も多くなっています。



■年齢別に見た情報通信機器の利用状況

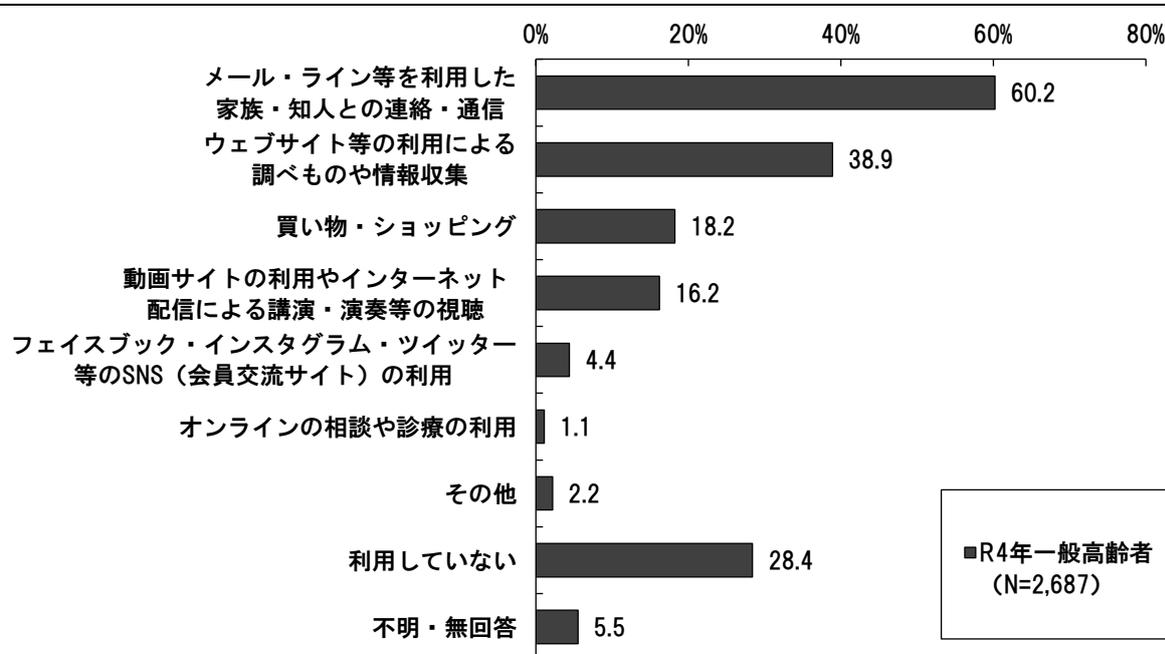


※55～64歳は若年者調査、65歳以上は一般高齢者調査結果より。

問 33. あなたは普段、パソコンやスマートフォンなどの情報通信機器を利用して、次のようなことをしていますか。【複数回答】

情報通信機器を利用して、していることについては、「メール・ライン等を利用した家族・知人との連絡・通信」が60.2%で最も多く、次いで「ウェブサイト等の利用による調べものや情報収集」が38.9%となっています。

年齢別に見ると、多くの項目で若い年代ほど利用率が高くなっています。



■年齢別に見た情報通信機器を利用して、していること【複数回答】

単位 (%)

	メール・ライン等を利用した家族・知人との連絡・通信	ウェブサイト等の利用による調べものや情報収集	フェイスブック・インスタグラム・ツイッター等のSNS（会員交流サイト）の利用	動画サイトの利用やインターネット配信による講演・演奏等の視聴	買い物・ショッピング	オンラインの相談や診療の利用	その他	利用していない	不明・無回答
55～59歳 (N=258)	92.6	86.0	26.7	46.5	63.6	3.5	1.9	3.5	0.4
60～64歳 (N=275)	90.9	84.4	17.1	36.4	52.0	4.0	4.7	3.3	0.0
65～69歳 (N=621)	84.4	62.6	6.9	31.2	33.0	1.0	2.1	8.7	1.4
70～74歳 (N=766)	70.8	47.0	5.0	19.1	22.2	1.4	2.5	20.8	2.5
75～79歳 (N=585)	53.0	30.4	3.9	9.6	11.6	1.7	2.2	35.6	5.6
80～84歳 (N=365)	35.9	14.0	1.1	4.4	6.0	0.3	1.9	47.1	12.1
85歳以上 (N=186)	18.8	9.7	1.6	3.2	3.8	0.5	2.2	66.1	9.7

※55～64歳は若年者調査、65歳以上は一般高齢者調査結果より。

4. 地域での活動について

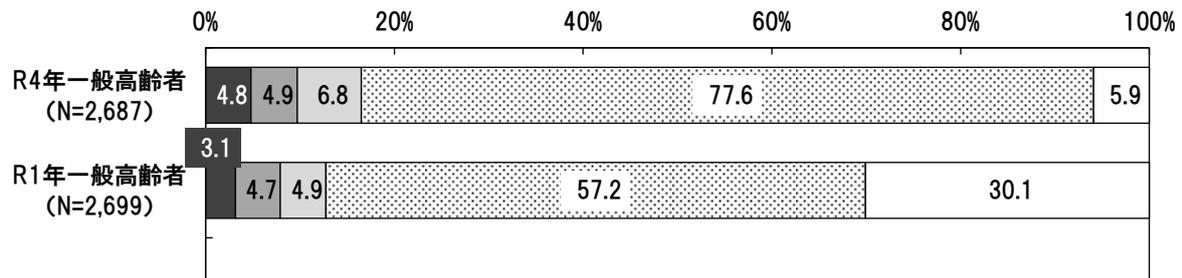
問 34. 以下のような会、グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

週1回以上の回答が最も多いのは、「収入のある仕事」の22.8%、次いで「スポーツ関係のグループやクラブ」の17.3%となっています。「参加していない」が最も少ないのは「趣味関係のグループ」の69.5%となっています。

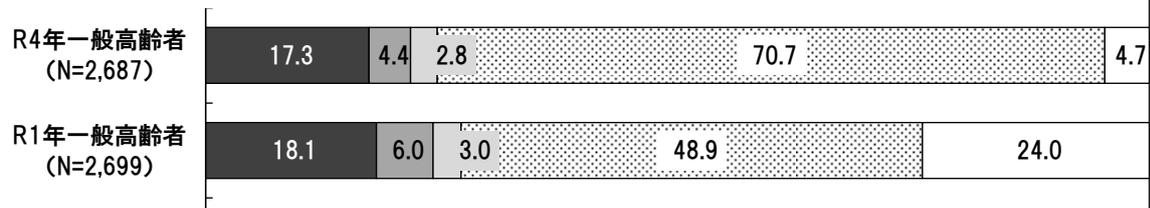
	単位：%						
	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
①ボランティアのグループ							
R4年一般高齢者 (N=2, 687)	1.1	2.0	1.7	4.9	6.8	77.6	5.9
R1年一般高齢者 (N=2, 699)	1.1	1.0	1.1	4.7	4.9	57.2	30.1
②スポーツ関係のグループやクラブ							
R4年一般高齢者 (N=2, 687)	4.1	7.1	6.1	4.4	2.8	70.7	4.7
R1年一般高齢者 (N=2, 699)	4.1	9.0	5.0	6.0	3.0	48.9	24.0
③趣味関係のグループ							
R4年一般高齢者 (N=2, 687)	1.5	4.0	4.7	11.1	4.5	69.5	4.6
R1年一般高齢者 (N=2, 699)	1.4	4.9	5.5	13.2	4.7	46.9	23.4
④学習・教養サークル							
R4年一般高齢者 (N=2, 687)	0.2	0.6	1.6	3.6	3.1	85.7	5.3
R1年一般高齢者 (N=2, 699)	0.2	0.9	1.3	4.2	2.9	59.9	30.6
⑤介護予防のための通いの場							
R4年一般高齢者 (N=2, 687)	0.8	1.4	3.8	2.1	2.2	86.7	3.1
R1年一般高齢者 (N=2, 699)	0.2	0.4	1.6	1.3	1.1	63.6	31.7
⑥老人クラブ							
R4年一般高齢者 (N=2, 687)	0.2	0.9	1.2	2.1	4.7	87.4	3.5
R1年一般高齢者 (N=2, 699)	0.4	1.1	1.2	3.2	6.6	59.3	28.2
⑦町内会・自治会							
R4年一般高齢者 (N=2, 687)	0.3	0.9	0.7	4.5	17.2	72.5	3.9
R1年一般高齢者 (N=2, 699)	0.3	1.0	1.4	5.3	20.9	43.0	28.1
⑧収入のある仕事							
R4年一般高齢者 (N=2, 687)	14.1	7.3	1.4	1.2	1.4	70.6	3.9
R1年一般高齢者 (N=2, 699)	12.5	7.6	1.1	1.7	1.2	48.0	27.8

◆ 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を「週1回以上」にまとめたグラフ

① ボランティアのグループ



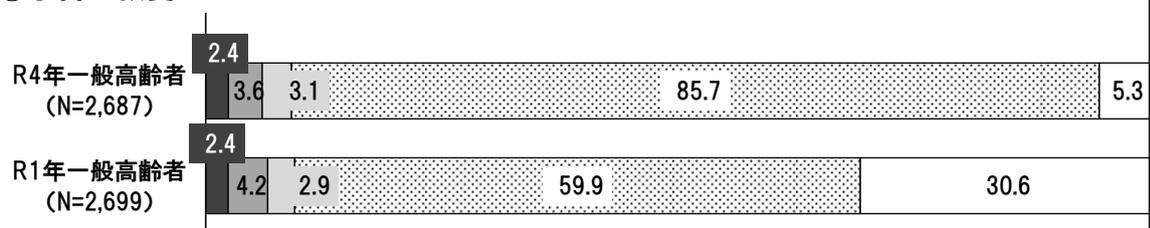
② スポーツ関係のグループやクラブ



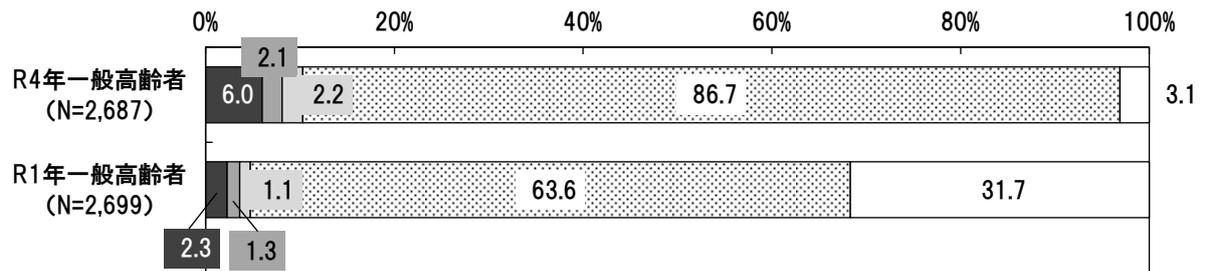
③ 趣味関係のグループ



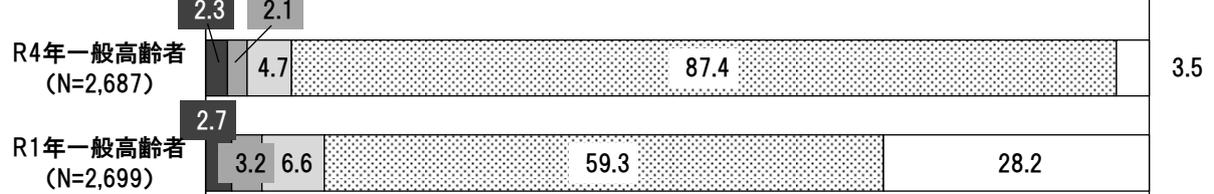
④ 学習・教養サークル



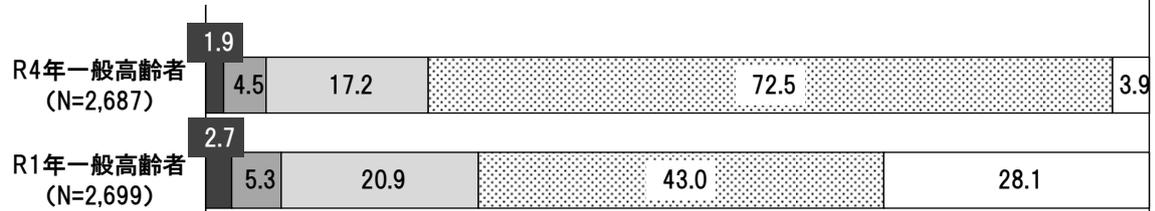
⑤介護予防のための通いの場



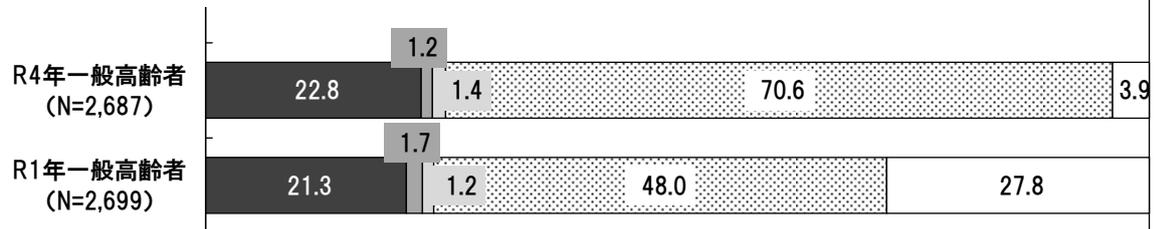
⑥老人クラブ



⑦町内会・自治会



⑧収入のある仕事

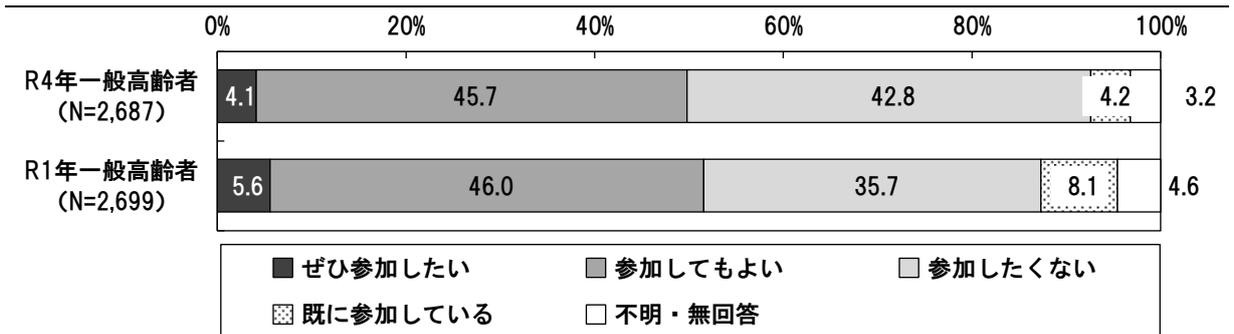


■ 週1回以上 ■ 月1～3回 ■ 年に数回 ■ 参加していない □ 不明・無回答

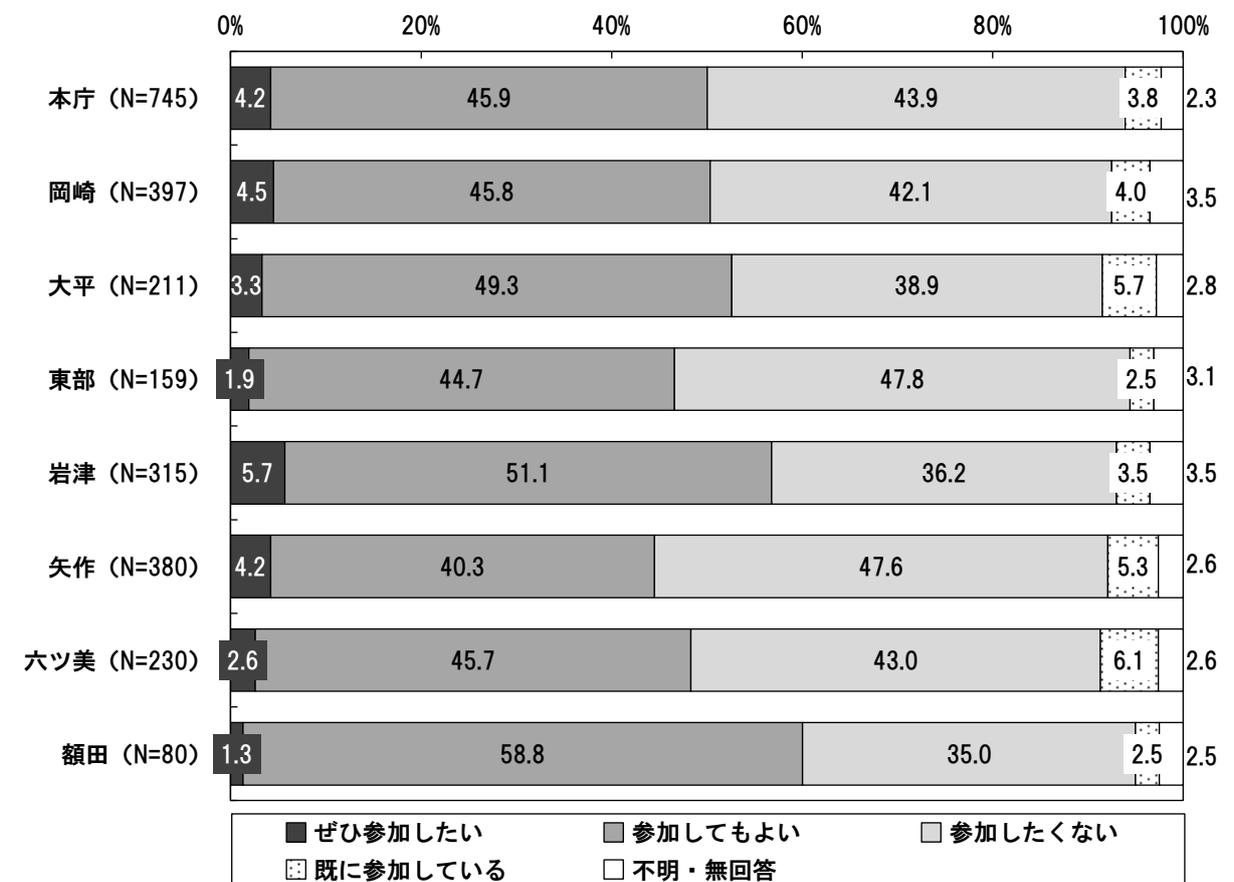
問 35. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

「ぜひ参加したい」が4.1%、「参加してもよい」の45.7%と合わせると、約半数はこれからの参加に前向きに回答しています。

圏域別に見ると、前向きな回答の合計は額田、岩津でやや多く、中でも岩津では「ぜひ参加したい」が多くなっています。また、「すでに参加している」は六ツ美、大平、矢作で5%を超えています。



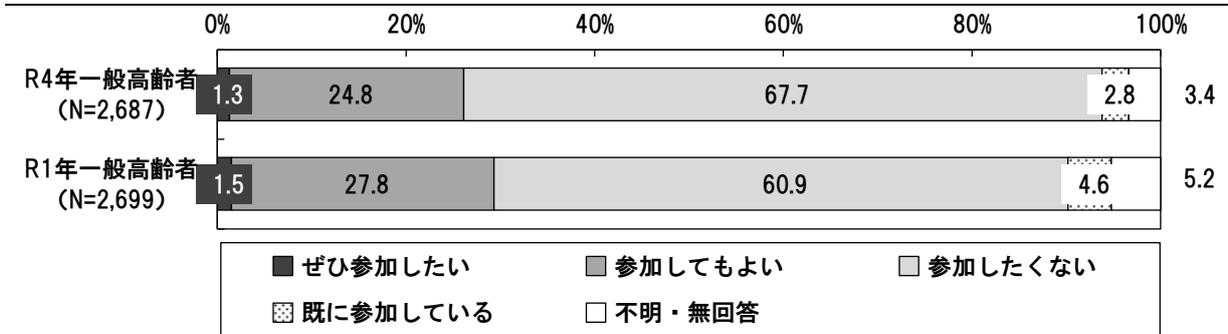
■ 圏域別に見た地域づくり活動への参加者としての参加意向



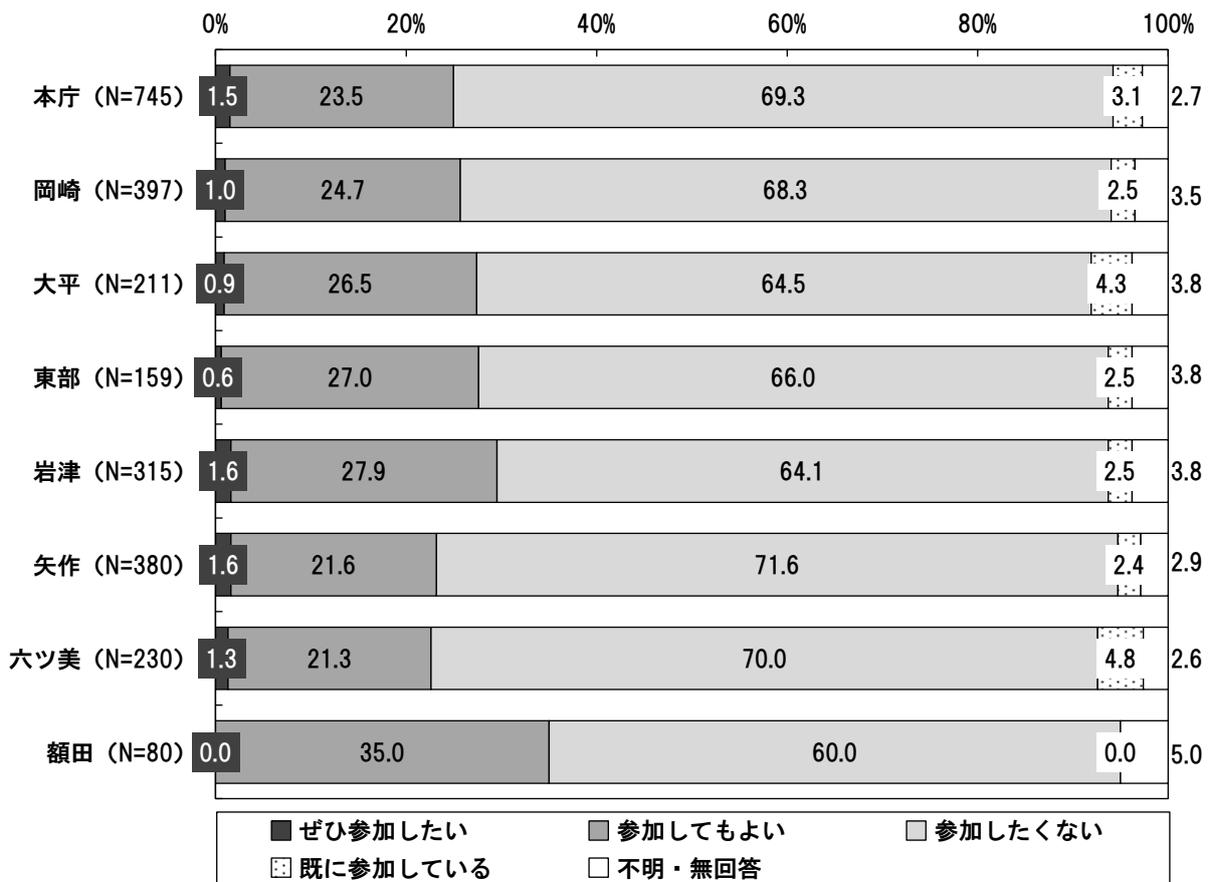
問 36. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。

「ぜひ参加したい」が1.3%、「参加してもよい」の24.8%と合わせると、26.1%が企画・運営(お世話役)としての参加に前向きに回答しています。

圏域別に見ると、前向きな回答の合計は額田で多くなっています。



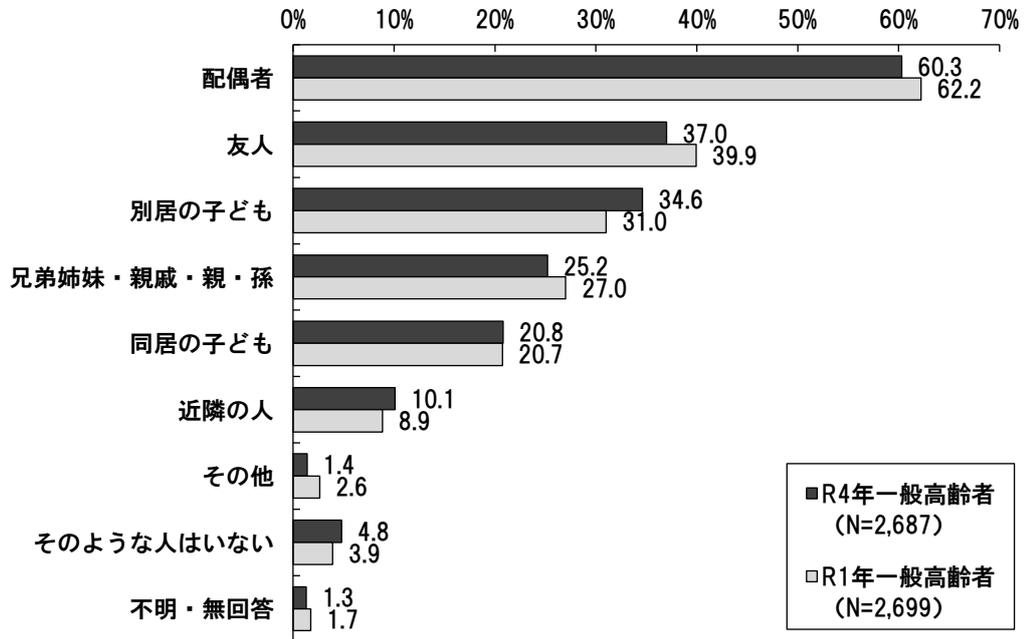
■ 圏域別に見た地域づくり活動への企画・運営としての参加意向



5. たすけあいについて

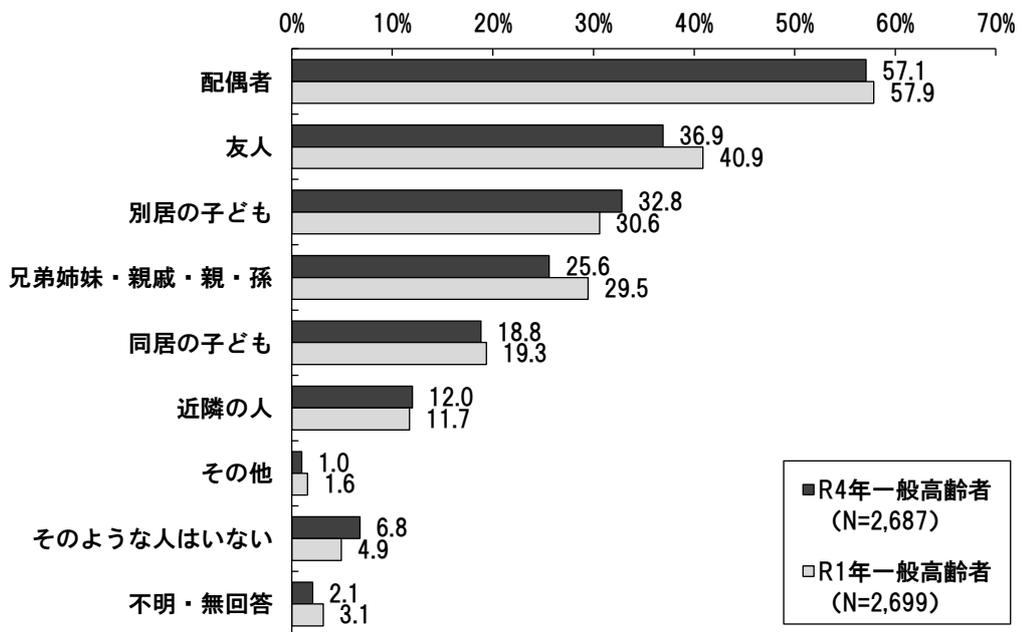
問 37. あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人は誰ですか。【複数回答】

「配偶者」が60.3%で最も多く、次いで「友人」が37.0%となっています。



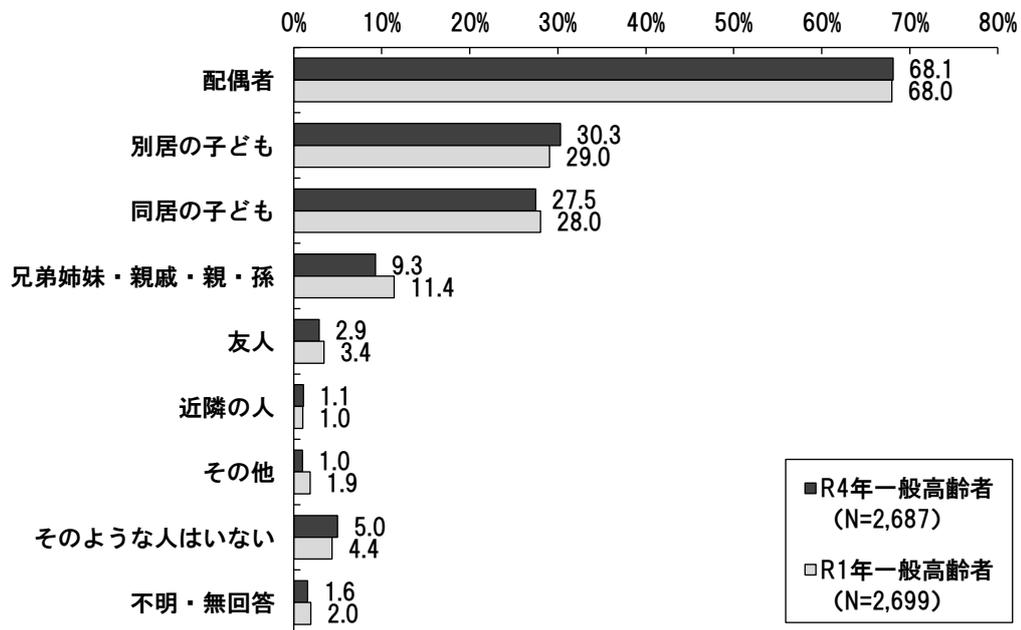
問 38. 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人は誰ですか。【複数回答】

「配偶者」が57.1%で最も多く、次いで「友人」が36.9%となっています。



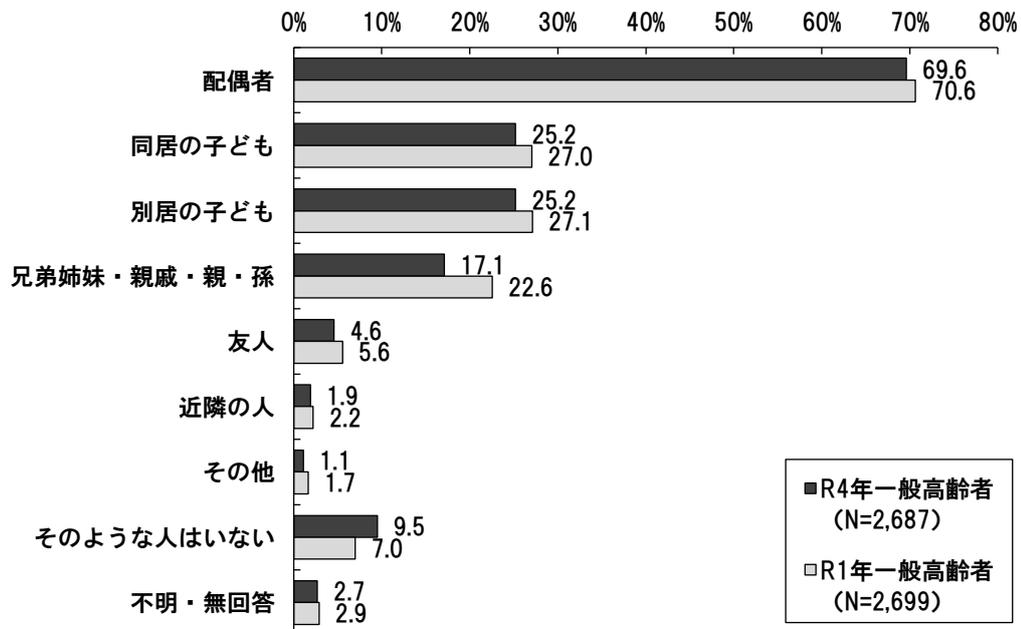
問 39. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。【複数回答】

「配偶者」が68.1%で最も多く、次いで「別居の子ども」が30.3%となっています。



問 40. 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人は誰ですか。【複数回答】

「配偶者」が69.6%で最も多く、次いで「同居の子ども」「別居の子ども」がいずれも25.2%となっています。

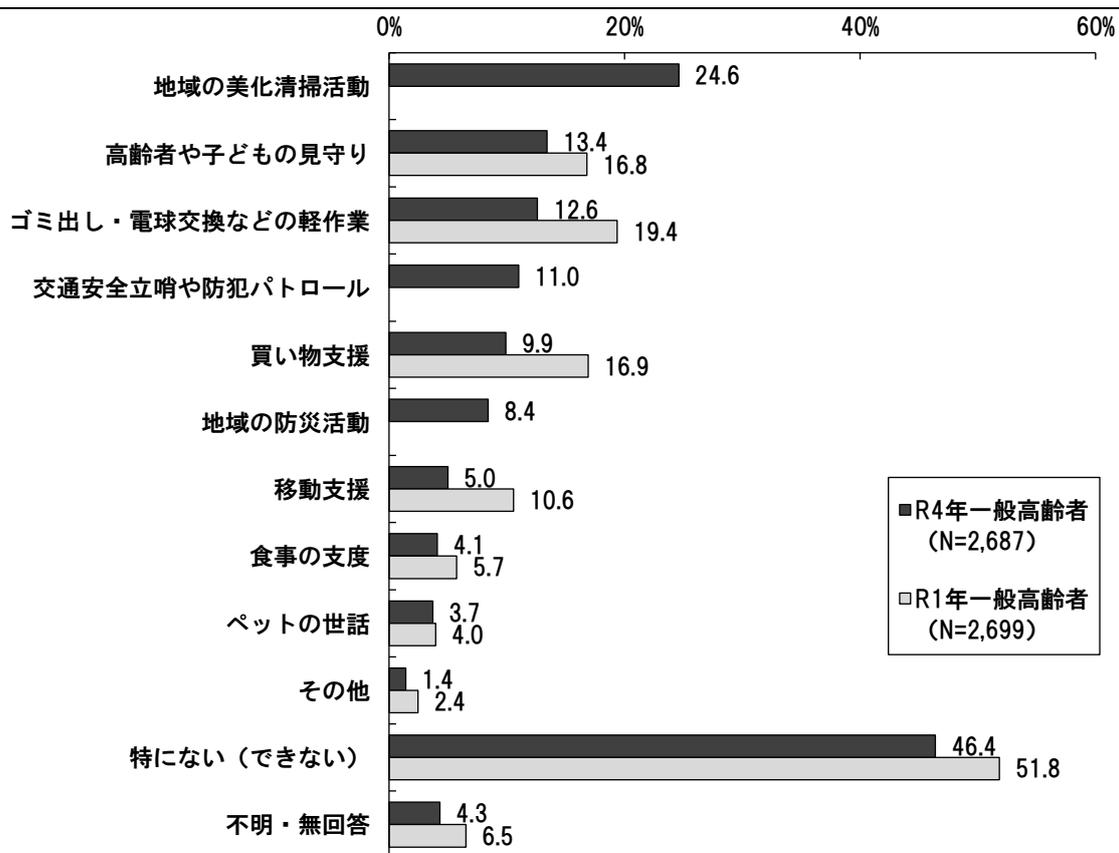


問 41. 地域住民の力を生かしたたすけあい活動で、あなたがやってみたいと思うことはどれですか。【複数回答】

「地域の美化清掃活動」が 24.6%で最も多く、次いで「高齢者や子どもの見守り」が 13.4%、「ゴミ出し・電球交換などの軽作業」が 12.6%となっています。

前回調査と比べると、減少している項目が多くなっています。「特にない（できない）」も減少していますが、これは前回調査に無かった選択肢が加わった影響があると考えられます。

圏域別に見ると、額田では「地域の美化清掃活動」「高齢者や子どもの見守り」「ゴミ出し・電球交換などの軽作業」等、他の地域よりやや多く回答されている項目が多くなっています。「特にない（できない）」は矢作で最も多く、東部で最も少なくなっていますが、大きな差はありません。



※R1年の質問は「地域住民の力を生かした高齢者支援で、あなたがやってみたいと思うことはどれですか」であり、「高齢者や子どもの見守り」は「高齢者の見守り」。「地域の美化清掃活動」「交通安全立哨や防犯パトロール」「地域の防災活動」はR4年のみ。

■ 圏域別に見た地域のたすけあい活動でやってみたいこと

単位 (%)

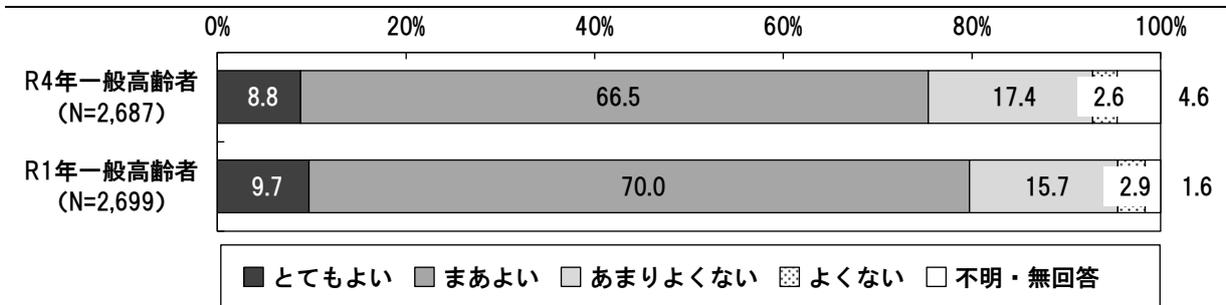
	ゴミ出し・電球交換などの軽作業	高齢者や子どもの見守り	買い物支援	移動支援	食事の支度	ペットの世話	交通安全立哨や防犯パトロール	地域の防災活動	地域の美化清掃活動
本庁 (N=745)	12.8	11.3	10.2	4.6	3.8	4.4	8.3	7.9	23.0
岡崎 (N=397)	15.6	15.9	9.1	5.0	3.8	4.3	11.3	7.8	23.9
大平 (N=211)	9.0	13.3	11.8	6.2	3.3	3.3	9.0	8.1	25.6
東部 (N=159)	13.8	13.8	7.5	2.5	5.0	2.5	10.1	10.1	27.0
岩津 (N=315)	13.7	14.3	8.9	5.1	3.2	2.2	13.0	11.7	27.3
矢作 (N=380)	9.2	12.4	12.6	5.5	5.3	3.2	12.6	6.3	23.7
六ツ美 (N=230)	11.7	16.1	8.7	4.3	6.5	3.9	16.5	10.0	25.2
額田 (N=80)	16.3	20.0	10.0	7.5	1.3	3.8	13.8	11.3	33.8

	その他	特にない (できない)	不明・無回答
本庁 (N=745)	1.3	48.3	3.1
岡崎 (N=397)	2.3	45.8	5.0
大平 (N=211)	1.4	45.0	4.3
東部 (N=159)	3.1	41.5	6.9
岩津 (N=315)	1.3	47.3	2.9
矢作 (N=380)	0.3	48.4	4.7
六ツ美 (N=230)	1.7	43.9	3.9
額田 (N=80)	0.0	42.5	0.0

6. 健康について

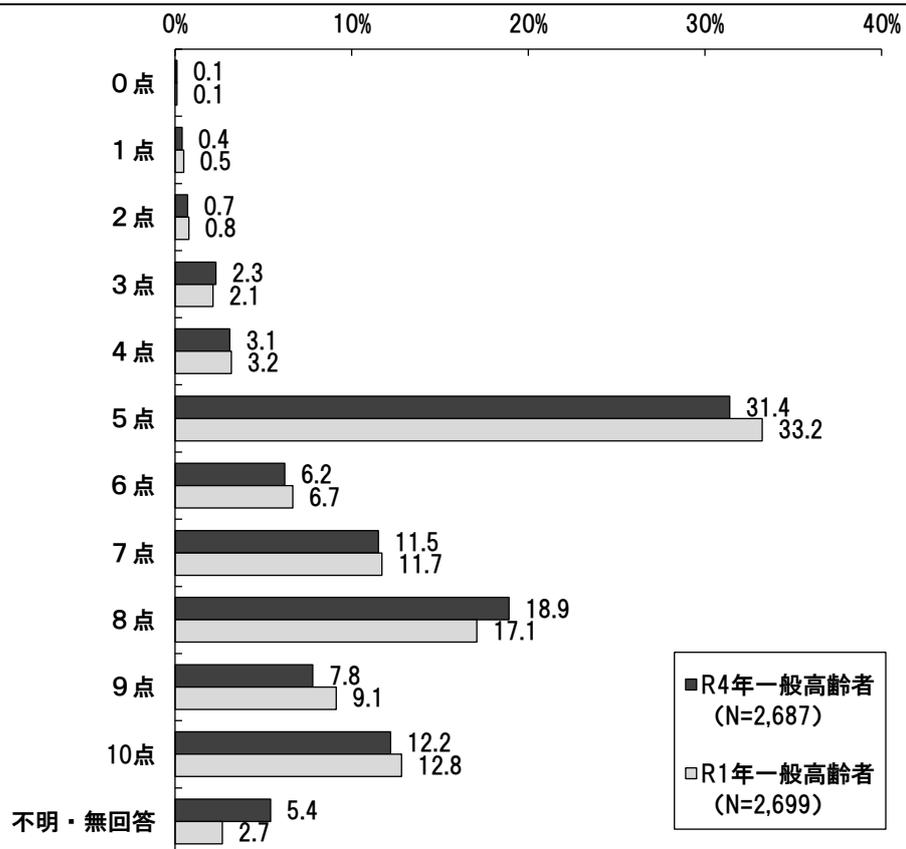
問 42. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

「まあよい」が66.5%で最も多く、「とてもよい」と合わせると75.3%が健康状態がよいと回答しています。



問 43. あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として回答してください）。

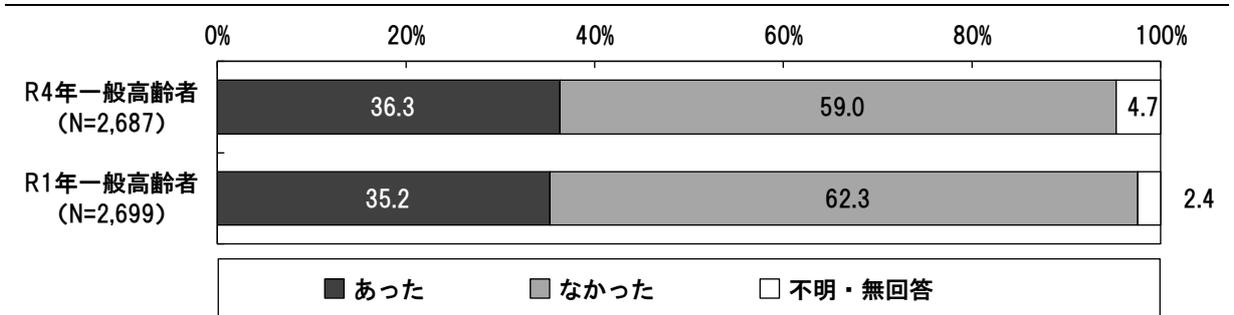
「5点」が31.4%で最も多く、次いで「8点」が18.9%となっています。



問 44. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

「あった」は36.3%となっています。

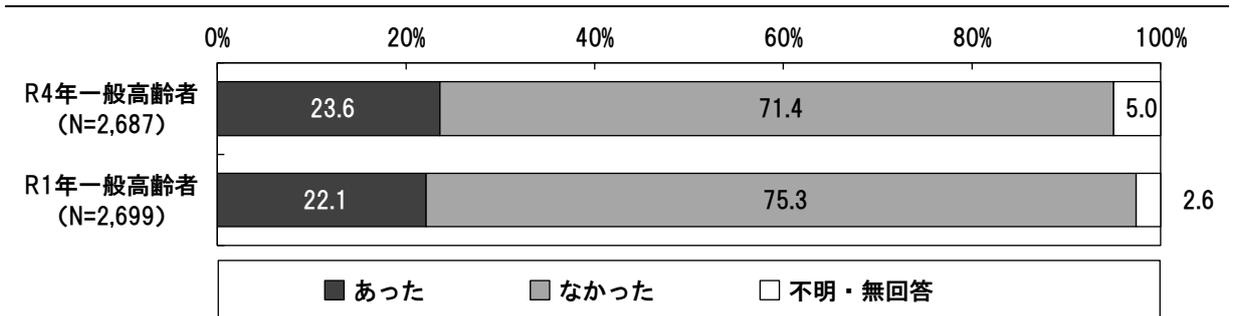
前回調査と比べて、「あった」がわずかに増加しています。



問 45. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

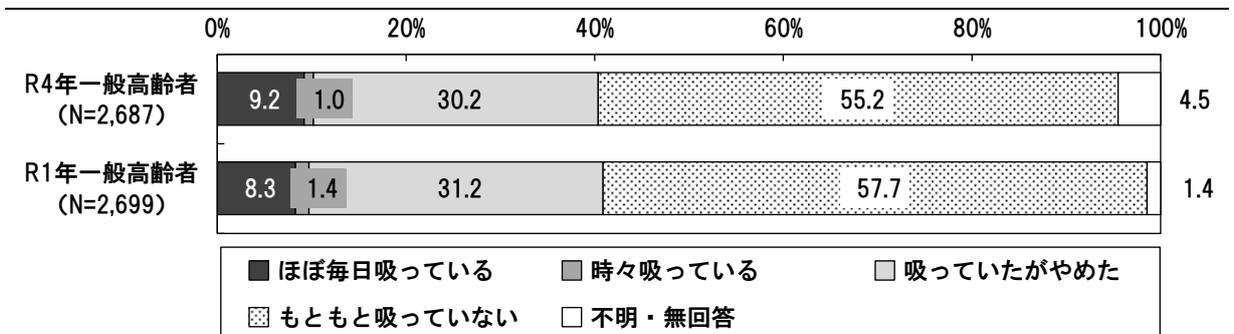
「あった」は23.6%となっています。

前回調査と比べて、「あった」がわずかに増加しています。



問 46. タバコは吸っていますか。

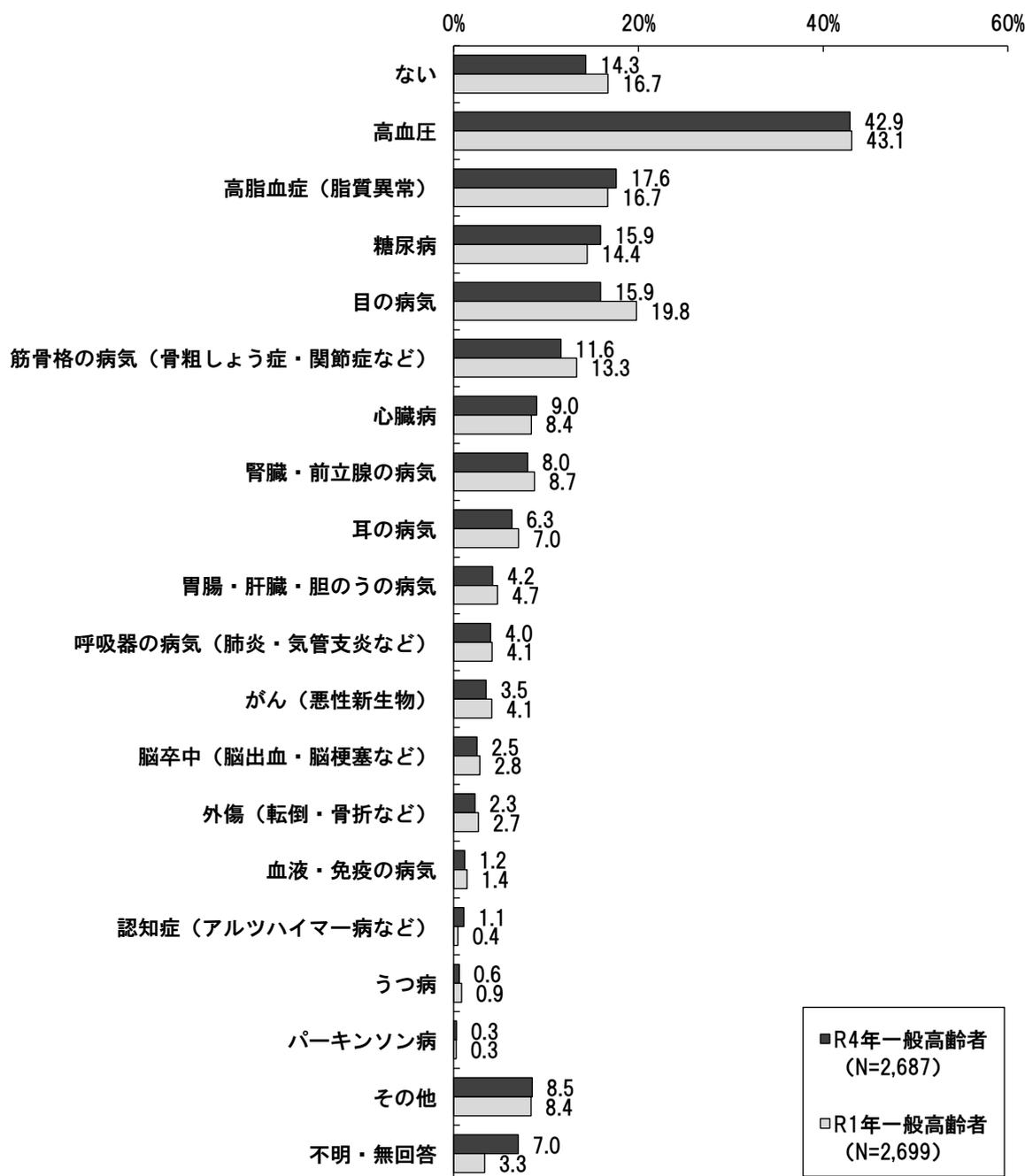
「ほぼ毎日吸っている」が9.2%、「ときどき吸っている」と合わせると、10.2%が喫煙しています。



問 47. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。【複数回答】

「高血圧」が 42.9%で最も多く、次いで「高脂血症（脂質異常）」が 17.6%となっています。前回調査と比べると、「ない」がわずかに減少しています。

年齢別に見ると、高齢になるほど「ない」が減少し、「高血圧」をはじめとする病気の回答が多くなる傾向ですが、「高脂血症（脂質異常）」については、80 歳以上で少なくなっています。



■年齢別に見た現在治療中、または後遺症のある病気

単位 (%)

	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞など）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎・気管支炎など）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気
65～69歳 (N=621)	22.7	33.3	1.6	6.3	15.1	17.6	1.4	2.9	5.6
70～74歳 (N=766)	14.4	43.5	2.7	8.0	15.1	19.5	4.6	5.7	6.7
75～79歳 (N=585)	9.9	47.9	2.6	10.4	16.9	20.5	5.5	3.8	7.9
80～84歳 (N=365)	9.9	50.4	3.3	10.1	16.4	13.7	4.4	3.8	8.2
85歳以上 (N=186)	9.7	52.7	3.2	12.4	18.3	14.5	4.3	7.0	19.9

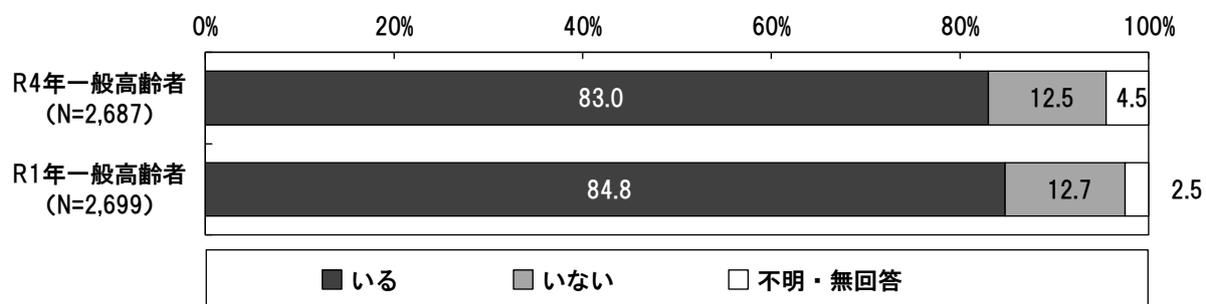
	筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症など）	外傷（転倒・骨折など）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病など）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気
65～69歳 (N=621)	7.6	1.9	3.7	1.3	0.8	0.6	0.3	12.2	3.5
70～74歳 (N=766)	12.4	2.2	4.6	1.6	0.7	0.3	0.4	17.0	6.8
75～79歳 (N=585)	11.1	2.4	3.2	1.4	0.5	0.9	0.3	16.1	6.3
80～84歳 (N=365)	17.0	3.6	2.5	0.8	0.5	2.2	0.3	19.5	8.2
85歳以上 (N=186)	15.1	2.7	2.2	0.5	0.5	4.8	0.0	22.0	11.3

	その他	不明・無回答
65～69歳 (N=621)	9.5	6.6
70～74歳 (N=766)	8.9	5.7
75～79歳 (N=585)	9.9	5.5
80～84歳 (N=365)	5.8	6.8
85歳以上 (N=186)	7.0	8.1

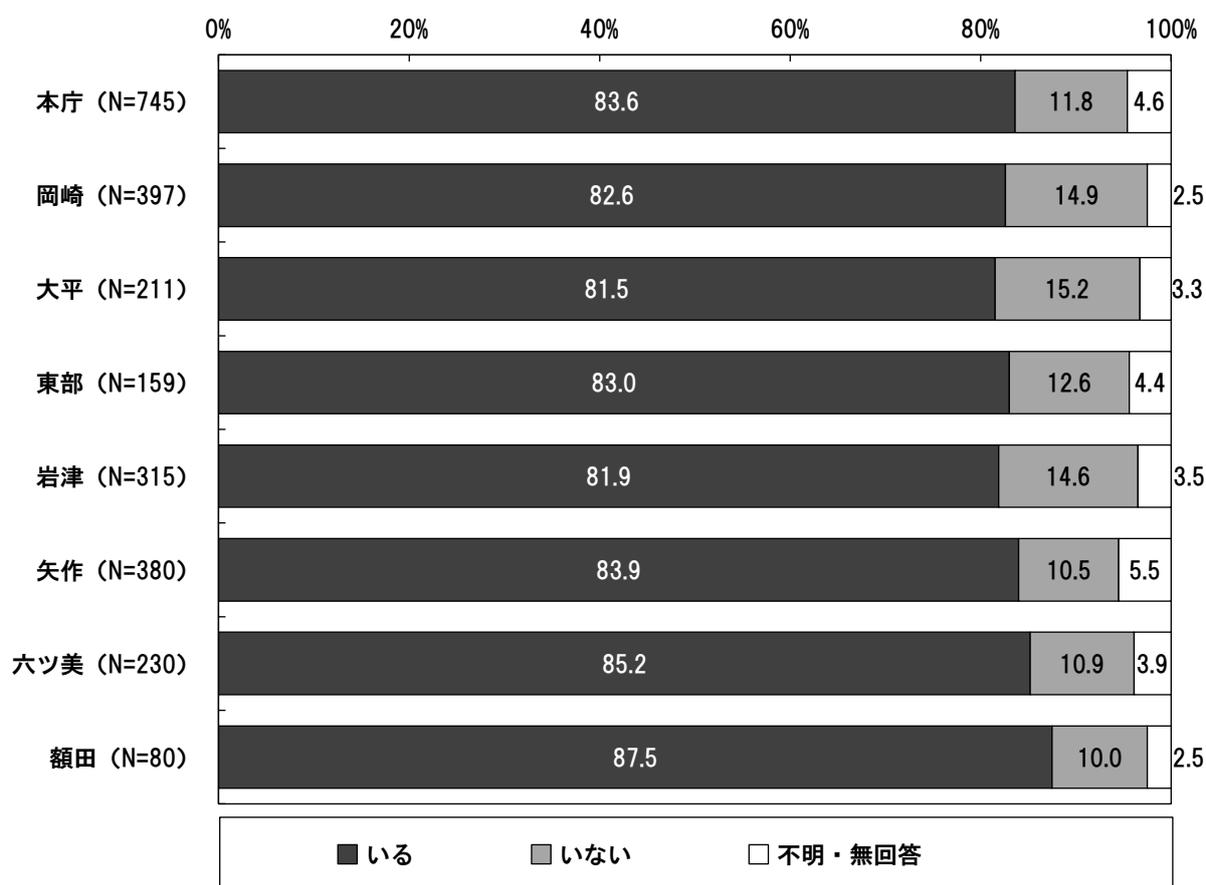
問 48. かかりつけの医師がいますか。

「いる」が83.0%となっています。

圏域別に見ると、「いる」は額田で最も多く、大平で最も少なくなっていますが、大きな差はありません。



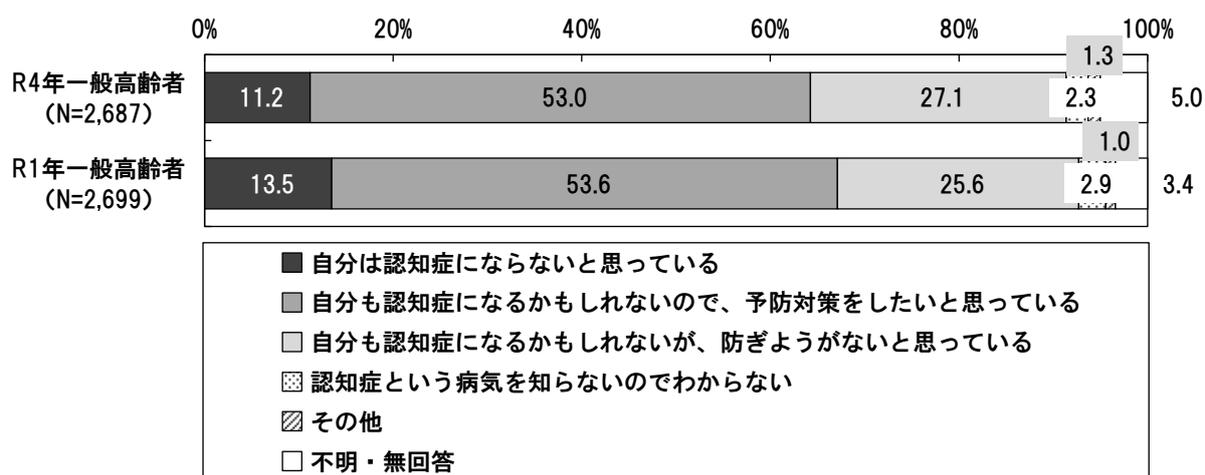
■ 圏域別に見たかかりつけの医師の有無



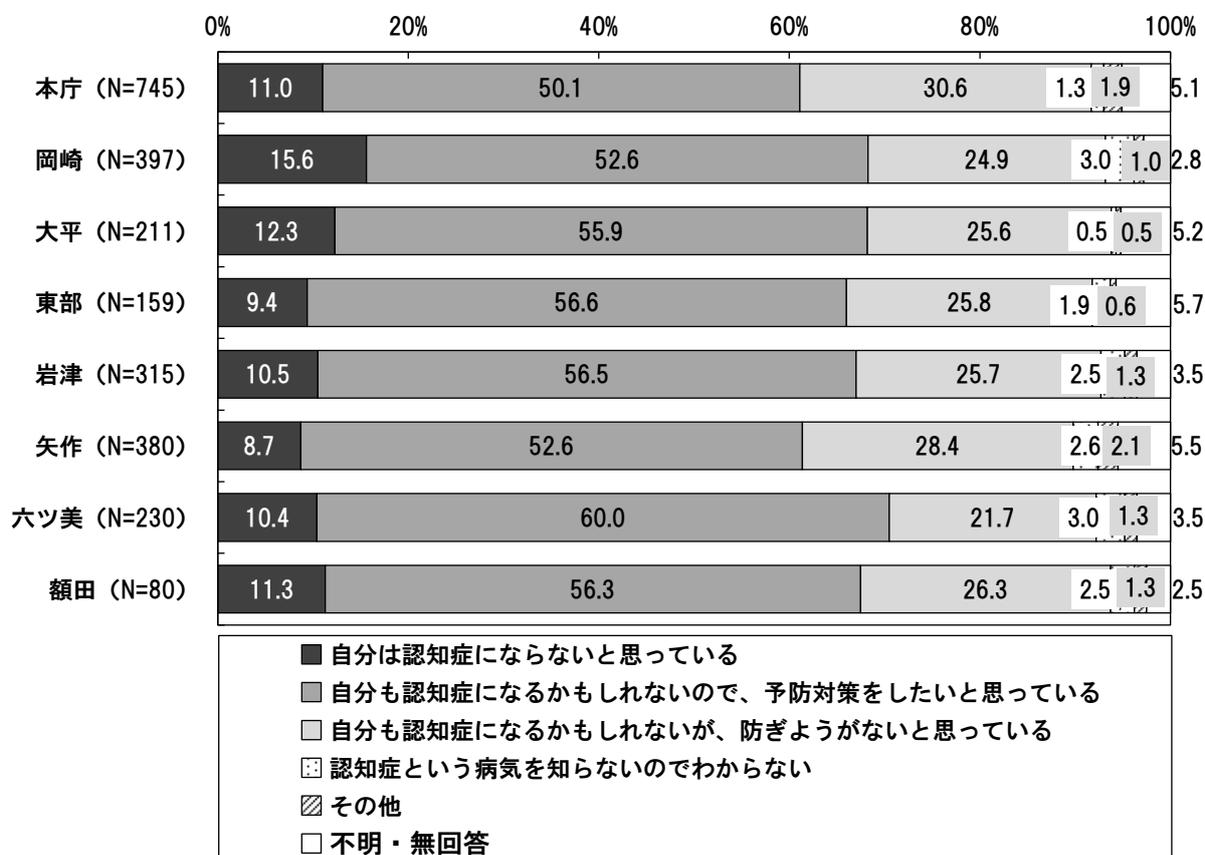
問 49. 認知症についてどうお考えですか。

「自分も認知症になるかもしれないので、予防対策をしたいと思っている」が53.0%で最も多く、次いで「自分も認知症になるかもしれないが、防ぎようがないと思っている」が27.1%となっています。

圏域別に見ると、「自分は認知症にならないと思っている」は岡崎、「自分も認知症になるかもしれないので、予防対策をしたいと思っている」は六ツ美、「自分も認知症になるかもしれないが、防ぎようがないと思っている」は本庁で最も多くなっています。



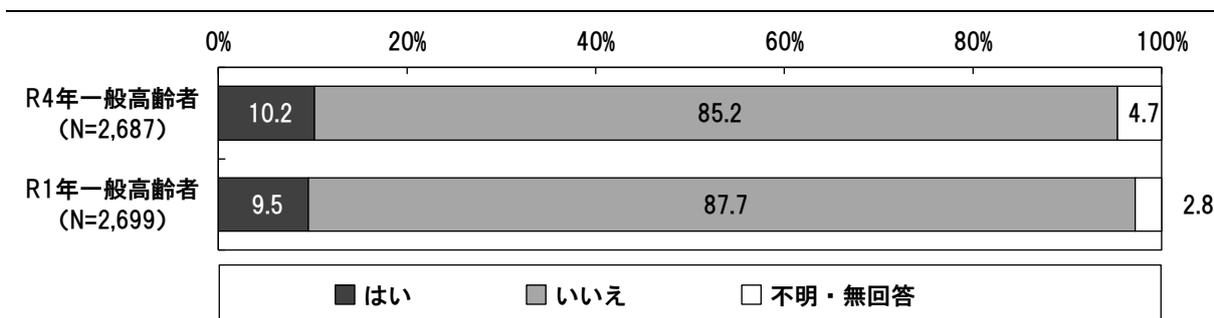
■ 圏域別に見た認知症についての考え



問 50. 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

「はい」が10.2%となっています。

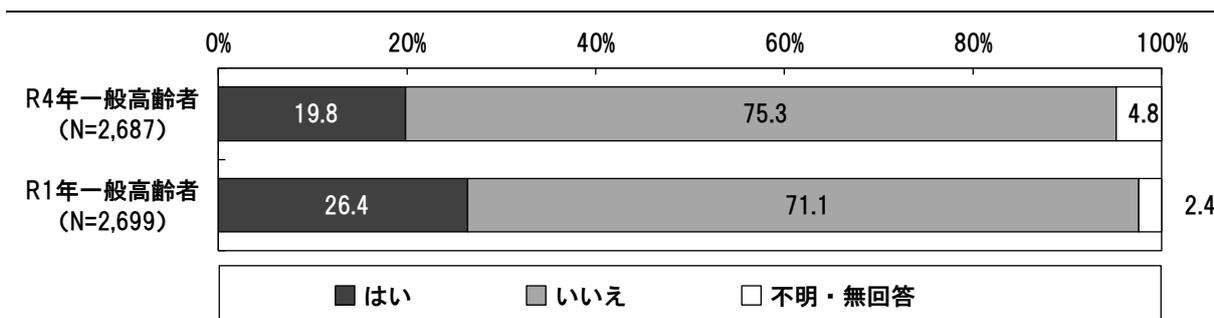
前回調査と比べると、「はい」がわずかに増加しています。



問 51. 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

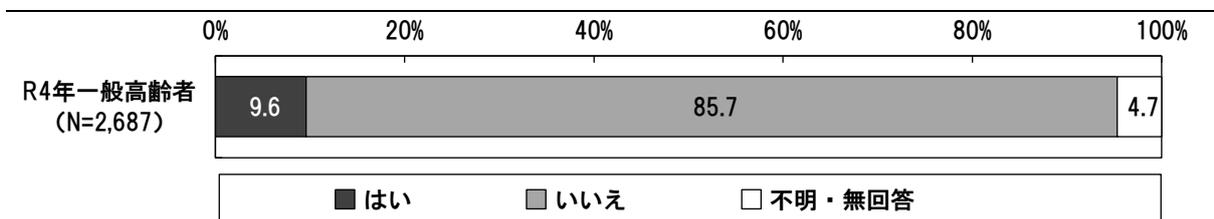
「はい」が19.8%となっています。

前回調査と比べると、「はい」が減少しています。



問 52. 福祉の総合相談窓口「ふくサポ」を知っていますか。

「はい」は9.6%となっています。「ふくサポ」の高齢者への周知があまり進んでいない状況にあることがうかがえます。

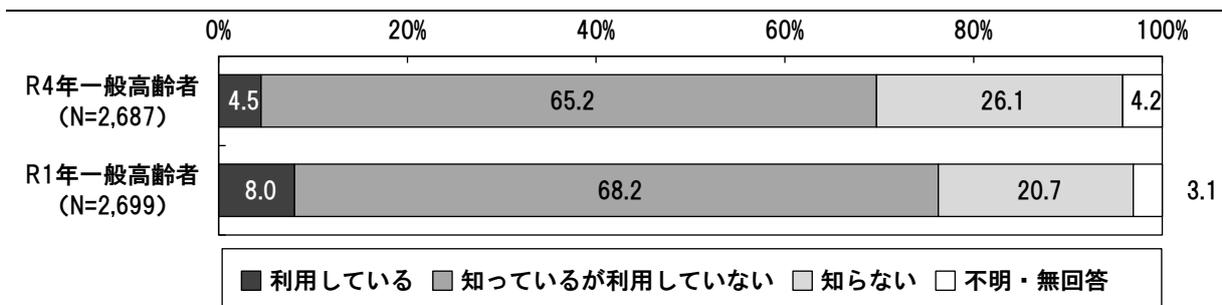


7. 施設や通いの場の利用について

問 53. 市内に老人福祉センター（地域福祉センター、高年者センター岡崎）があることを知っていますか。また、利用していますか。

「知っているが利用していない」が65.2%で最も多く、次いで「知らない」が26.1%となっています。

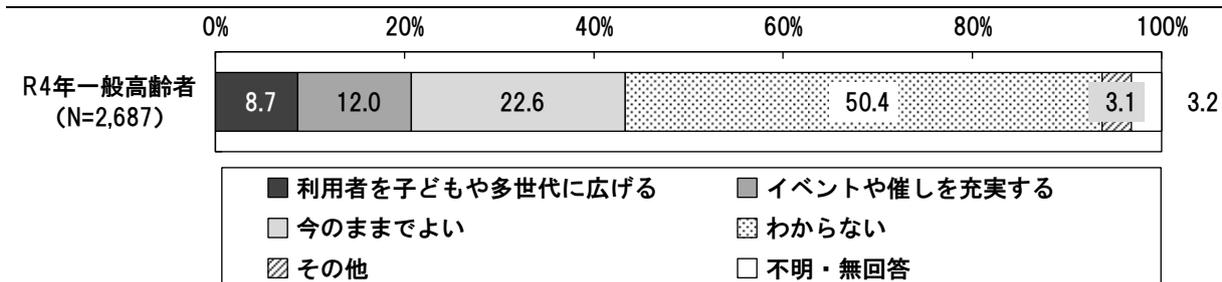
前回調査と比べると、「利用している」が減少し、「知らない」が増加しています。



【問 53 において「利用している」「知っているが利用していない」と回答した人のみ】

① 老人福祉センターについて、あなたの考えは次のどれに近いですか。

「わからない」が50.4%で最も多く、次いで「今のままでよい」が22.6%となっています。

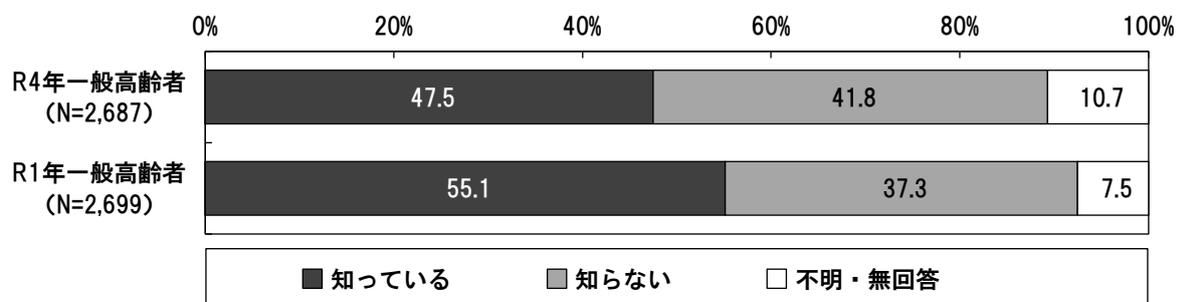


問 54. 高齢者の生活について相談ができる「地域包括支援センター」が市内にあるのを知っていますか。

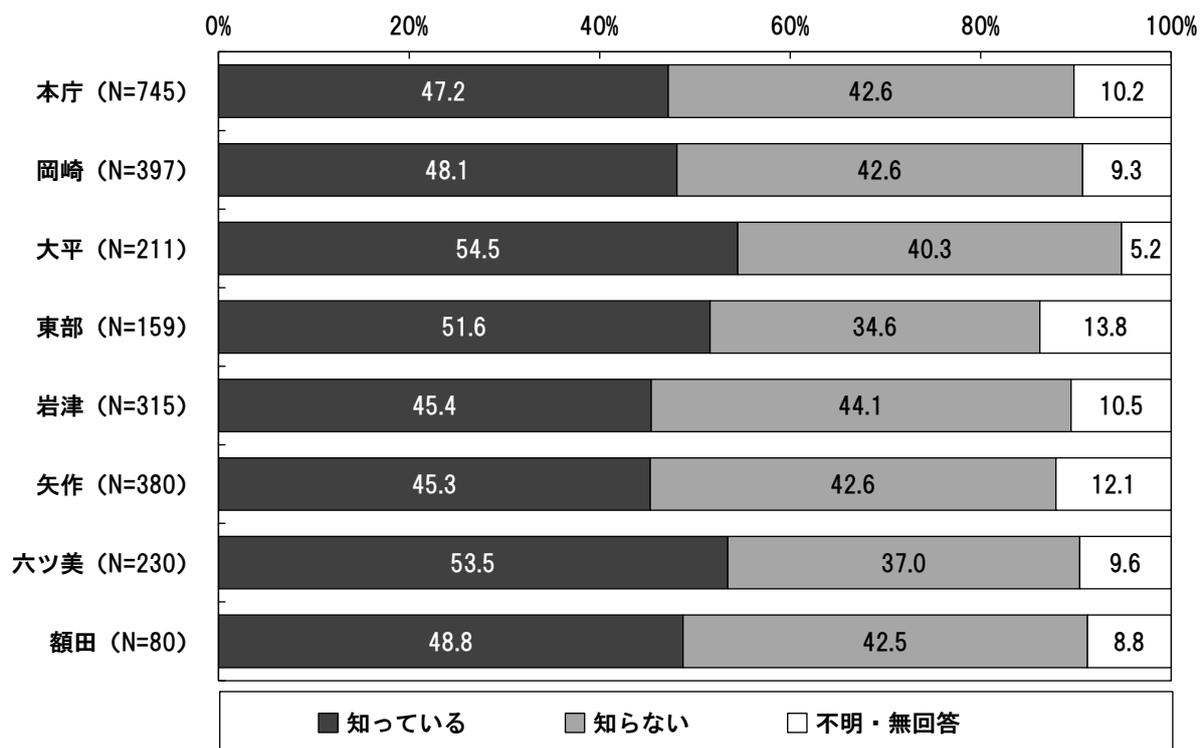
「知っている」が47.5%となっており、無回答を除くと半数以上が「知っている」と回答しています。

前回調査と比べると「知っている」が減少しています。

圏域別に見ると、大平、六ツ美、東部では「知っている」が50%を超えています。



■ 圏域別に見た「地域包括支援センター」の認知度

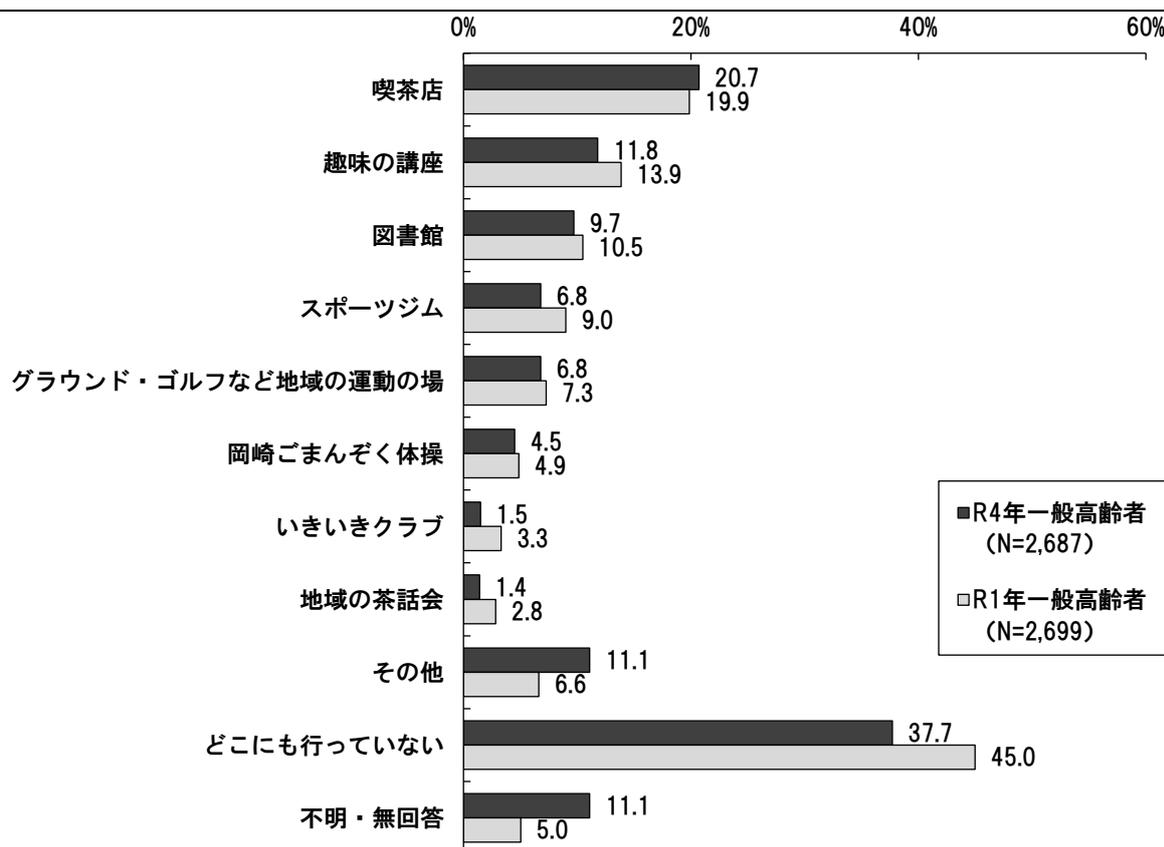


問 55. 自宅以外で居場所（通いの場）はありますか。

「どこにも行っていない」が37.7%で最も多くなっています。「どこにも行っていない」を除くと、「喫茶店」が20.7%で最も多く、次いで「趣味の講座」が11.8%となっています。

前回調査と大きな差はありませんが、「喫茶店」以外の場が減少し、「その他」が増加しています。「どこにも行っていない」は減少しています。

圏域別に見ると、「どこにも行っていない」は額田で最も多くなっています。「グラウンド・ゴルフなど地域の運動の場」は大平、「喫茶店」は六ツ美で最も多くなっています。



※R1年の質問は「趣味の講座、ジムや地域での運動の場などの「通いの場」に行っていますか」で、選択肢はR4年と同じ。

R4年その他回答

項目	件数	項目	件数
職場・仕事・会社	50	体操	13
畑・菜園・農園	40	カラオケ	12
親族・友人の家	32	散歩・ウォーキング	10
ゴルフ	18	釣り・フィッシング	10
パチンコ・競艇	14		

■ 圏域別に見た自宅以外の居場所（通いの場）

単位（％）

	趣味の講座	スポーツジ ム	グラウン ド・ゴルフ など地域の 運動の場	地域の茶話 会	岡崎ごまん ぞく体操	いきいきク ラブ	図書館	喫茶店	その他
本庁（N=745）	11.4	6.8	5.8	0.7	4.0	1.6	11.7	18.8	12.6
岡崎（N=397）	12.1	8.8	7.1	2.8	4.8	1.0	10.6	22.9	11.1
大平（N=211）	13.3	9.5	13.3	0.5	5.2	0.9	10.4	22.3	9.5
東部（N=159）	12.6	7.5	8.8	1.9	7.5	0.6	8.8	19.5	8.2
岩津（N=315）	10.8	6.0	5.1	1.9	3.8	1.9	9.2	17.8	11.4
矢作（N=380）	12.9	4.5	6.1	1.3	3.4	2.4	7.6	20.0	13.2
六ツ美（N=230）	13.0	7.4	6.1	2.2	6.5	1.3	7.4	26.5	9.6
額田（N=80）	11.3	5.0	7.5	0.0	3.8	2.5	10.0	18.8	7.5

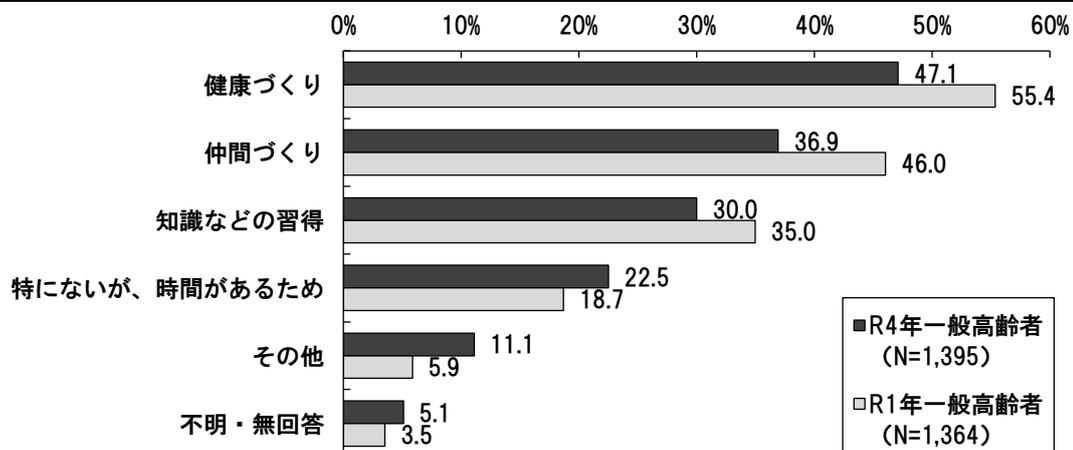
	どこにも 行っていない	不明・無回 答
本庁（N=745）	39.3	9.8
岡崎（N=397）	35.8	9.1
大平（N=211）	37.0	8.5
東部（N=159）	37.1	12.6
岩津（N=315）	35.9	14.0
矢作（N=380）	37.6	11.6
六ツ美（N=230）	37.8	10.9
額田（N=80）	46.3	10.0

【問 55 において「どこにも行っていない」以外を回答した（どこかに行っている）人のみ】

① 通いの場に行く理由は何ですか。

「健康づくり」が47.1%で最も多く、次いで「仲間づくり」が36.9%となっています。

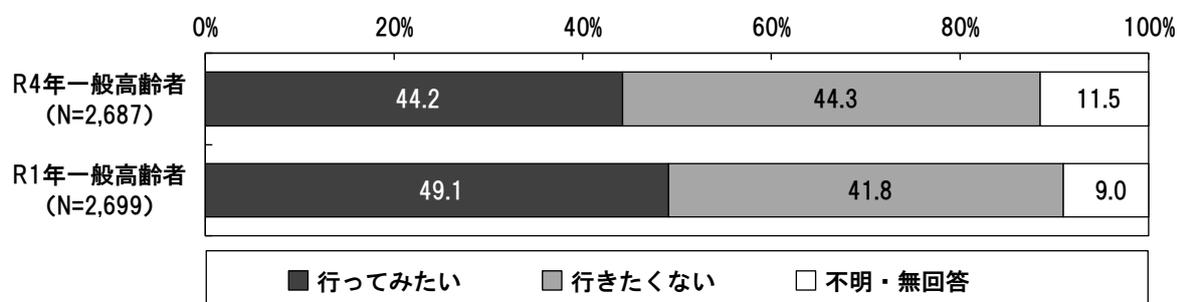
前回調査と比べると、「健康づくり」「仲間づくり」「知識などの習得」が減少し、「特にないが、時間があるため」「その他」が増加しています。



問 56. 近所に気軽に集まることができる「通いの場」があったら、行ってみたいと思いますか。

「行ってみたい」が44.2%、「行きたくない」が44.3%で、「行きたくない」がわずかに上回っています。

前回調査と比べると、「行ってみたい」が減少し、「行きたくない」が増加しています。

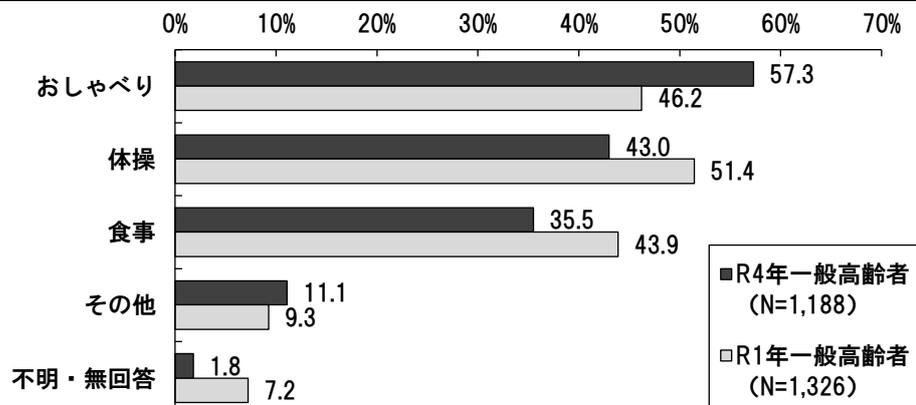


【問 56 において「行ってみたい」と回答した人のみ】

① どのような「通いの場」が欲しいと思いますか。

「おしゃべり」が57.3%で最も多く、次いで「体操」が43.0%となっています。

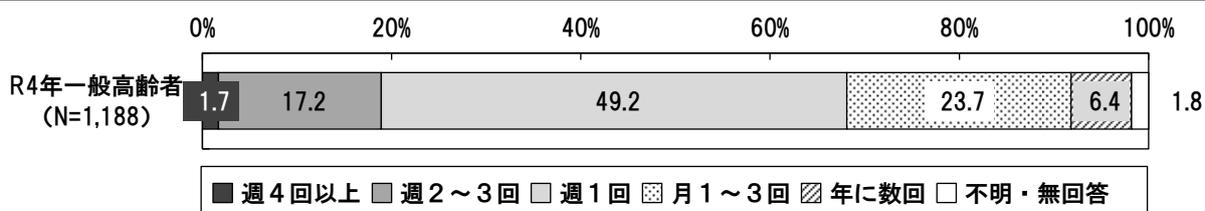
前回調査と比べると、「おしゃべり」が増加し、「体操」「食事」が減少しています。



【問 56 において「行ってみたい」と回答した人のみ】

② どれくらいの頻度で通いたいと思いますか。

「週1回」が49.2%で最も多く、次いで「月1～3回」が23.7%となっています。

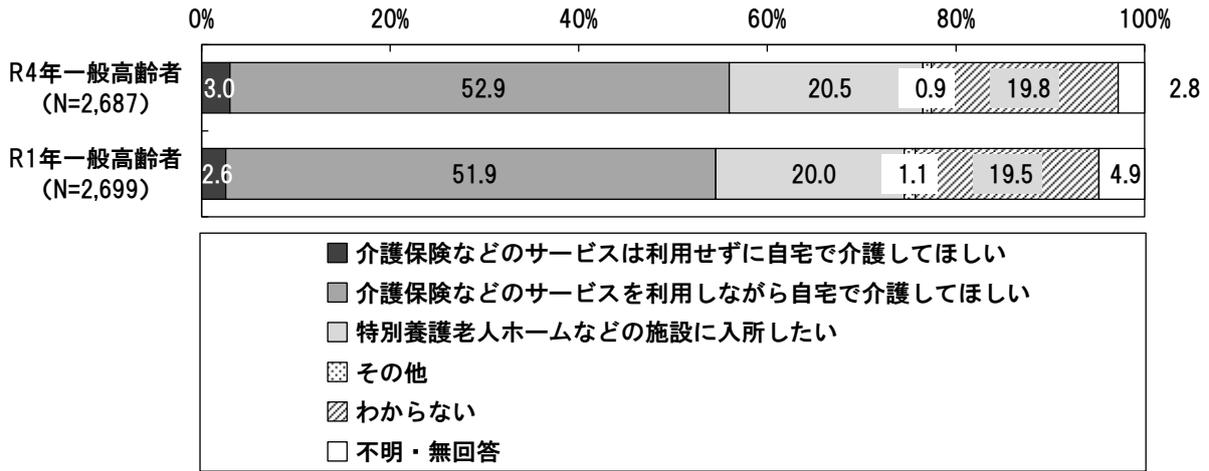


8. 介護サービス・介護保険料について

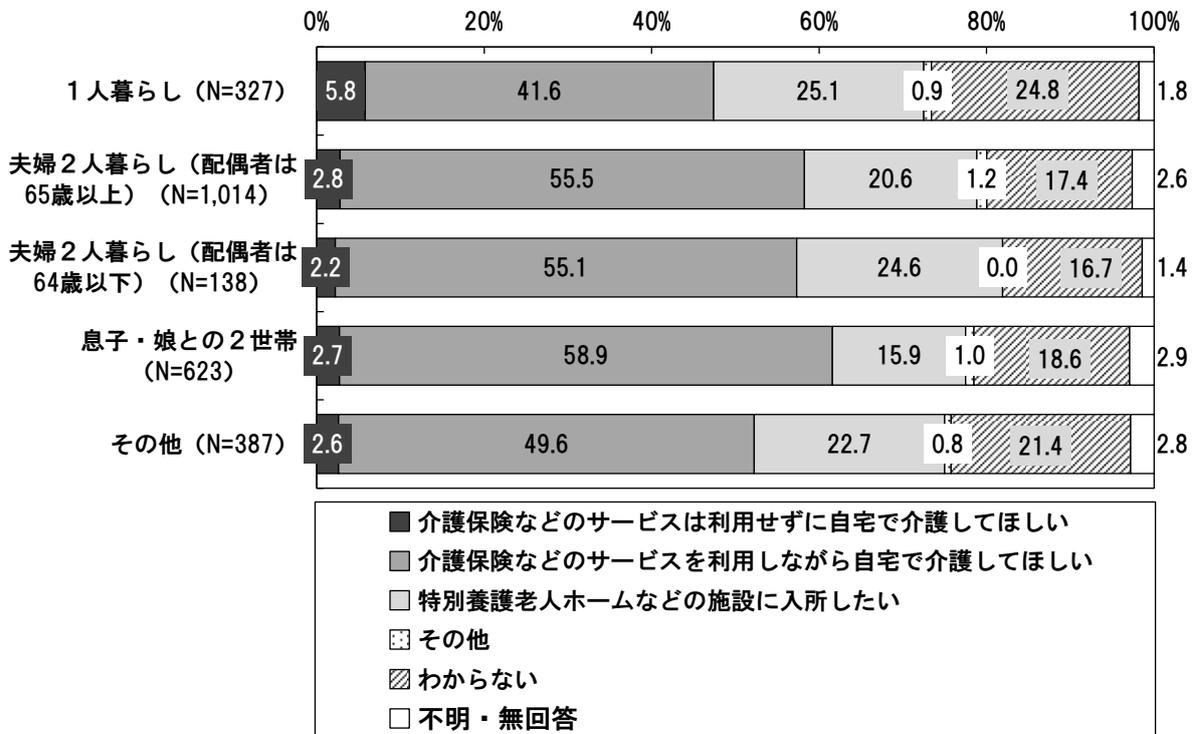
問 57. 介護が必要となった場合、主としてどのように介護を受けたいですか。

「介護保険などのサービスを利用しながら自宅で介護してほしい」が 52.9%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームなどの施設に入所したい」が 20.5%となっています。

世帯状況別に見ると、1人暮らしで「介護保険などのサービスは利用せずに自宅で介護してほしい」「特別養護老人ホームなどの施設に入所したい」「わからない」が多く、「介護保険などのサービスを利用しながら自宅で介護してほしい」が少なくなっています。



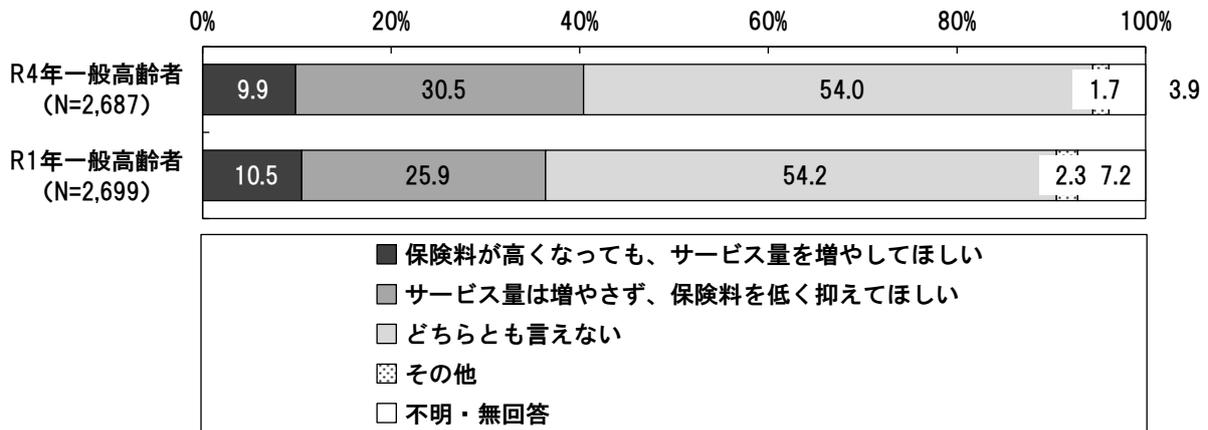
■世帯状況別に見たどのように介護を受けたいか



問 58. 介護保険料は、市全体の介護サービスの利用量に比例して決まります。あなたの考えは次のどれに近いですか。

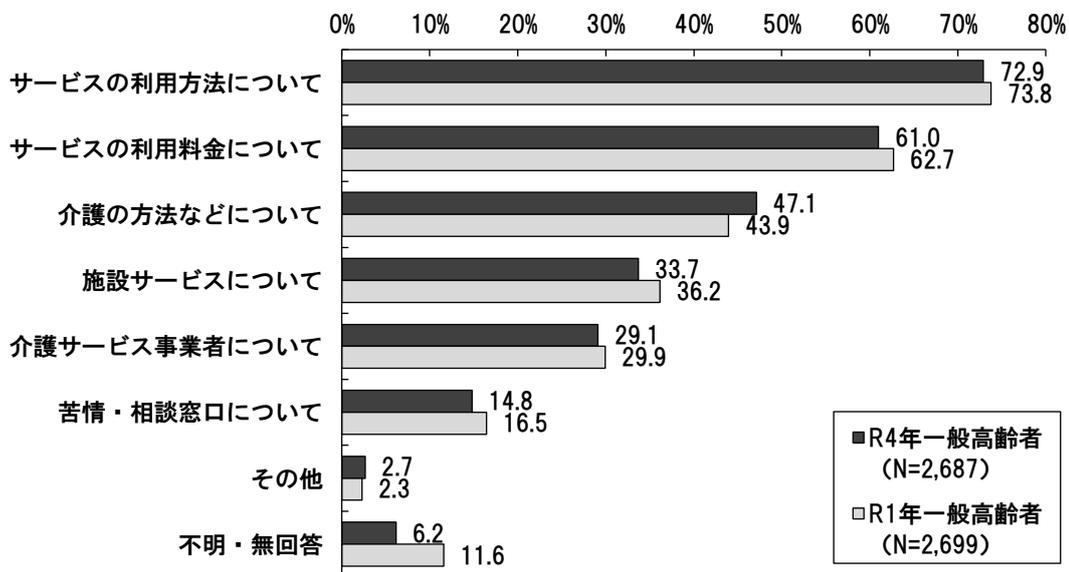
「どちらとも言えない」が54.0%で最も多く、次いで「サービス量は増やさず、保険料を低く抑えてほしい」が30.5%となっています。

前回調査と比べると、「サービス量は増やさず、保険料を低く抑えてほしい」が増加しています。



問 59. 介護保険に関する情報について、どのような情報が必要だと思えますか。

「サービスの利用方法について」が72.9%で最も多く、次いで「サービスの利用料金について」が61.0%となっています。



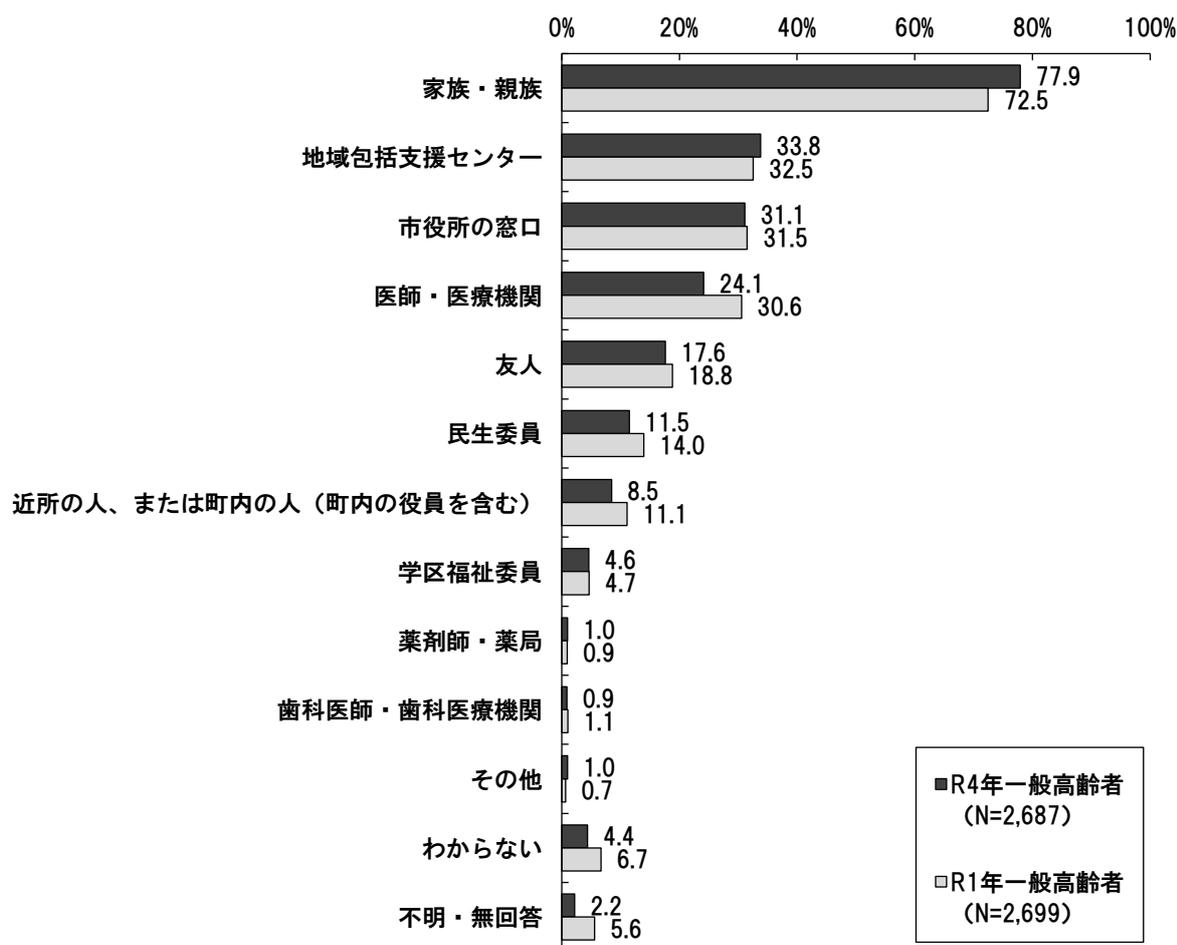
問 60. 介護のことで相談するとしたら、誰に（どこに）相談しますか。【複数回答】

「家族・親族」が77.9%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」が33.8%、「市役所の窓口」が31.1%となっています。

年齢別にみると、高齢になるほど「家族・親族」「民生委員」が増加し、「友人」「市役所の窓口」「地域包括支援センター」が減少しています。

世帯状況別に見ると、1人暮らしでは「家族・親族」「市役所の窓口」が少なく、「民生委員」「わからない」が多くなっています。

圏域別に見ると「市役所の窓口」は東部、六ツ美で少なく、「地域包括支援センター」は大平、六ツ美で40%を超えています。



※「市役所の窓口」は、R1年調査では「市の長寿課・介護保険課」

■年齢別に見た相談先

単位 (%)

	家族・親族	友人	近所の人、 または町内 の人（町内 の役員を含 む）	民生委員	学区福祉委 員	市役所の窓 口	地域包括支 援センター	医師・医療 機関	歯科医師・ 歯科医療機 関
65～69歳 (N=621)	74.9	22.5	7.7	7.4	3.2	34.6	39.8	23.5	0.5
70～74歳 (N=766)	78.2	18.5	7.8	9.4	3.5	33.3	35.9	23.6	0.8
75～79歳 (N=585)	79.5	16.8	8.2	11.3	4.6	34.2	30.9	25.1	0.7
80～84歳 (N=365)	79.7	13.7	9.6	18.9	7.9	24.1	32.3	24.1	1.6
85歳以上 (N=186)	84.4	9.1	11.3	21.5	6.5	20.4	27.4	28.5	1.1

	薬剤師・薬 局	その他	わからない	不明・無回 答
65～69歳 (N=621)	0.8	1.9	4.7	1.0
70～74歳 (N=766)	0.3	0.8	5.2	1.3
75～79歳 (N=585)	1.4	0.0	4.6	2.6
80～84歳 (N=365)	1.4	1.1	2.2	3.0
85歳以上 (N=186)	3.8	1.1	1.6	2.7

■世帯状況別に見た相談先

単位 (%)

	家族・親族	友人	近所の人、 または町内 の人（町内 の役員を含 む）	民生委員	学区福祉委 員	市役所の窓 口	地域包括支 援センター
1人暮らし (N=327)	63.3	21.7	10.4	19.3	3.4	21.7	31.2
夫婦2人暮らし（配偶者は65歳以上） (N=1,014)	81.4	17.9	9.2	11.4	4.8	34.2	37.2
夫婦2人暮らし（配偶者は64歳以下） (N=138)	79.0	11.6	10.1	8.7	4.3	38.4	25.4
息子・娘との2世帯 (N=623)	81.9	17.5	5.5	10.8	5.3	30.5	33.7
その他 (N=387)	79.8	16.5	8.3	6.5	3.1	32.0	35.1

	医師・医療 機関	歯科医師・ 歯科医療機 関	薬剤師・薬 局	その他	わからない	不明・無回 答
1人暮らし (N=327)	19.6	1.5	2.4	1.2	10.1	1.8
夫婦2人暮らし（配偶者は65歳以上） (N=1,014)	23.9	0.6	0.8	0.3	3.6	1.8
夫婦2人暮らし（配偶者は64歳以下） (N=138)	23.9	0.7	0.7	0.7	3.6	1.4
息子・娘との2世帯 (N=623)	27.1	1.1	1.0	0.6	3.0	1.9
その他 (N=387)	25.1	0.3	0.5	2.3	3.6	2.1

■ 圏域別に見た相談先

単位 (%)

	家族・親族	友人	近所の人、 または町内 の人（町内 の役員を含 む）	民生委員	学区福祉委 員	市役所の窓 口	地域包括支 援センター	医師・医療 機関	歯科医師・ 歯科医療機 関
本庁 (N=745)	79.1	19.7	9.5	12.6	4.3	33.7	31.8	24.4	0.7
岡崎 (N=397)	77.3	17.9	6.8	11.3	4.0	30.5	30.5	24.4	0.5
大平 (N=211)	77.7	16.1	8.1	12.3	5.2	32.2	42.7	24.2	0.9
東部 (N=159)	79.9	15.7	7.5	9.4	3.1	23.9	35.8	17.6	1.3
岩津 (N=315)	77.8	17.1	7.6	12.4	3.5	32.1	36.2	26.7	1.3
矢作 (N=380)	78.4	16.3	9.7	11.1	3.2	32.4	36.1	21.3	0.3
六ツ美 (N=230)	80.4	18.7	7.0	8.7	7.0	23.9	40.4	30.0	1.7
額田 (N=80)	83.8	15.0	15.0	13.8	10.0	32.5	32.5	25.0	2.5

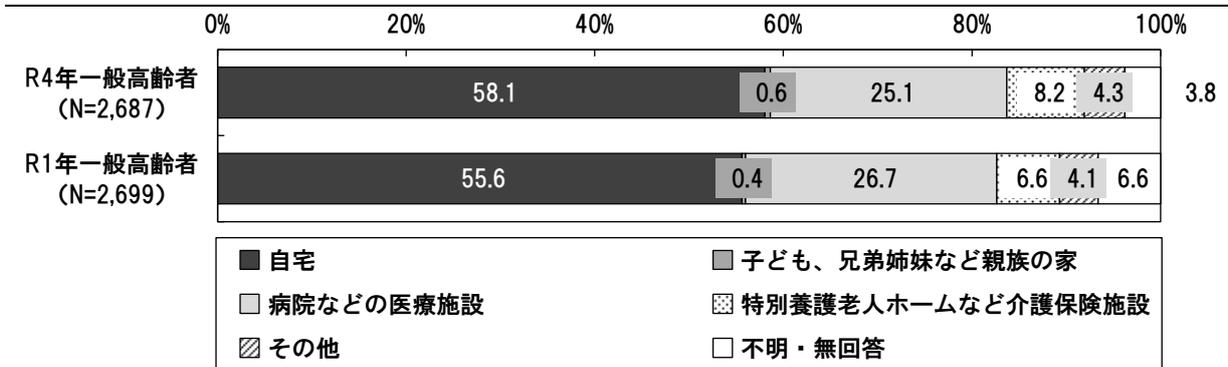
	薬剤師・薬 局	その他	わからない	不明・無回 答
本庁 (N=745)	1.7	2.0	4.4	1.6
岡崎 (N=397)	1.0	0.3	3.8	2.5
大平 (N=211)	0.9	1.4	4.3	1.9
東部 (N=159)	0.0	0.6	6.3	2.5
岩津 (N=315)	0.6	0.3	6.3	0.6
矢作 (N=380)	0.5	0.5	3.7	1.3
六ツ美 (N=230)	1.7	0.4	1.7	2.6
額田 (N=80)	0.0	1.3	0.0	3.8

9. その他

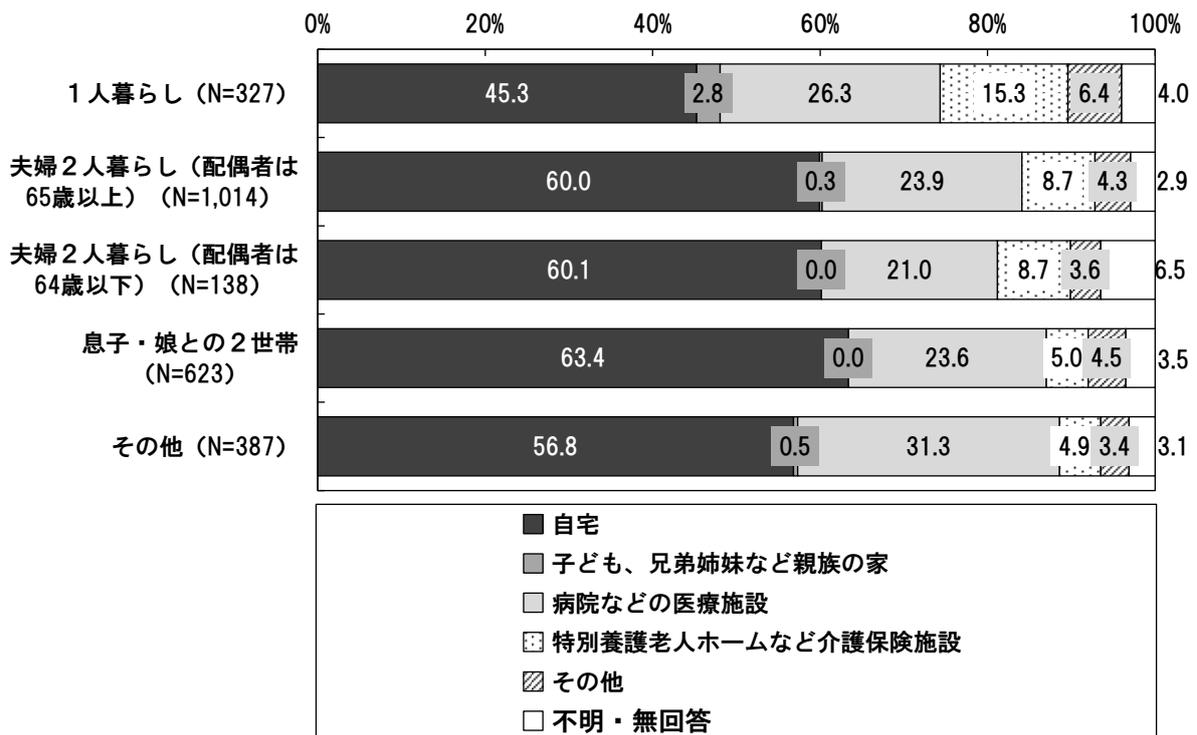
問 61. 将来あなたが人生の最期を迎えるとき、それをどこで迎えたいですか。

「自宅」が58.1%で最も多く、次いで「病院などの医療施設」が25.1%となっています。

世帯状況別に見ると、1人暮らしでは「自宅」が少なく、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設」が多くなっています。

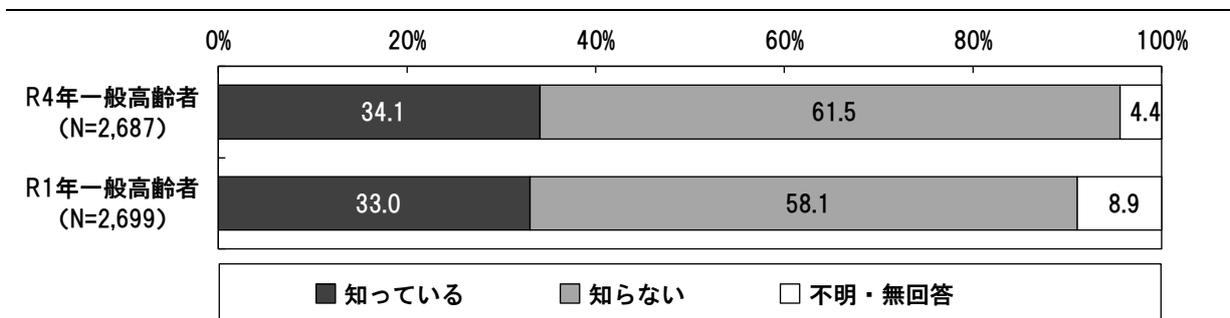


■世帯状況別に見た人生の最期をどこで迎えたいか



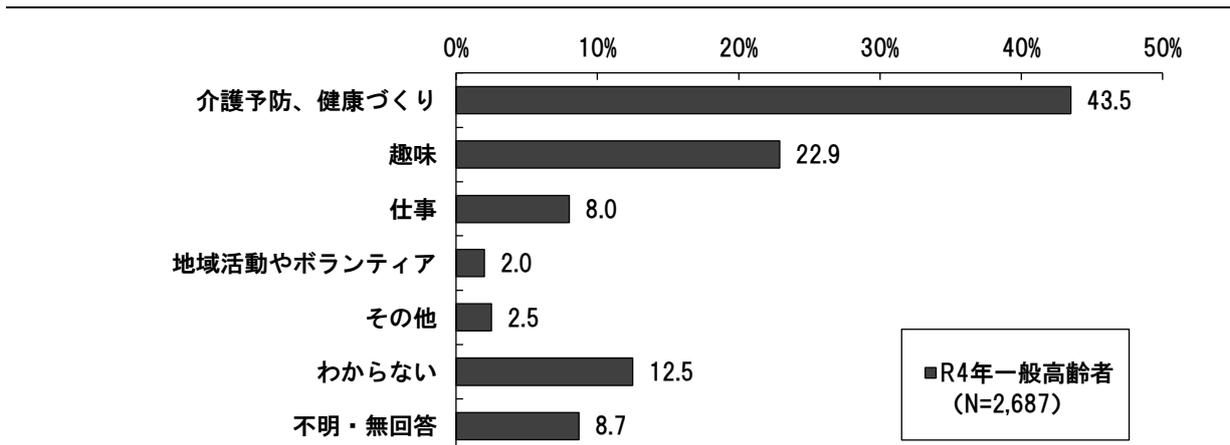
問 62. もし、あなたが終末期医療の希望を明示できなくなったとき、あなたの代理人となる方は、あなたの人生最期の迎え方の希望（終末期医療や最期を迎えたい場所）を知っていますか。

「知っている」は34.1%となっています。



問 63. 充実した老後を過ごすために、あなたがしたいことは何ですか。

「介護予防、健康づくり」が43.5%で最も多く、次いで「趣味」が22.9%となっています。

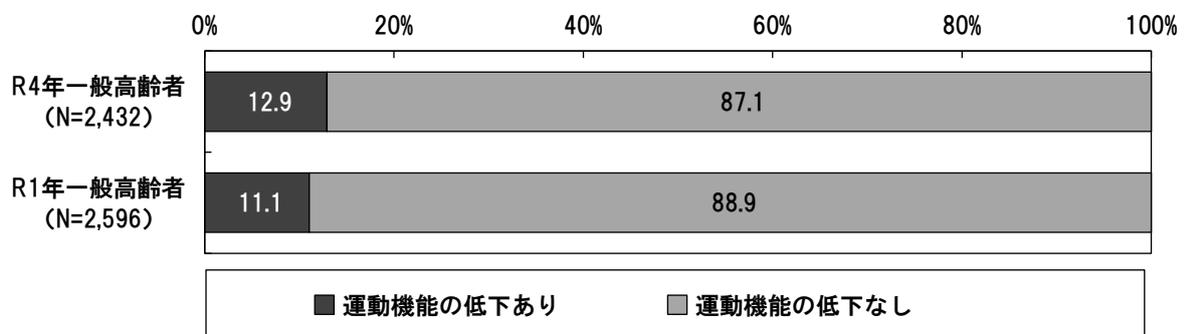


10. 各種のリスク判定について

(1) 運動機能の低下

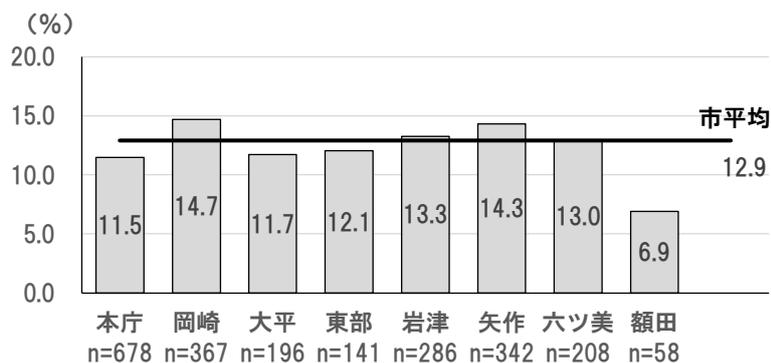
前回調査と比べて、「運動機能の低下あり」がわずかに増加しています。
圏域別では、額田でやや低くなっています。

判定条件		左記の5つの設問において、3問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）を回答された場合、運動器機能の低下している高齢者となります。
問9 階段を手すりや壁を伝わらずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるが、していない 3. できない	
問10 椅子に座った状態から何にもつかまらず立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるが、していない 3. できない	
問11 15分くらい続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるが、していない 3. できない	
問12 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	
問13 転倒することへの不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない	



※該当する質問に無回答があり、判定できなかった件数（R4年255件、R1年103件）を除いた割合で比較

■ 圏域別に見た「運動機能の低下あり」の割合

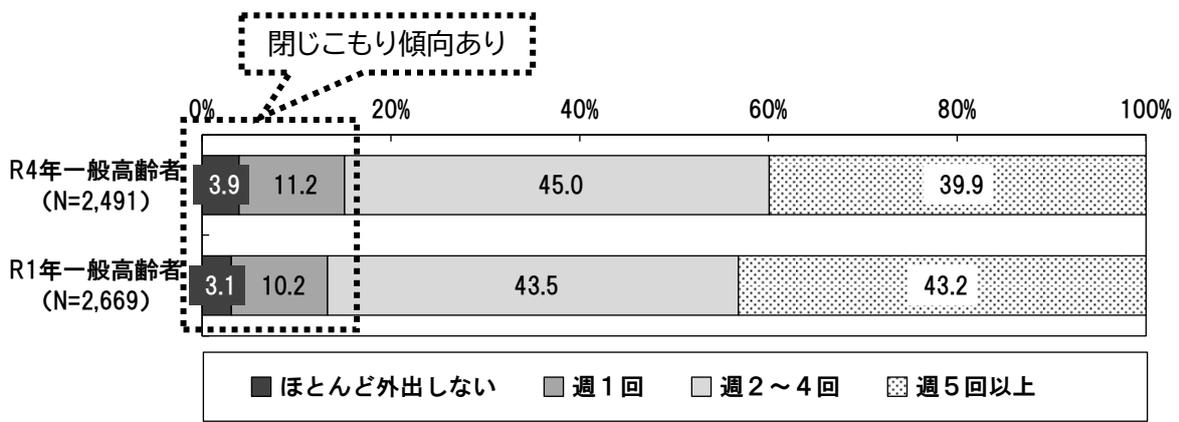


(2) 閉じこもり傾向

「閉じこもり傾向あり」は15.1%となっています。前回調査と比べて、「閉じこもり傾向あり」がわずかに増加し、「週5回以上」がやや減少しています。

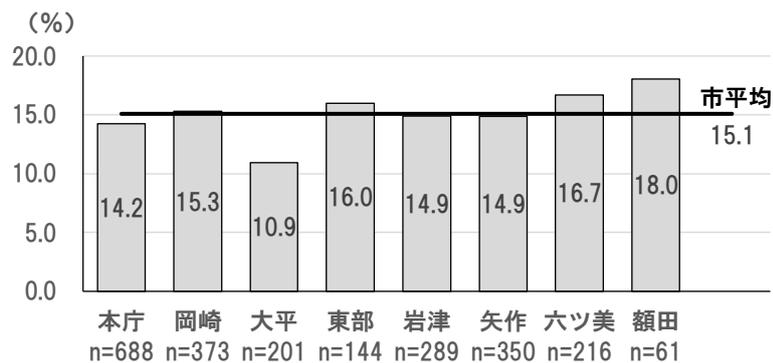
圏域別では、額田でやや高く、大平でやや低くなっています。

判定条件		
問 14 週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上	左記の設問において、該当する選択肢（網掛け箇所）を回答された場合、閉じこもり傾向となります。



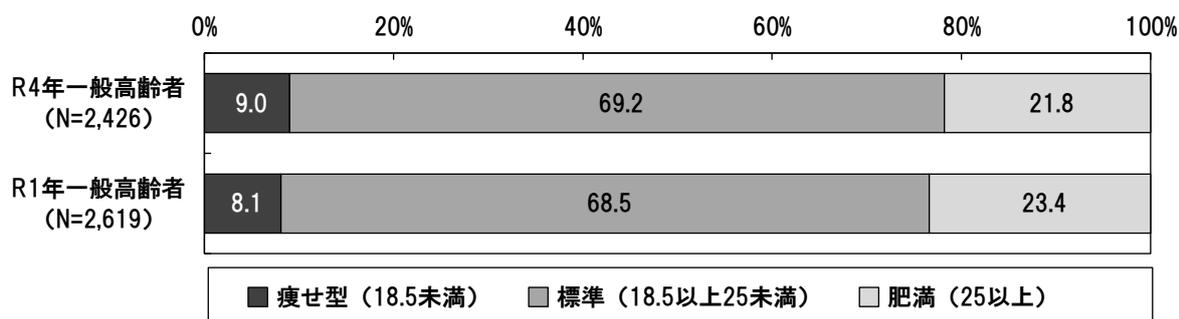
※該当する質問に無回答があり、判定できなかった件数（R4年196件、R1年30件）を除いた割合で比較

■圏域別に見た「閉じこもり傾向あり」の割合



(3) BMI 指数

回答された身長・体重から BMI 指数を算出しました。前回調査とあまり差はありません。



※該当する質問に無回答があり、判定できなかった件数 (R4 年 261 件、R1 年 80 件) を除いた割合で比較

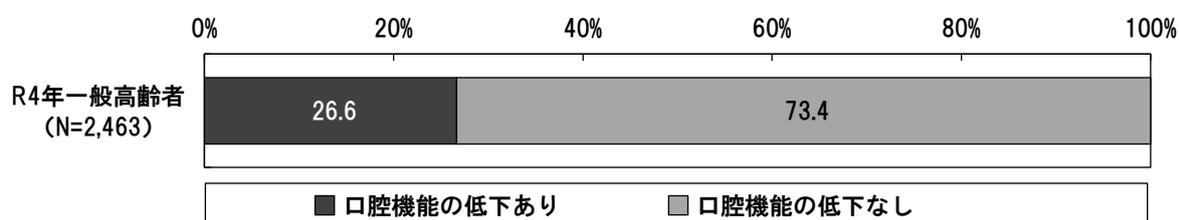
(4) 口腔機能の低下

口腔機能の低下については、26.6%が口腔機能の低下ありと判定されました。

圏域別では東部、額田でやや低くなっています。

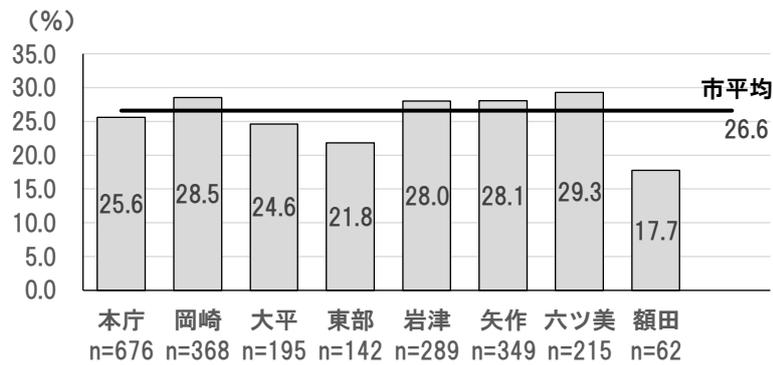
前回調査においても質問のあった問 18 の咀嚼機能の低下に関する質問のみで比較したところ、咀嚼機能が低下している高齢者の割合が、わずかに増加しています。

判定条件		
問 18 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ	左記の3つの設問において、2問以上、該当する選択肢(表の網掛け箇所)を回答された場合、口腔機能の低下している高齢者となります。
問 19 お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ	
問 20 口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ	

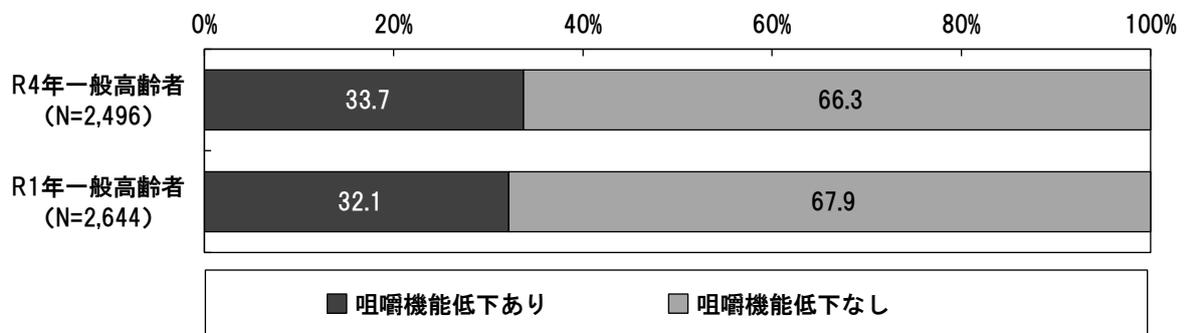


※該当する質問に無回答があり、判定できなかった件数 (R4 年 224 件) を除いた割合。R1 年調査では問 19、問 20 に該当する質問がなかったため、口腔機能の低下の比較はできない。

■圏域別に見た「口腔機能の低下あり」の割合



■咀嚼機能の低下（半年前に比べて硬いものが食べにくくなったかどうか）



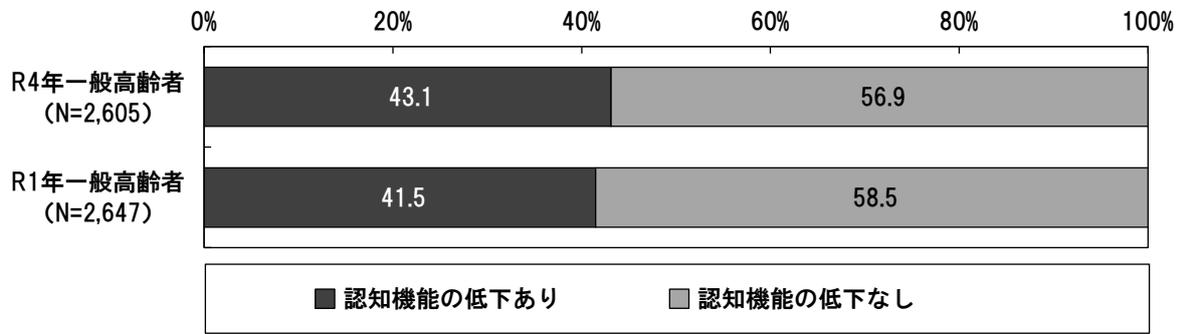
※該当する質問に無回答があり、判定できなかった件数（R4年191件、R1年55件）を除いた割合で比較

(5) 認知機能の低下

認知機能の低下については、「低下あり」が43.1%となっています。前回調査よりわずかに増加しています。

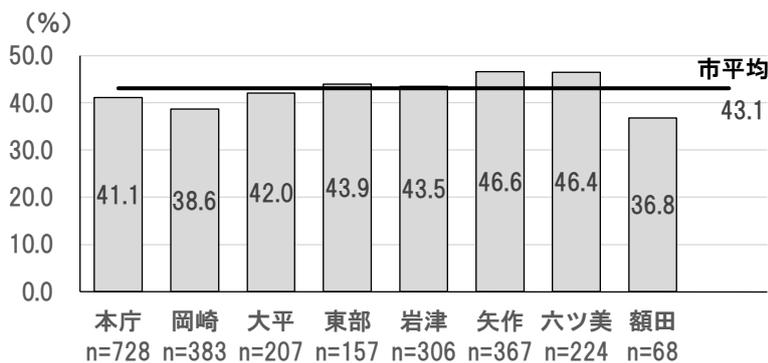
圏域別では、額田でやや低くなっています。

判定条件		
問 25 物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ	左記の設問において、該当する選択肢（網掛け箇所）を回答された場合、認知機能の低下がみられる高齢者となります。



※該当する質問に無回答があり、判定できなかった件数（R4年82件、R1年52件）を除いた割合で比較

■圏域別に見た「認知機能の低下あり」の割合

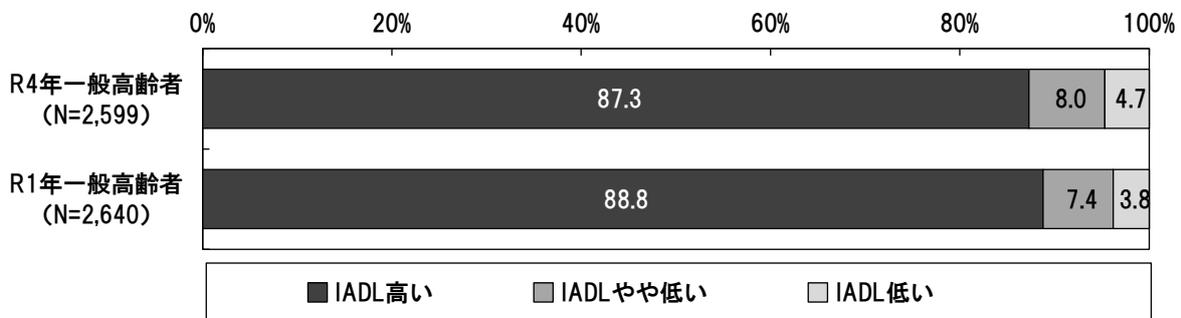


(6) IADLの※低下

IADLが「低い」または「やや低い」と判定された高齢者は、前回調査よりわずかに増加しています。圏域別では、東部と六ツ美で「低い」がやや多くなっています。

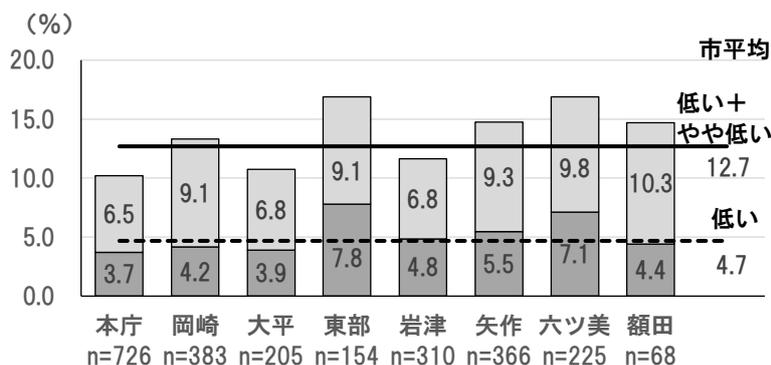
判定条件		
問 26 バスや電車を使って1人で外出していますか	1. できるし、している 2. できるが、していない 3. できない	左記の5つの設問において、該当する選択肢（表の網掛け箇所）を2問以上回答された場合、IADLが低い、1問ならやや低い、0問なら高いと判定されます。
問 27 自分で食品・日用品の買い物をしていますか	1. できるし、している 2. できるが、していない 3. できない	
問 28 自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるが、していない 3. できない	
問 29 自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるが、していない 3. できない	
問 30 自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるが、していない 3. できない	

※「IADL」とは、「Instrumental Activity of Daily Living」の略で、「手段的日常生活動作」と訳されます。例えば、掃除・料理・洗濯・買い物などの家事やコミュニケーション、交通機関の利用、自分の薬の管理、お金の管理など、単純な運動能力ではなく、日常生活を問題なく送る上で必要な活動を行う力を意味します。高齢者の自立度を評価する指標として活用されています。



※該当する質問に無回答があり、判定できなかった件数（R4年88件、R1年59件）を除いた割合で比較

■圏域別に見た IADL が低い高齢者の割合

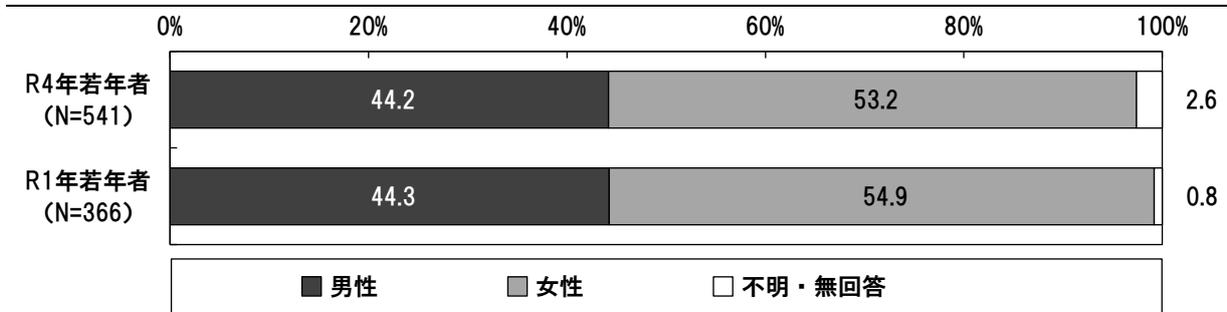


Ⅲ 若年者の調査結果

1. 調査対象者本人について

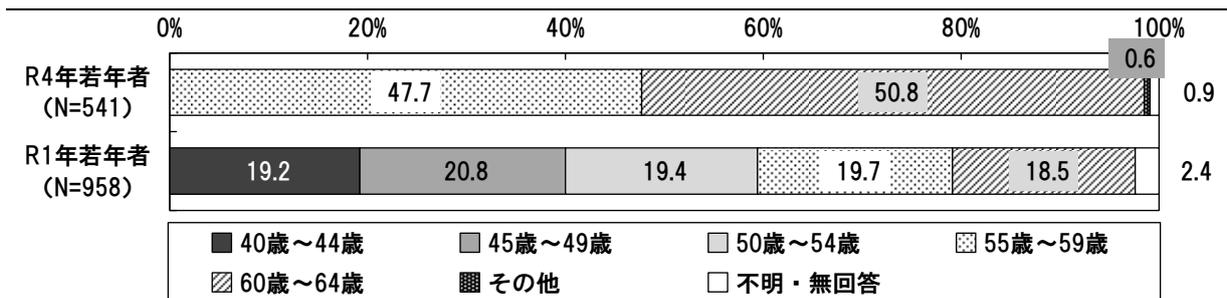
問1. あなたの性別をお答えください。

「男性」が44.2%、「女性」が53.2%となっています。



問2. あなたの年齢（令和4年11月1日現在）をお答えください。

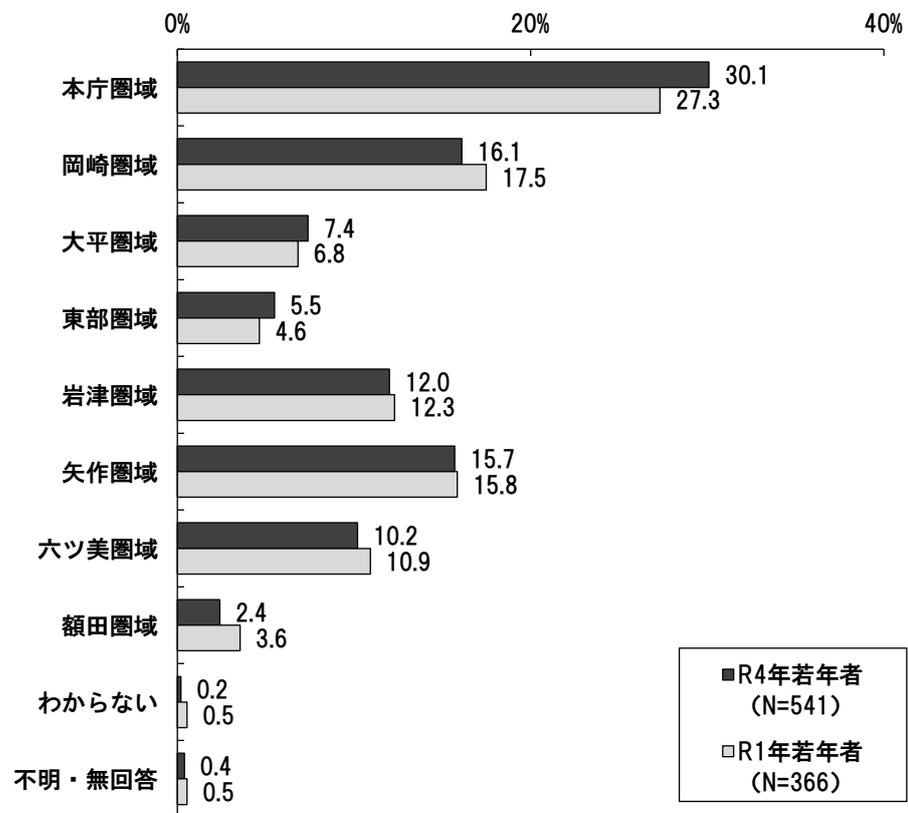
本調査では、前回調査とは異なり、55～64歳が調査対象となっています。



問3. あなたはどの小学校区にお住まいですか。

回答された小学校区を、圏域別に集計した結果を示します。

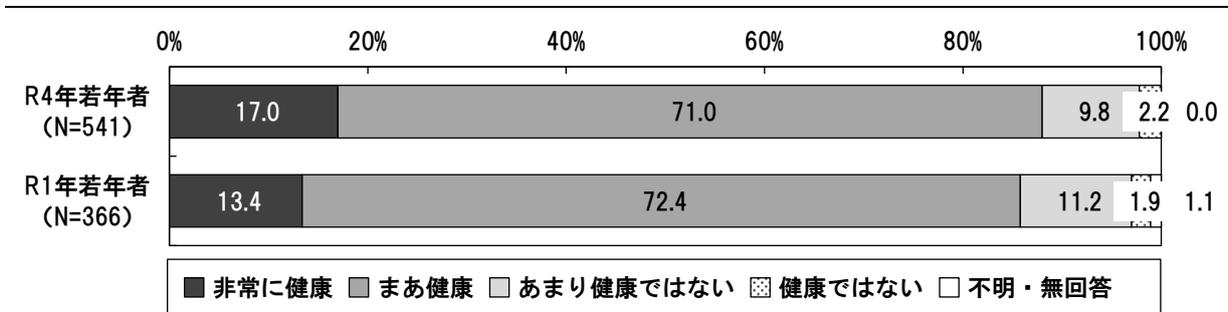
「本庁圏域」が30.1%で最も多く、次いで「岡崎圏域」が16.1%となっています。



2. 日常生活の状況や介護予防について

問4. 現在の健康状態はどのような状況ですか。

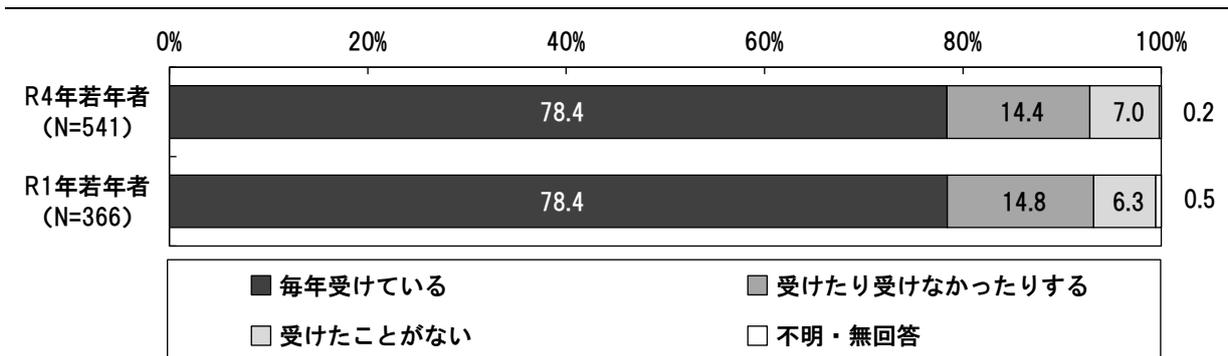
「非常に健康」が17.0%、「まあ健康」の71.0%と合わせると、88.0%が健康であると回答しています。



※前回調査は本調査の対象に合わせて55～64歳のデータを比較（以下同様）

問5. 人間ドックや特定健診などの健康診査（検尿、血圧測定、血液検査等）を定期的に受けていますか。

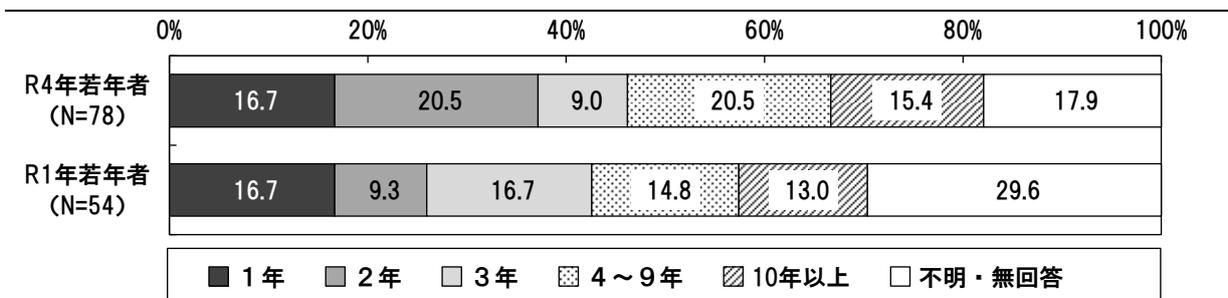
「毎年受けている」が78.4%で最も多く、次いで「受けてり受けなかったりする」が14.4%となっています。



【問5で「受けてり受けなかったりする」と回答した人のみ】

①最後に受けたのは何年前か

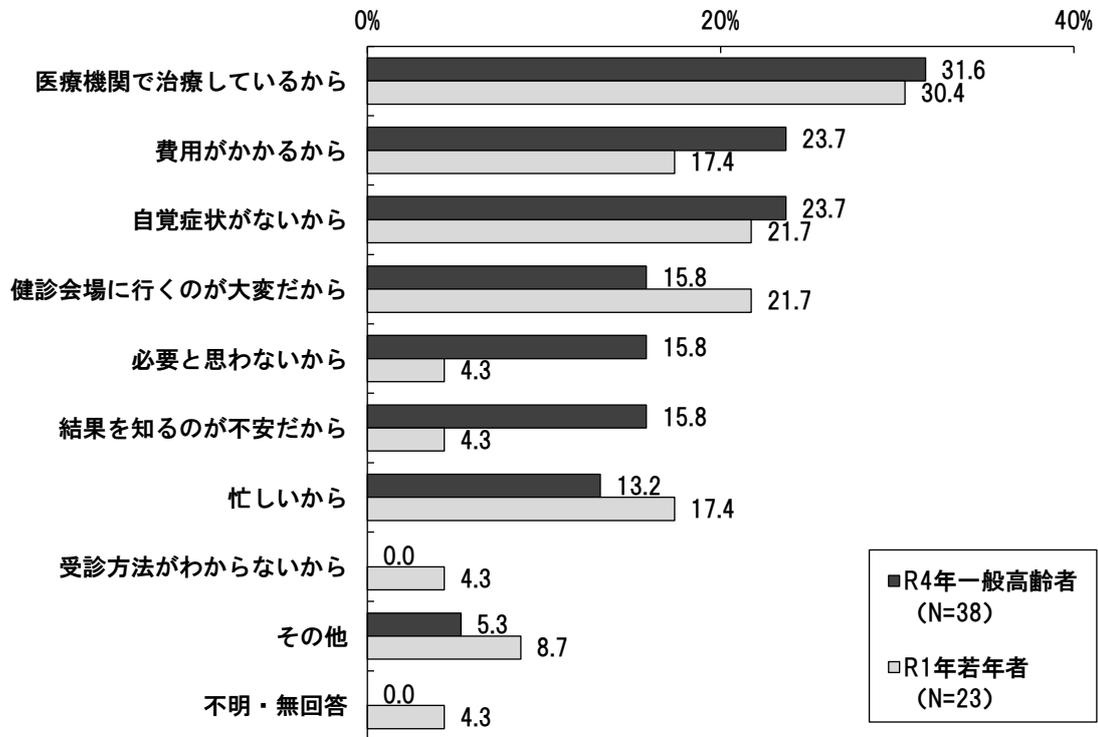
「2年前」「4～9年前」がそれぞれ20.5%となっています。



【問5で「受けたことがない」と回答した人のみ】

②あなたが健康診査を受診しない理由は何ですか。【複数回答】

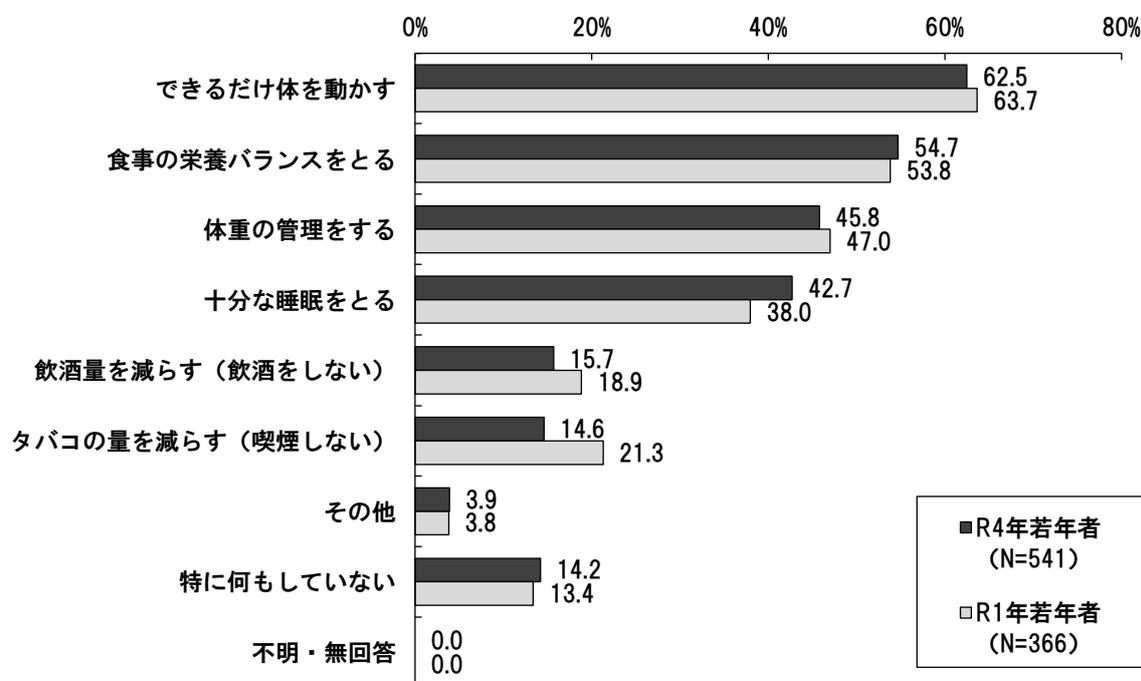
「医療機関で治療しているから」が31.6%で最も多く、次いで「費用がかかるから」「自覚症状がないから」が23.7%となっています。



問6. 要介護状態にならないために、何を心がけていますか。【複数回答】

「できるだけ体を動かす」が62.5%で最も多く、次いで「食事の栄養バランスをとる」が54.7%となっています。

圏域別に見ると、「できるだけ体を動かす」は額田が多く、「体重を管理する」は大平、額田が多くなっています。



■圏域別に見た要介護状態にならないために心がけていること

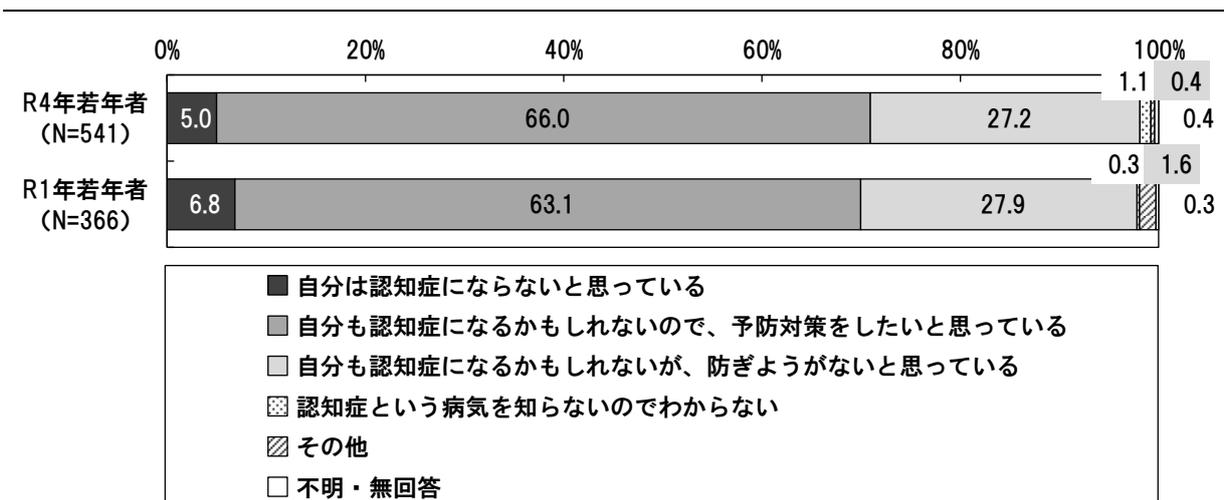
単位 (%)

	できるだけ体を動かす	食事の栄養バランスをとる	飲酒量を減らす (飲酒をしない)	タバコの量を減らす (喫煙しない)	十分な睡眠をとる	体重の管理をする	その他	特に何もしていない	不明・無回答
本庁 (N=163)	59.5	52.8	22.1	17.8	44.8	39.3	3.1	16.6	0.0
岡崎 (N=87)	60.9	54.0	9.2	11.5	41.4	44.8	5.7	10.3	0.0
大平 (N=40)	72.5	50.0	10.0	20.0	42.5	60.0	7.5	7.5	0.0
東部 (N=30)	66.7	56.7	3.3	0.0	46.7	40.0	0.0	13.3	0.0
岩津 (N=65)	64.6	55.4	15.4	10.8	49.2	49.2	6.2	10.8	0.0
矢作 (N=85)	61.2	57.6	18.8	20.0	40.0	54.1	3.5	16.5	0.0
六ツ美 (N=55)	58.2	60.0	16.4	10.9	34.5	38.2	1.8	18.2	0.0
額田 (N=13)	84.6	46.2	0.0	0.0	38.5	61.5	0.0	15.4	0.0

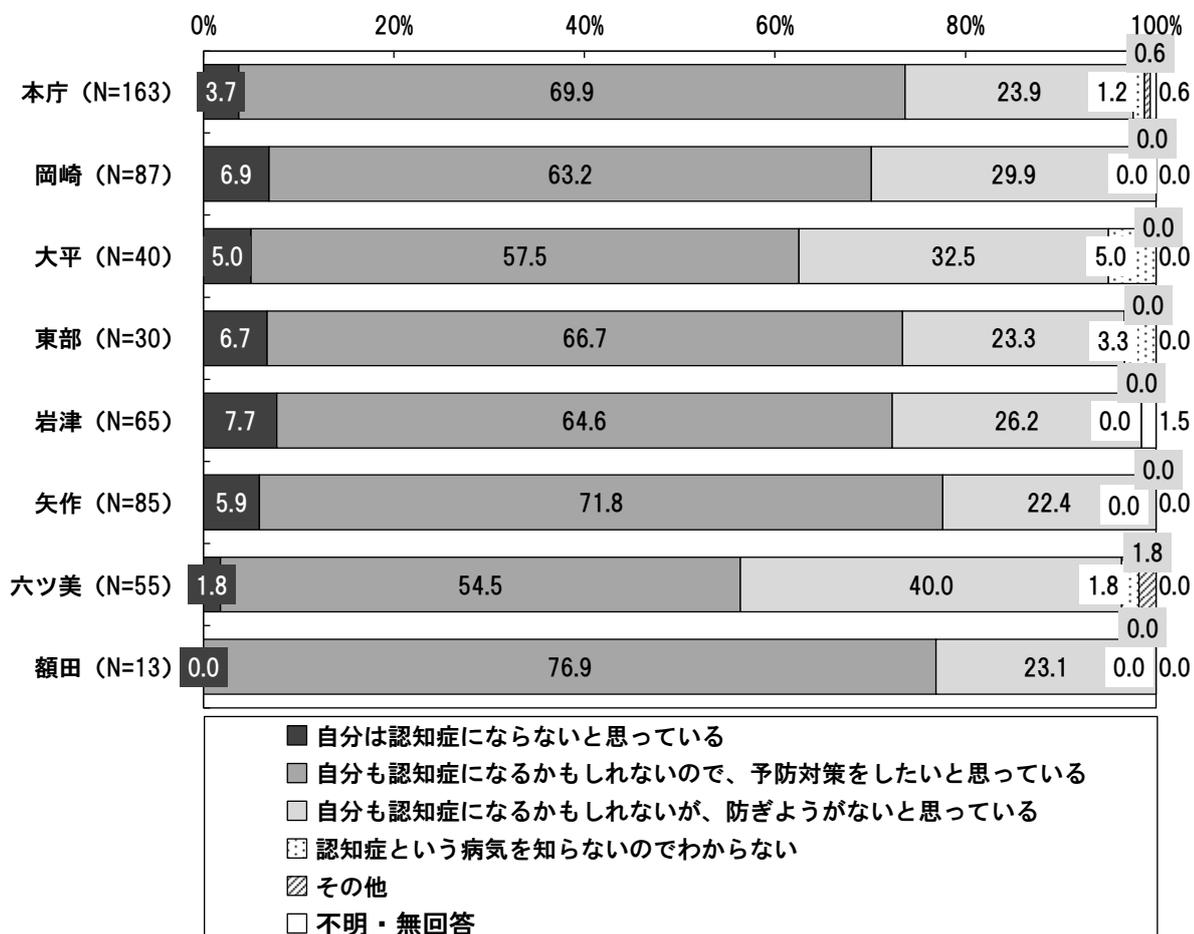
問7. 認知症についてどうお考えですか。

「自分も認知症になるかもしれないので、予防対策をしたいと思っている」が66.0%で最も多く、次いで「自分も認知症になるかもしれないが、防ぎようがないと思っている」が27.2%となっています。一般高齢者調査と比べると、「自分は認知症にならないと思っている」が少なくなっています。

圏域別に見ると、「自分も認知症になるかもしれないが、防ぎようがないと思っている」が六ツ美で多くなっています。

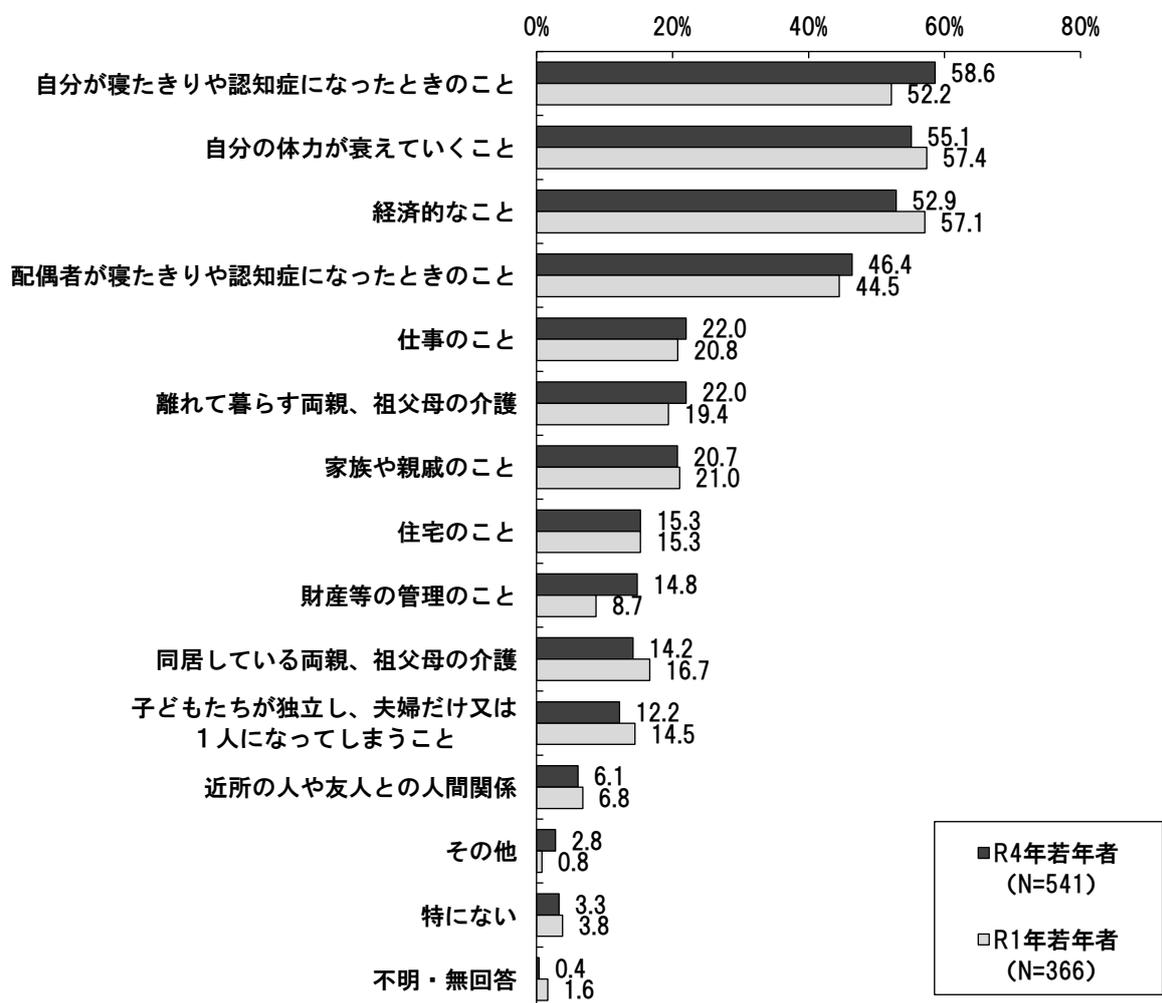


■ 圏域別に見た認知症についての考え



問8. 今後の生活で不安に思うことは何ですか。【複数回答】

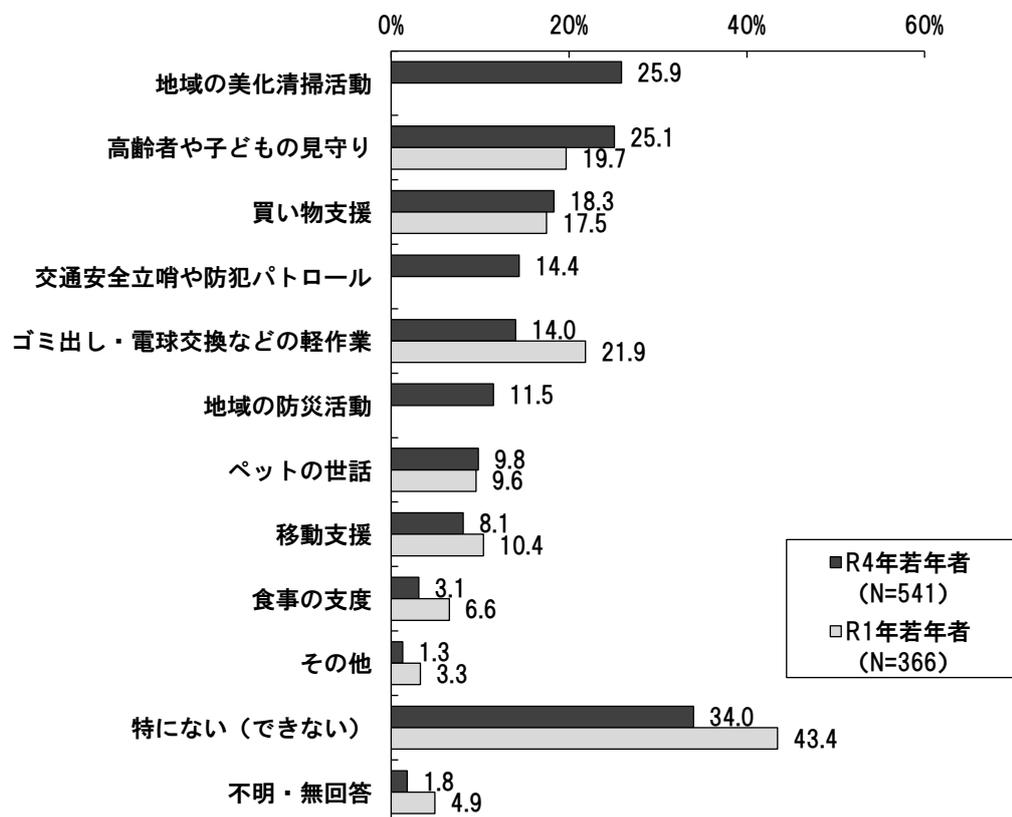
「自分が寝たきりや認知症になったときのこと」が58.6%で最も多く、次いで「自分の体力が衰えていくこと」が55.1%、「経済的なこと」が52.9%となっています。



問9. 地域住民の力を生かしたたすけあい活動で、あなたがやってみたいと思うことはどれですか。【複数回答】

「地域の美化清掃活動」が25.9%で最も多く、次いで「高齢者や子どもの見守り」が25.1%となっています。

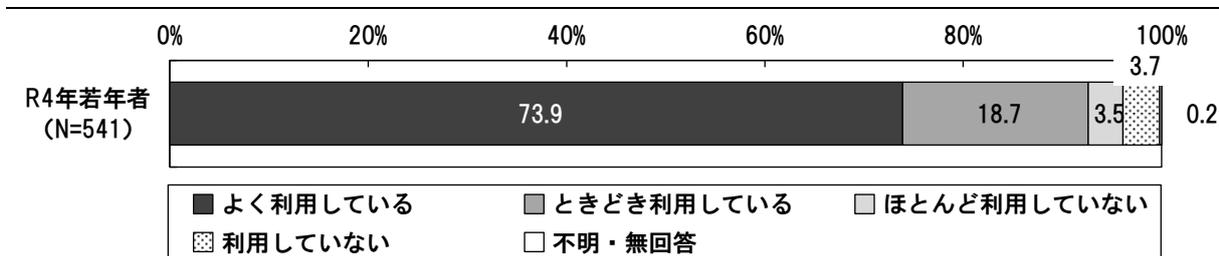
前回調査と比べると、「特にない（できない）」が減少していますが、これは前回調査に無かった選択肢が加わった影響があると考えられます。



※R1年の質問は「地域住民の力を生かした高齢者支援で、あなたがやってみたいと思うことはどれですか」であり、「高齢者や子どもの見守り」は「高齢者の見守り」。「地域の美化清掃活動」「交通安全立哨や防犯パトロール」「地域の防災活動」はR4年のみ。

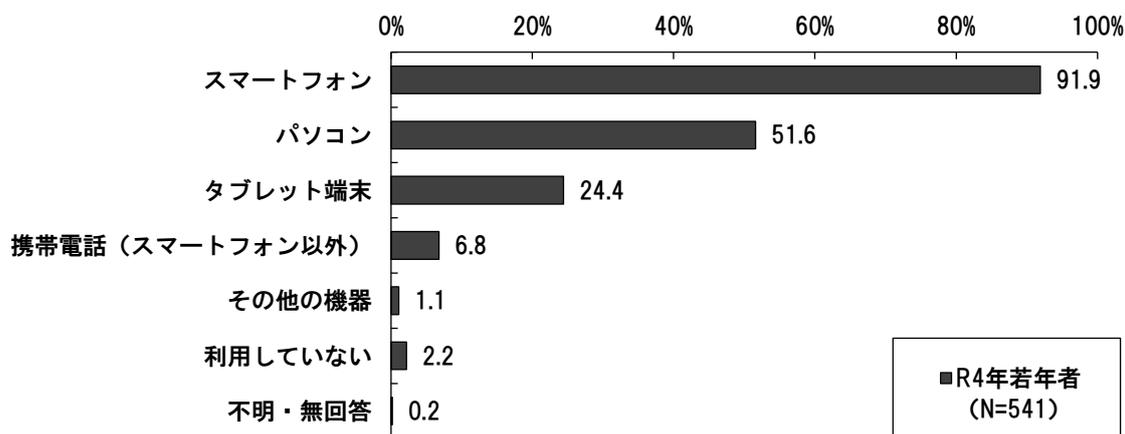
問 10. あなたは、パソコン、スマートフォンやタブレット端末等の情報通信機器を利用していますか。

「よく利用している」が73.9%で最も多くなっています。「利用していない」または「ほとんど利用していない」という回答は、7.2%となっています。



問 11. あなたは、どのような情報通信機器を利用していますか。普段利用している機器をお答えください。【複数回答】

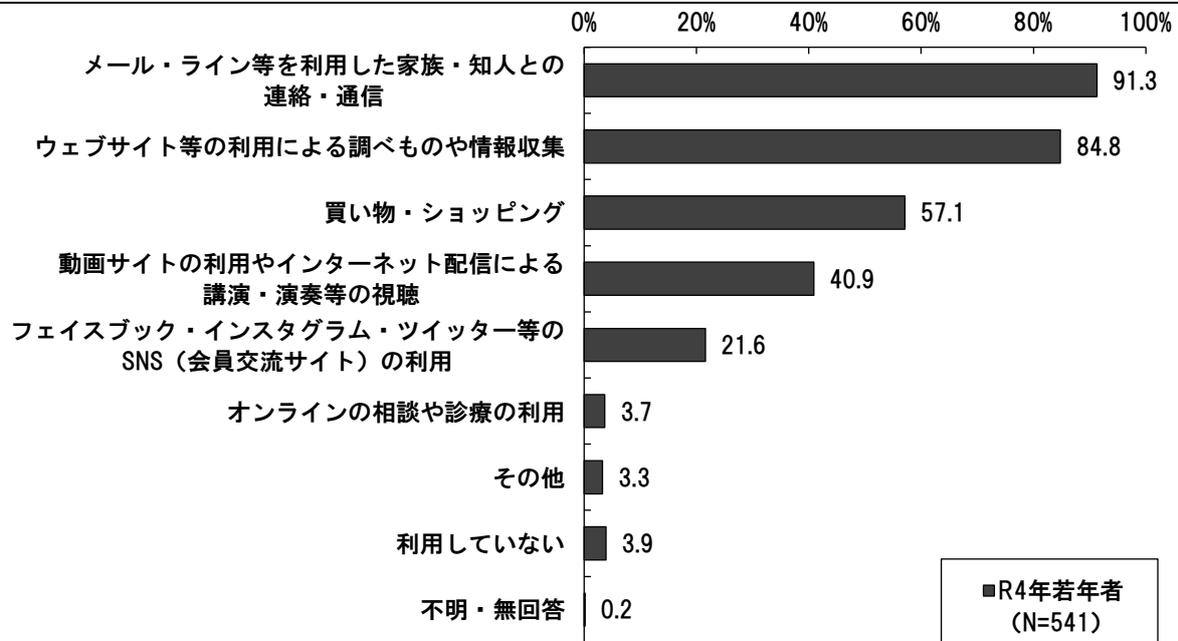
「スマートフォン」が91.9%で最も多く、次いで「パソコン」が51.6%となっています。



問 12. あなたは普段、パソコンやスマートフォンなどの情報通信機器を利用して、次のようなことをしていますか。【複数回答】

「メール・ライン等を利用した家族・知人との連絡・通信」が91.3%で最も多く、次いで「ウェブサイト等の利用による調べものや情報収集」が84.8%となっています。

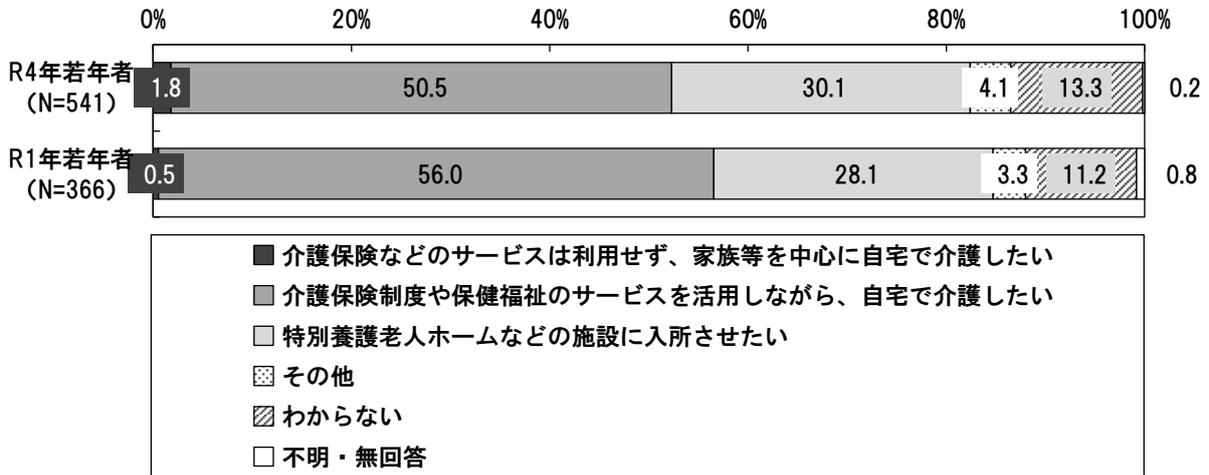
上位2項目については、8割以上が利用しており、今後は、情報通信機器の利用に慣れた高齢者が増加していくことが予想されます。



3. 介護サービス・介護保険料について

問 13. 家族に介護が必要となった場合、主としてどのように介護したいですか。

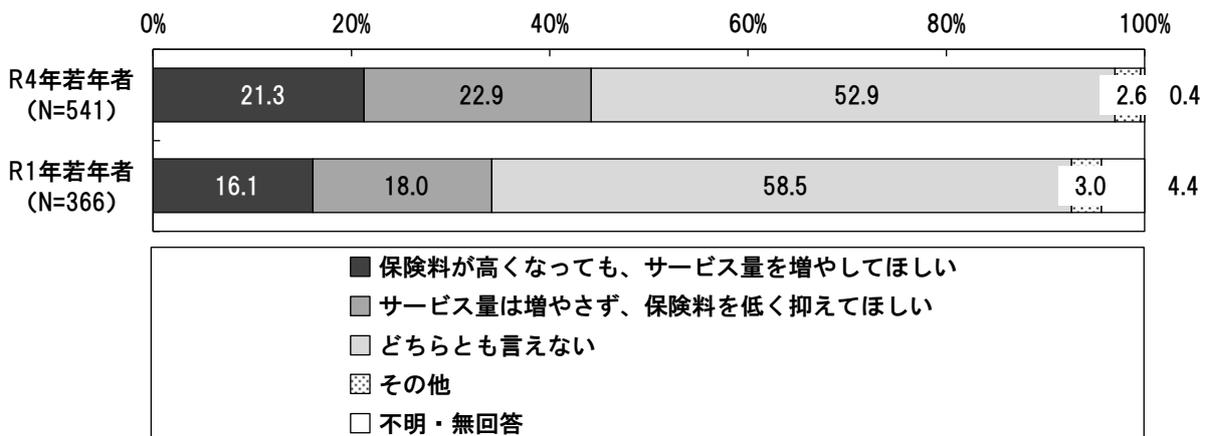
「介護保険制度や保健福祉のサービスを活用しながら、自宅で介護したい」が 50.5%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームなどの施設に入所させたい」が 30.1%となっています。



問 14. 介護保険料は、市全体の介護サービスの利用量に比例して決まります。あなたの考えは次のどれに近いですか。

「どちらとも言えない」が 52.9%で最も多く、次いで「サービス量は増やさず、保険料を低く抑えてほしい」が 22.9%、「保険料が高くなっても、サービス量を増やしてほしい」が 21.3%となっています。

一般高齢者調査と比べると、「保険料が高くなっても、サービス量を増やしてほしい」が多く、「サービス量は増やさず、保険料を低く抑えてほしい」が少なくなっています。



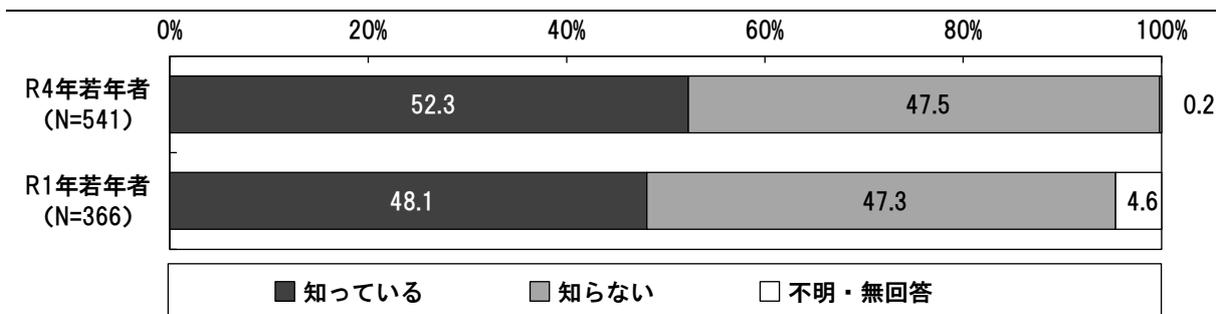
4. 地域包括支援センターについて

問 15. 高齢者の生活について相談ができる「地域包括支援センター」が市内にあるのを知っていますか。

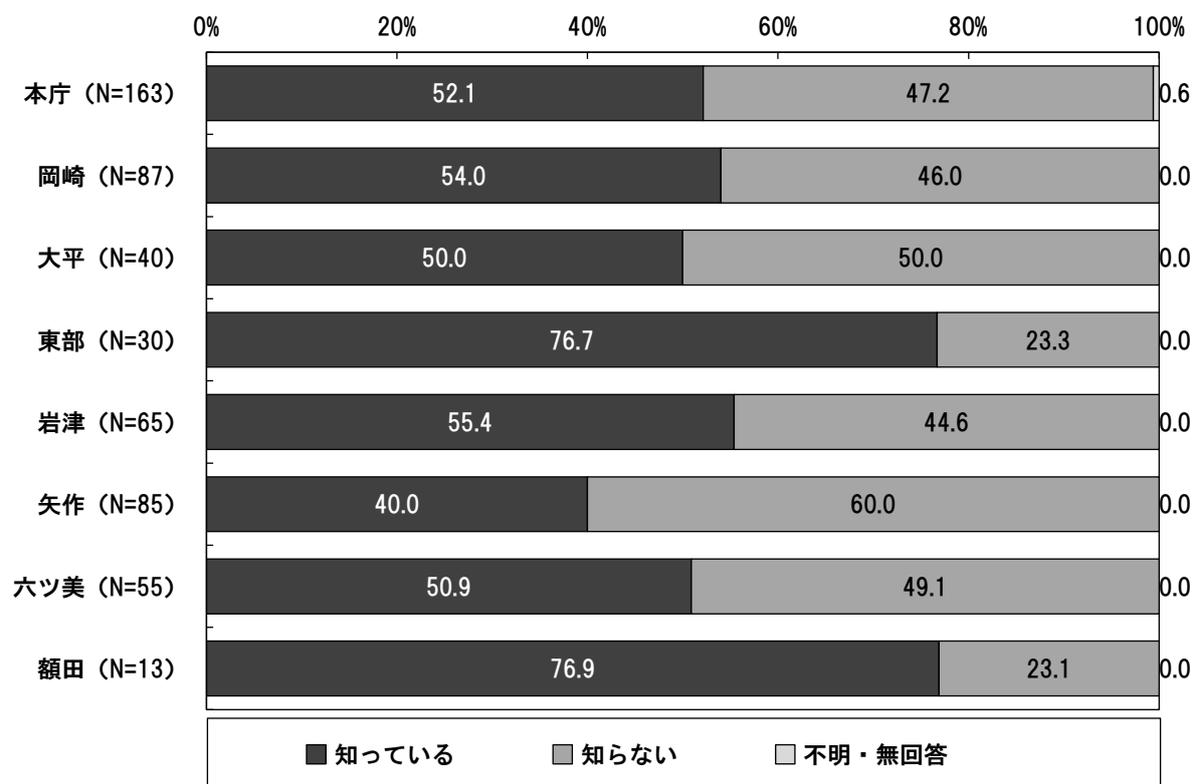
「知っている」が52.3%となっています。

一般高齢者調査と比べると、「知っている」がやや多くなっています。

圏域別に見ると、「知っている」は東部と額田で多く、矢作で少なくなっています。



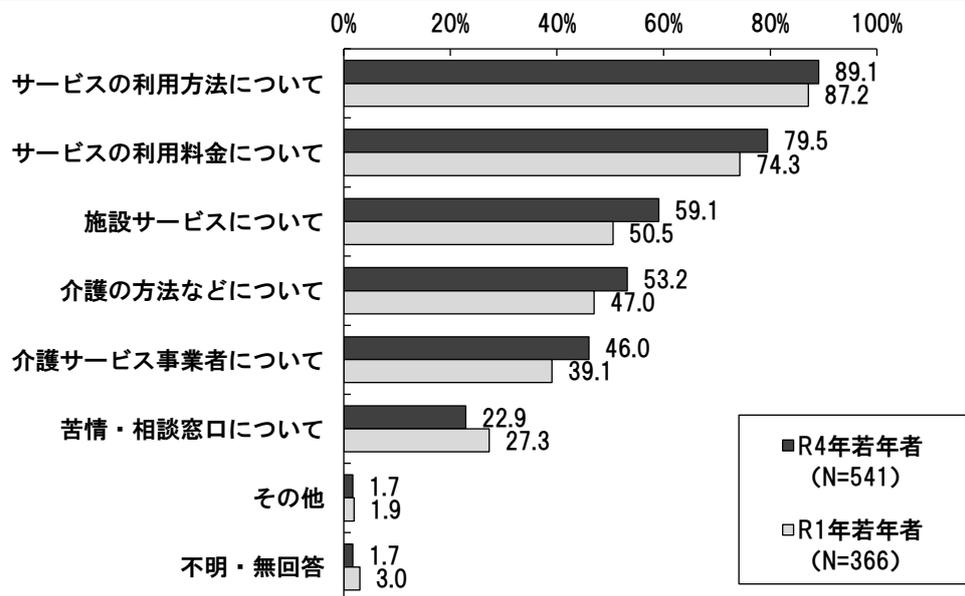
■ 圏域別に見た「地域包括支援センター」の認知度



5. 介護に関する情報について

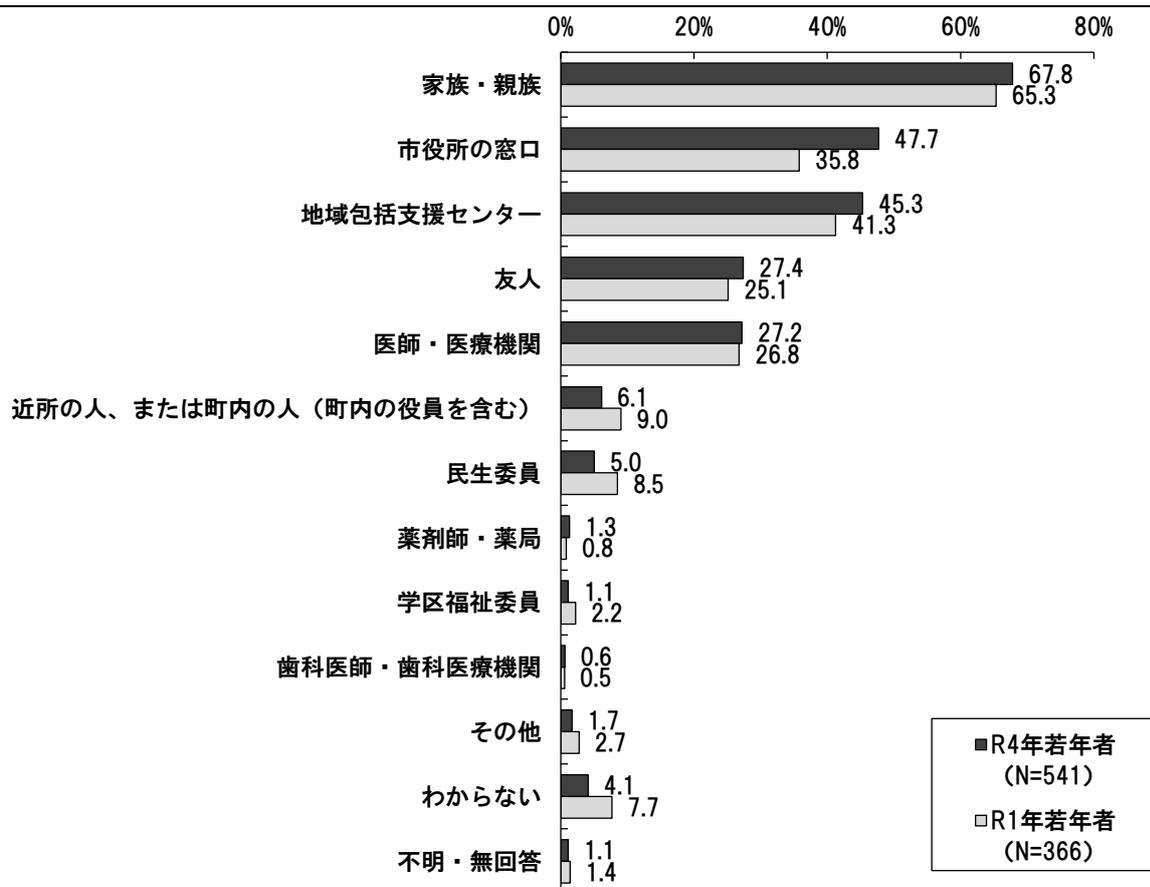
問 16. 介護保険に関する情報について、どのような情報が必要だと思いますか。

「サービスの利用方法について」が 89.1%で最も多く、次いで「サービスの利用料金について」が 79.5%となっています。



問 17. 介護のことで相談するとしたら、誰に（どこに）相談しますか。

「家族・親族」が67.8%で最も多く、次いで「市役所の窓口」が47.7%となっています。

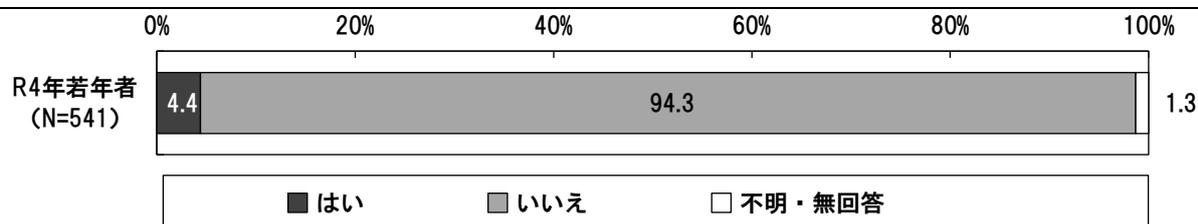


※「市役所の窓口」は、R1年調査では「市の長寿課・介護保険課」

問 18. 福祉の総合相談窓口「ふくサポ」を知っていますか。

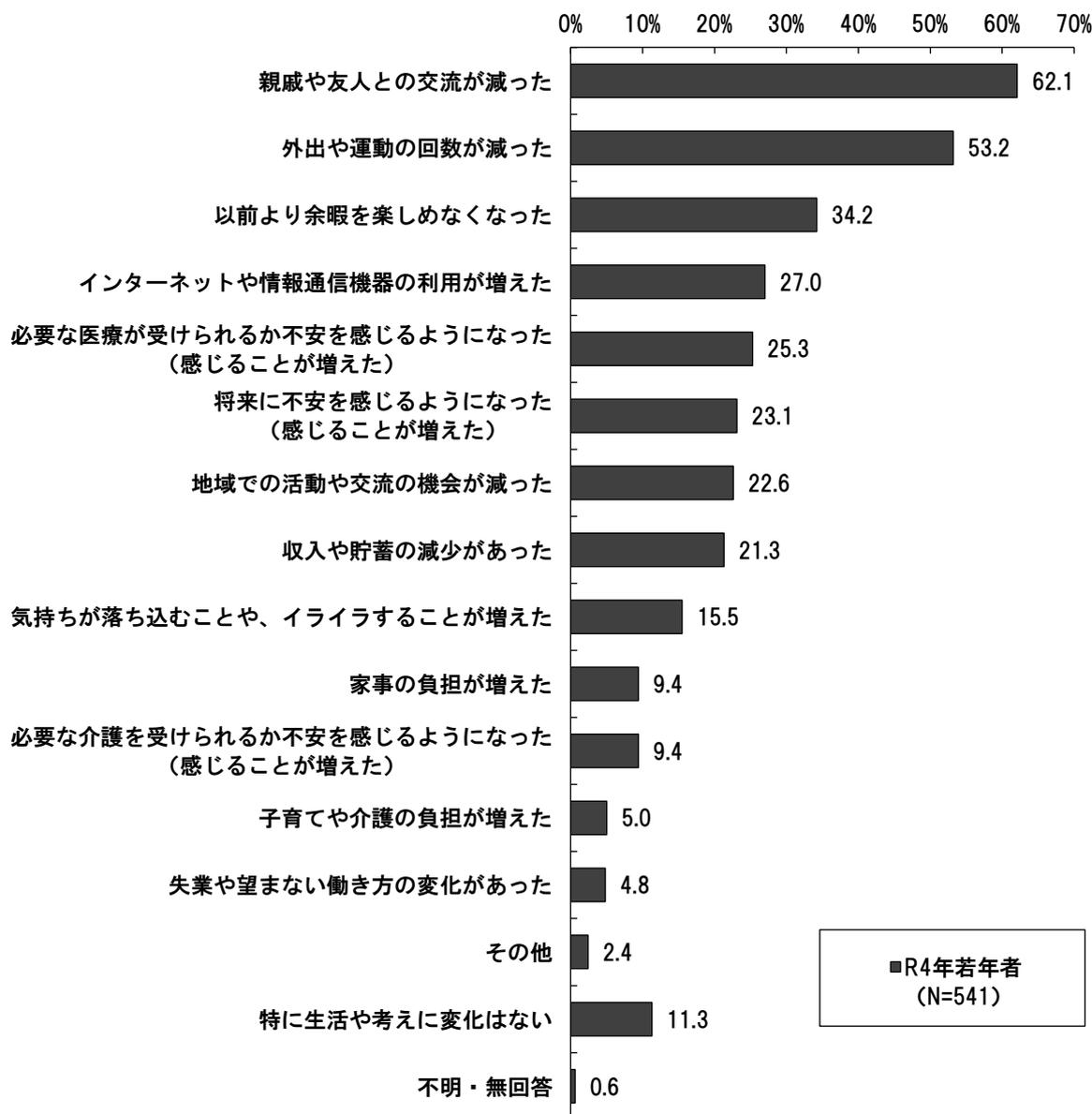
「はい」が4.4%となっています。

一般高齢者調査と比べると、「はい」が少なくなっています。



問 19. 新型コロナウイルス感染症の流行の拡大をきっかけにして、あなたの生活や考えに次のような変化はありましたか。

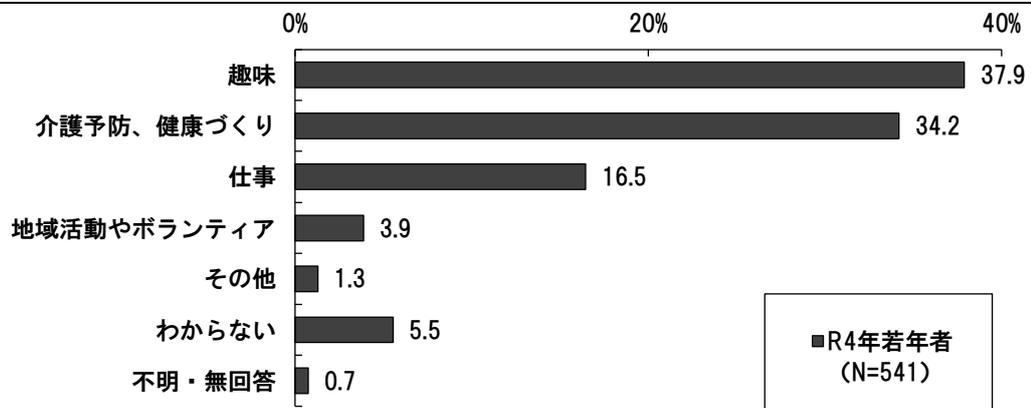
「親戚や友人との交流が減った」が62.1%で最も多く、次いで「外出や運動の回数が減った」が53.2%、「以前より余暇を楽しめなくなった」が34.2%となっています。



6. その他

問 20. 充実した老後を過ごすために、あなたがしたいことは何ですか。

「趣味」が37.9%で最も多く、次いで「介護予防、健康づくり」が34.2%となっています。
一般高齢者調査と比べると、「趣味」「仕事」が多く、「介護予防、健康づくり」が少なくなっています。

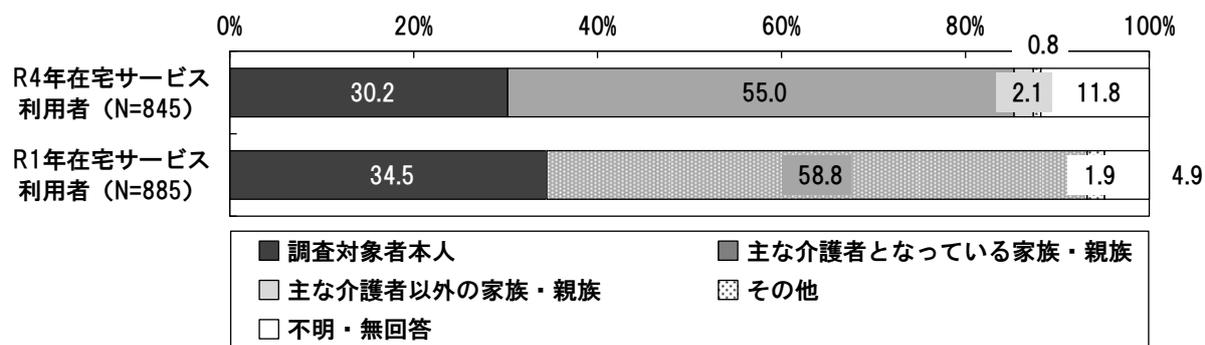


IV 在宅サービス利用者の調査結果

1. 調査対象者本人について

問1. 調査票の記入者は、ご本人（宛名の方）からみて、どれにあてはまりますか。

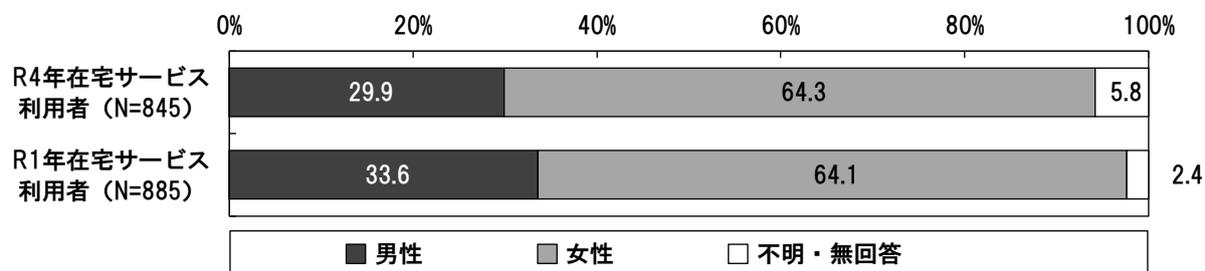
「主な介護者となっている家族・親族」が55.0%で最も多く、次いで「調査対象者本人」が30.2%となっています。



※R1年調査の選択肢は、「本人」「家族」「その他」の3つ。

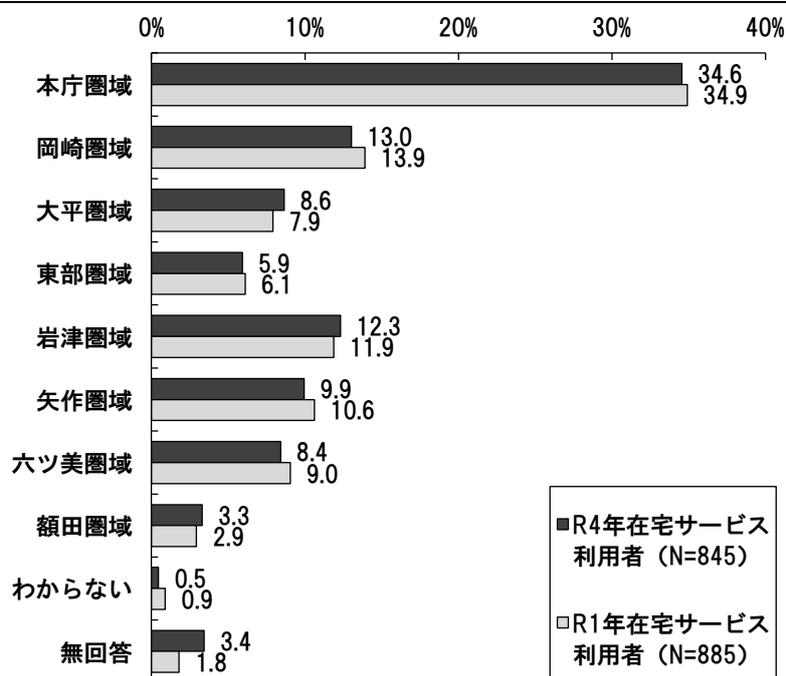
問2. 性別をお答えください。

「男性」が29.9%、「女性」が64.3%となっています。



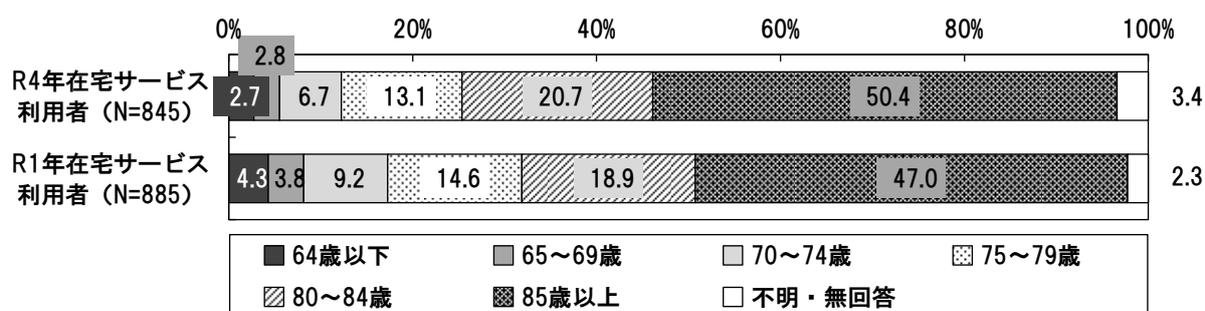
問3. どの小学校区にお住まいですか。（地区別に集計）

回答された小学校区から圏域別に集計した結果を示しています。「本庁」が34.6%で最も多く、次いで「岡崎」が13.0%となっています。



問4. 年齢（令和4年11月1日現在）をお答えください。

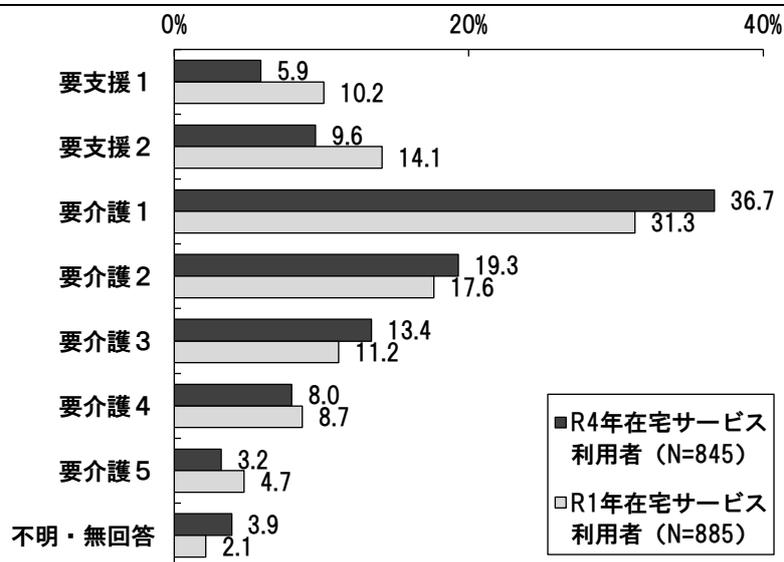
「85歳以上」が50.4%で最も多く、次いで「80～84歳」が20.7%となっています。前回調査と比べると、80歳以上がやや増加し、80歳未満がやや減少しています。



問5. 現在の要介護度はどれですか。

「要介護1」が36.7%で最も多く、次いで「要介護2」が19.3%となっています。

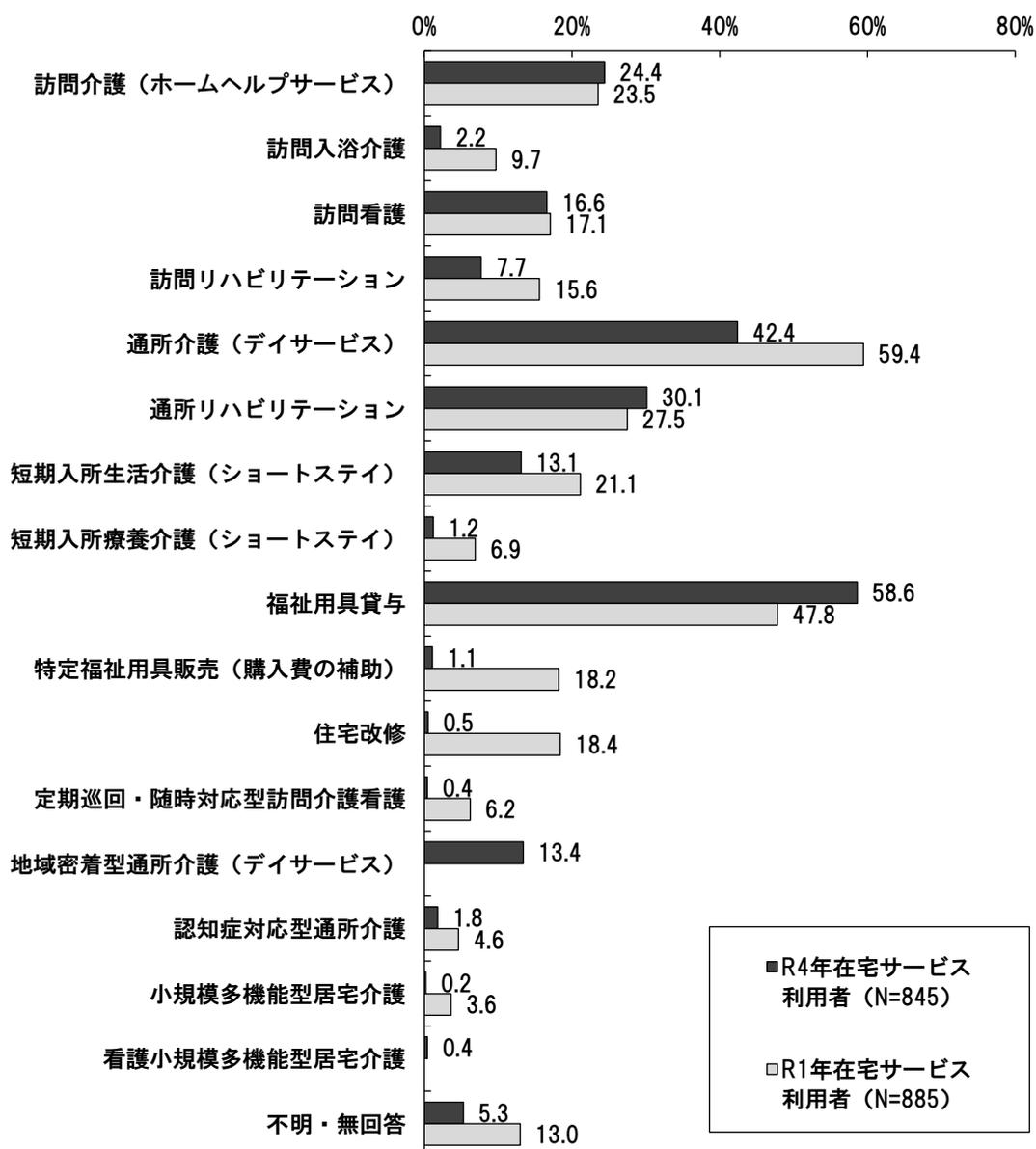
前回調査と比べると、「要支援1」「要支援2」が減少し、「要介護1」～「要介護3」がやや増加しています。



問6. 次の介護サービスのうち、令和4年10月に利用した居宅サービスをお聞きます。

「福祉用具貸与」が58.6%で最も多く、次いで「通所介護（デイサービス）」が42.4%となっています。

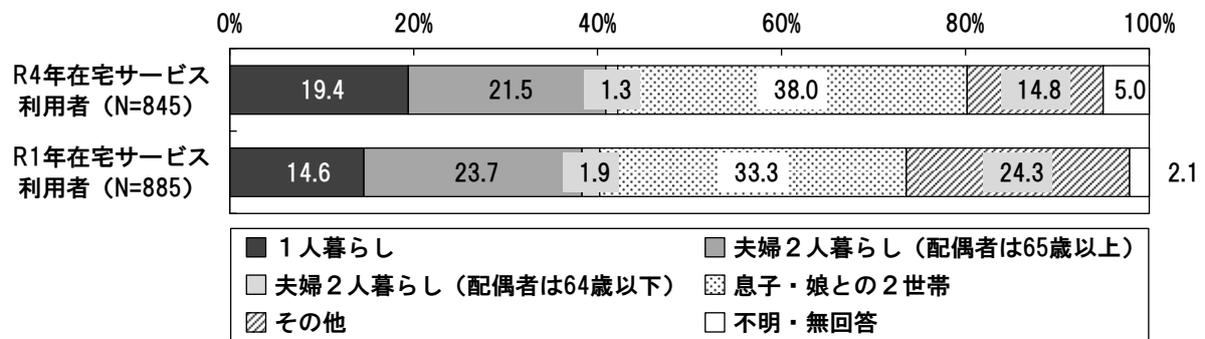
前回調査とは、サンプリングの方法を変更しています。



問7. 現在の世帯状況をお答えください。

「息子・娘との2世帯」が38.0%で最も多く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者は65歳以上）」が21.5%となっています。

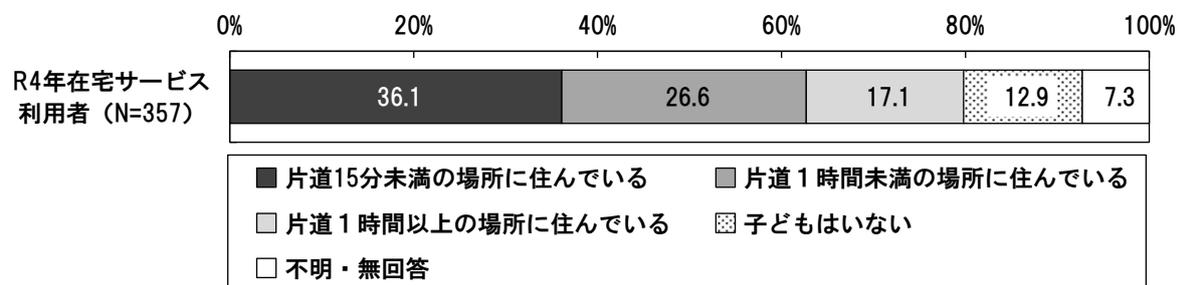
前回調査と比べると、「1人暮らし」「息子・娘との2世帯」がやや増加し、「その他」が減少しています。



【問7において「息子・娘との2世帯」「その他」以外のいずれかを回答した人のみ】

① 近くに住んでいる息子や娘がいますか。【最も近い1つを選択】

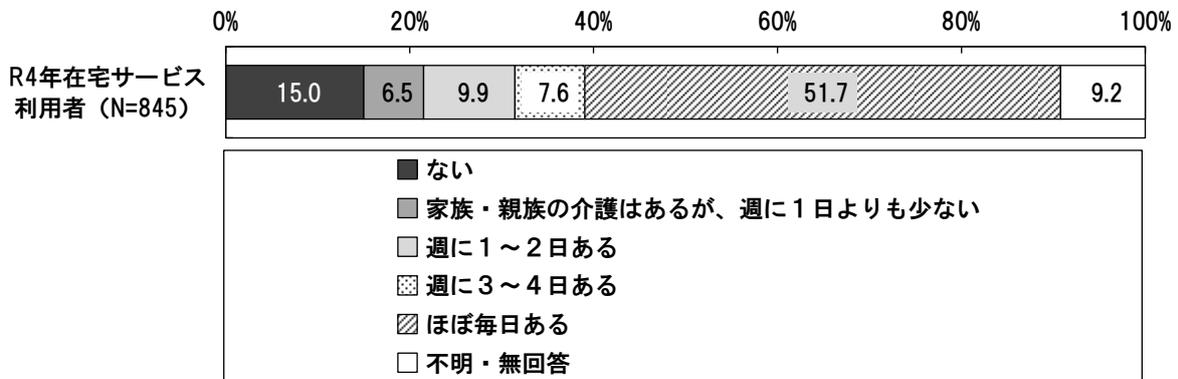
「片道15分未満の場所に住んでいる」が36.1%で最も多く、次いで「片道1時間未満の場所に住んでいる」が26.6%となっています。



2. 普段受けている介護について

問8. ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。

「ほぼ毎日ある」が51.7%で最も多く、次いで「ない」が15.0%となっています。

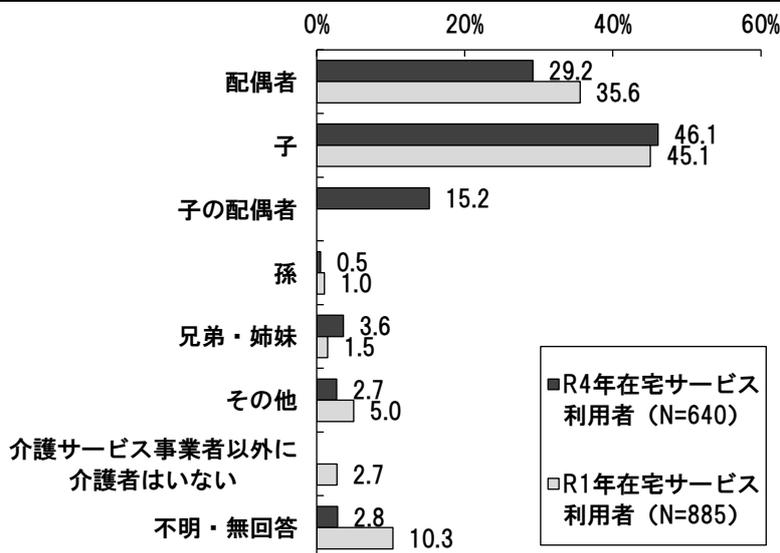


【問8において「ない」以外のいずれかを回答した人（現在ご家族やご親族から介護を受けている人）のみ】

①主な介護者の方は、どなたですか。

「子」が46.1%で最も多く、次いで「配偶者」が29.2%となっています。

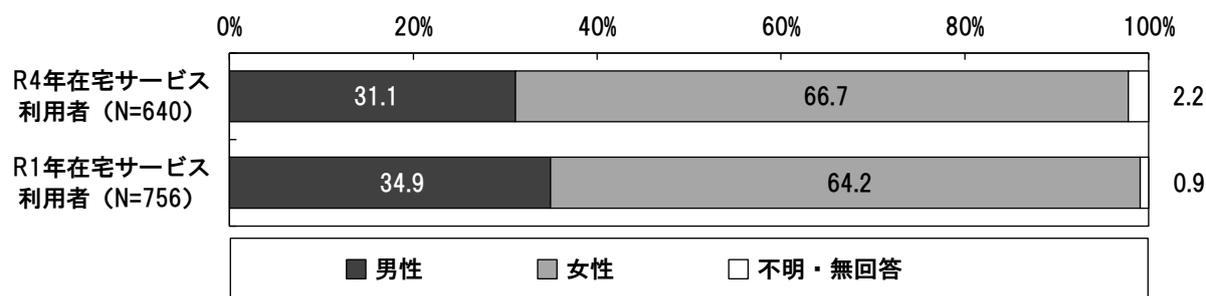
前回調査とは質問の形式が異なるため単純な比較はできませんが、「配偶者」がやや減少しています。



※R4年は家族や親族からの介護を受けている人のみへの質問。R1年の「子」には「子の配偶者」、「孫」には「孫の配偶者」を含む。「介護サービス事業者以外に介護者はいない」はR1年のみ。

②主な介護者の方の性別について、ご回答ください。

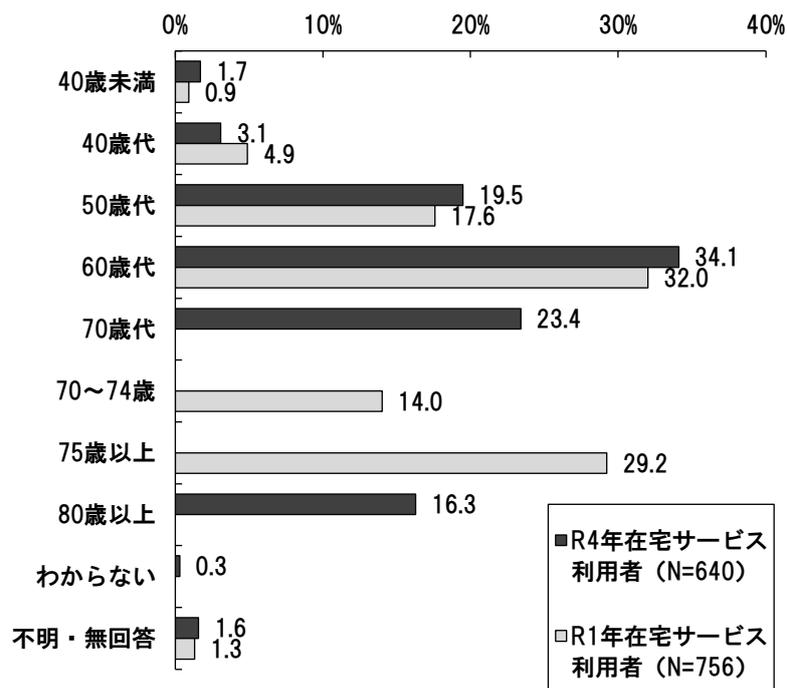
「男性」が31.1%、「女性」が66.7%となっています。



③主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。

「60歳代」が34.1%で最も多く、次いで「70歳代」が23.4%、「50歳代」が19.5%となっています。

前回とは選択肢の区分が異なりますが、70歳以上の回答の合計は、R1年43.2%、R4年39.7%で、やや減少しています。

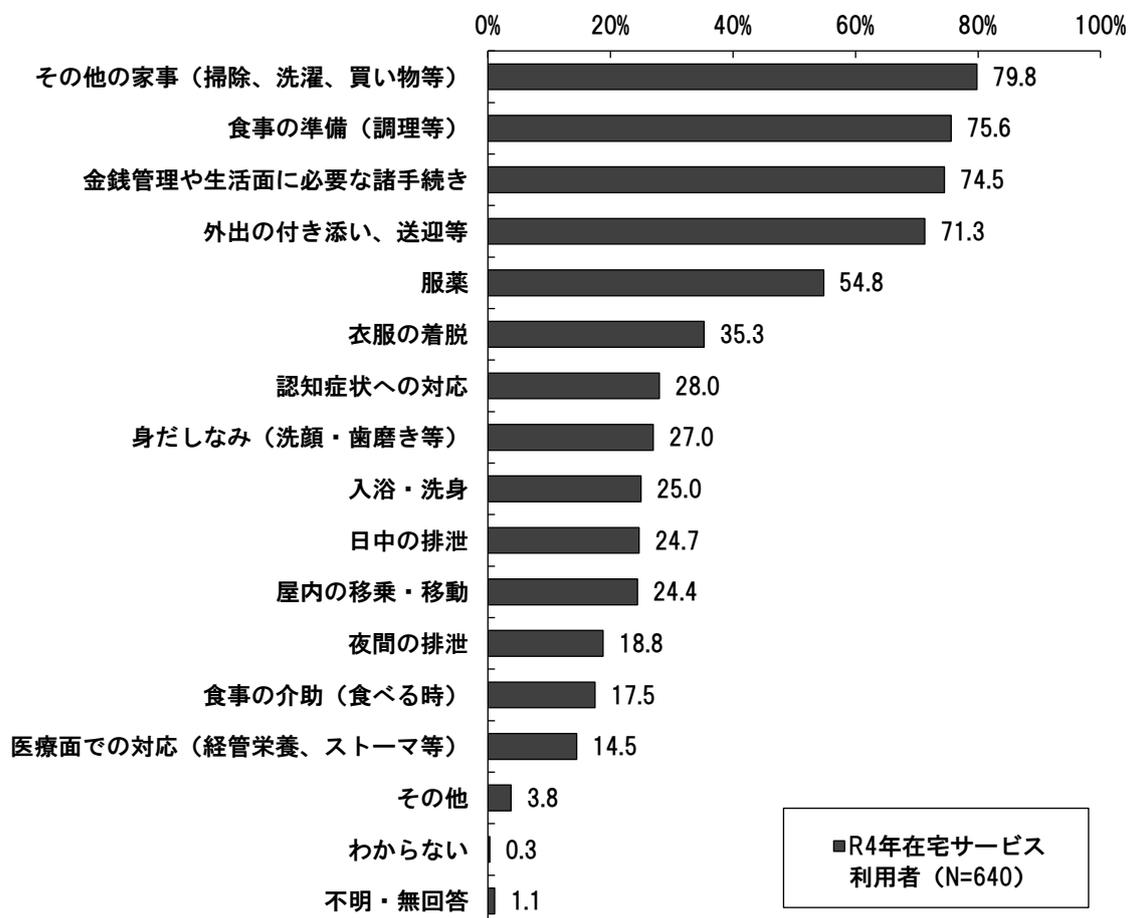


※R4年の「20歳未満」1件、20歳代4件、30歳代6件は合算して「40歳未満」と表記。「70~74歳」「75歳以上」の区分はR1年のみ。

④現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。【複数回答】

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が79.8%で最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」が75.6%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が74.5%、「外出の付き添い、送迎等」が71.3%となっています。

要介護度別に見ると、要介護度が上がるほど主な介護者が行っている介護が多くなっています。



■要介護度別に見た主な介護者が行っている介護等

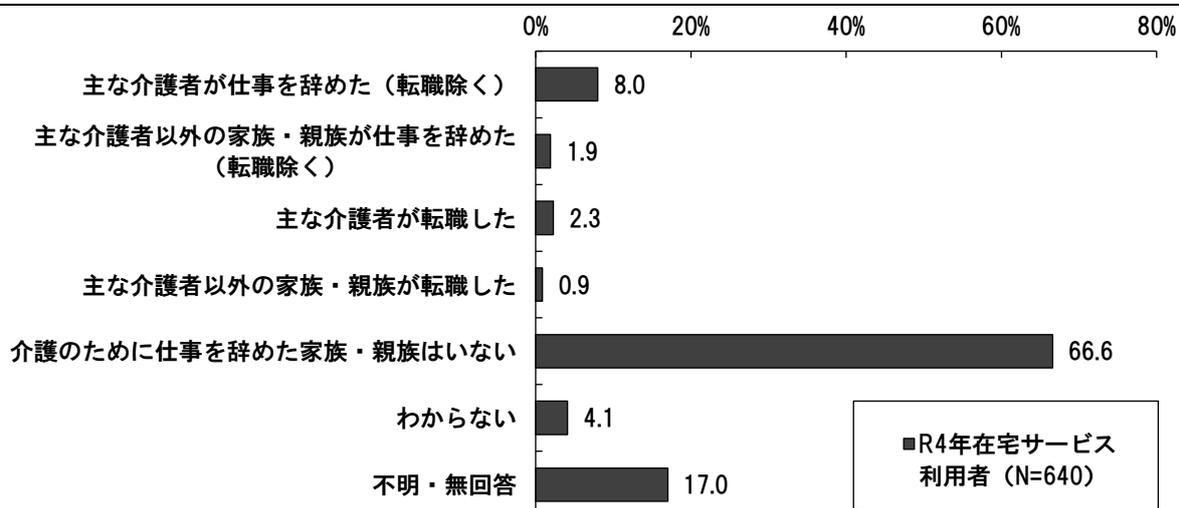
単位：％

	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
要支援1・2 (N=131)	0.0	0.8	0.8	4.6	2.3	2.3	5.3	44.3	8.4
要介護1 (N=310)	6.1	6.5	7.1	18.7	12.9	17.7	8.4	65.5	46.5
要介護2 (N=163)	17.8	12.9	14.1	28.8	22.1	36.2	20.9	64.4	47.2
要介護3 (N=113)	45.1	32.7	24.8	34.5	40.7	53.1	38.9	62.8	64.6
要介護4・5 (N=95)	71.6	51.6	53.7	25.3	65.3	71.6	60.0	58.9	77.9

	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	不明・無回答
要支援1・2 (N=131)	1.5	1.5	28.2	34.4	25.2	3.8	1.5	33.6
要介護1 (N=310)	30.3	11.3	66.8	70.3	69.7	3.5	0.0	12.3
要介護2 (N=163)	20.2	13.5	73.6	75.5	72.4	4.3	0.0	9.8
要介護3 (N=113)	29.2	11.5	77.0	80.5	75.2	3.5	0.9	10.6
要介護4・5 (N=95)	31.6	34.7	75.8	73.7	70.5	3.2	2.1	7.4

⑤ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が66.6%で最も多くなっています。「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は8.0%となっており、主な介護者以外の退職・転職を含めて、何らかの影響があったという回答は13.1%となっています。



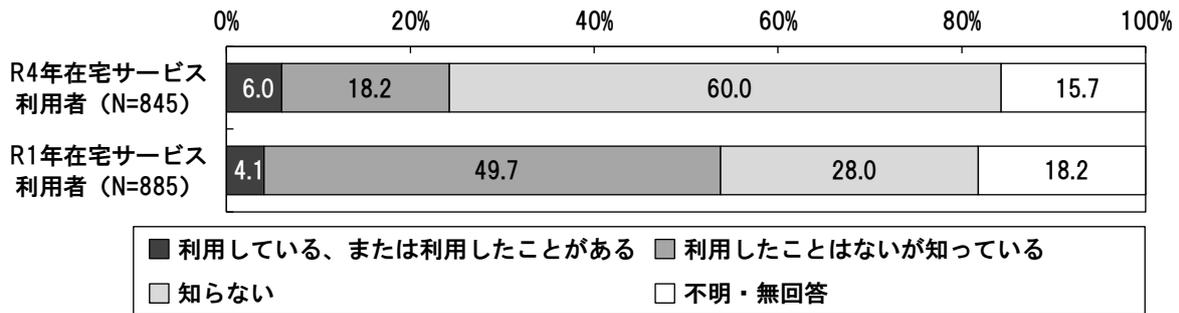
3. 高齢者福祉・介護サービスについて

問9. 市が実施している介護保険対象外のサービスの利用状況をお答えください。

① さわやか（ごみ）収集

「知らない」が60.0%で最も多くなっています。「利用している、または利用したことがある」は6.0%となっています。

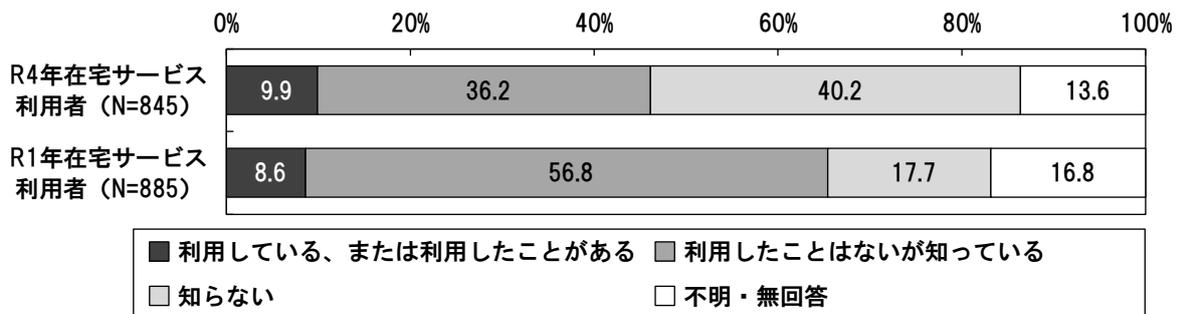
前回調査と比べると、「知らない」が増加し、「利用したことはないが知っている」が減少しています。



② 見守り配食サービス

「知らない」が40.2%で最も多くなっています。「利用している、または利用したことがある」は9.9%となっています。

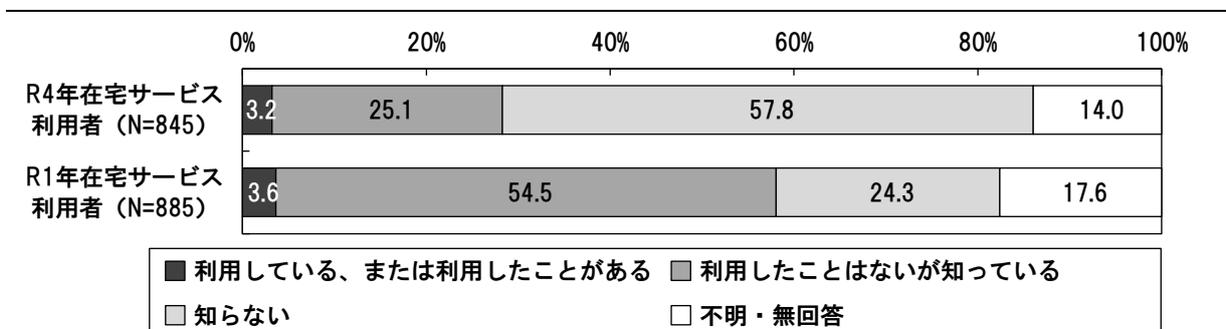
前回調査と比べると、「知らない」が増加し、「利用したことはないが知っている」が減少しています。



③ 緊急通報システム設置（貸与）

「知らない」が57.8%で最も多くなっています。「利用している、または利用したことがある」は3.2%となっています。

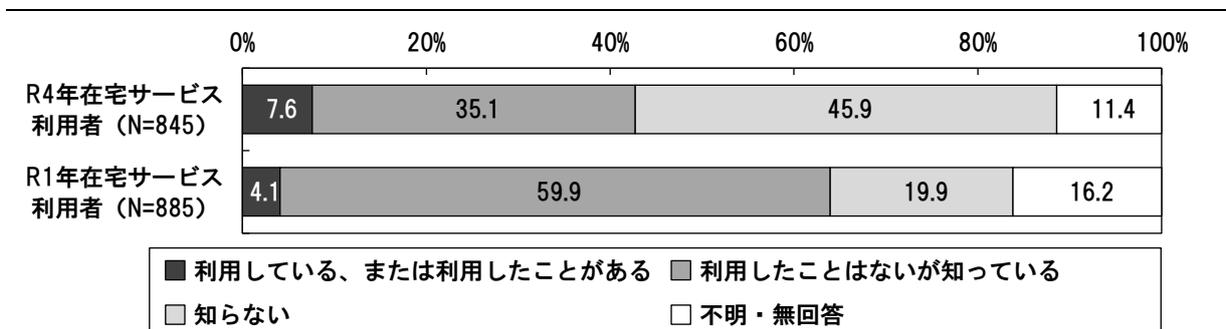
前回調査と比べると、「知らない」が増加し、「利用したことはないが知っている」が減少しています。



④ 家具転倒防止金具の取付け

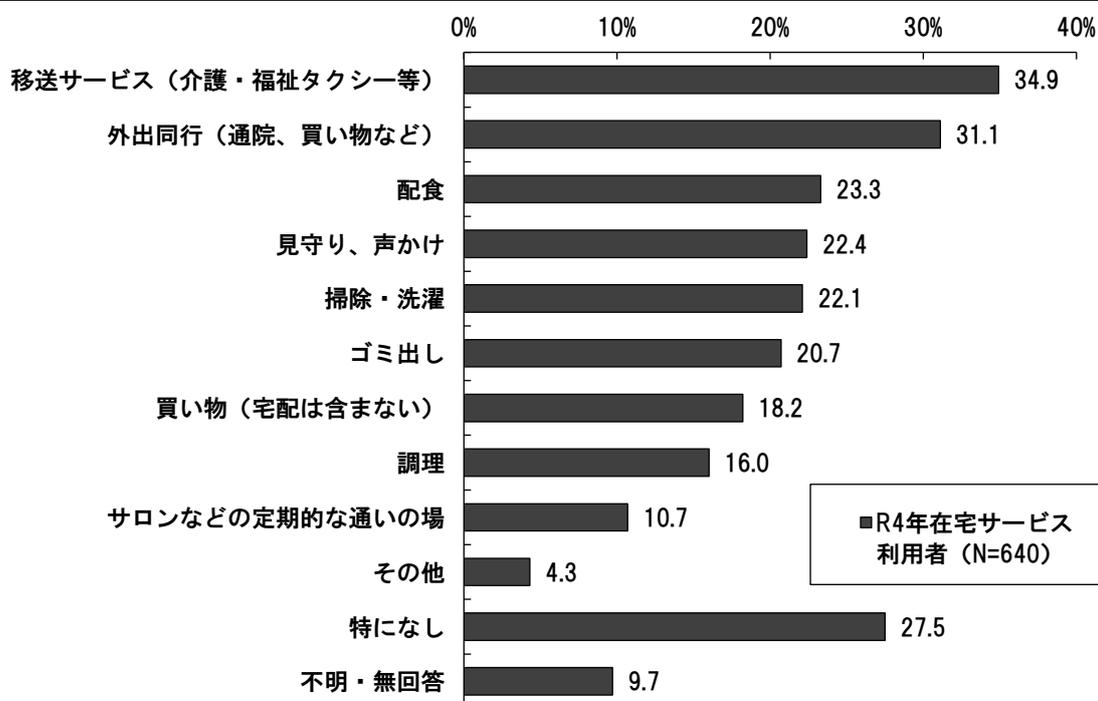
「知らない」が45.9%で最も多くなっています。「利用している、または利用したことがある」は7.6%となっています。

前回調査と比べると、「利用している、または利用したことがある」「知らない」が増加し、「利用したことはないが知っている」が減少しています。



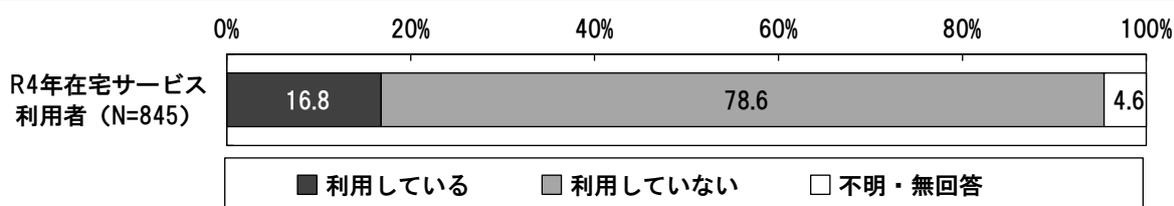
問 10. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。【複数回答】

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 34.9%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 31.1%となっています。



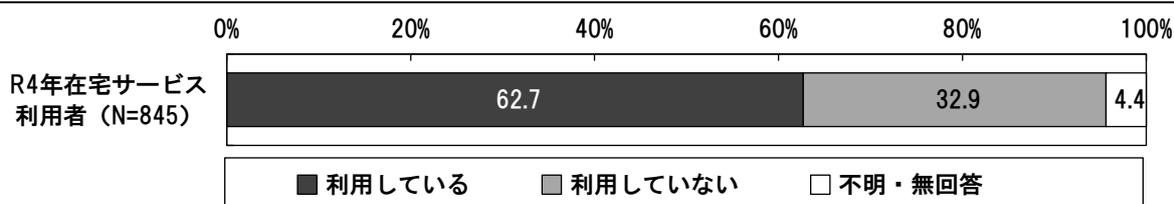
問 11. 現在、訪問診療を利用していますか。

「利用している」が 16.8%となっています。



問 12. 現在、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用していますか。

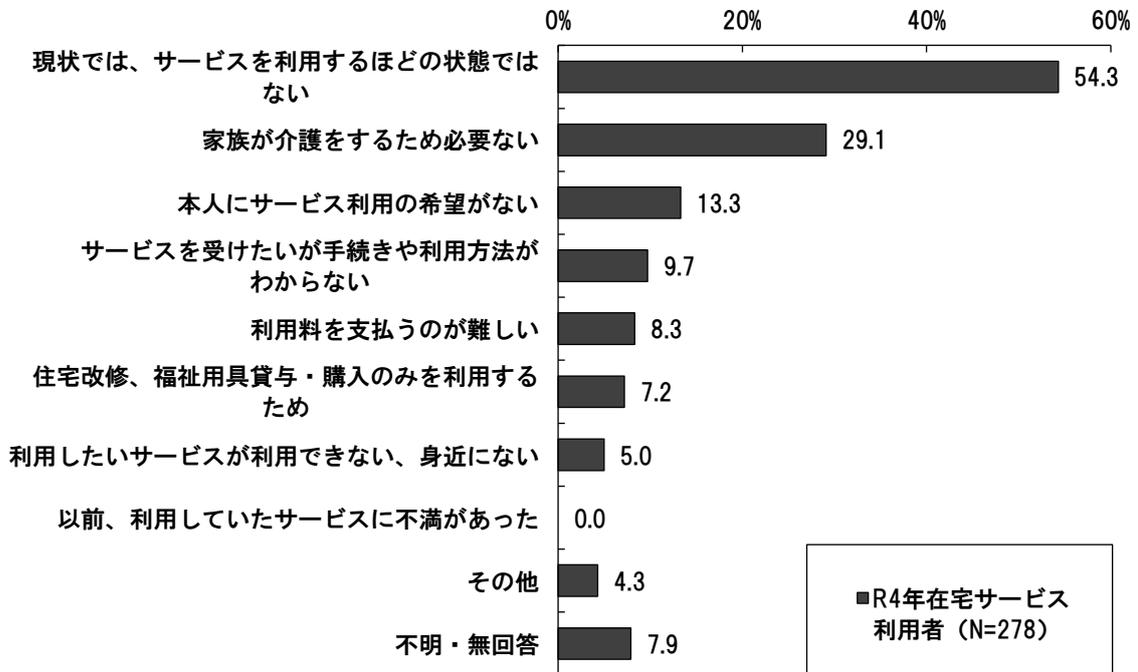
「利用している」が 62.7%となっています。



【問12において「利用していない」と回答した人のみ】

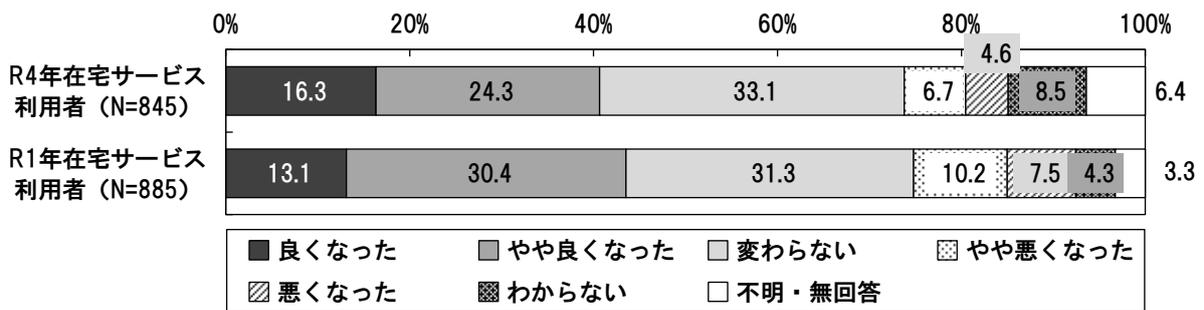
①利用していない理由は何ですか。【複数回答】

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が54.3%で最も多く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が29.1%となっています。



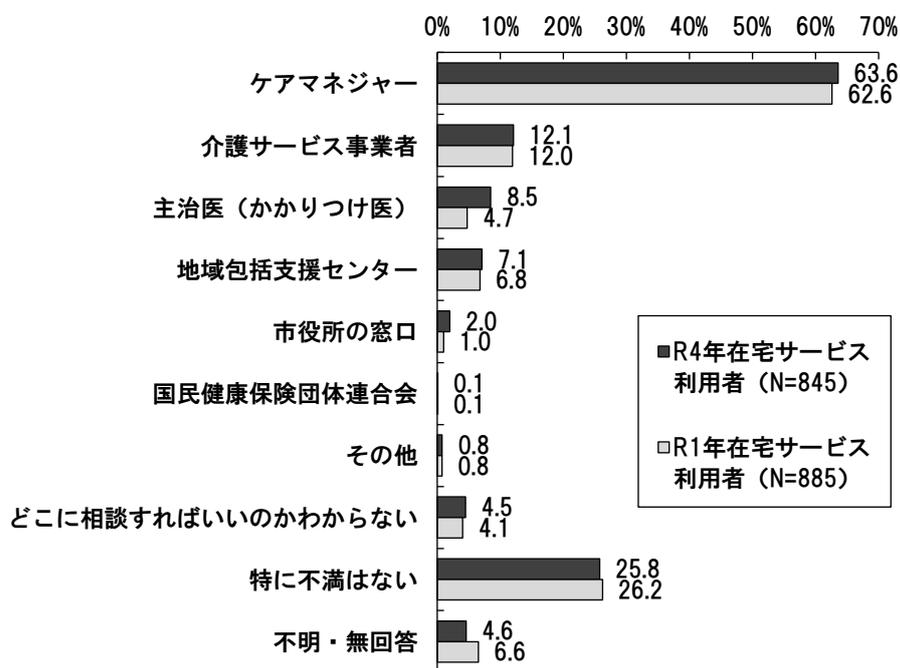
問13. 介護サービスを利用する前と比べて、身体の状態は良くなりましたか。

「変わらない」が33.1%で最も多く、次いで「やや良くなった」が24.3%となっています。



問 14. 介護サービスに不満があるとき、どこに相談していますか。

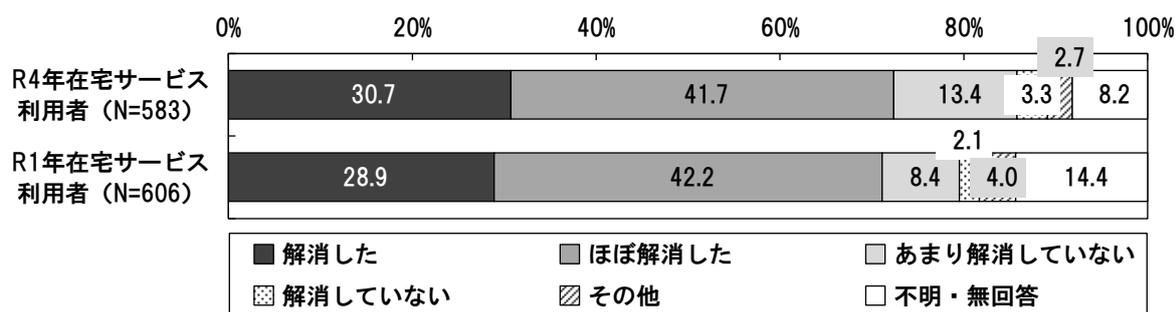
「特に不満はない」を除くと、「ケアマネジャー」が63.6%で最も多く、次いで「介護サービス事業者」が12.1%となっています。



【問 14 において「どこに相談すればいいのかわからない」「特に不満はない」以外を回答した人のみ】

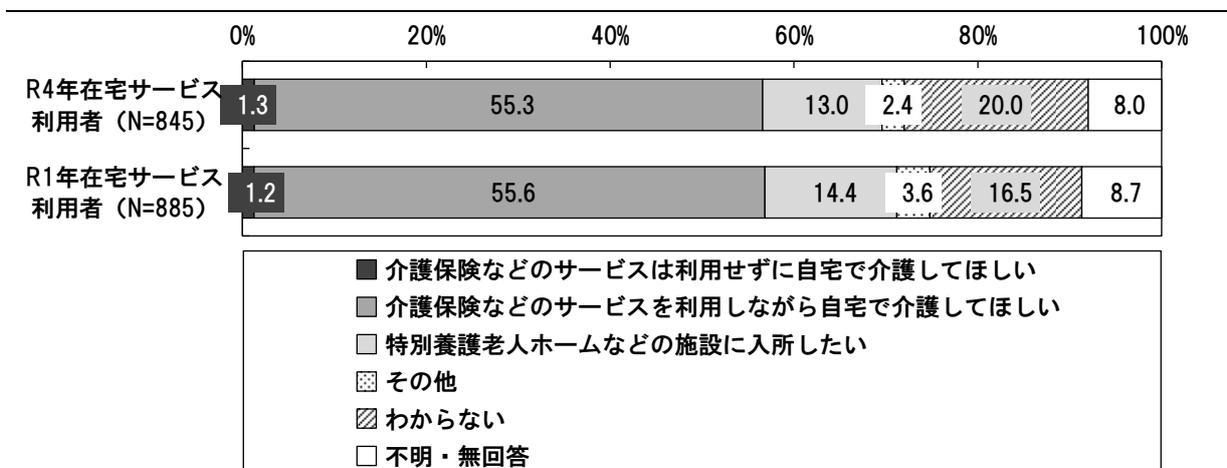
① 相談後、不満は解消しましたか。

「解消した」が30.7%、「ほぼ解消した」が41.7%となっています。一方、「あまり解消していない」または「解消していない」という回答は、16.7%となっており、前回調査よりやや増加しています。



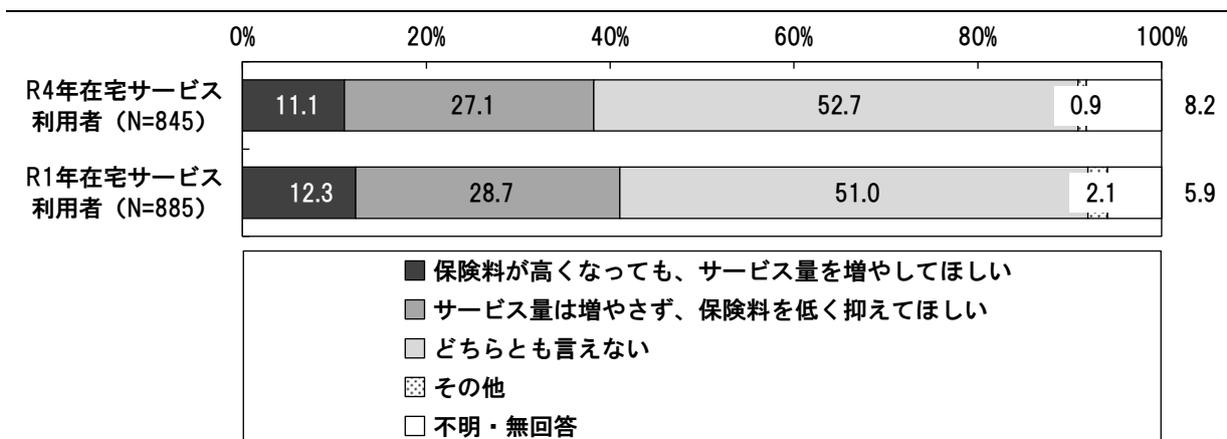
問 15. 今後、どのように介護を受けたいですか。

「介護保険などのサービスを利用しながら自宅で介護してほしい」が 55.3%で最も多く、次いで「わからない」が 20.0%となっています。



問 16. 介護保険料は、市全体の介護サービスの利用量に比例して決まります。あなたの考えは次のどれに近いですか。

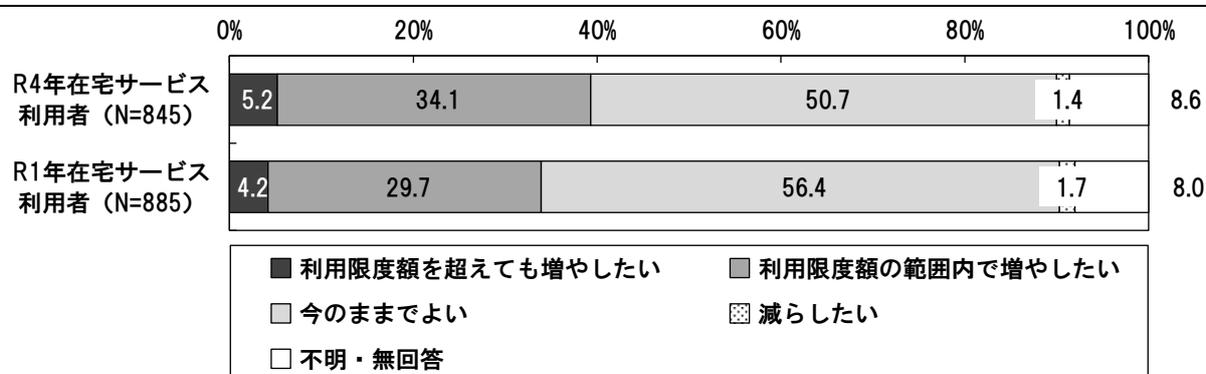
「どちらとも言えない」が 52.7%で最も多く、次いで「サービス量は増やさず、保険料を低く抑えてほしい」が 27.1%となっています。



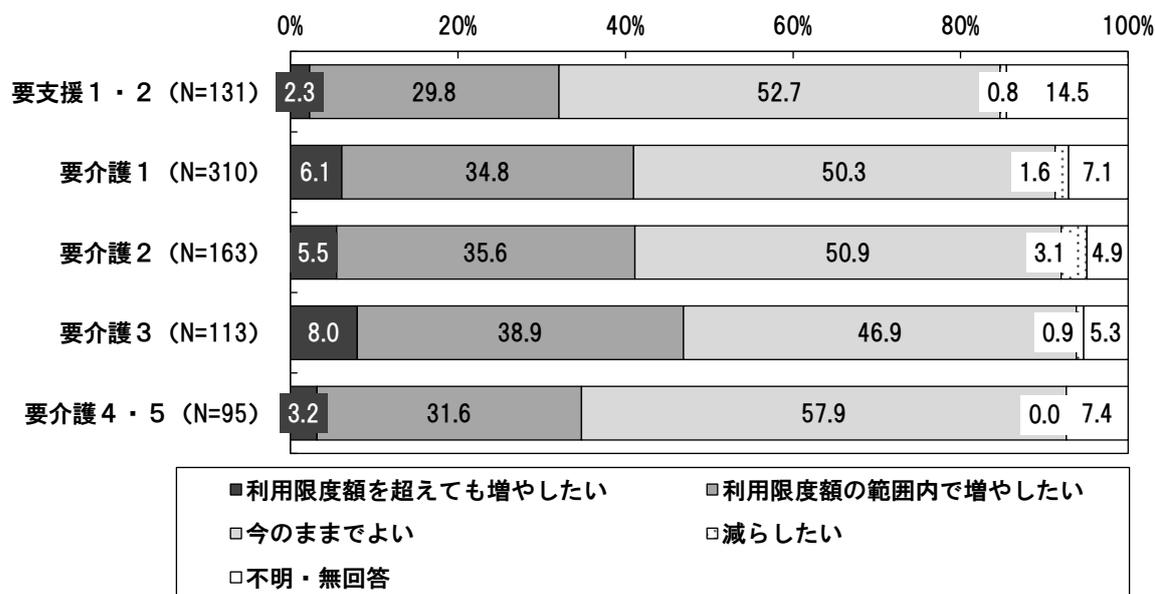
問 17. 今後の介護サービスの利用をどう考えていますか。

「今のままでよい」が50.7%で最も多く、次いで「利用限度額の範囲内で増やしたい」が34.1%となっています。

要介護度別に見ると、要介護3までは介護度が上がるほど増やしたいという回答が増加していますが、要介護4・5ではやや少なくなっています。



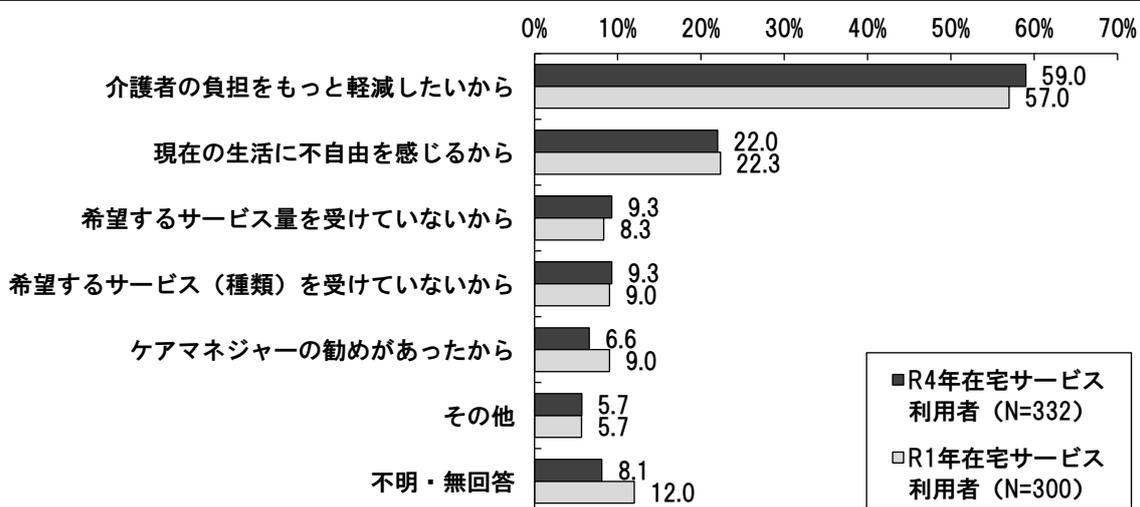
■要介護度別に見た今後の介護サービスの利用についての考え



【問 17 において「利用限度額を超えても増やしたい」または「利用限度額の範囲内で増やしたい」と回答した人のみ】

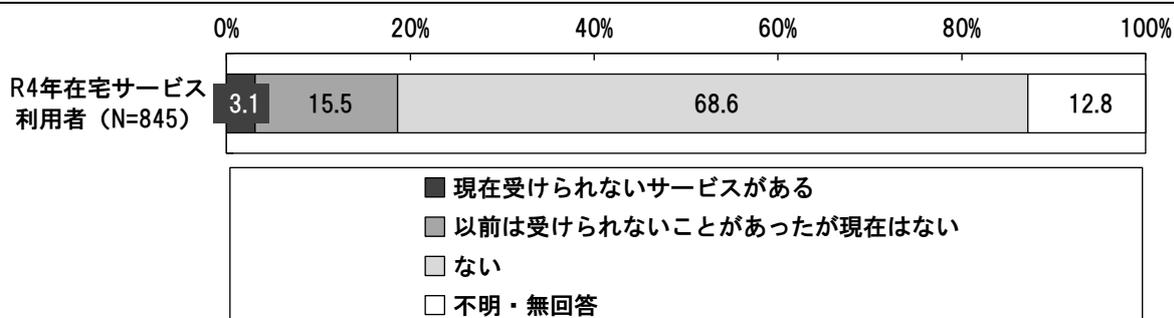
①介護サービスの利用を増やしたいと思う理由は何ですか。【複数回答】

「介護者の負担をもっと軽減したいから」が59.0%で最も多く、次いで「現在の生活に不自由を感じるから」が22.0%となっています。



問 18. 感染症拡大の影響で、必要な介護サービスを受けられないことがありますか。

「現在受けられないサービスがある」が3.1%、「以前は受けられないことがあったが現在は無い」が15.5%となっており、18.6%が感染症拡大の影響で必要な介護サービスを受けられないことがあったと回答しています。

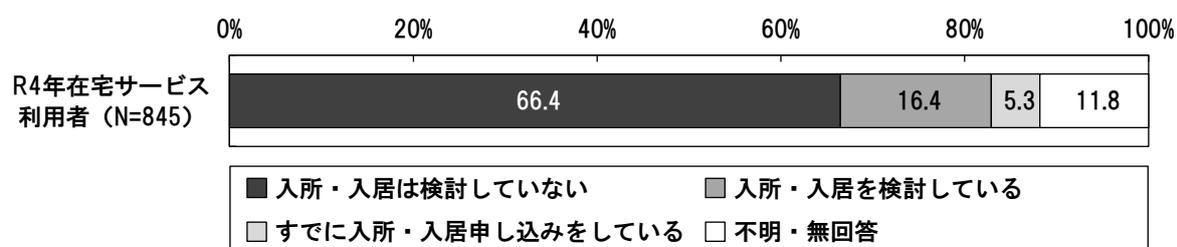


4. 施設入所意向について

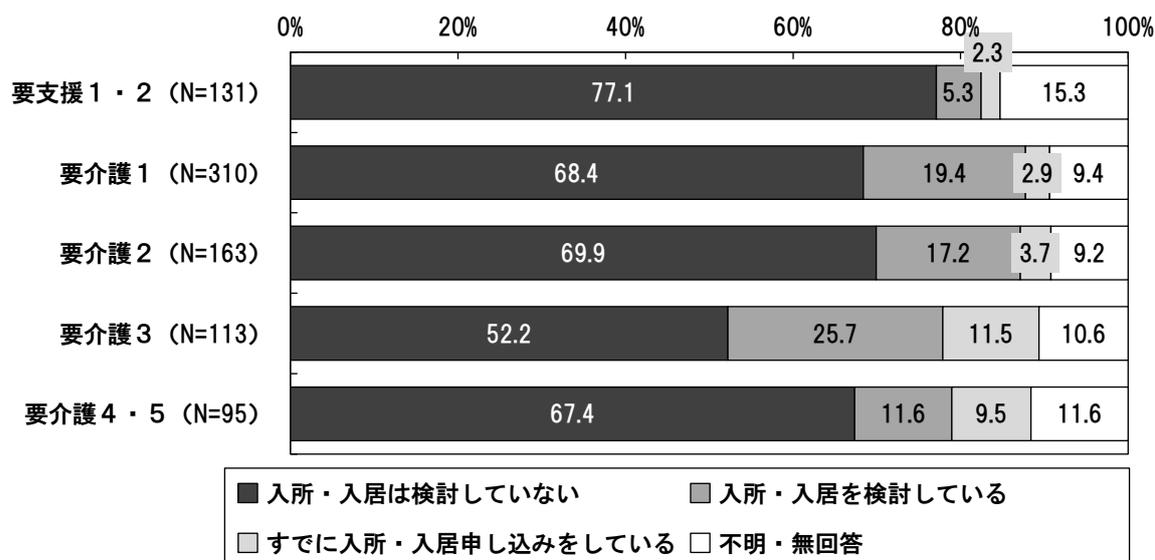
問 19. 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

「入所・入居は検討していない」が 66.4%で最も多く、「入所・入居を検討している」が 16.4%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 5.3%となっています。

要介護度別に見ると、要介護3で「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居申し込みをしている」が多くなっています。



■ 要介護度別に見た施設への入所・入居の検討状況

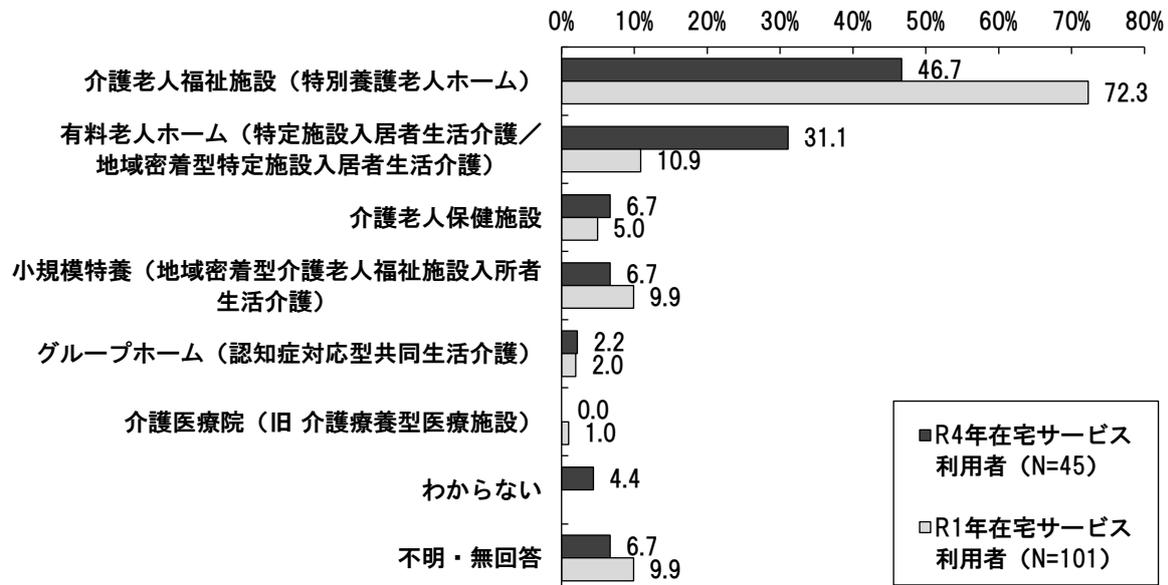


【問 19 において「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答した人のみ】

①申し込みをしている施設をお答えください。

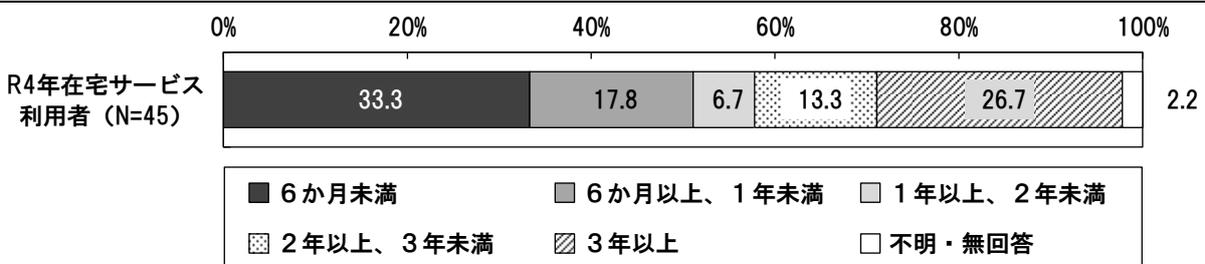
「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が 46.7% で最も多く、次いで「有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護／地域密着型特定施設入居者生活介護）」が 31.1% となっています。

前回調査と比べると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が減少し、「有料老人ホーム」が増加しています。



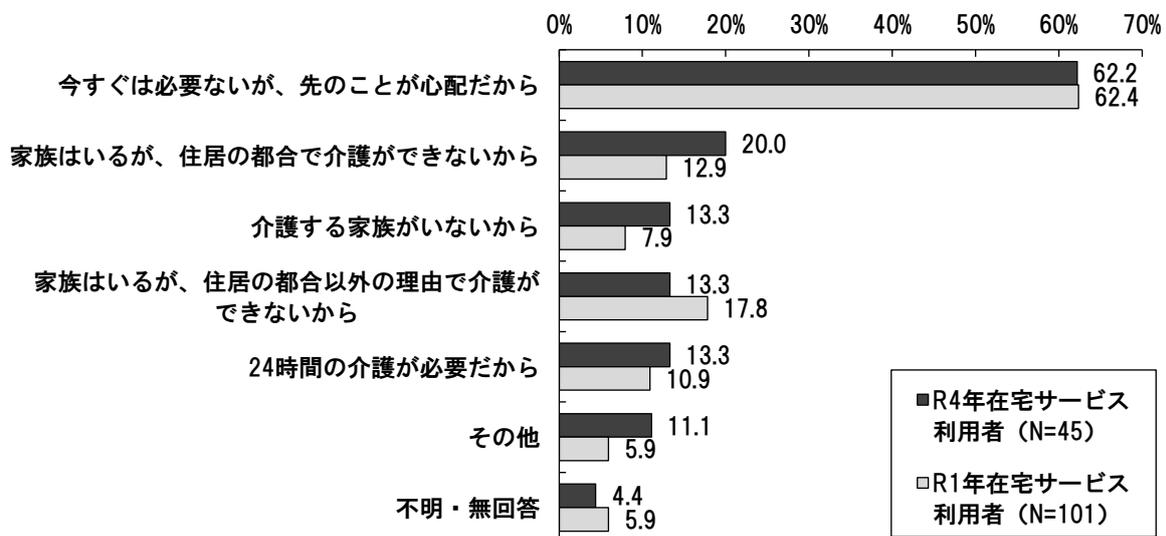
②最初の入所・入居の申し込みから、どれくらいたちましたか。

「6か月未満」が 33.3% で最も多い一方、「3年以上」が 26.7% で 2 番目に多くなっています。



③施設への入所を希望されている理由はどれですか。

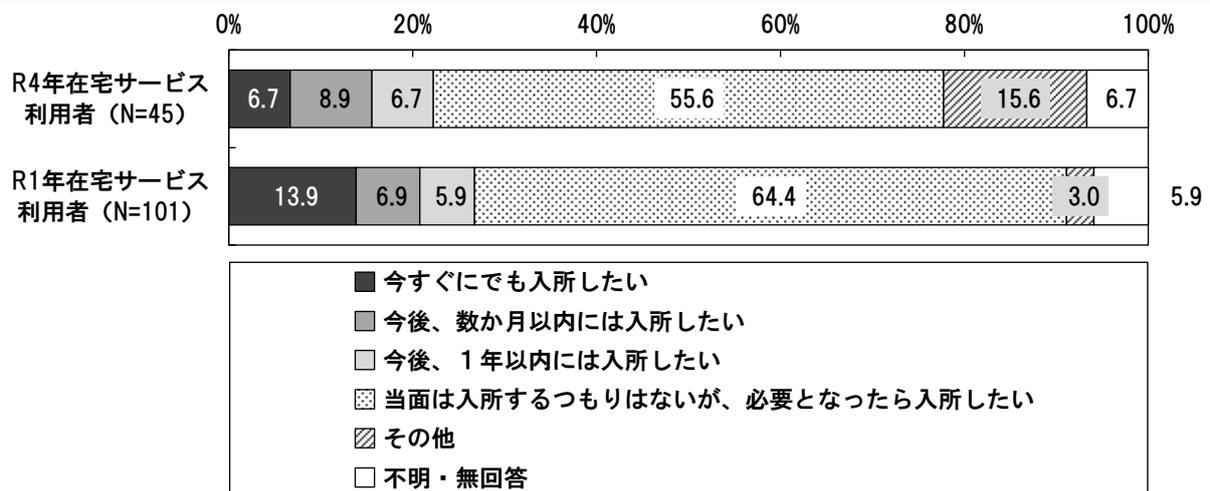
「今すぐは必要ないが、先のことが心配だから」が62.2%で最も多く、次いで「家族はいるが、住居の都合で介護ができないから」が20.0%となっています。



④施設への入所を希望する時期はどれですか。

「当面は入所するつもりはないが、必要になったら入所したい」が55.6%で最も多く、次いで「その他」が15.6%となっています。

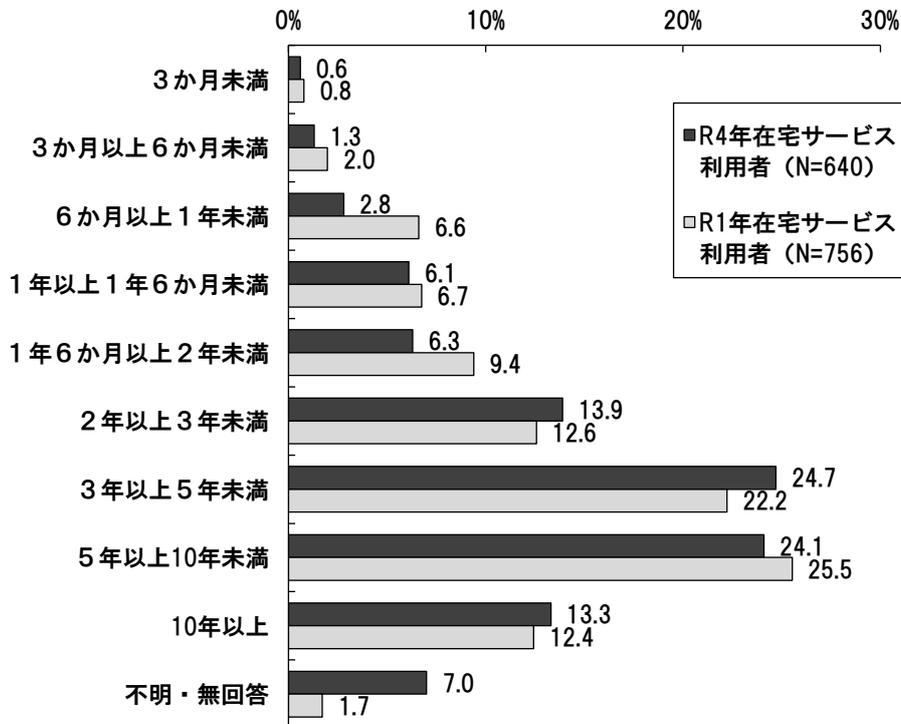
前回調査と比べると、「今すぐにでも入所したい」「当面は入所するつもりはないが、必要になったら入所したい」が減少し、「その他」が増加しています。



5. 調査対象者を介護している人について

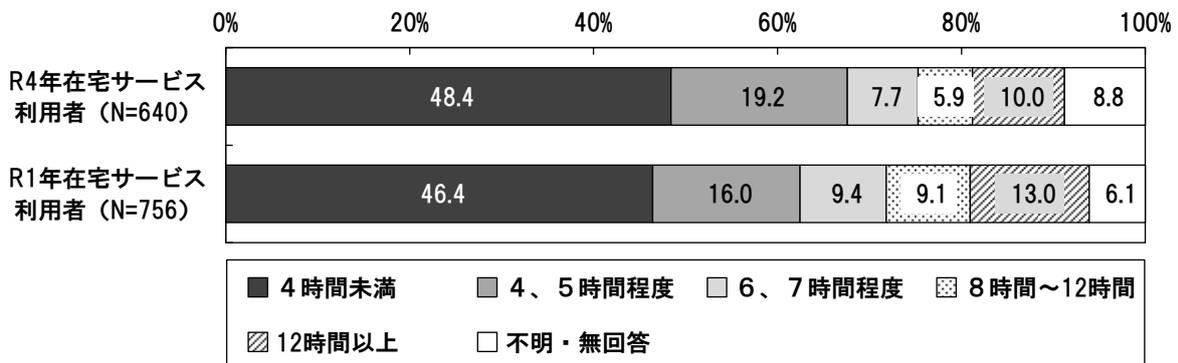
問 20. 介護をするようになってから、どのくらいになりますか。

「3年以上5年未満」が24.7%で最も多く、次いで「5年以上10年未満」が24.1%となっています。

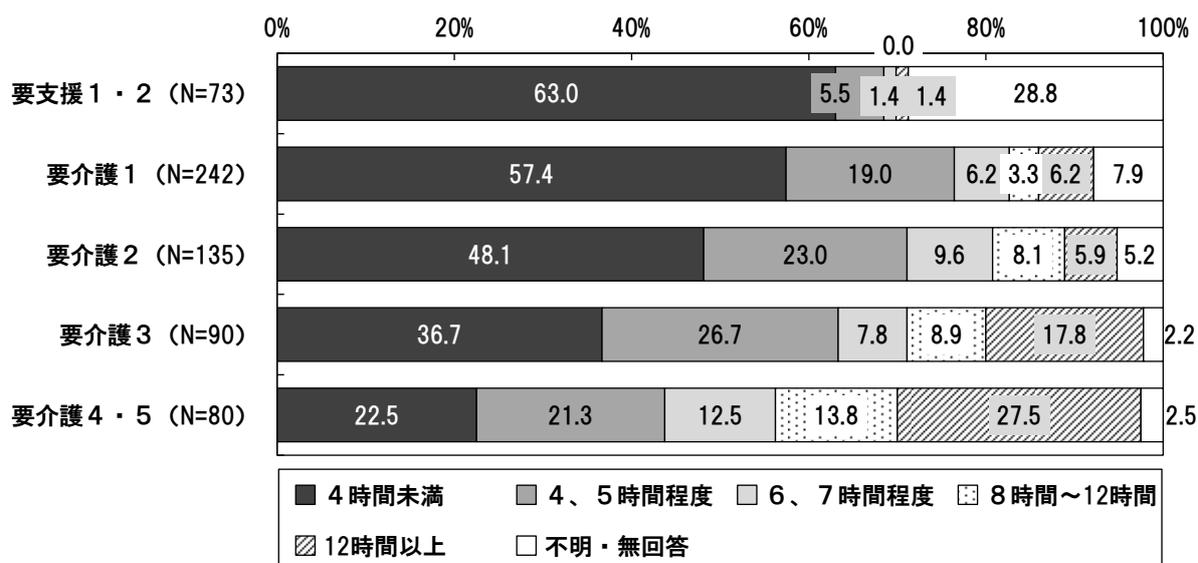


問 21. 主に介護をしている時間は、1日あたり何時間くらいですか。

「4時間未満」が48.4%で最も多く、次いで「4、5時間程度」が19.2%となっています。要介護度別に見ると、要介護度が上がるほど介護をしている時間が長くなっています。

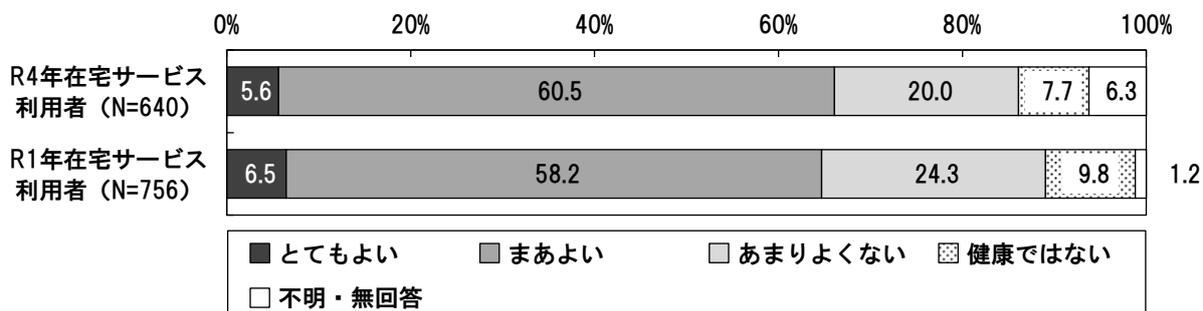


■要介護度別に見た介護をしている時間



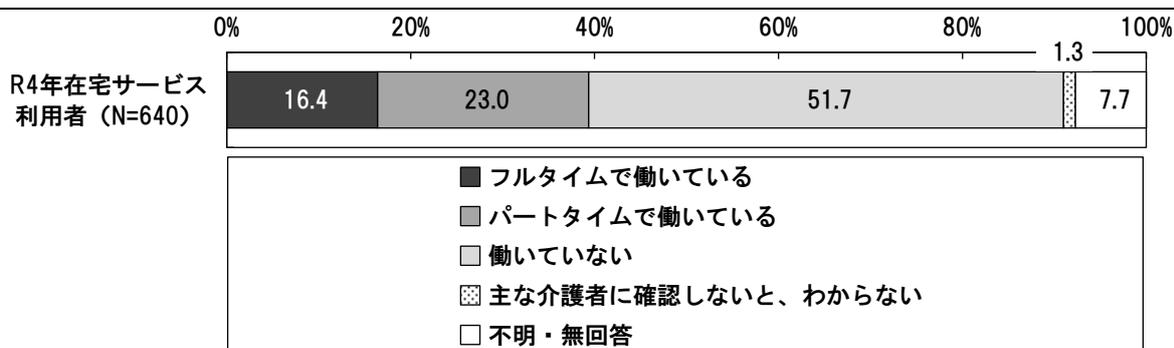
問 22. 主に介護をしている方の健康状態は、どれにあてはまりますか。

「まあよい」が60.5%で最も多くなっています。「あまり良くない」が20.0%、「健康ではない」が7.7%で、約3割が健康状態が良くないと回答しています。



問 23. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。

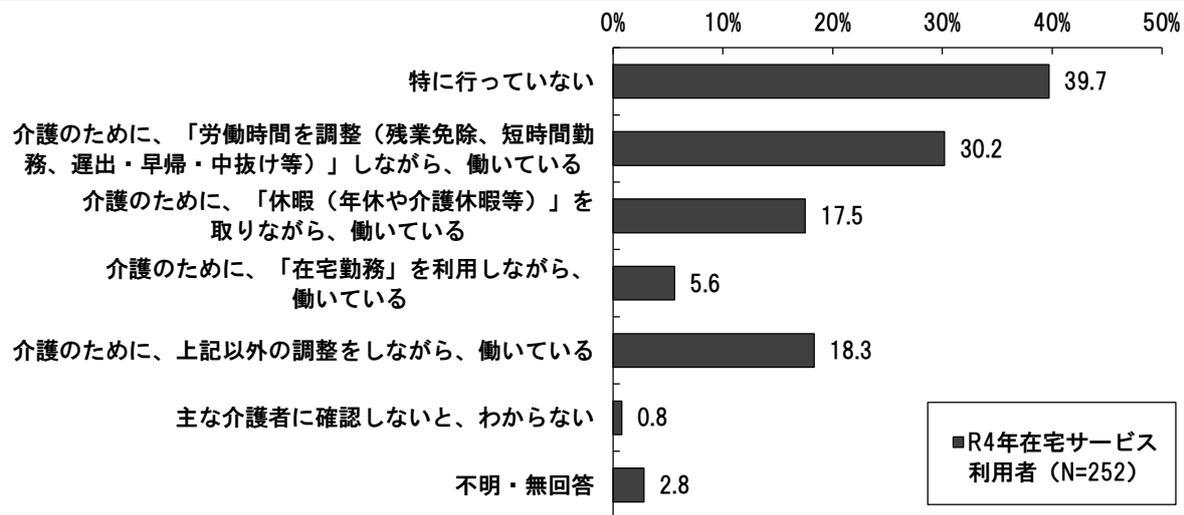
「フルタイムで働いている」が16.4%、「パートタイムで働いている」が23.0%となっており、主な介護者の39.4%が就労しています。



【問 23 において「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した人のみ】

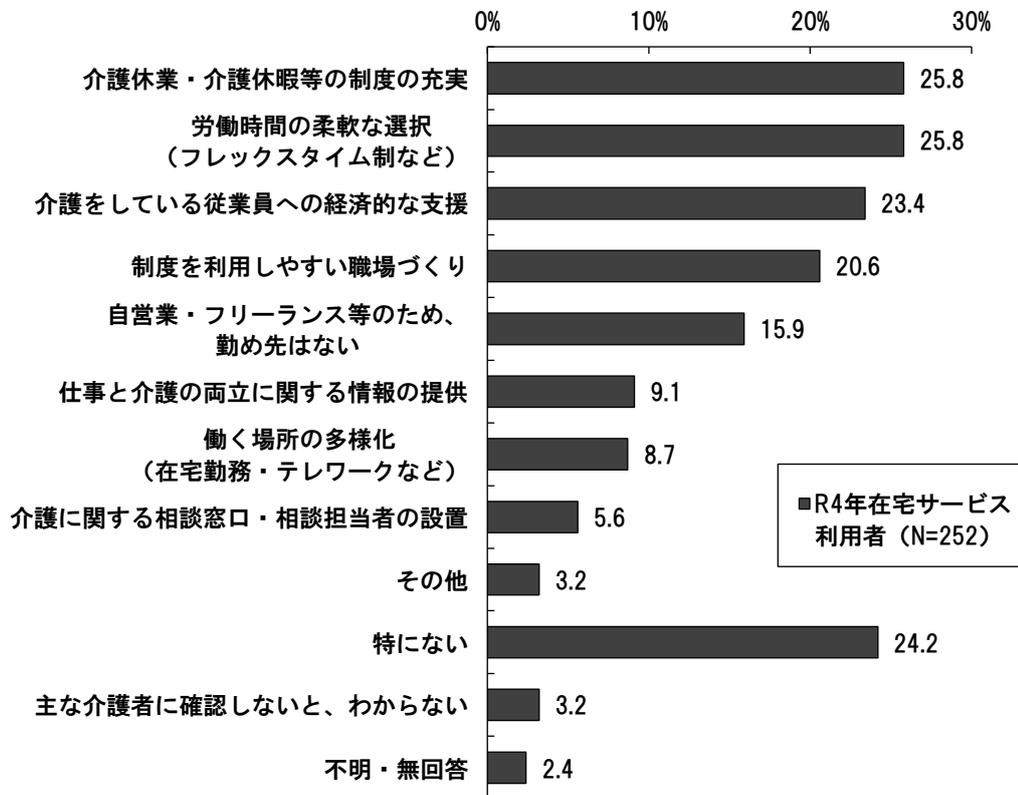
①主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか。【複数回答】

「特に行っていない」が 39.7%で最も多く、次いで「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が 30.2%となっています。



②主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。【3つまで複数回答】

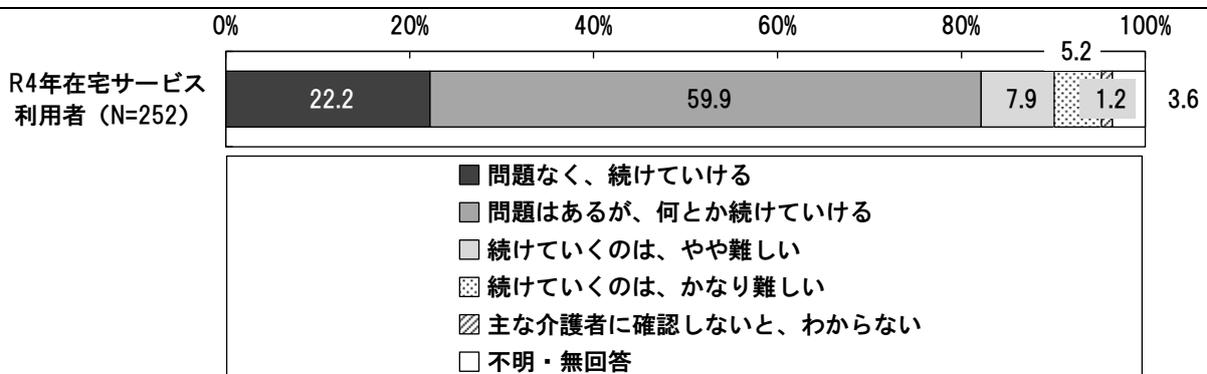
「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が25.8%で最も多くなっています。



③ 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

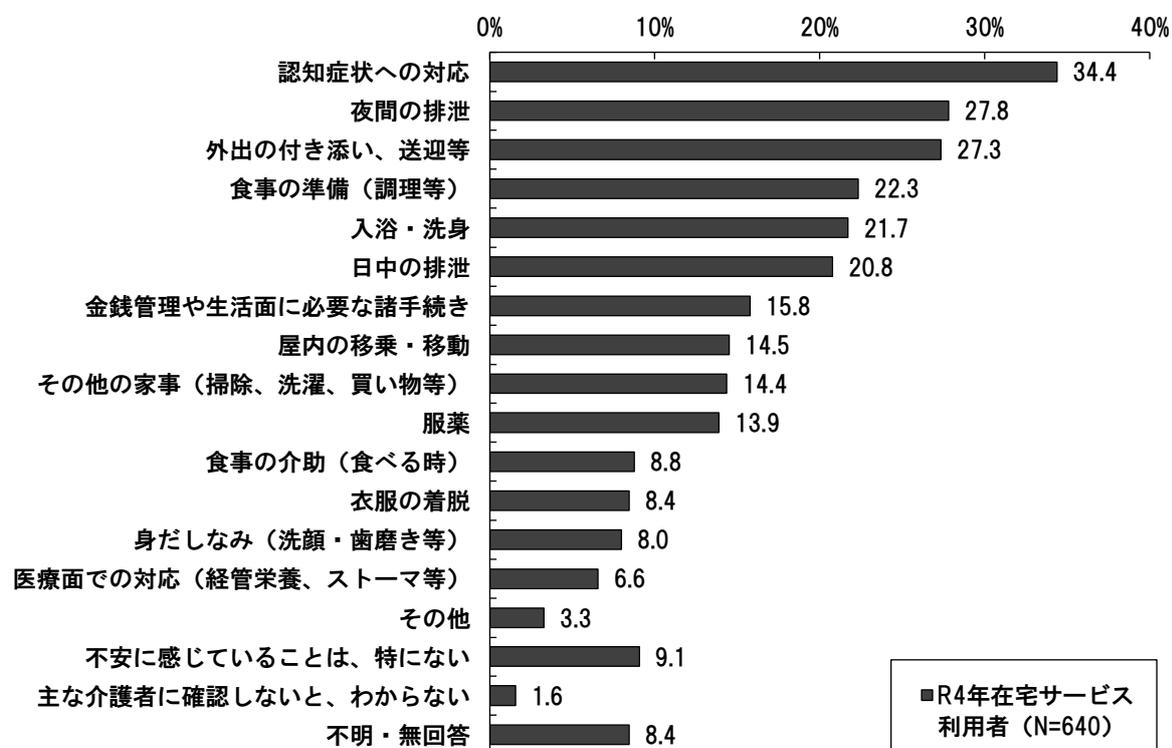
「問題はあるが、何とか続けていける」が59.9%、「問題なく、続けていける」と合わせると約8割は続けていけると回答しています。

他方、続けていくことに難しさを感じている回答は13.1%となっています。



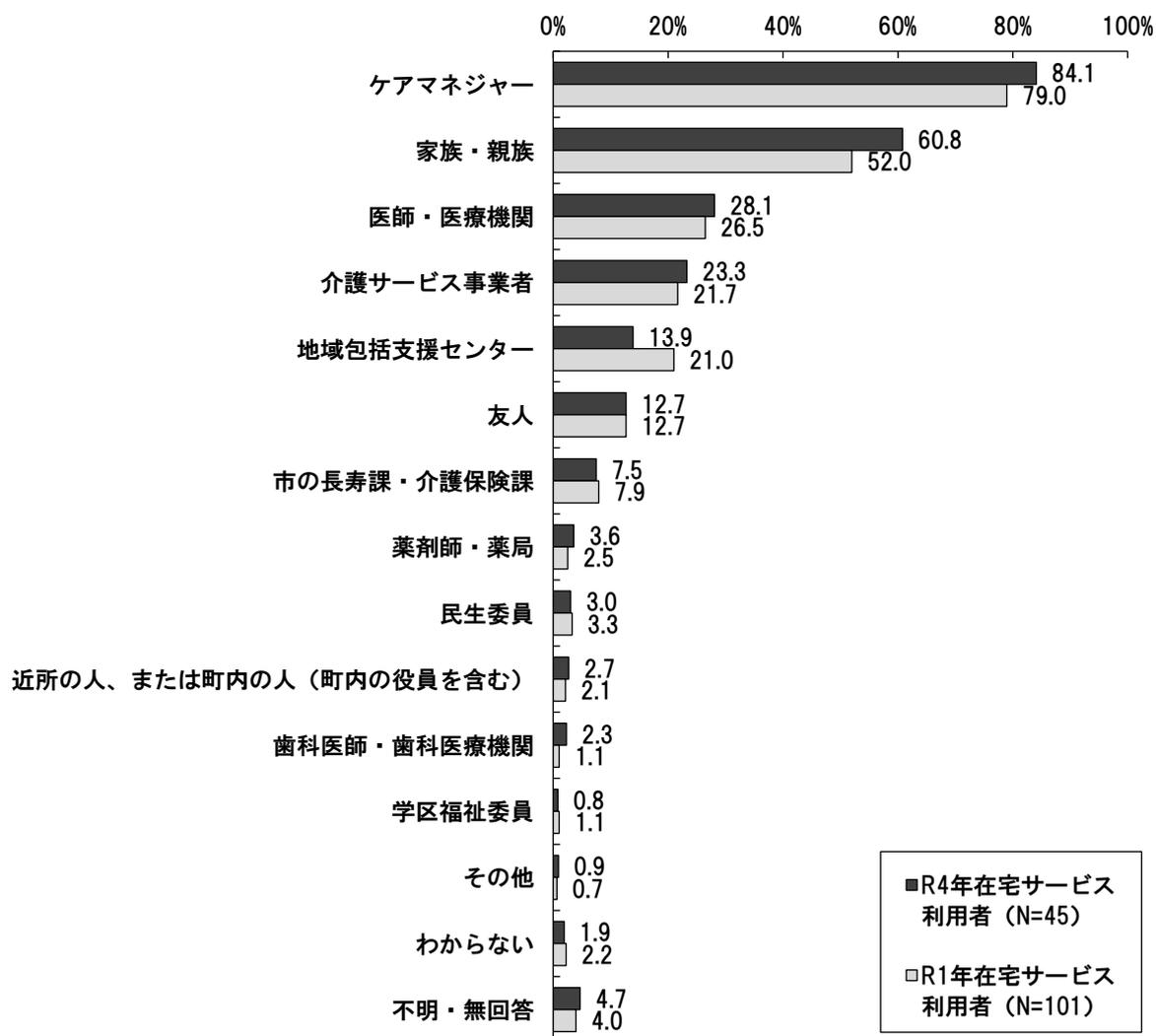
問 24. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。【3つまで複数回答】

「認知症状への対応」が34.4%で最も多く、次いで「夜間の排泄」が27.8%、「外出の付き添い、送迎等」が27.3%となっています。



問 25. 主に介護をしている方は、介護のことで相談するとしたら、誰に（どこに）相談しますか。【複数回答】

「ケアマネジャー」が84.1%で最も多く、次いで「家族・親族」が60.8%となっています。

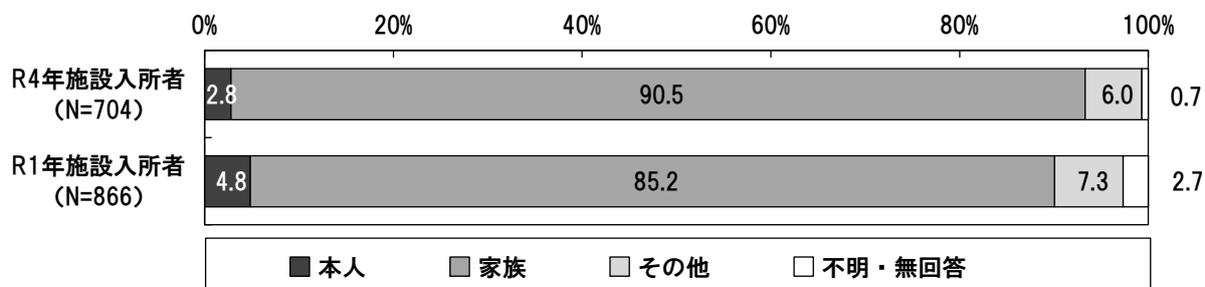


V 施設入所者の調査結果

1. 調査対象者について

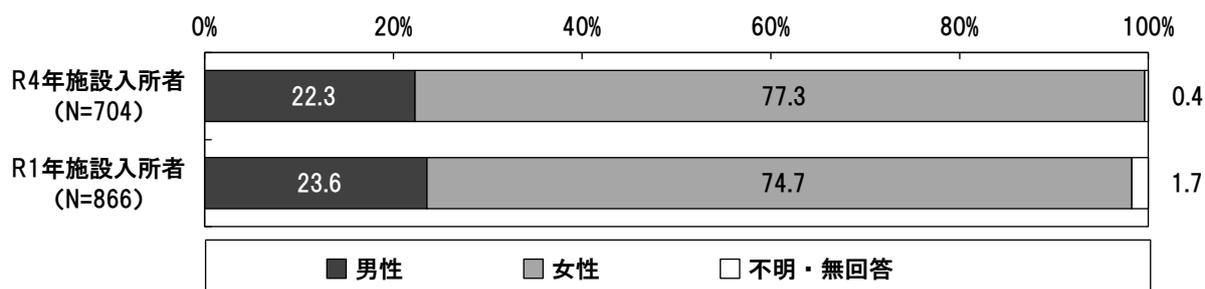
問1. 調査票の記入者は、ご本人（宛名の方）からみて、どれにあてはまりますか。

「家族」が90.5%で最も多く、「本人」は2.8%となっています。



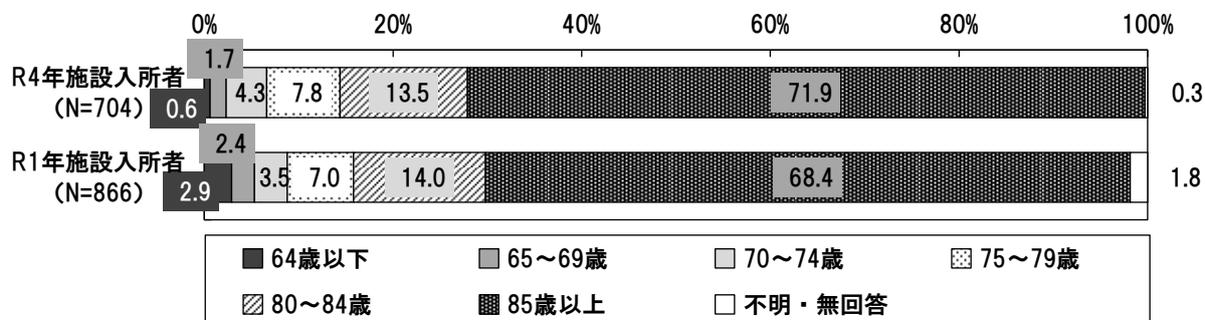
問2. 性別をお答えください。

「男性」が22.3%、「女性」が77.3%となっています。



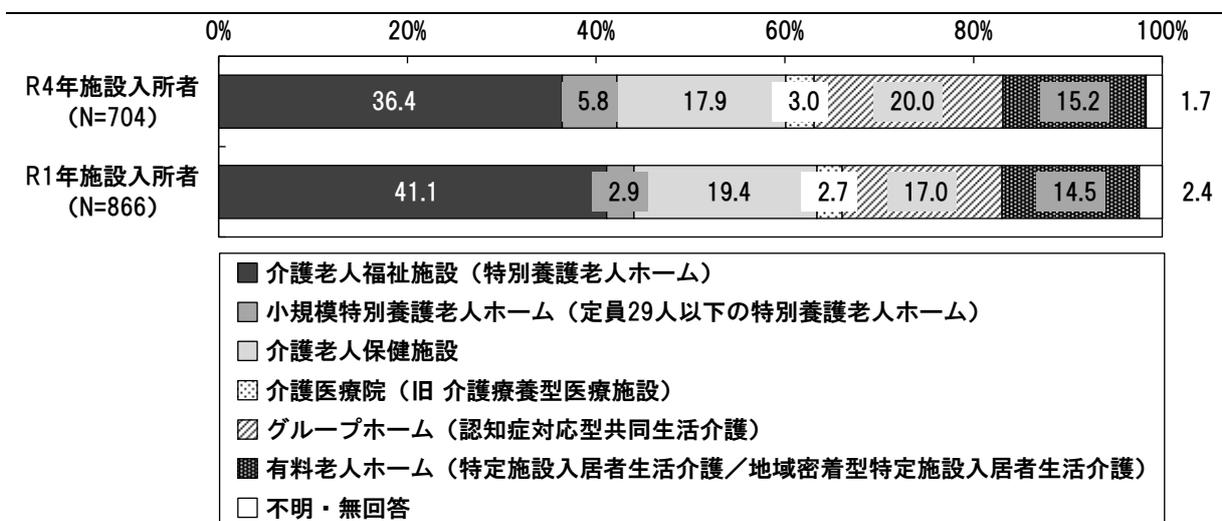
問3. 年齢（令和4年11月1日現在）をお答えください。

「85歳以上」が71.9%で最も多く、次いで「80～84歳」が13.5%となっています。



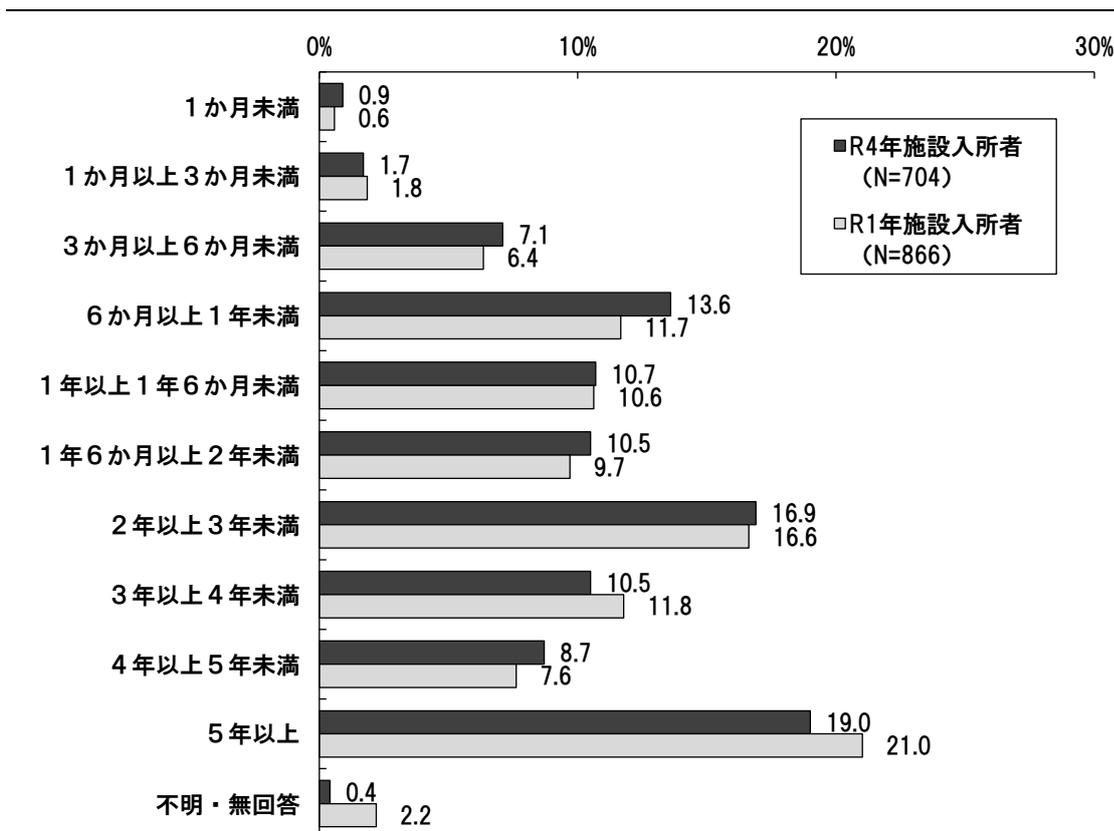
問4. 現在、入所されている施設は、どの施設ですか。

「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が36.4%で最も多く、次いで「グループホーム（認知症対応型共同生活介護）」が20.0%となっています。



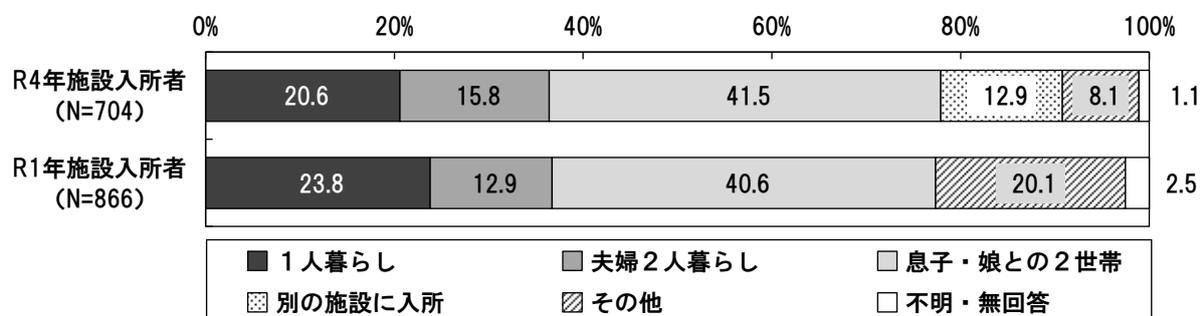
問5. 施設に入所（入院）してから、どのくらいになりますか。

「5年以上」が19.0%で最も多く、次いで「2年以上3年未満」が16.9%となっています。



問6. 現在の施設に入所する前の状況をお答えください。

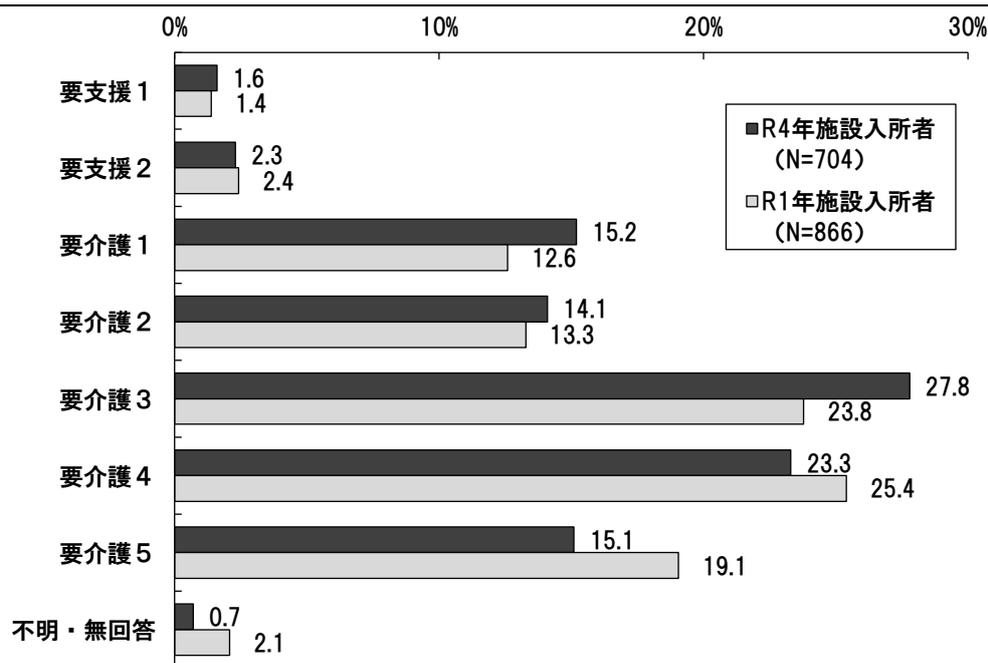
「息子・娘との2世帯」が41.5%で最も多く、次いで「1人暮らし」が20.6%となっています。「別の施設に入所」が12.9%となっており、施設から施設への住み替えがあることがうかがえます。



※「別の施設に入所」はR4年調査のみ。

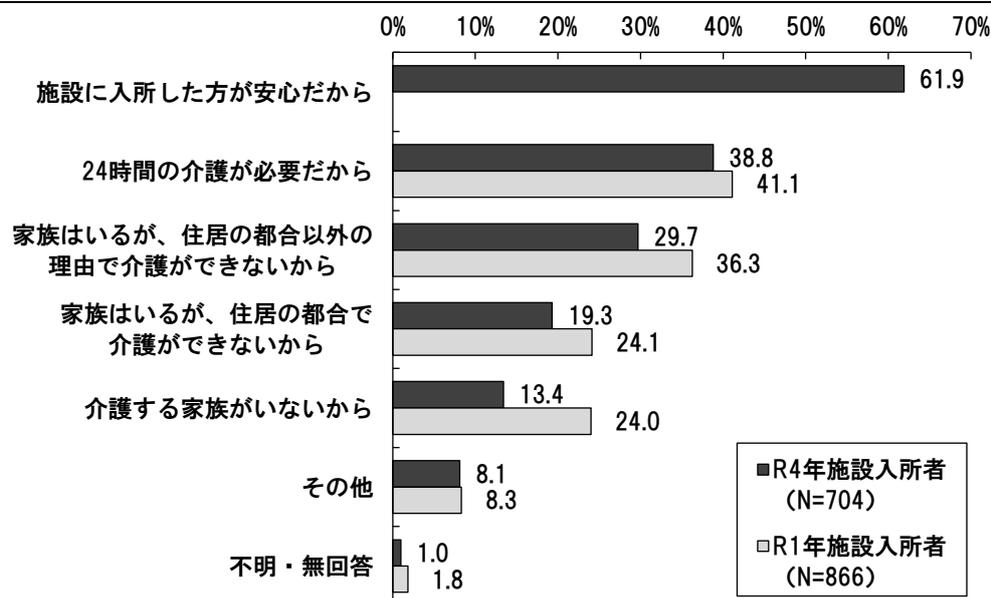
問7. ご本人の要支援・要介護度はどれですか。

「要介護3」が27.8%で最も多く、次いで「要介護4」が23.3%となっています。



問8. 施設入所を希望した理由は何ですか。【複数回答】

「施設に入所した方が安心だから」が61.9%で最も多く、次いで「24時間の介護が必要だから」が38.8%となっています。

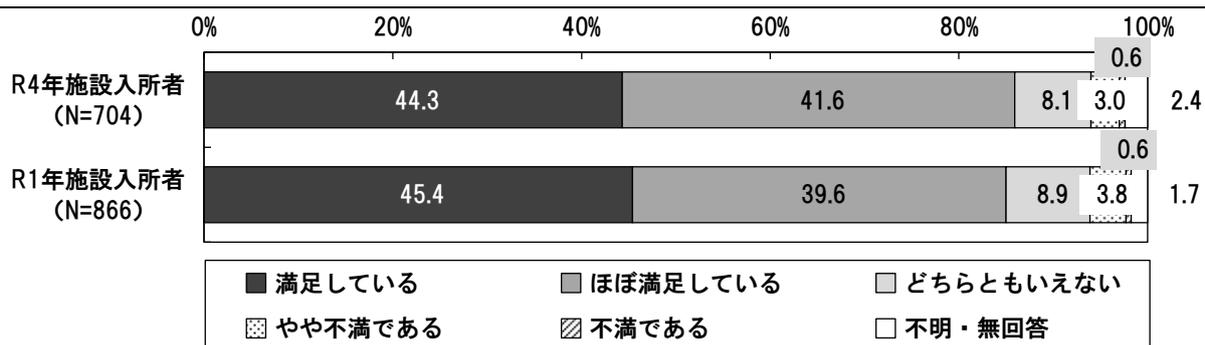


※「施設に入所した方が安心だから」はR4年調査のみ。

2. 入所施設について

問9. 現在、入所している施設のサービスに満足していますか。

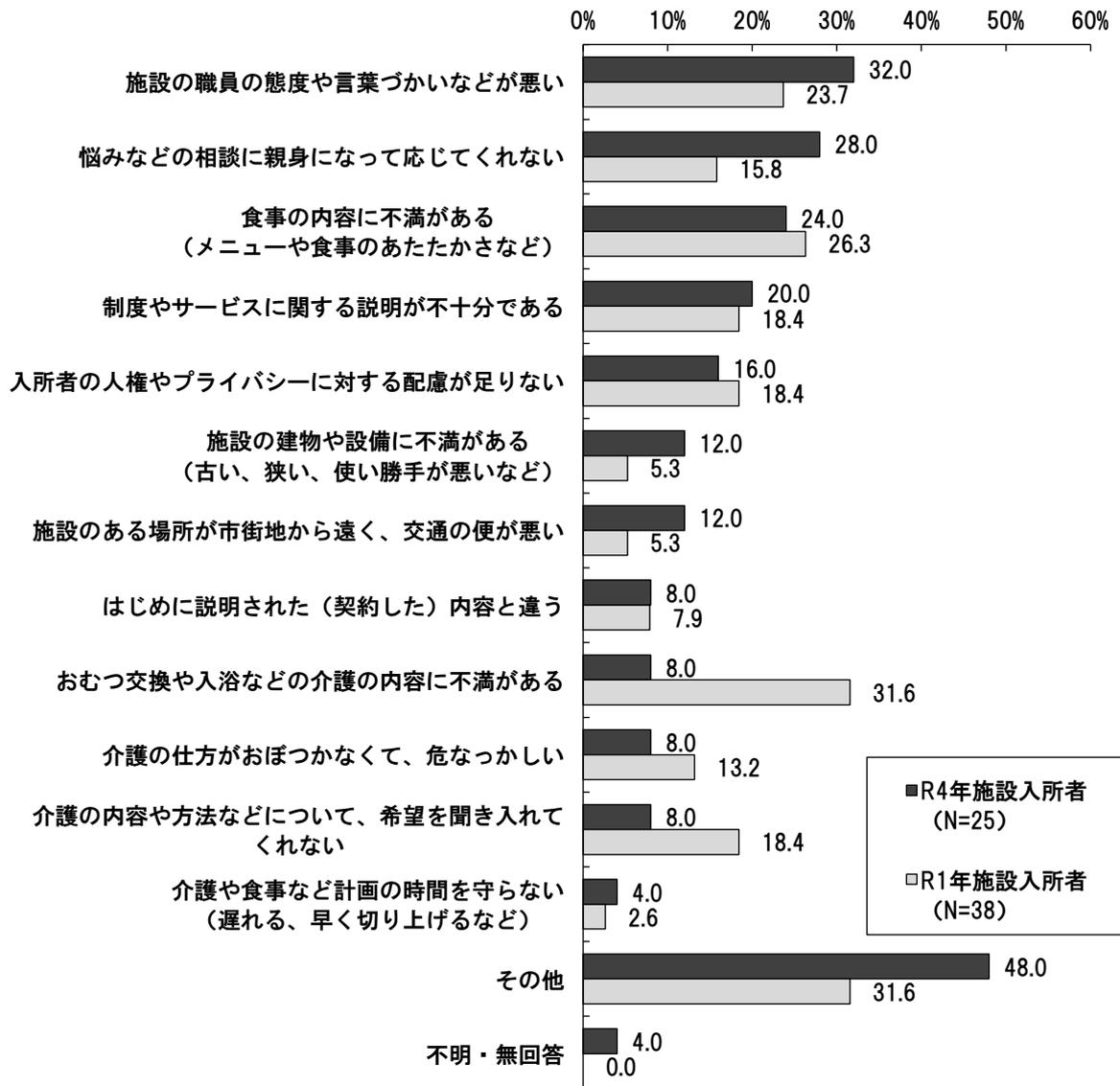
「満足している」が44.3%、「ほぼ満足している」が41.6%で、8割以上が肯定的な回答となっています。「やや不満である」または「不満である」という回答は3.6%となっています。



【問9において「やや不満である」または「不満である」と回答した人のみ】

① 施設のサービスに不満な理由は何ですか。【複数回答】

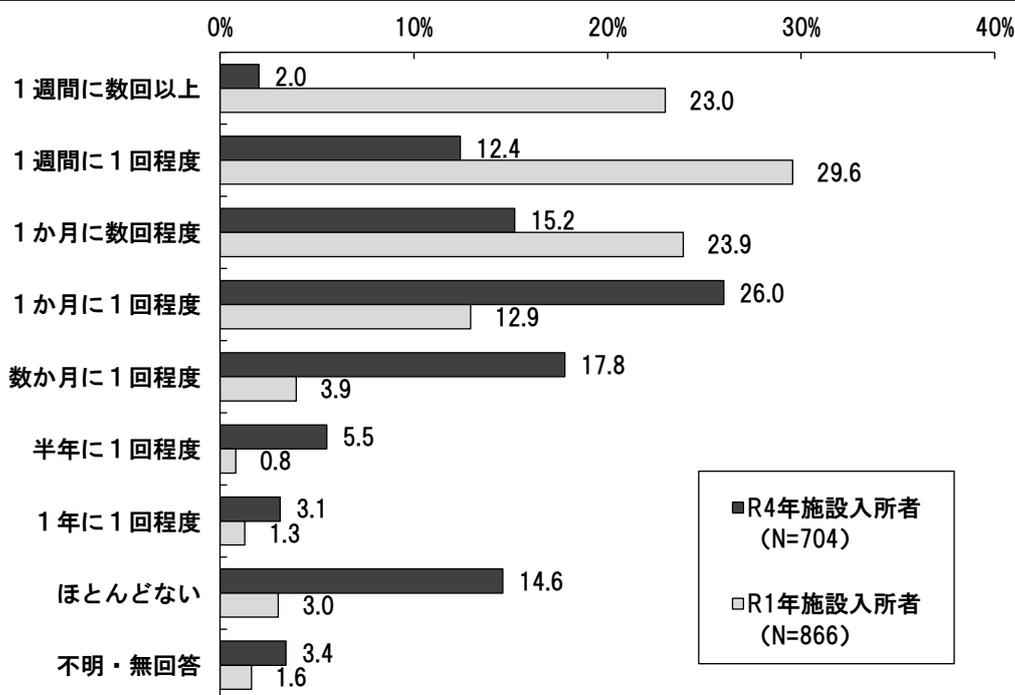
「その他」が48.0%で最も多く、次いで「施設の職員の態度や言葉づかいなどが悪い」が32.0%となっています。



問 10. 最近1年間の、親族や知人の訪問頻度はどのくらいですか。

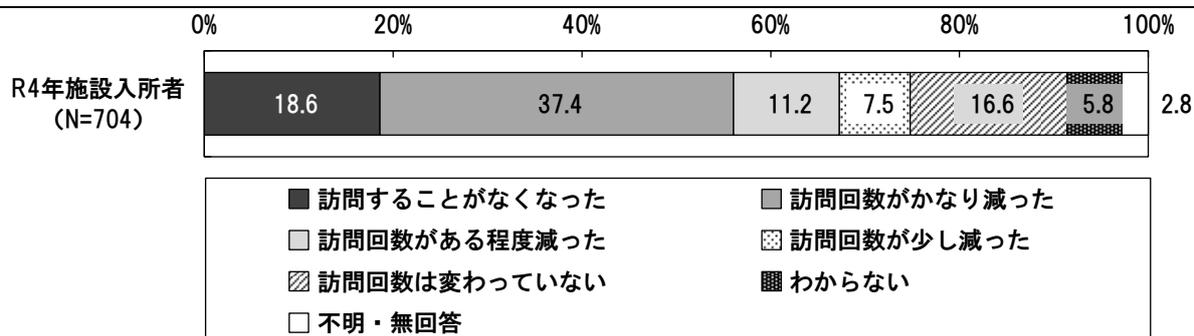
「1か月に1回程度」が26.0%で最も多く、次いで「数か月に1回程度」が17.8%、「1か月に数回程度」が15.2%となっています。

前回調査と比べると、訪問の頻度が高い回答が減少し、頻度が低いまたは「ほとんどない」が増加しており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がうかがえます。



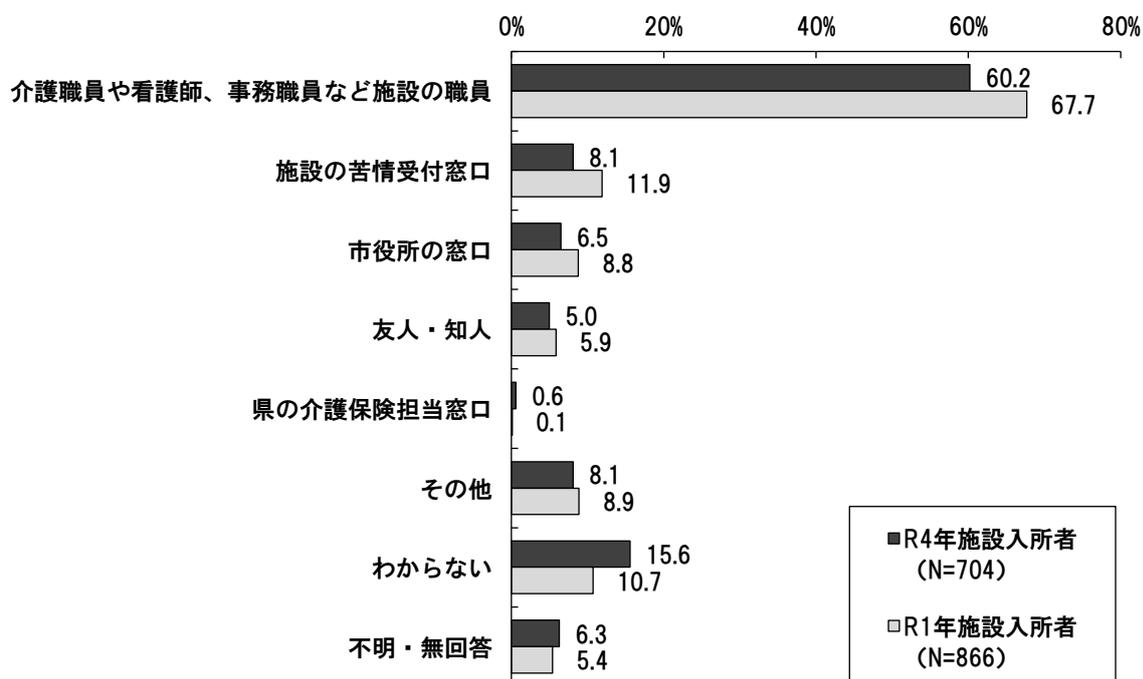
問 11. 最近1年間の、親族や知人の訪問頻度は新型コロナウイルス感染症の影響で減りましたか。

「訪問回数がかなり減った」が37.4%で最も多く、次いで「訪問することがなくなった」が18.6%となっています。「訪問回数がある程度減った」「訪問回数が少し減った」も合わせると、全体の74.7%が訪問回数が減ったと回答しています。



問 12. 施設のサービスの内容や職員の対応などに不満があるとき、ご本人やご家族の方は誰に（どこに）相談しますか。

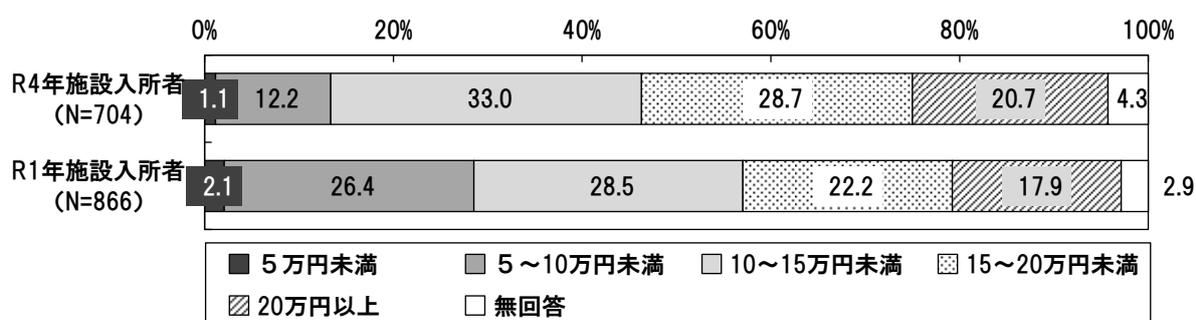
「介護職員や看護師、事務職員など施設の職員」が60.2%で最も多くなっています。



問 13. 1か月あたりの入所費用はいくらですか。具体的な数字をお書きください。

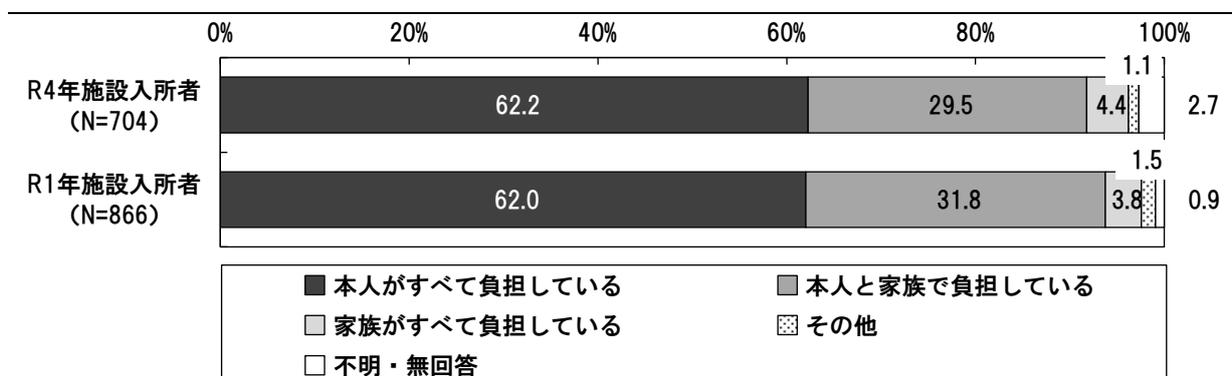
「10～15万円未満」が33.0%で最も多く、次いで「15～20万円未満」が28.7%となっています。

前回調査と比べると、10万円未満の回答が減少し、15万円以上の回答が増加しています。



問 14. 介護サービス利用料（施設サービス費）は、現在、誰が負担していますか。

「本人がすべて負担している」が62.2%で最も多く、次いで「本人と家族で負担している」が29.5%となっています。

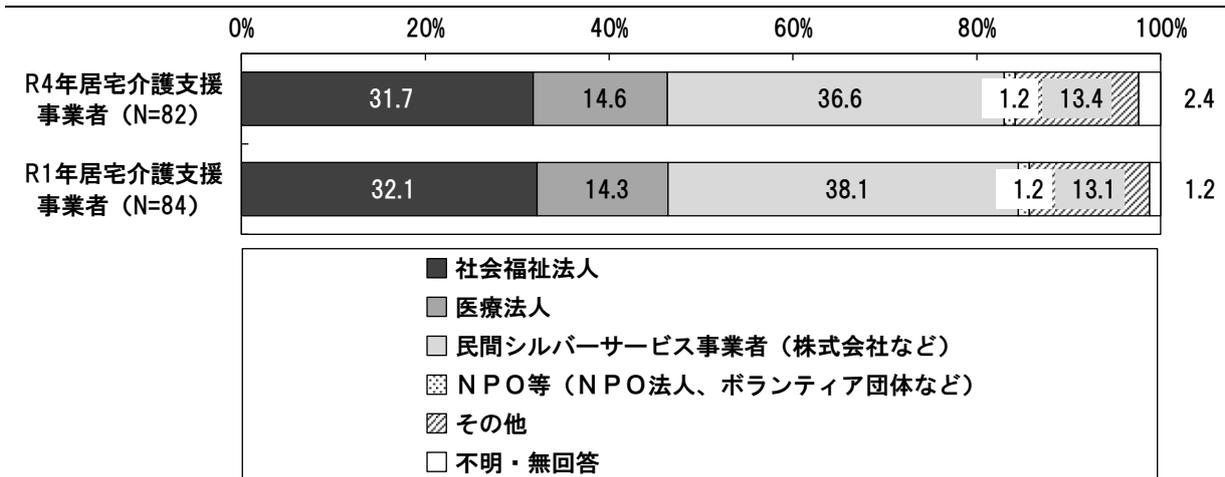


VI 居宅介護支援事業者の調査結果

1. サービス事業者の運営形態や状況について

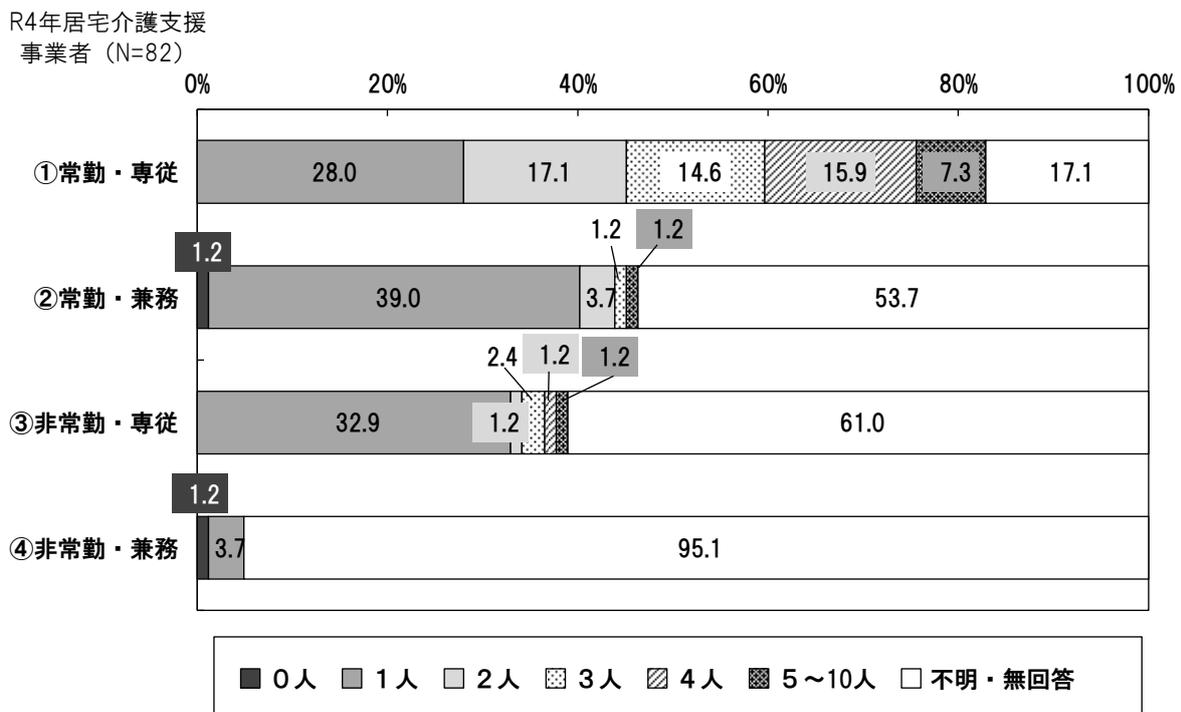
問1. 運営形態はどれにあてはまりますか。

「民間シルバーサービス事業者（株式会社など）」が36.6%で最も多く、次いで「社会福祉法人」が31.7%となっています。



問2. 所属するケアマネジャーの人数は何人ですか。

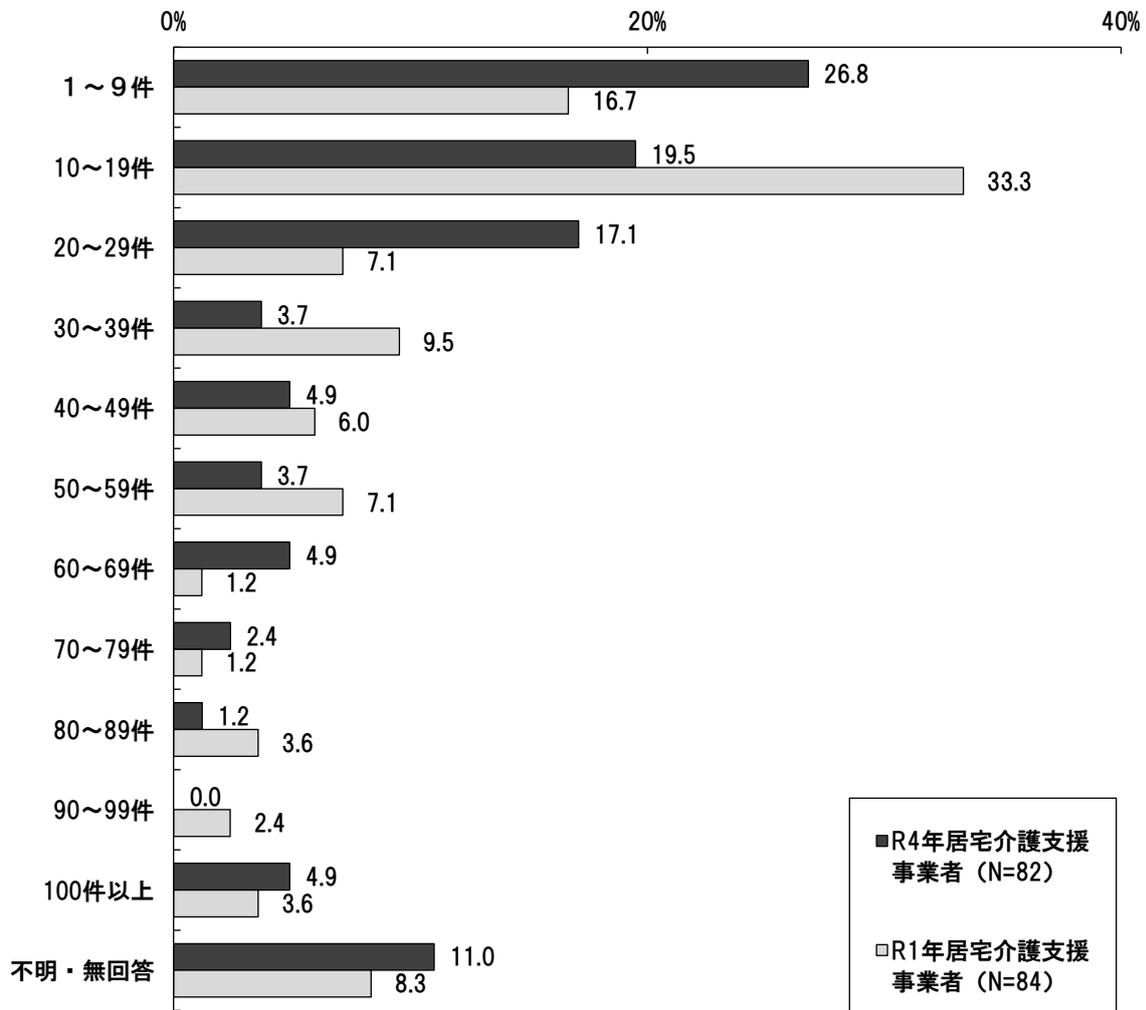
①常勤・専従は、「1人」が28.0%で最も多く、次いで「2人」が17.1%となっています。②常勤・兼務、③非常勤・専従は、回答のあったほとんどの事業所で「1人」となっています。④非常勤・兼務については、ほとんどの事業所で回答がありませんでした。



問3. 1人のケアマネジャーが担当する月平均の実施件数は何件ですか。

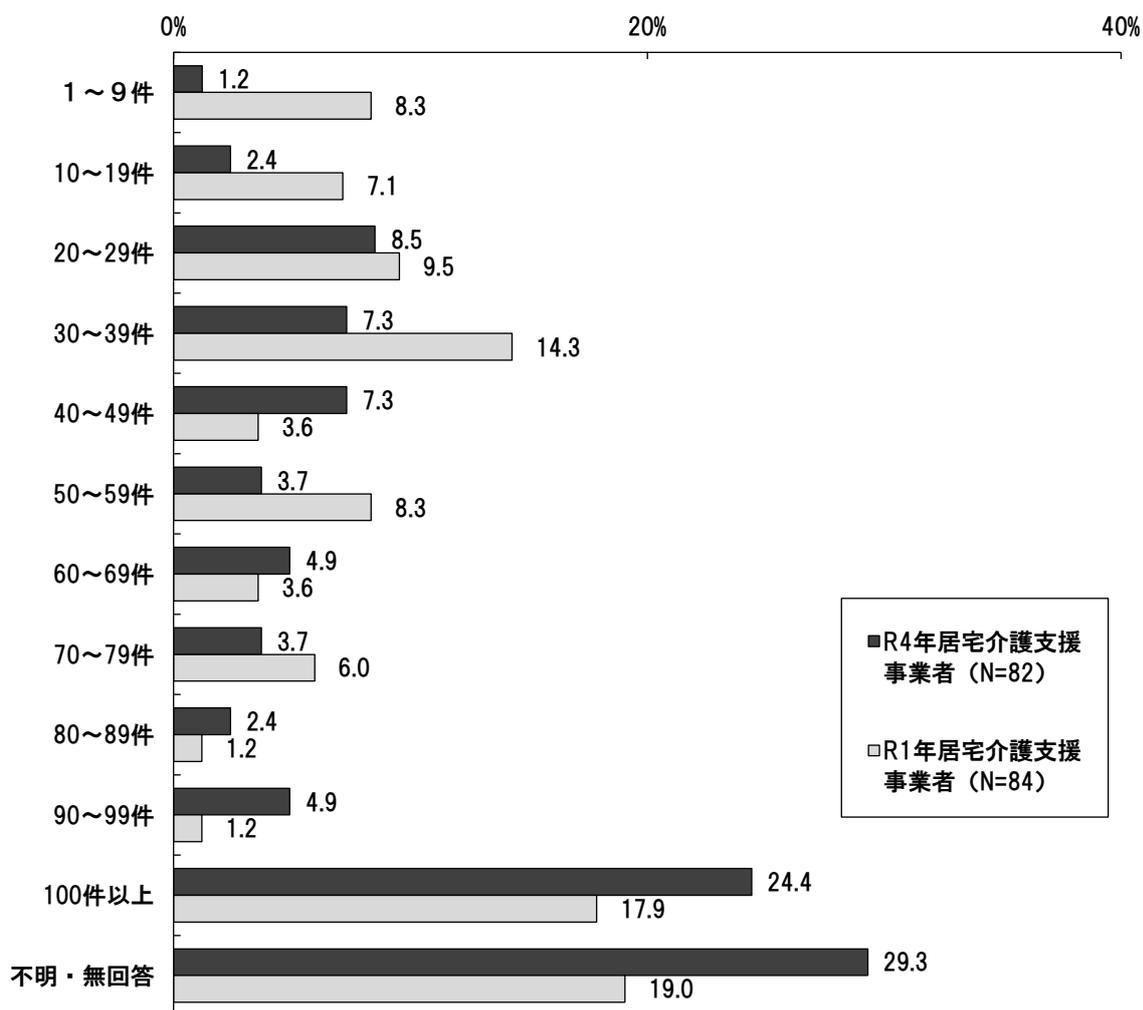
①事業所全体・要支援

要支援については、「1～9件」が26.8%で最も多く、次いで「10～19件」が19.5%となっています。



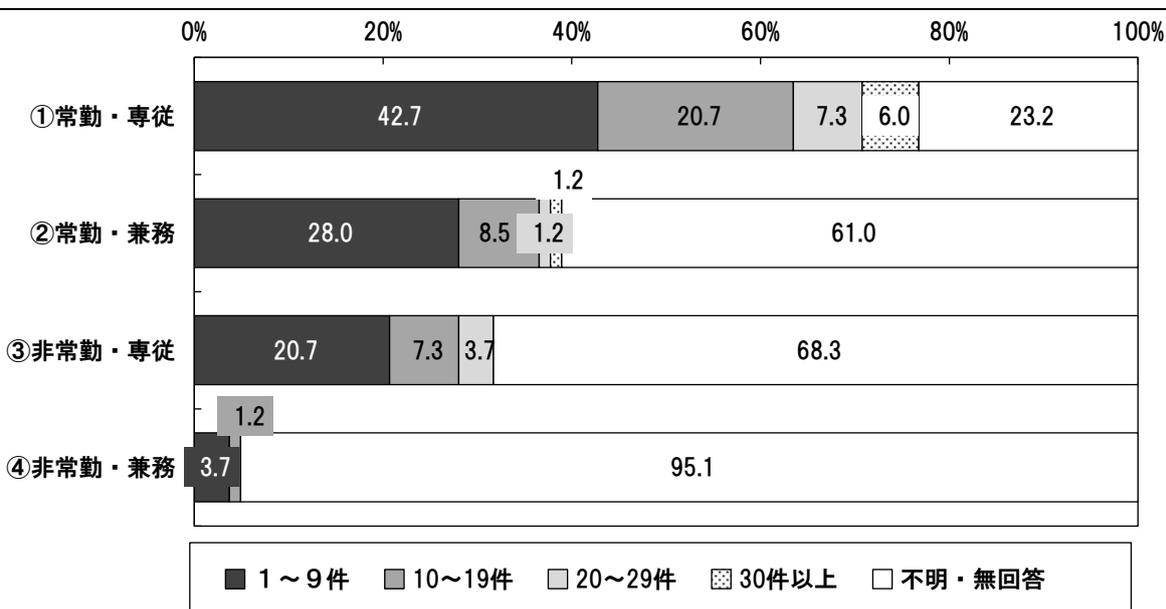
②事業所全体・要介護

要介護については、「100件以上」が24.4%で最も多くなっています。



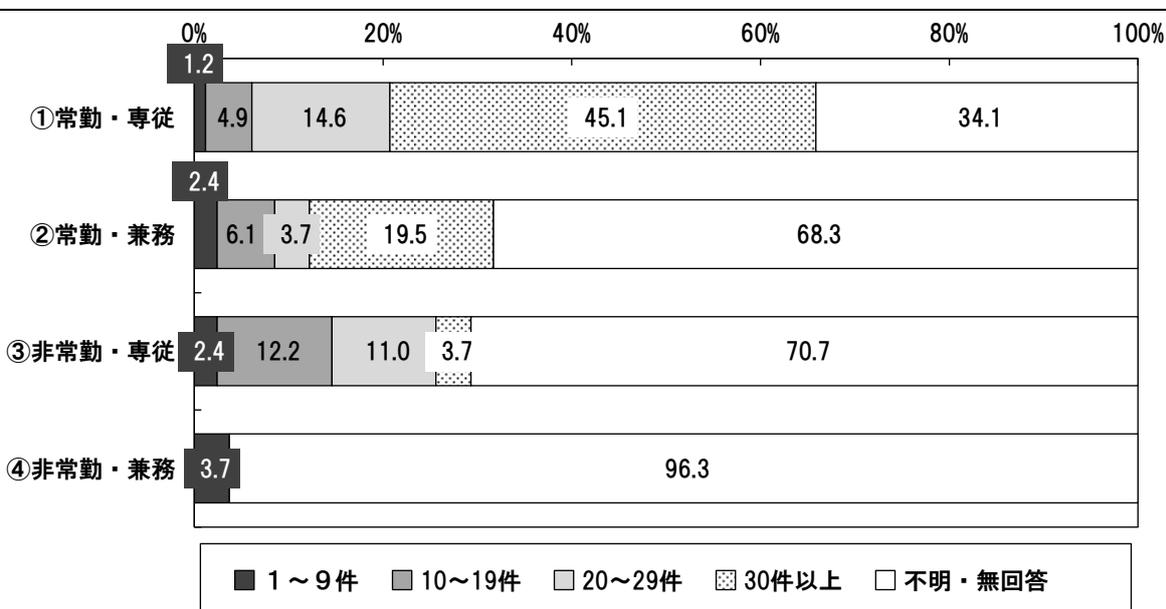
③就労形態別／要支援

要支援の件数については、①常勤・専従、②常勤・兼務、③非常勤・専従、④非常勤・兼務のいずれにおいても、「1～9件」が最も多くなっています。



④就労形態別／要介護

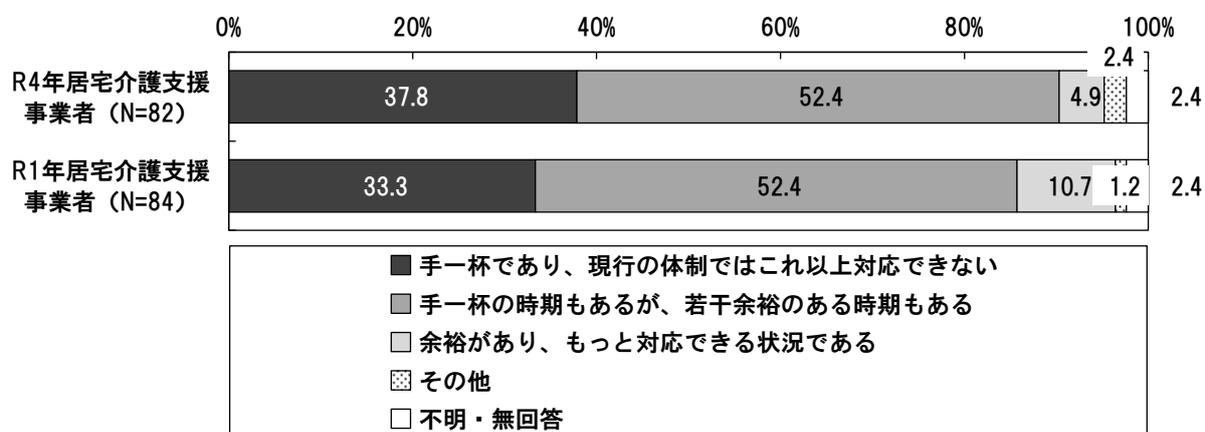
要介護の件数については、①常勤・専従、②常勤・兼務では「30件以上」が最も多く、③非常勤・専従では「10～19件」、④非常勤・兼務では、回答件数が少なくなっていますが「1～9件」が最も多くなっています。



問4. ケアプランの作成について、貴事業所の現状をお答えください。

「手一杯の時期もあるが、若干余裕のある時期もある」が52.4%で最も多く、次いで「手一杯であり、現行の体制ではこれ以上対応できない」が37.8%となっています。

前回調査と比べると、「手一杯であり、現行の体制ではこれ以上対応できない」がやや増加し、「余裕があり、もっと対応できる状況である」がやや減少しています。

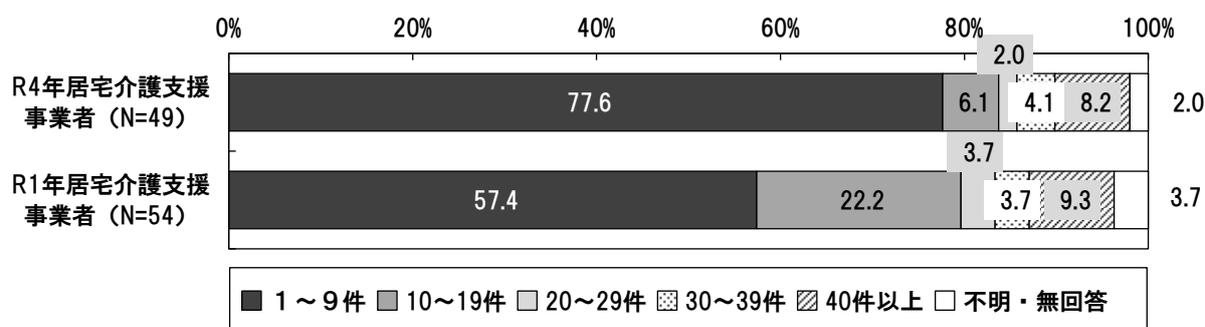


【問4において「手一杯であり、現行の体制ではこれ以上対応できない」以外のいずれかに回答した事業所のみ】

①事業所全体で、月あたりあと何件程度のケアプラン作成が可能ですか。

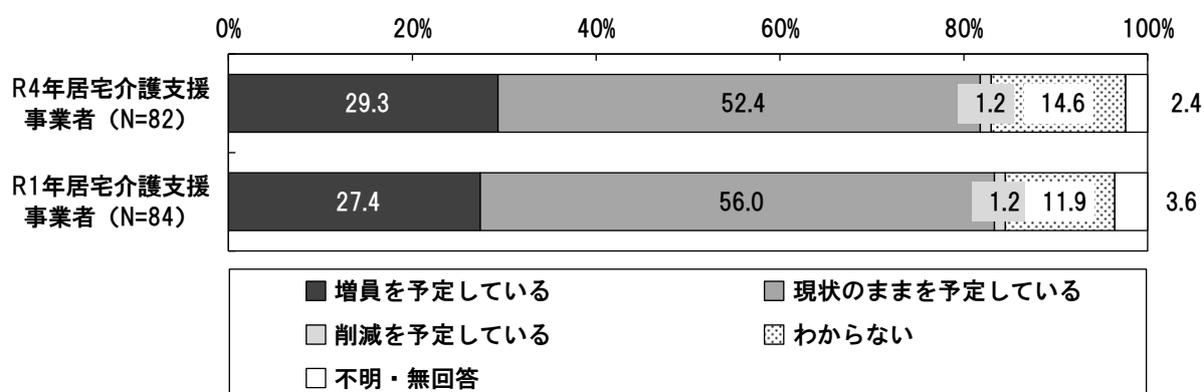
「1～9件」が77.6%で最も多くなっています。

前回調査と比べると「1～9件」が増加し、「10～19件」が減少しており、全体として余裕が少なくなっていることがうかがえます。



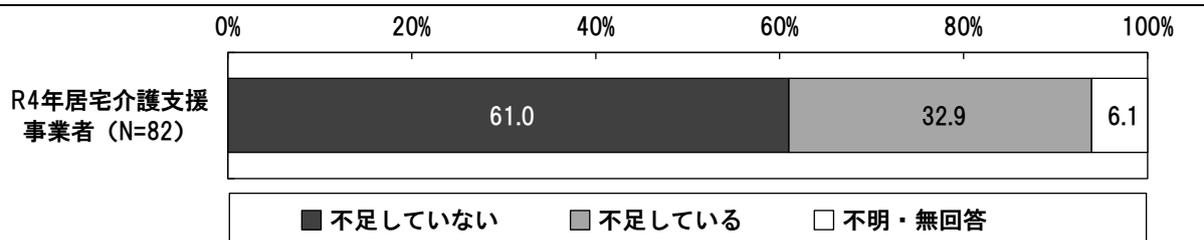
問5. 今後のケアマネジャーの雇用人数の予定をお答えください。

「現状のままを予定している」が52.4%で最も多く、次いで「増員を予定している」が29.3%となっています。

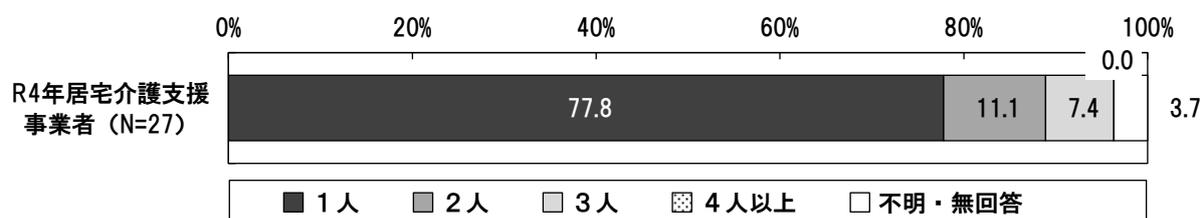


問6. 現在の業務を行ううえで、ケアマネジャーの人数が不足していますか。不足している場合は、不足人数（常勤・専従として）もお答えください。

「不足している」は32.9%となっています。また、不足している人数については、「不足している」と回答した事業所の77.8%が「1人」と回答しています。



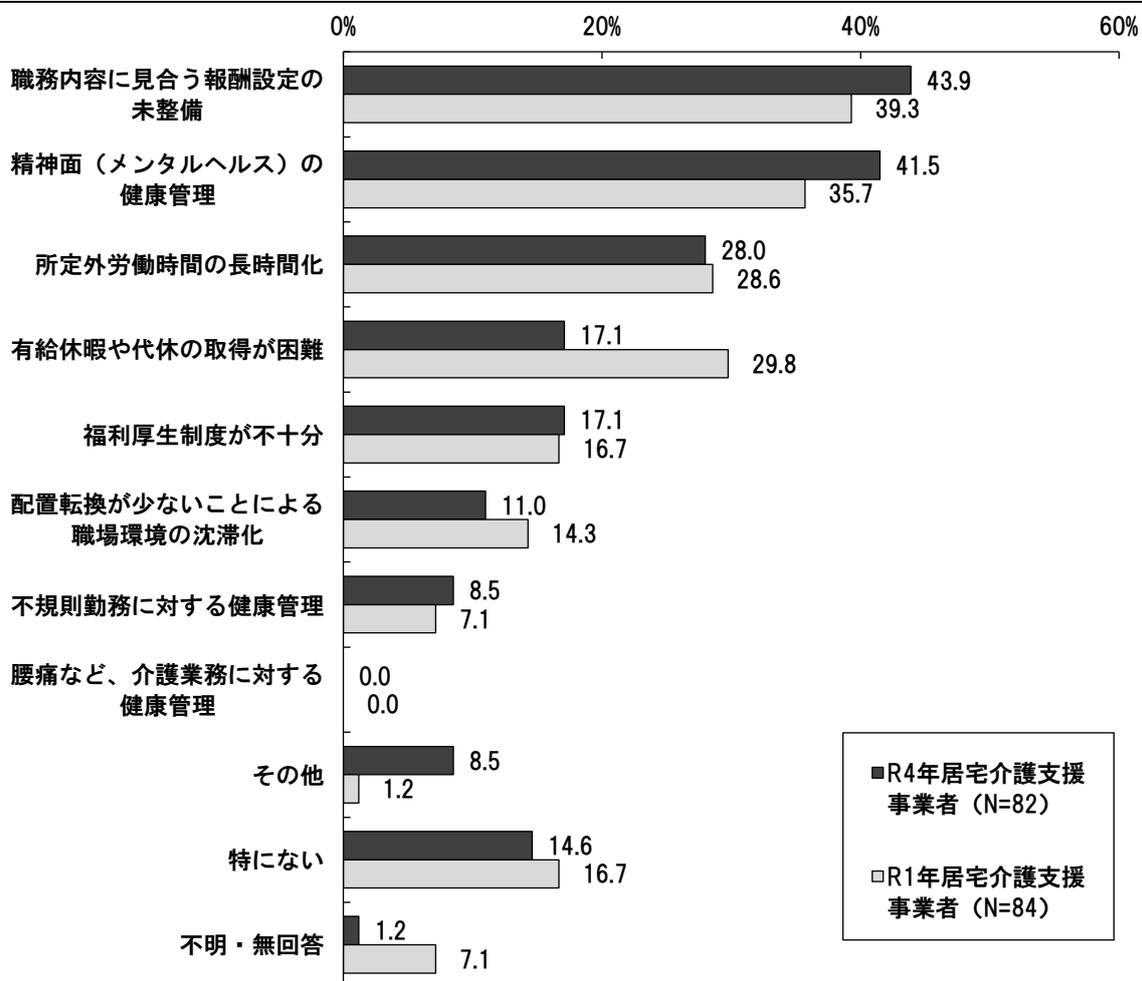
①不足人数



問7. 従業員の処遇における課題は何ですか。【複数回答】

「職務内容に見合う報酬設定の未整備」が43.9%で最も多く、次いで「精神面（メンタルヘルス）の健康管理」が41.5%となっています。

前回調査と比べると、「有給休暇や代休の取得が困難」が減少し、「職務内容に見合う報酬設定の未整備」「精神面（メンタルヘルス）の健康管理」「その他」がやや増加しています。

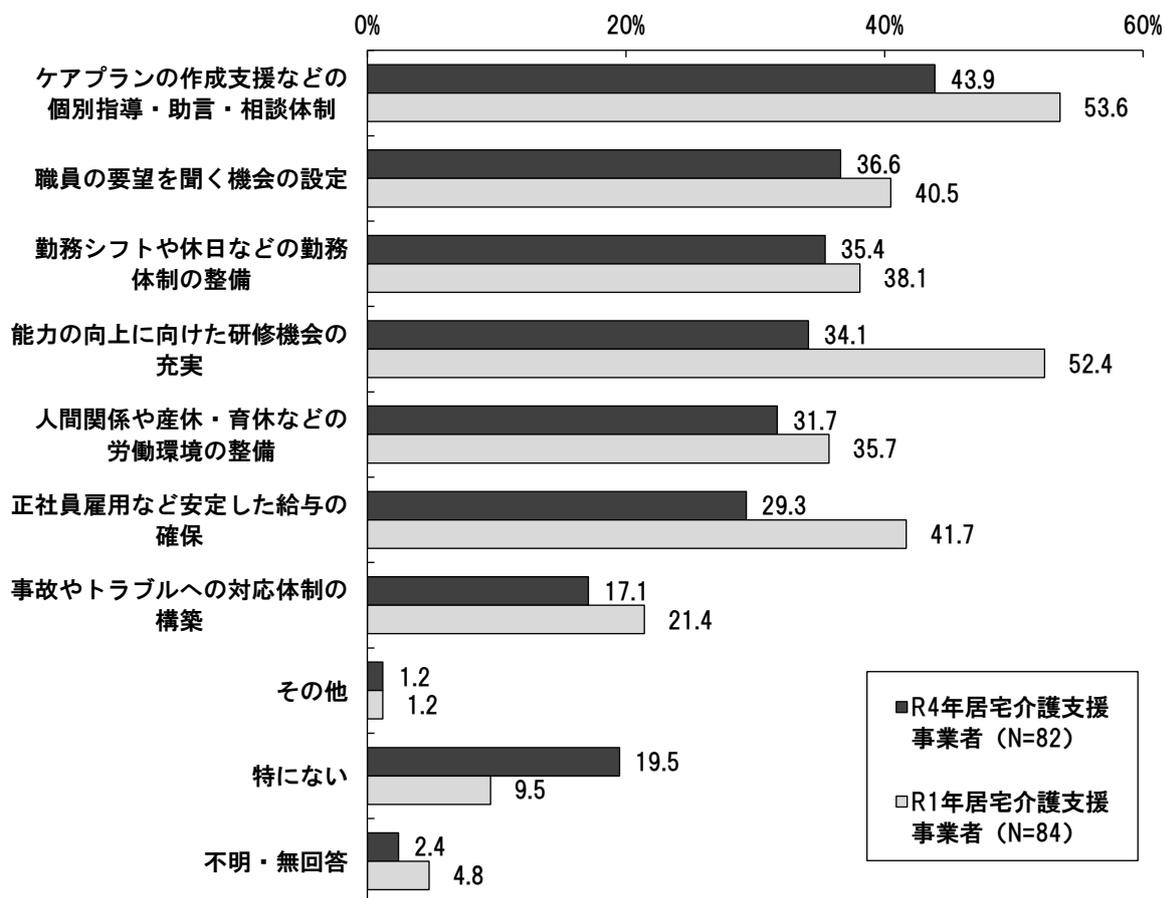


問8. ケアマネジャーを確保するために、取り組んでいることは何ですか。

【複数回答】

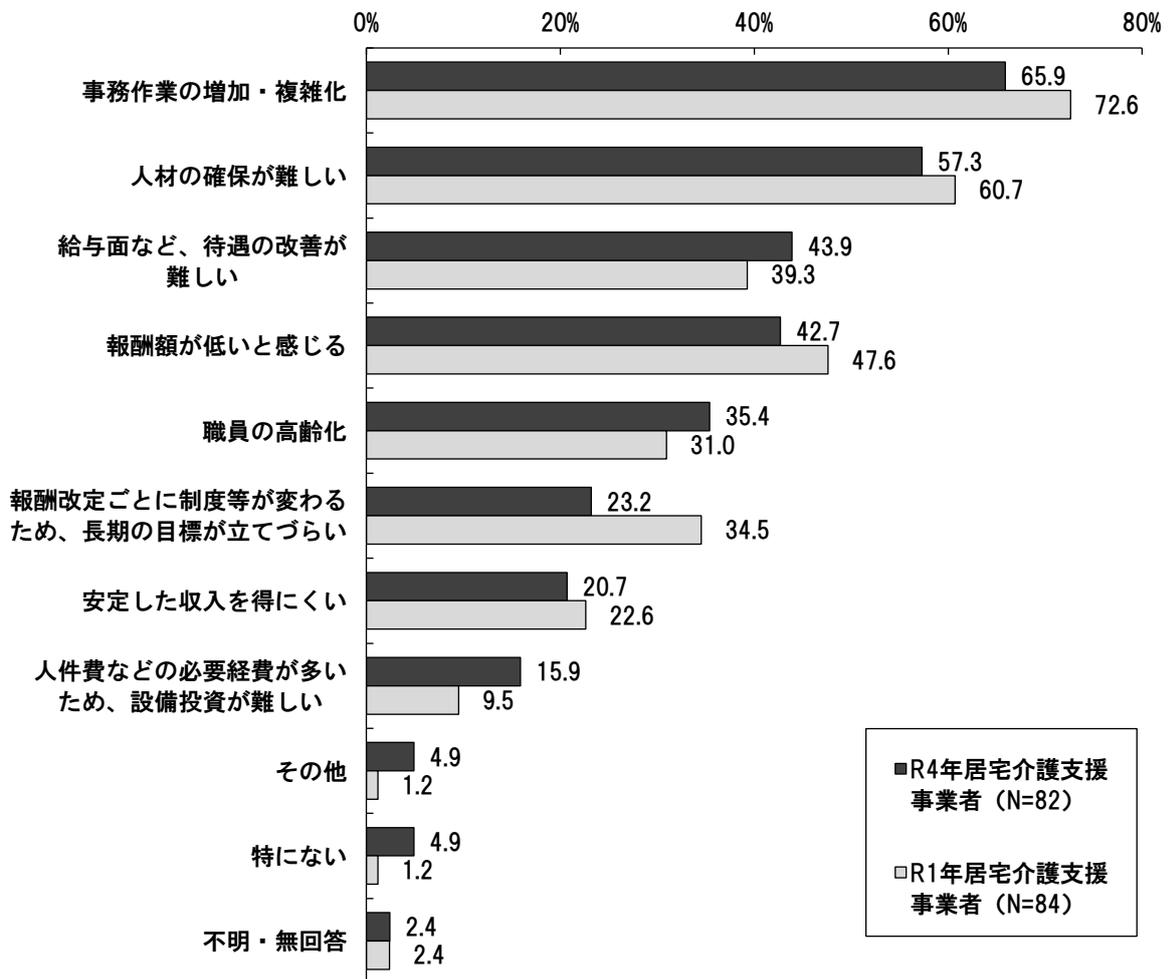
「ケアプランの作成支援などの個別指導・助言・相談体制」が43.9%で最も多く、次いで「職員の要望を聞く機会の設定」が36.6%、「勤務シフトや休日などの勤務体制の整備」が35.4%となっています。

前回調査と比べると、「特にない」が増加し、それ以外の回答が減少しています。



問9. 経営面における問題点や課題は何ですか。【複数回答】

「事務作業の増加・複雑化」が65.9%で最も多く、次いで「人材の確保が難しい」が57.3%となっています。

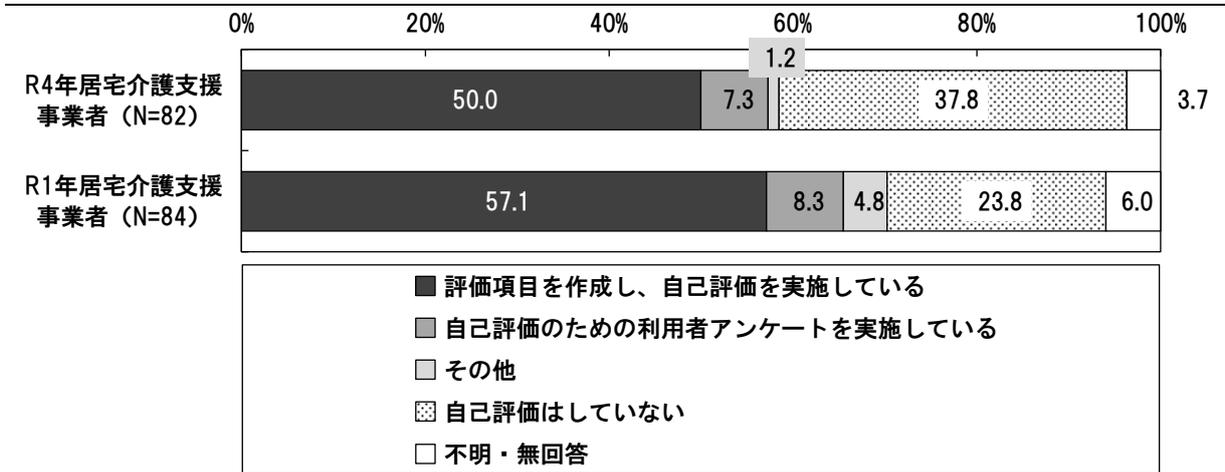


2. 提供サービスの状況について

問 10. サービスの自己評価をしていますか。

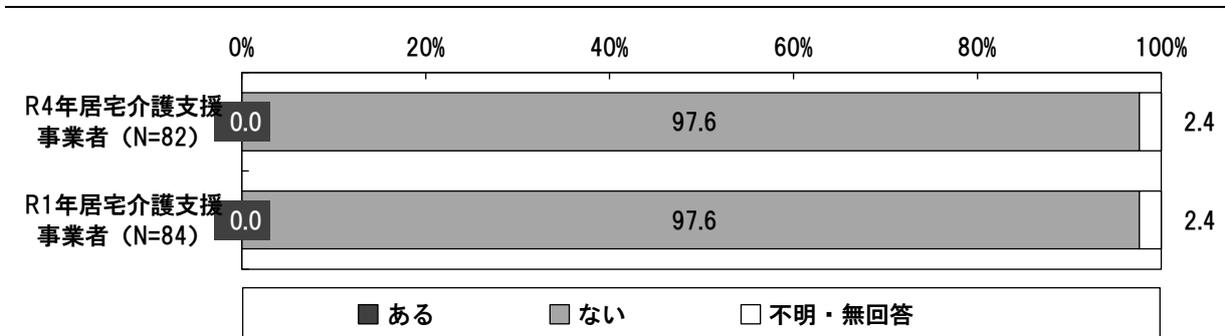
「評価項目を作成し、自己評価を実施している」が50.0%で最も多く、次いで「自己評価はしていない」が37.8%となっています。

前回調査と比べると、「自己評価はしていない」が増加しています。



問 11. 利用者等の苦情から、第三者機関の介入や訴訟などに発展した事例はありますか。

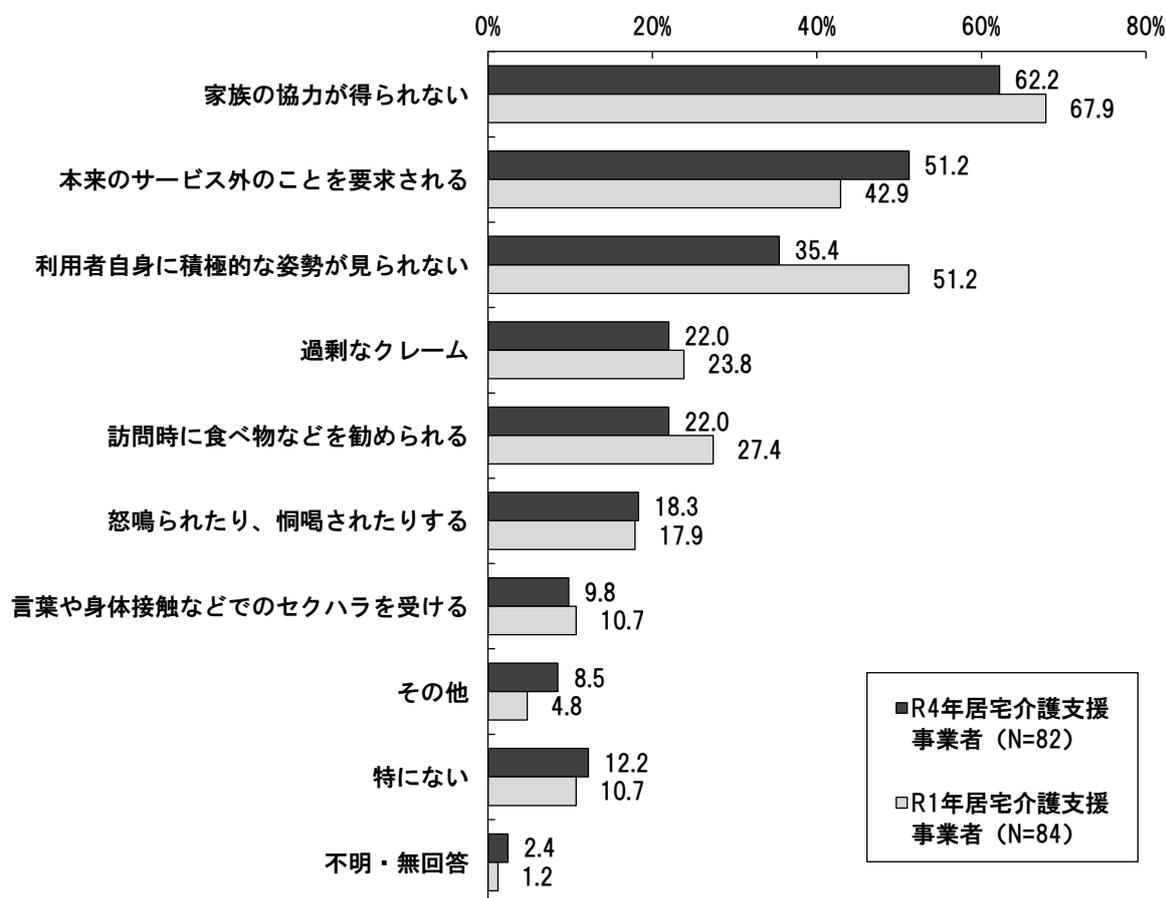
「ある」という回答はありませんでした。



問 12. 利用者に関することで、お困りのことは何ですか。【複数回答】

「家族の協力が得られない」が62.2%で最も多く、次いで「本来のサービス外のことを要求される」が51.2%となっています。

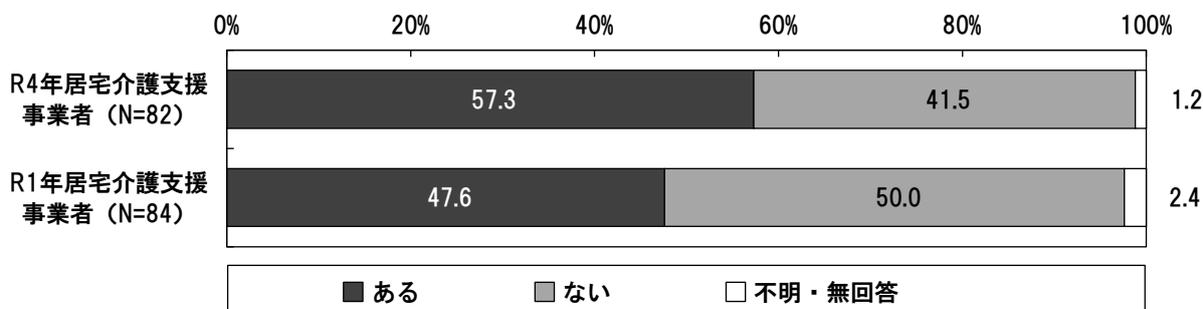
前回調査と比べると、「利用者自身に積極的な姿勢が見られない」が減少し、「本来のサービス外のことを要求される」がやや増加しています。



問 13. サービス提供を断っている事例はありますか。

「ある」は57.3%となっています。

前回調査と比べると、「ある」がやや増加しています。

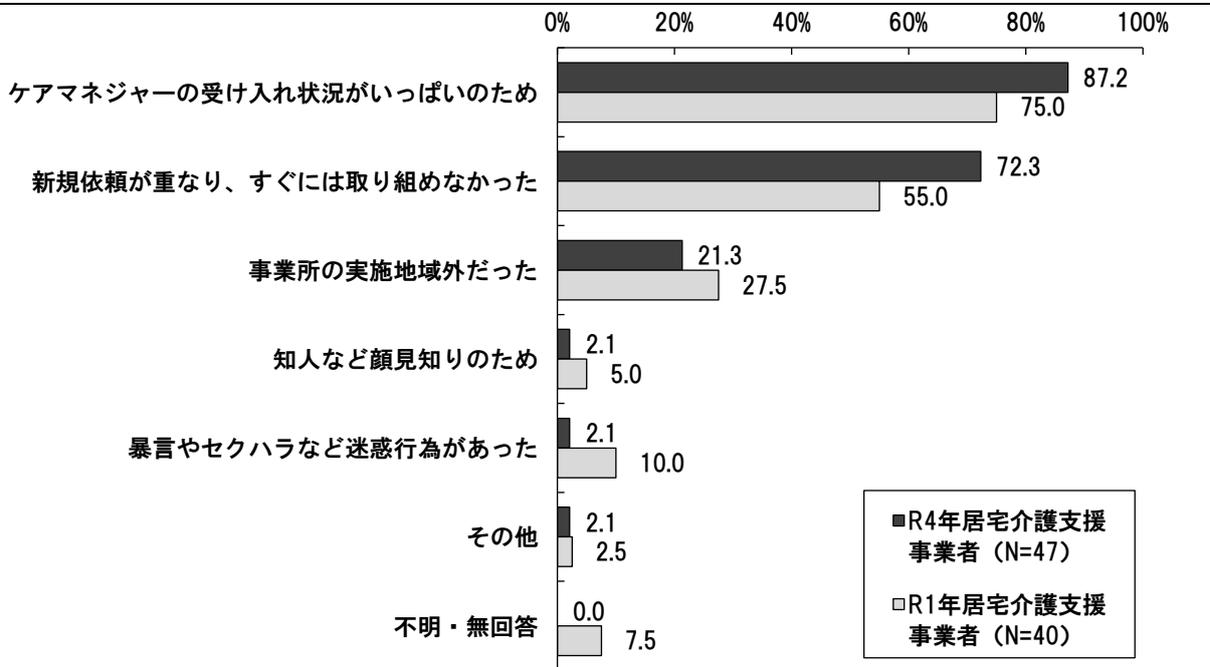


【問13において「ある」と回答した事業所のみ】

①それはどのような内容でしたか。【複数回答】

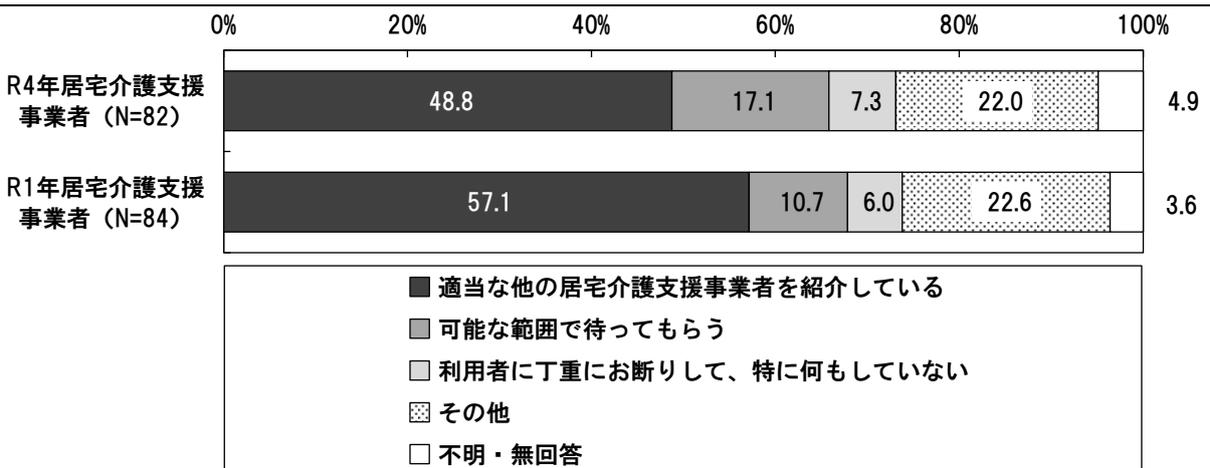
「ケアマネジャーの受け入れ状況がいつぱいのため」が87.2%で最も多く、次いで「新規依頼が重なり、すぐには取り組めなかった」が72.3%となっています。

前回調査と比べると、「新規依頼が重なり、すぐには取り組めなかった」が増加しています。



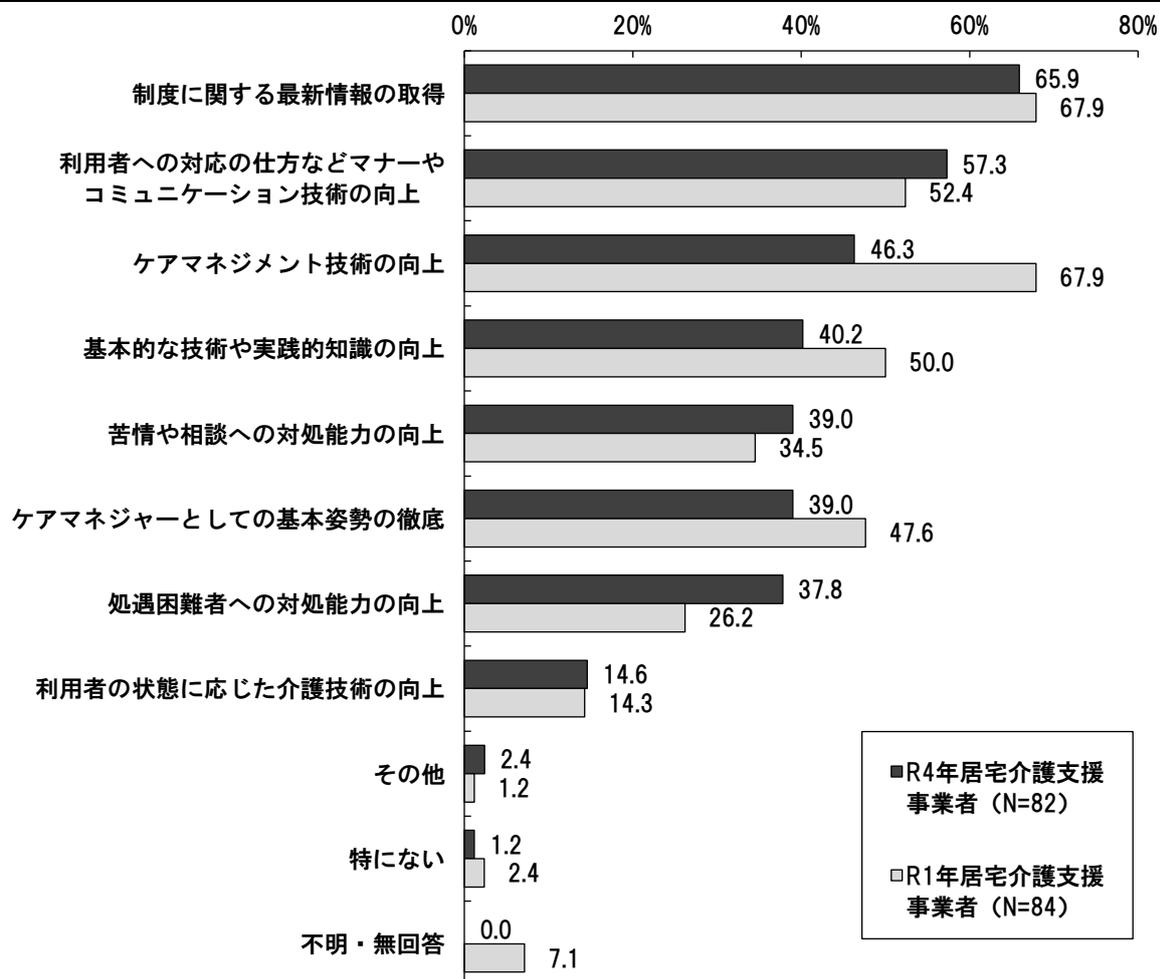
問14. 利用者への指定居宅介護支援の提供が困難なときの主な対応について、お答えください。

「適当な他の居宅介護支援事業者を紹介している」が48.8%で最も多く、次いで「その他」が22.0%、「可能な範囲で待ってもらう」が17.1%となっています。



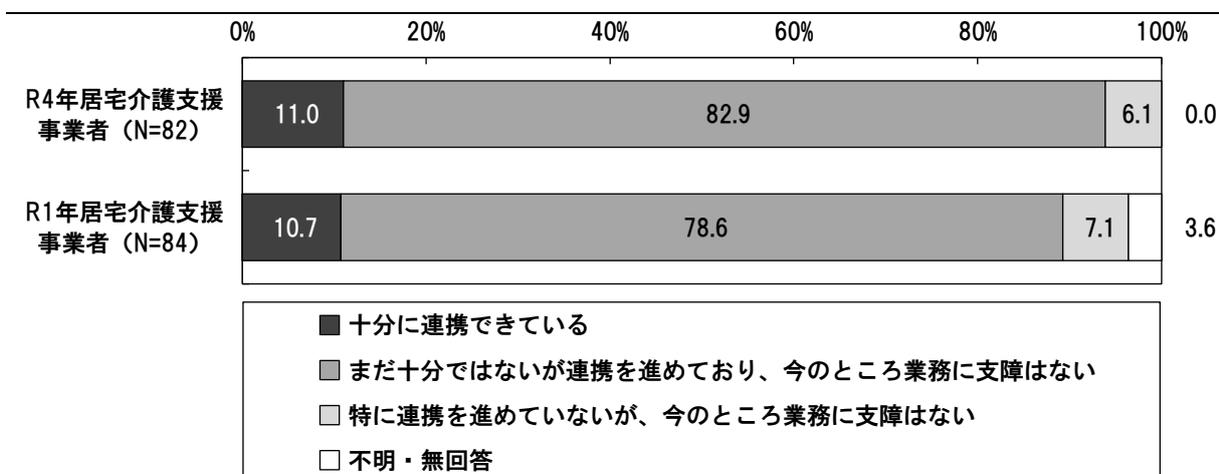
問 15. ケアマネジャーの質の確保・向上を図るために、どのような点を重視して取り組んでいますか。【複数回答】

「制度に関する最新情報の取得」が65.9%で最も多く、次いで「利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上」が57.3%となっています。



問 16. かかりつけ医との連携を進めていますか。

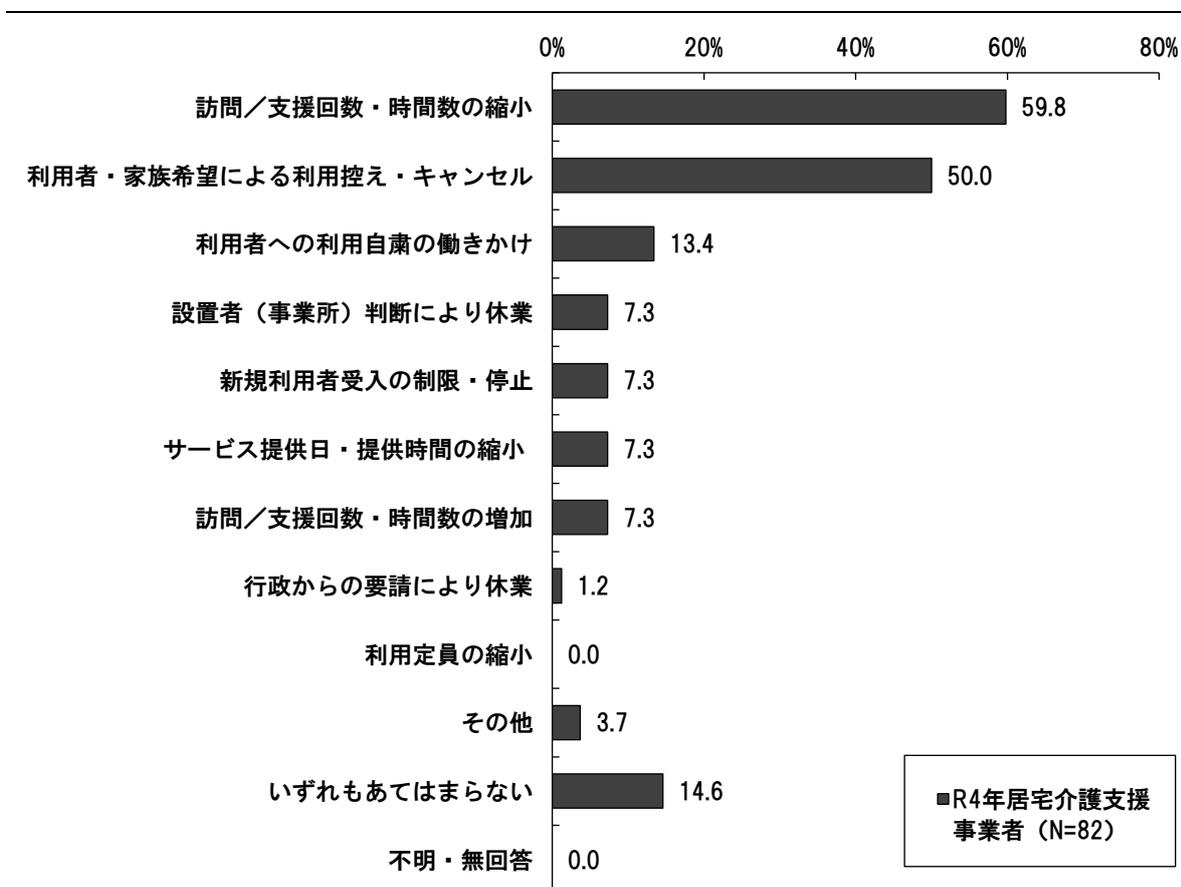
「まだ十分ではないが連携を進めており、今のところ業務に支障はない」が82.9%で最も多く、次いで「十分に連携できている」が11.0%となっています。



問 17. 過去1年間の、新型コロナウイルス感染症の、事業所運営への影響について、あてはまるものをお答えください。【複数回答】

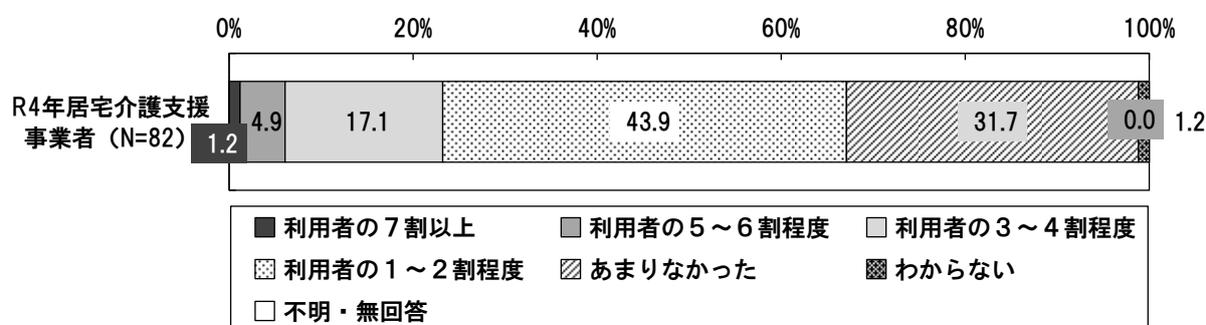
「訪問／支援回数・時間数の縮小」が59.8%で最も多く、次いで「利用者・家族希望による利用控え・キャンセル」が50.0%となっています。

全体の85.4%の事業所が、何らかの影響があったと回答しています。



問 18. 過去1年間にケアプランを作成した利用者のうち、感染症の影響により、必要な介護・支援が受けられず利用者の状況が悪化したり、家族の負担が過大になるといった問題があったのは何割くらいだったと思われますか。

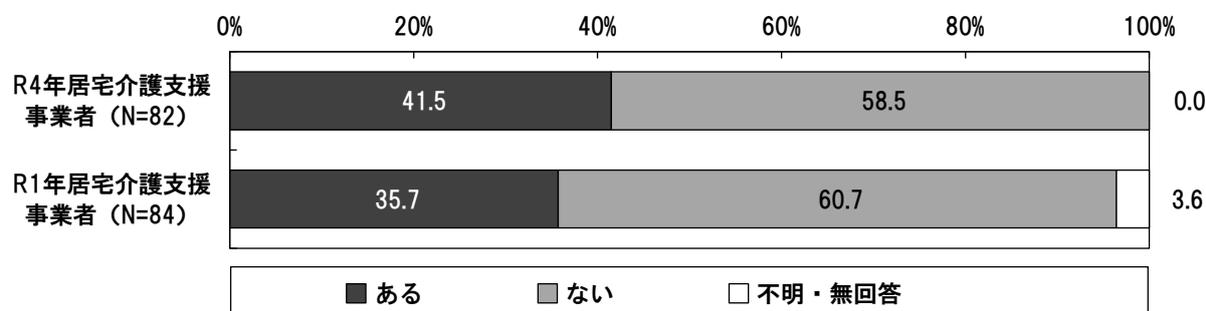
「利用者の1～2割程度」が43.9%で最も多く、次いで「あまりなかった」が31.7%となっています。



3. 高齢者虐待の状況について

問 19. サービスを提供している要介護者の中で、高齢者虐待を受けている又は受けていると思われる事例がありますか。

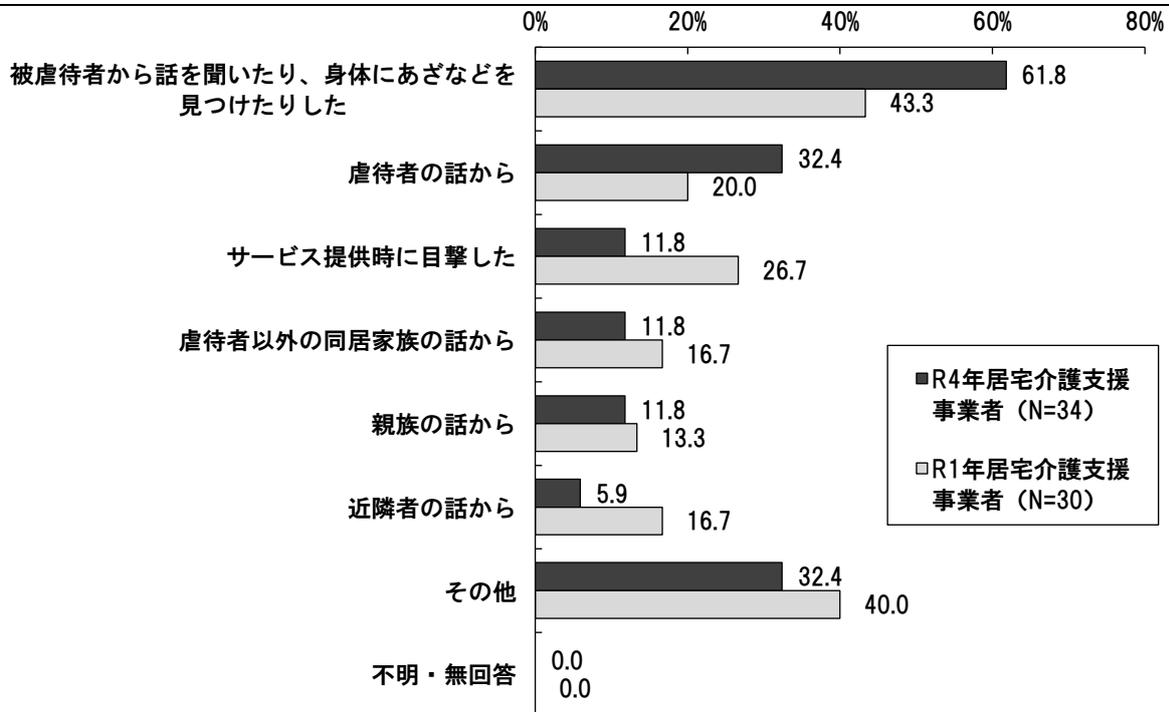
「ある」が41.5%となっています。



【問 19 において「ある」と回答した事業所のみ】

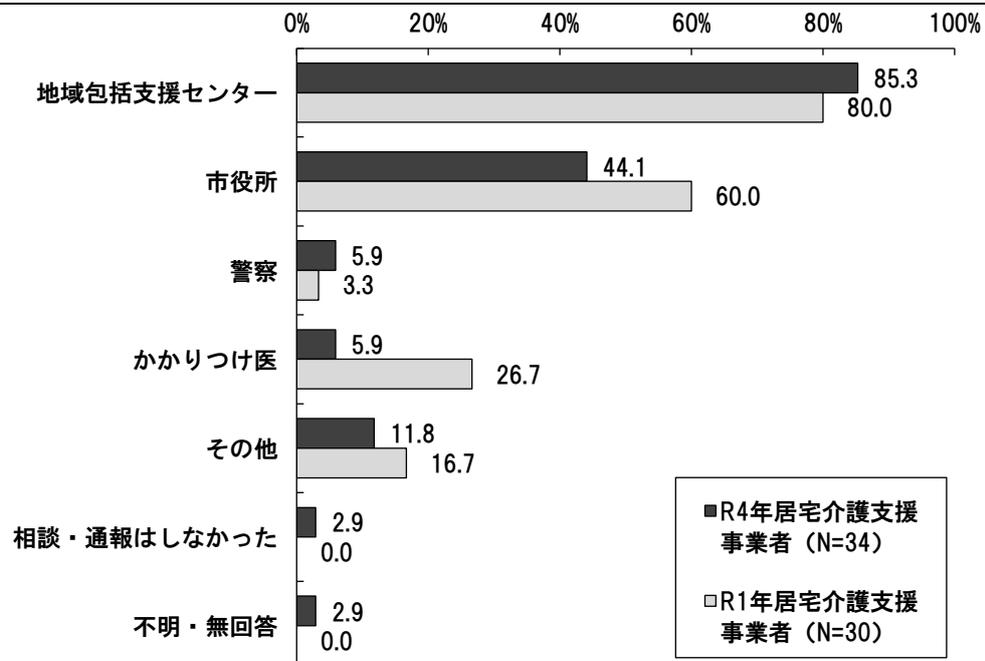
①それは、どのようにしてわかりましたか。【複数回答】

「被虐待者から話を聞いたり、身体にあざなどを見つけたりした」が 61.8%で最も多く、次いで「虐待者の話から」が 32.4%となっています。



②相談・通報先はどこですか。【複数回答】

「地域包括支援センター」が 85.3%で最も多く、次いで「市役所」が 44.1%となっています。



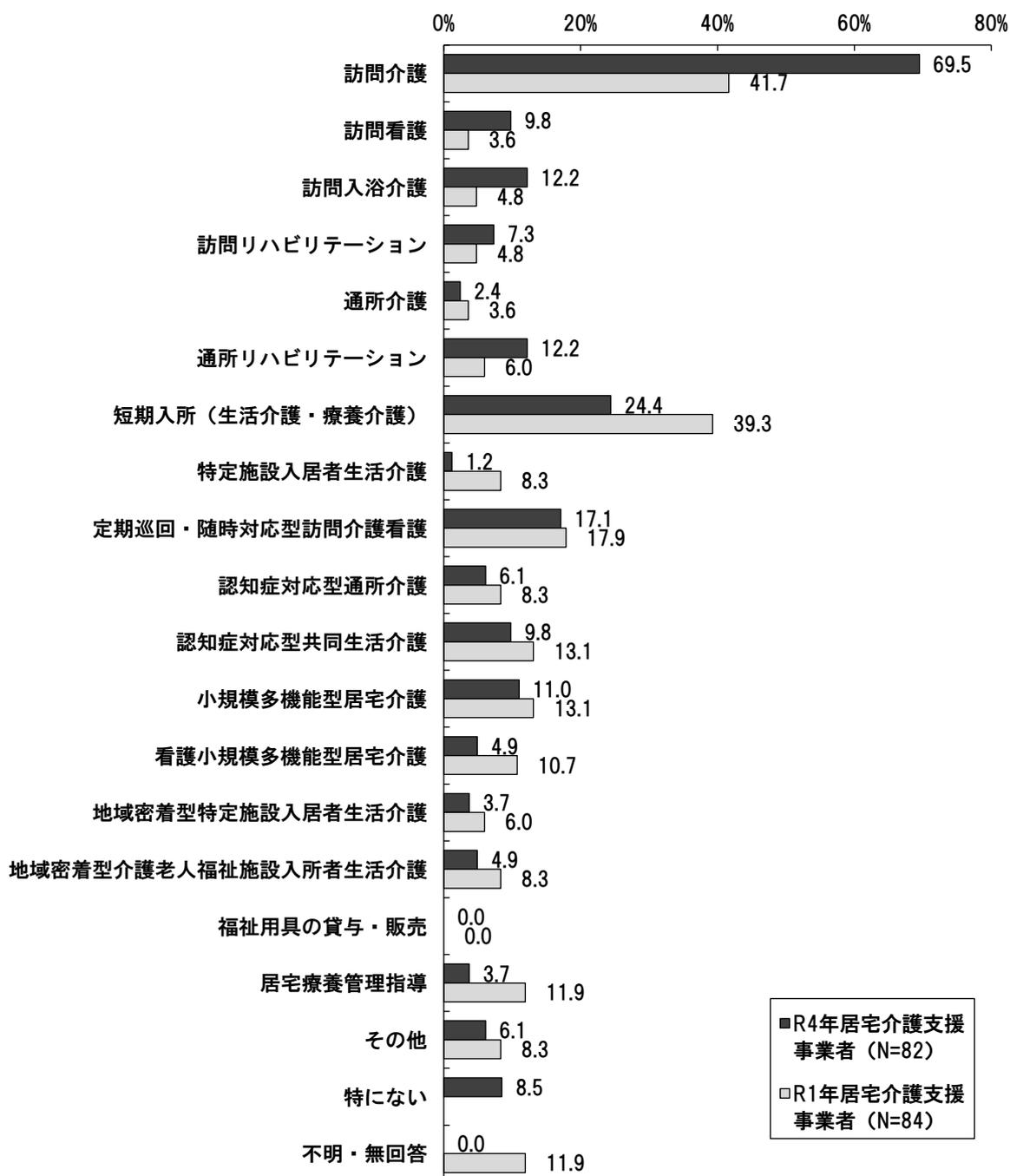
※「市役所」は R1 年調査では「市の長寿課・介護保険課」

4. その他

問 20. 介護・福祉サービスのうち、供給が不足していると感じるサービスは何ですか。
【複数回答】

「訪問介護」が69.5%で最も多く、次いで「短期入所（生活介護・療養介護）」が24.4%となっています。

前回調査と比べると、「訪問介護」が増加し、「短期入所（生活介護・療養介護）」が減少しています。新型コロナウイルス感染症の拡大を背景として、通所型のサービスの利用控えとともに、訪問介護のニーズが高まっている状況がうかがえます。

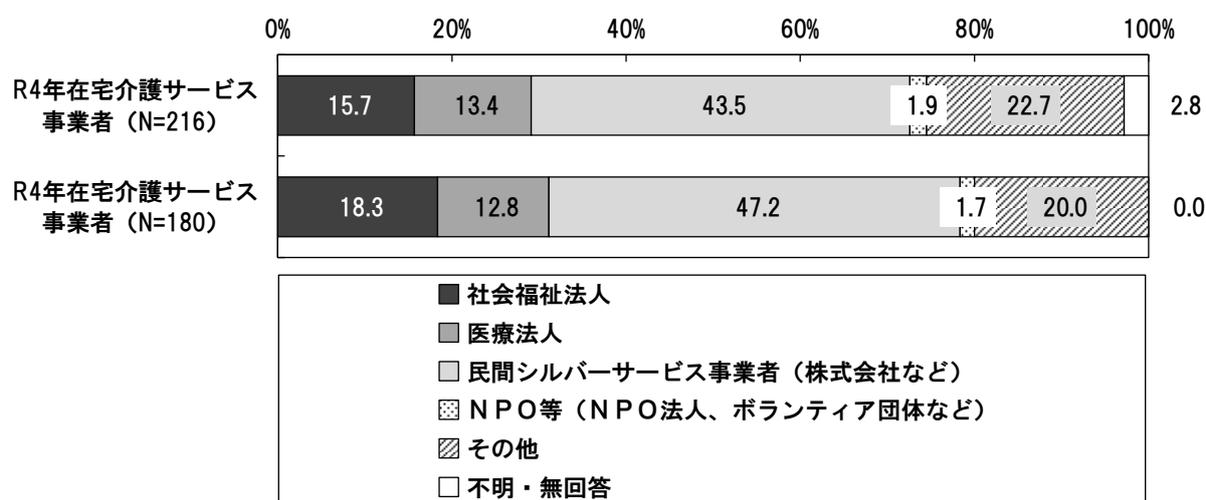


VII 在宅介護サービス事業者の調査結果

1. サービス事業者の運営形態や状況について

問1. 運営形態はどれにあてはまりますか。

「民間シルバーサービス事業者（株式会社など）」が43.5%で最も多く、次いで「その他」が22.7%となっています。

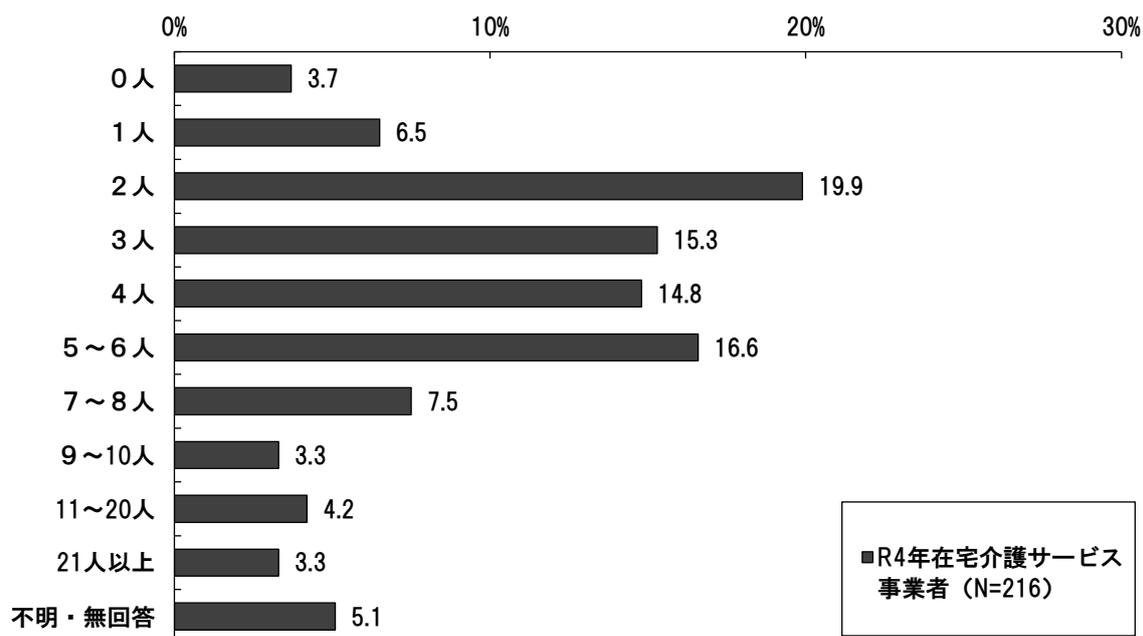


問2. 介護職員の総数を数字でお答えください。

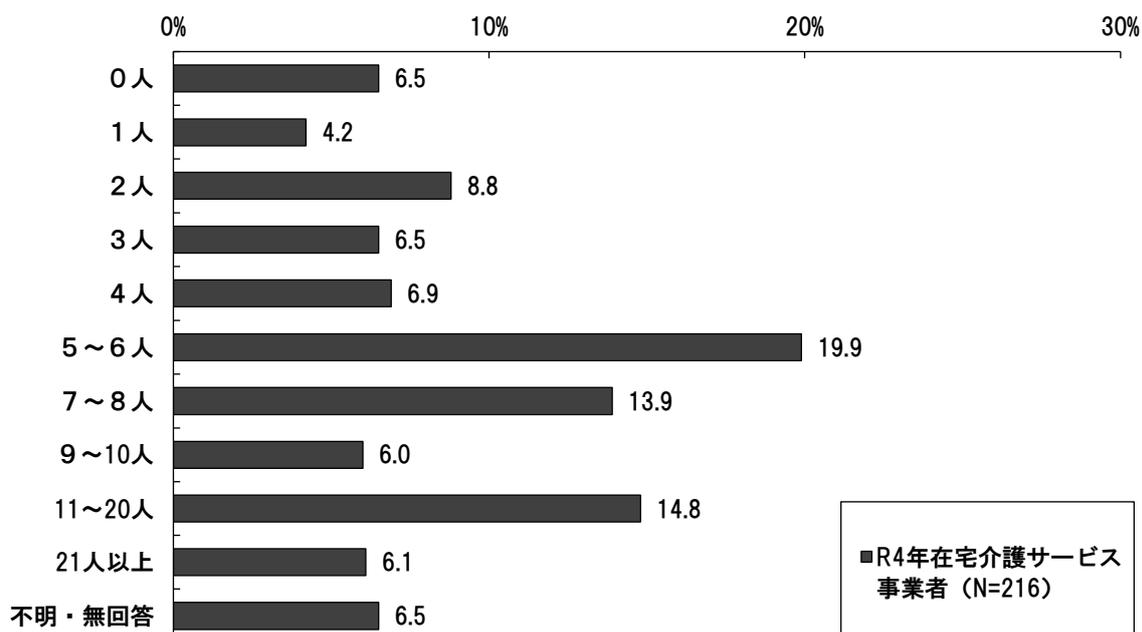
介護職員の総数については、正規職員では「2人」が19.9%となっており、2～6人の事業所が多くなっています。

非正規職員では、「5～6人」が19.9%と多く、「11～21人」の事業所も14.8%あります。

①正規職員



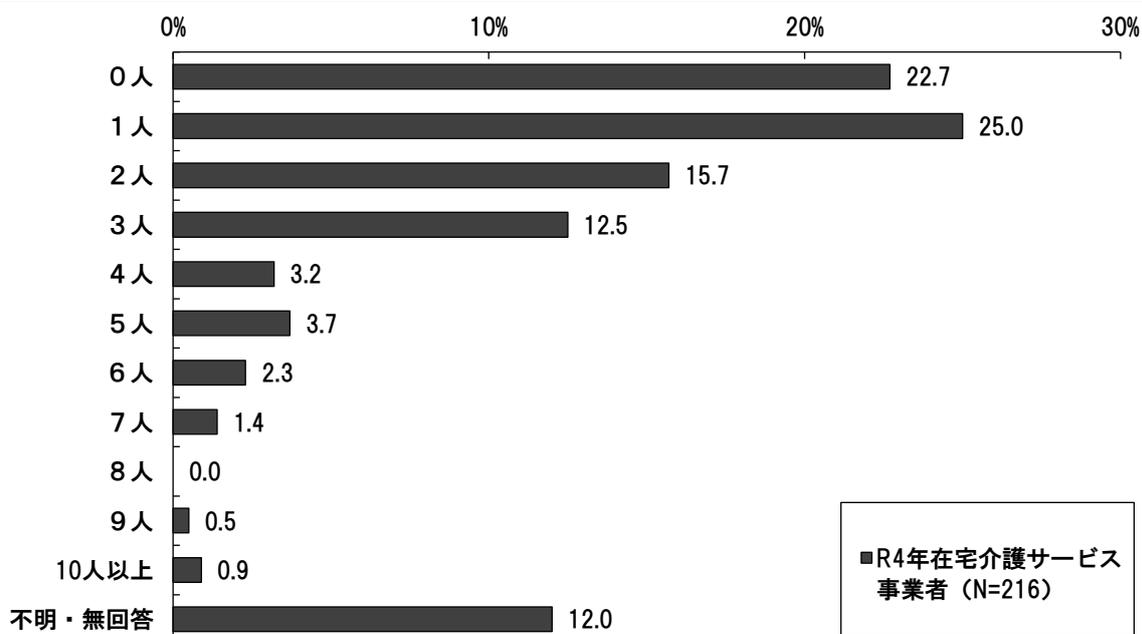
②非正規職員



問3. 令和4年11月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。過去1年間（令和3年11月1日～令和4年10月31日）の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。

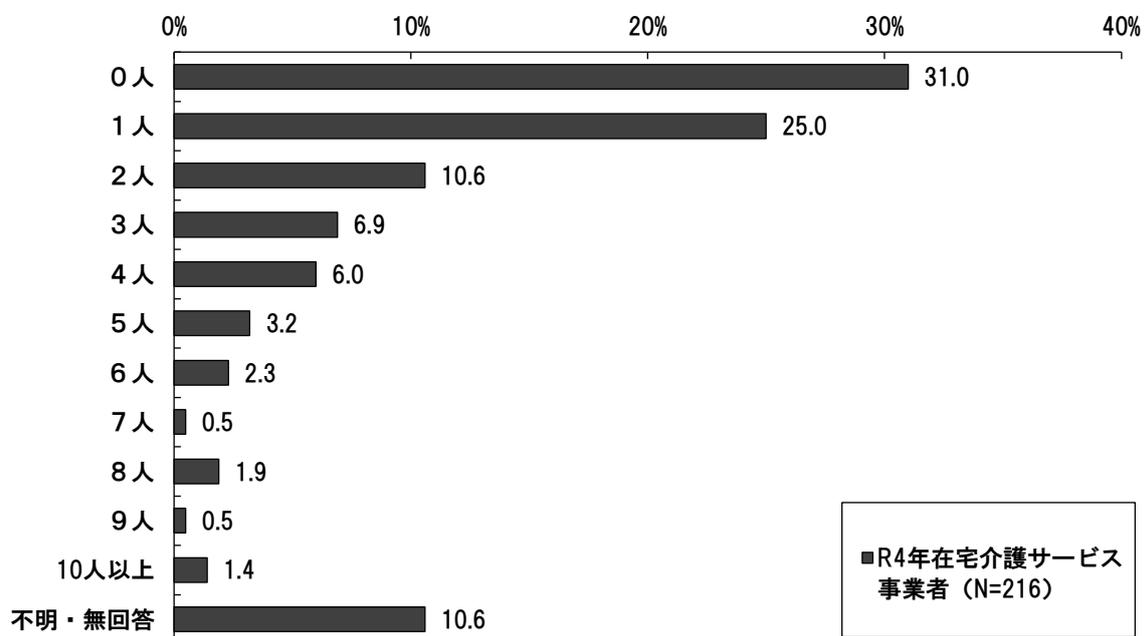
①採用者数（総数）

過去1年間の採用者数については、「1人」が25.0%で最も多く、次いで「0人」が22.7%、「2人」が15.7%となっています。



②離職者数（総数）

過去1年間の離職者数については、「0人」が31.0%で最も多く、次いで「1人」が25.0%、「2人」が10.6%となっています。

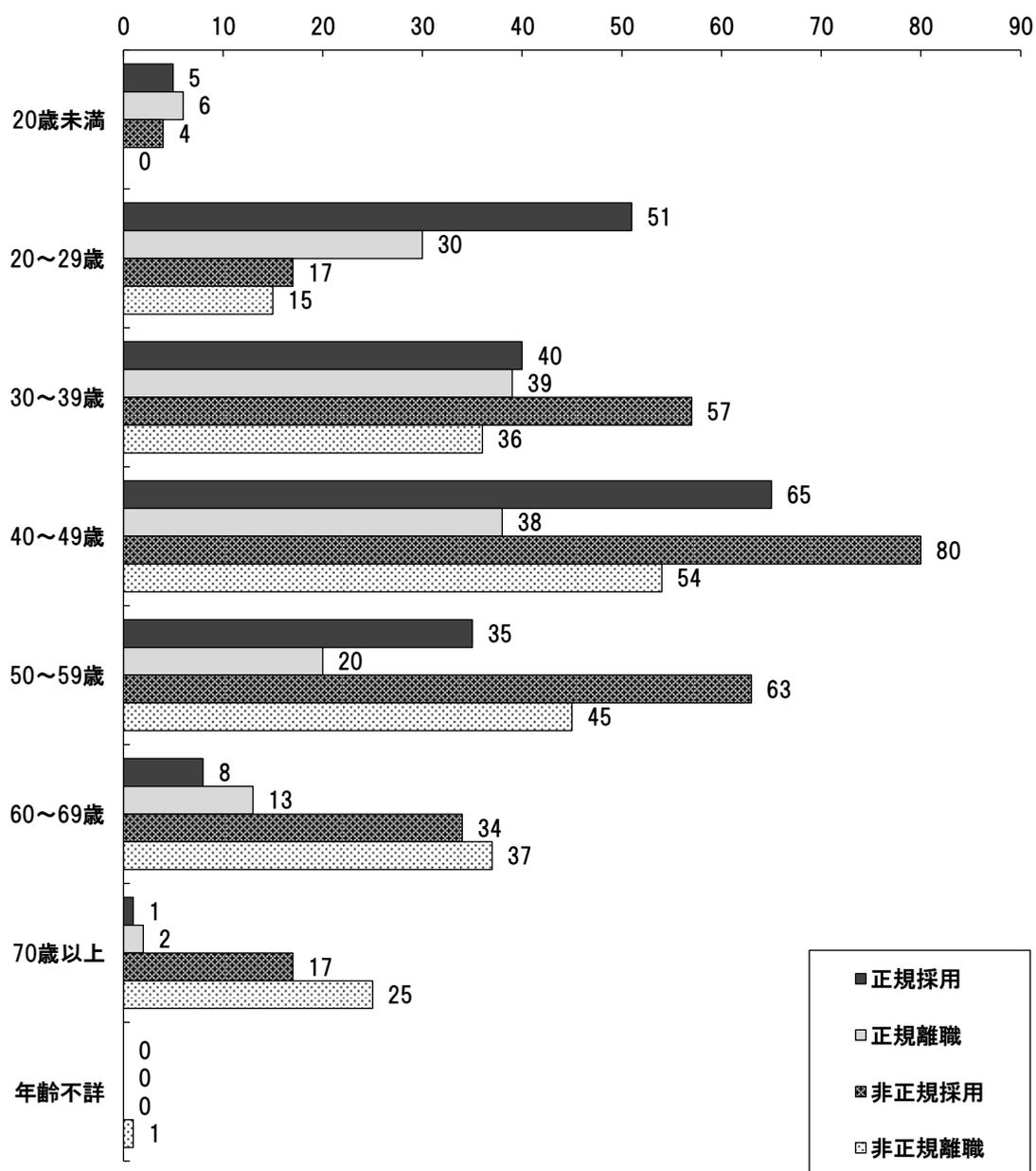


問4. 問3の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。

採用者または離職者のいずれかに1人以上の回答のあった196事業所の年齢別、正規・非正規別の採用者数と離職者数の合計は以下のとおりです。

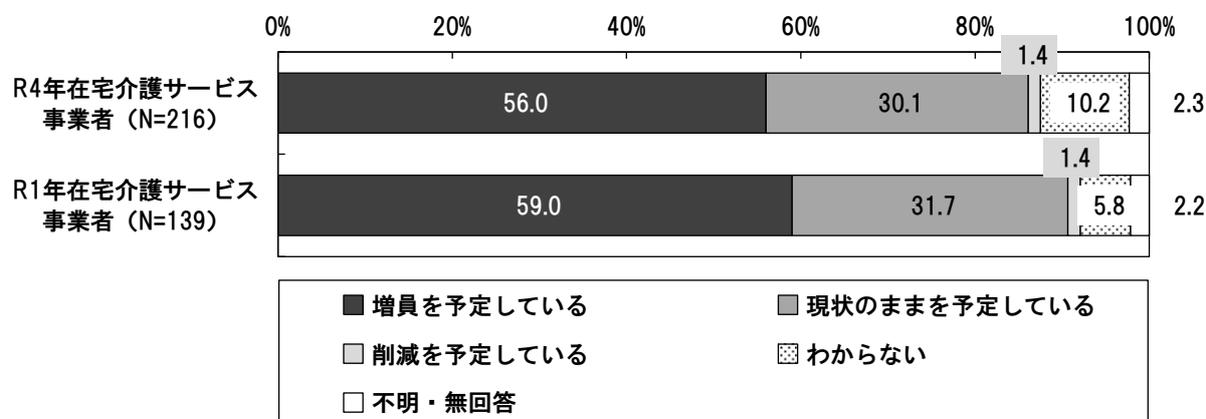
採用者は正規・非正規ともに40歳代が最も多く、次いで正規では20歳代、非正規では50歳代が多くなっています。

離職者数は正規では30歳代が最も多く、次いで40歳代、20歳代が多くなっています。非正規では、40歳代が最も多くなっています。



問5. 今後の介護職員の雇用人数の予定をお答えください。

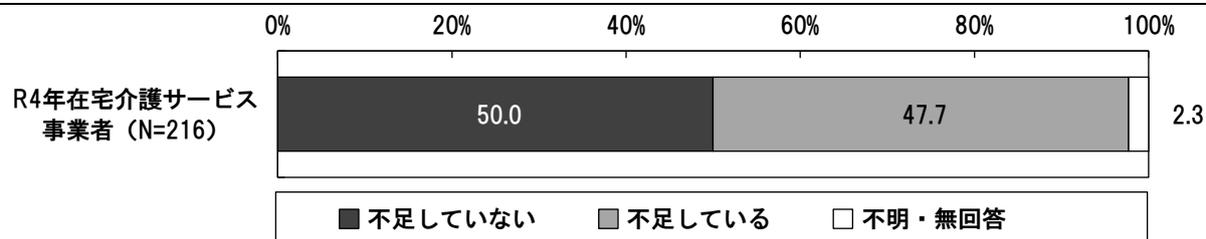
「増員を予定している」が56.0%で最も多く、次いで「現状のままを予定している」が30.1%となっています。



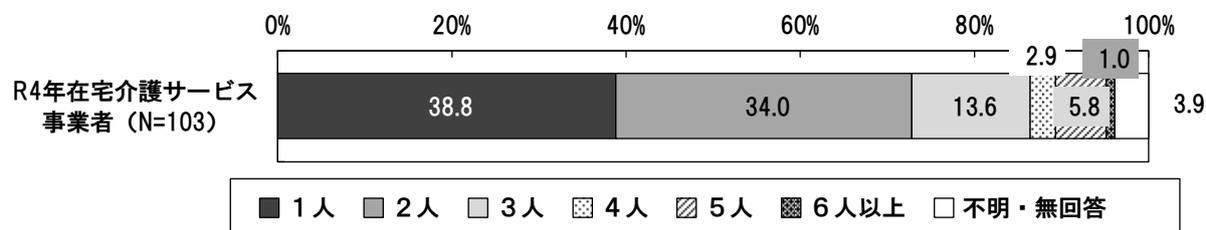
問6. 現在の業務を行ううえで、介護職員の人数が不足していますか。不足している場合は、不足人数（常勤職員として）もお答えください。

「不足している」が47.7%となっており、約半数の事業所で介護職員の人数が不足していると回答されています。

不足している事業所の不足人数については、「1人」が38.8%で最も多く、次いで「2人」が34.0%となっています。

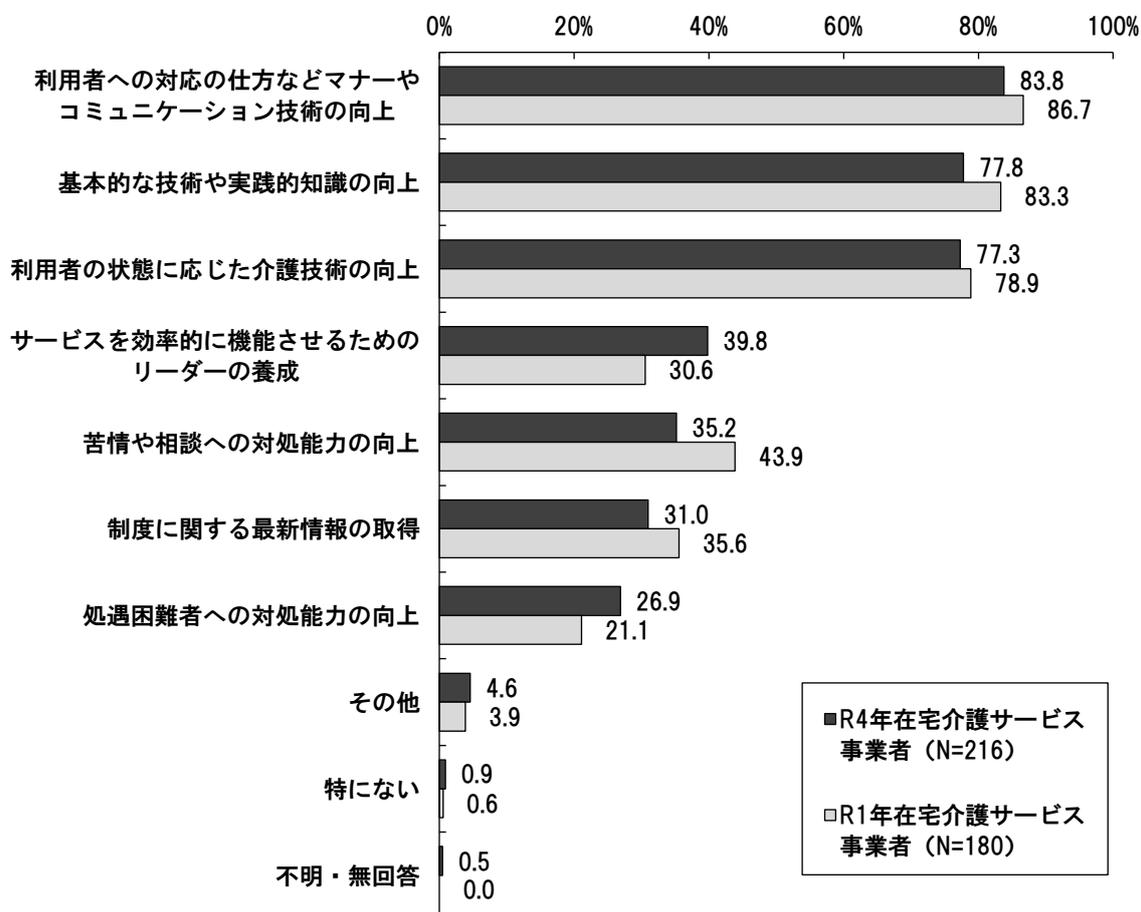


①不足人数



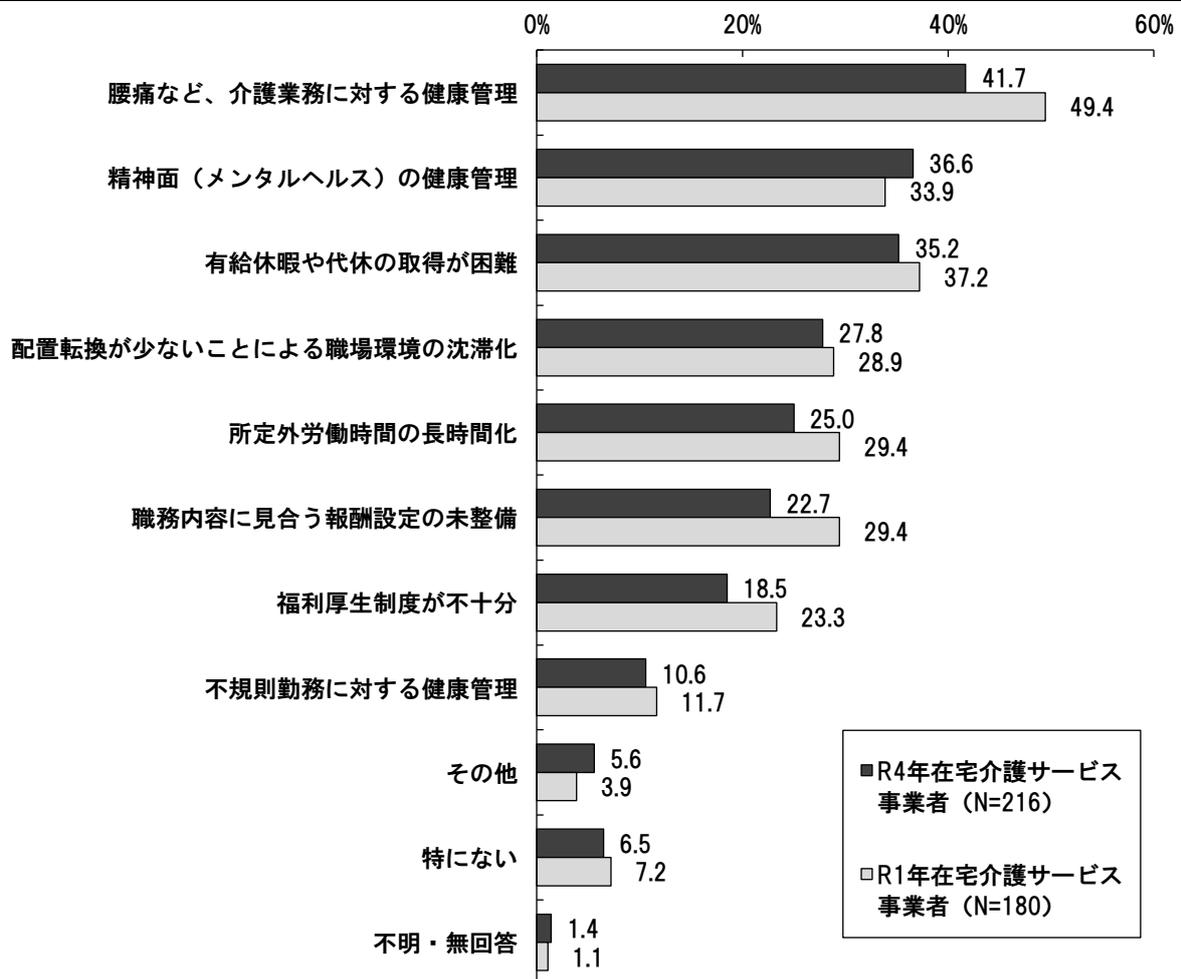
問7. 職員の質の確保・向上を図るために、どのような点を重視して取り組んでいますか。【複数回答】

「利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上」が83.8%で最も多く、次いで「基本的な技術や実践的知識の向上」が77.8%、「利用者の状態に応じた介護技術の向上」が77.3%となっています。



問8. 職員の処遇における課題は何ですか。【複数回答】

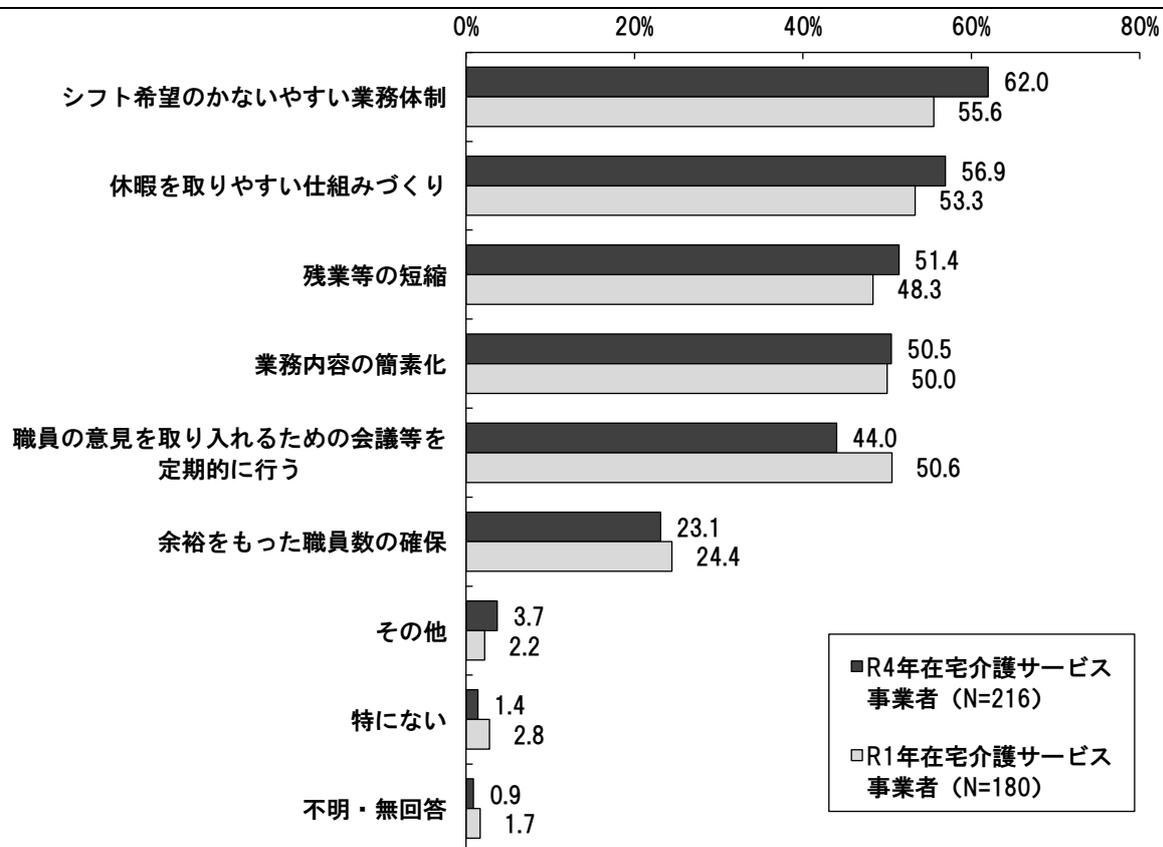
「腰痛など、介護業務に対する健康管理」が41.7%で最も多く、次いで「精神面（メンタルヘルス）の健康管理」が36.6%、「有給休暇や代休の取得が困難」が35.2%となっています。



問9. 職員の労働条件、労働環境を改善するために工夫していることは何ですか。

【複数回答】

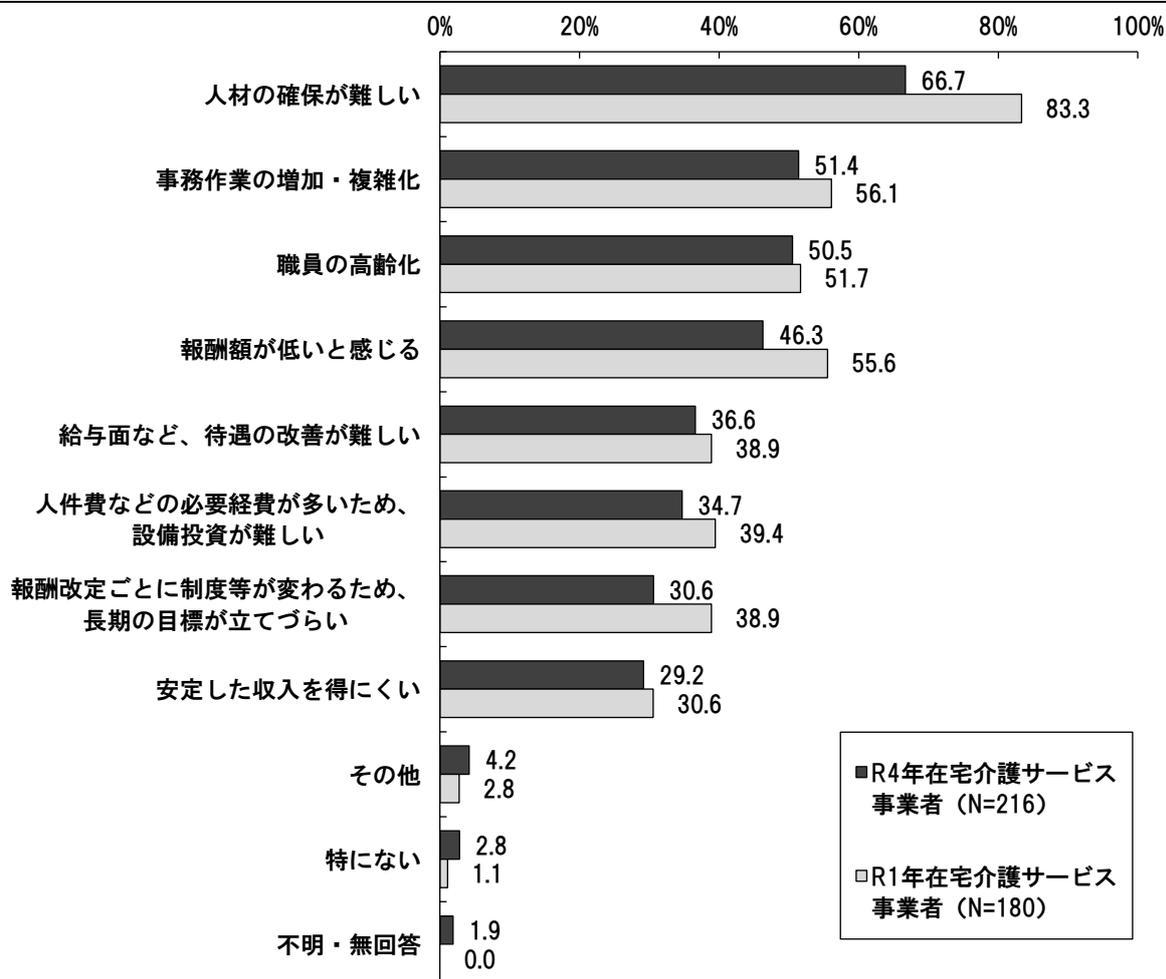
「シフト希望のかないやすい業務体制」が62.0%で最も多く、次いで「休暇を取りやすい仕組みづくり」が56.9%、「残業等の短縮」が51.4%となっています。



問 10. 経営面における問題点や課題は何ですか。【複数回答】

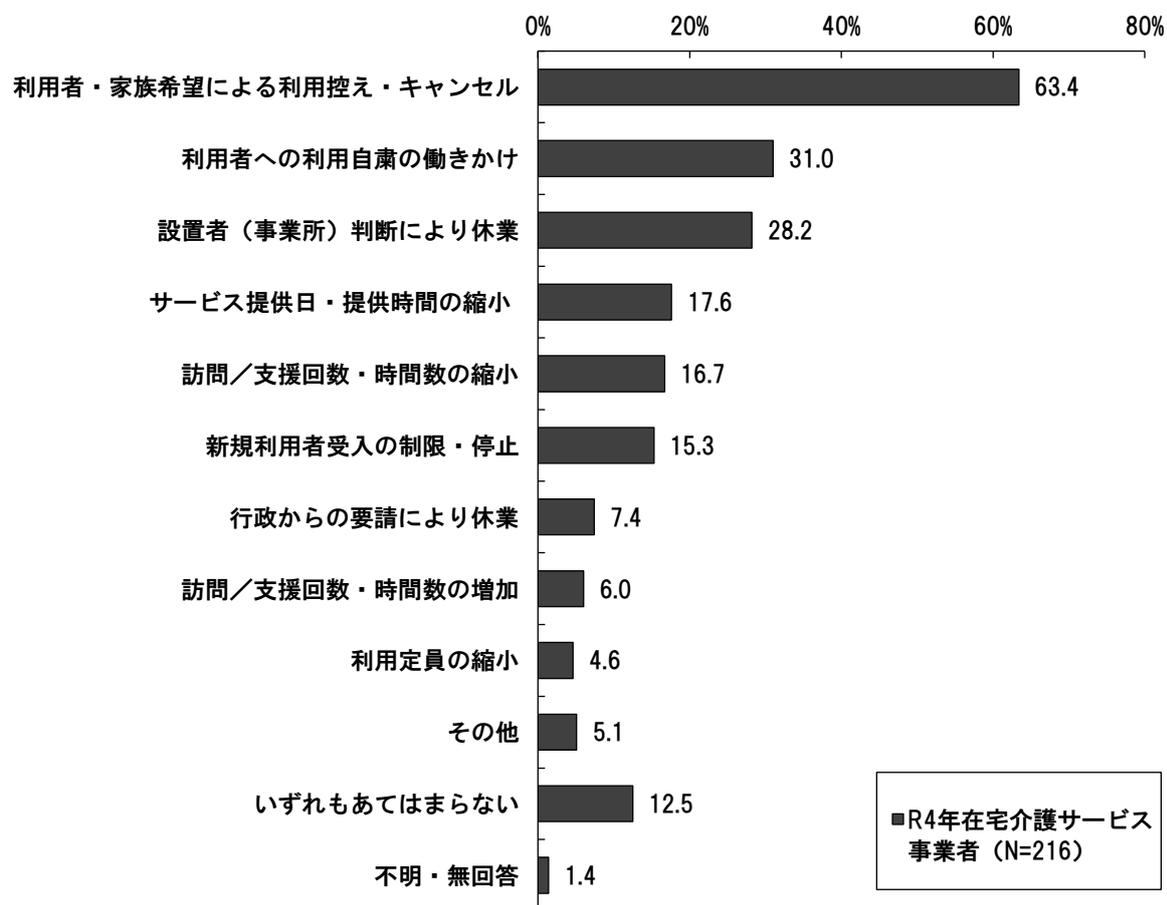
「人材の確保が難しい」が 66.7%で最も多く、次いで「事務作業の増加・複雑化」が 51.4%、「職員の高齢化」が 50.5%となっています。

前回調査と比べると、「人材の確保が難しい」「報酬額が低いと感じる」「報酬改定ごとに制度等が変わるため、長期の目標が立てづらい」が減少しています。



問 11. 過去1年間の、新型コロナウイルス感染症の、事業所運営への影響について、
あてはまるものをお答えください。【複数回答】

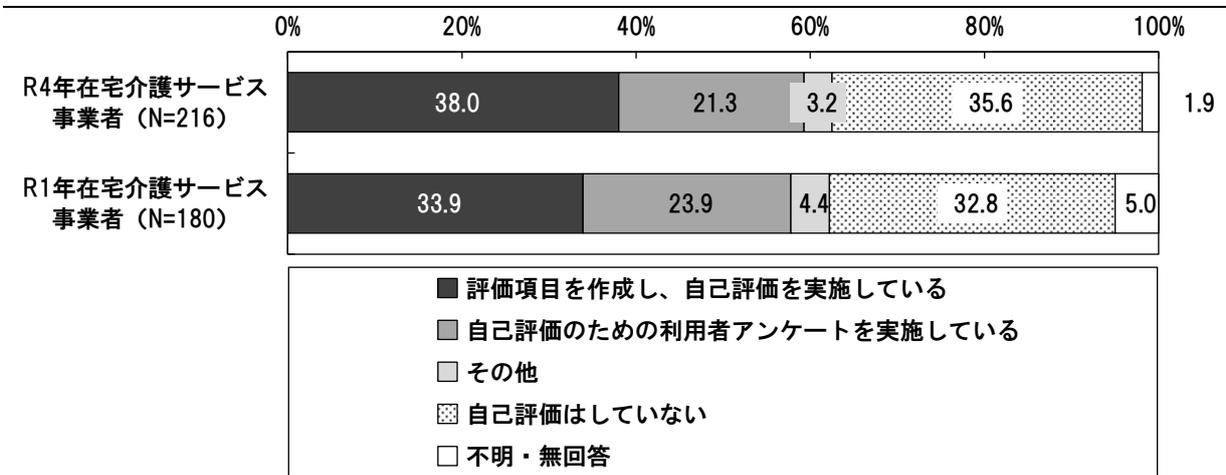
「利用者・家族希望による利用控え・キャンセル」が63.4%で最も多く、次いで「利用者への利用自粛の働きかけ」が31.0%、「設置者（事業所）判断により休業」が28.2%となっています。
「いずれもあてはまらない」は12.5%で、全体の86.1%が何らかの影響があったと回答しています。



2. 提供サービスの状況について

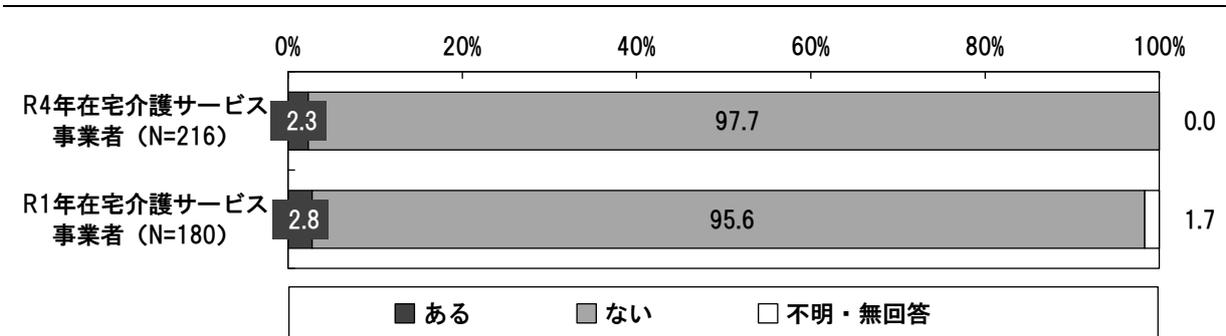
問 12. サービスの自己評価をしていますか。

「評価項目を作成し、自己評価を実施している」が 38.0%で最も多く、次いで「自己評価はしていない」が 35.6%となっています。



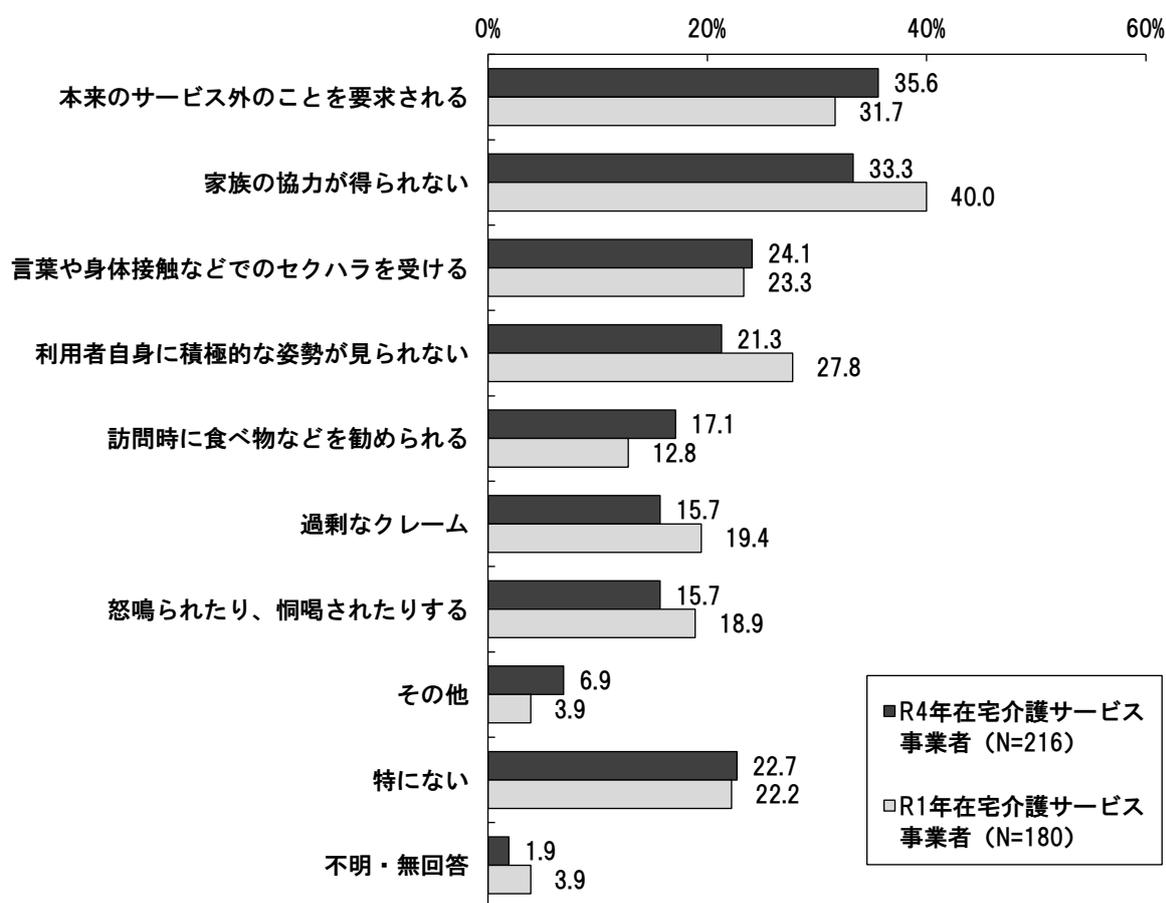
問 13. 利用者等の苦情から、第三者機関の介入や訴訟などに発展した事例はありますか。

「ある」は 2.3%となっています。



問 14. 利用者に関することで、お困りのことは何ですか。【複数回答】

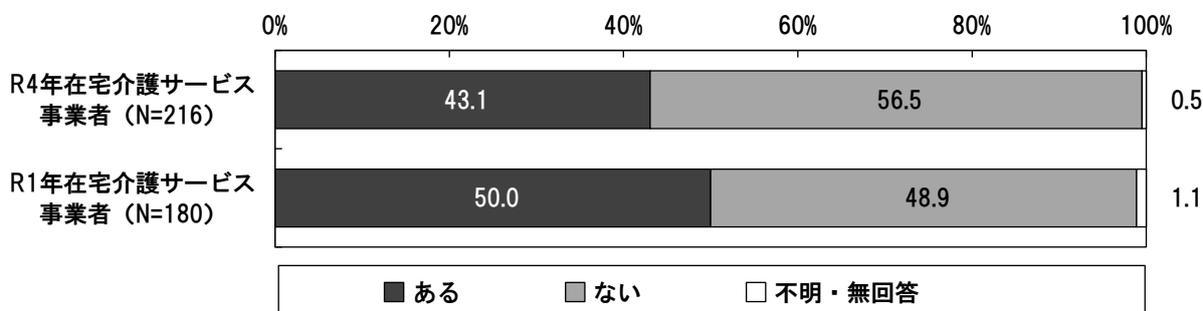
「本来のサービス外のことを要求される」が35.6%で最も多く、次いで「家族の協力が得られない」が33.3%となっています。



問 15. サービス提供を断っている事例はありますか。

「ある」が43.1%となっています。

前回調査と比べると、「ある」がやや減少しています。

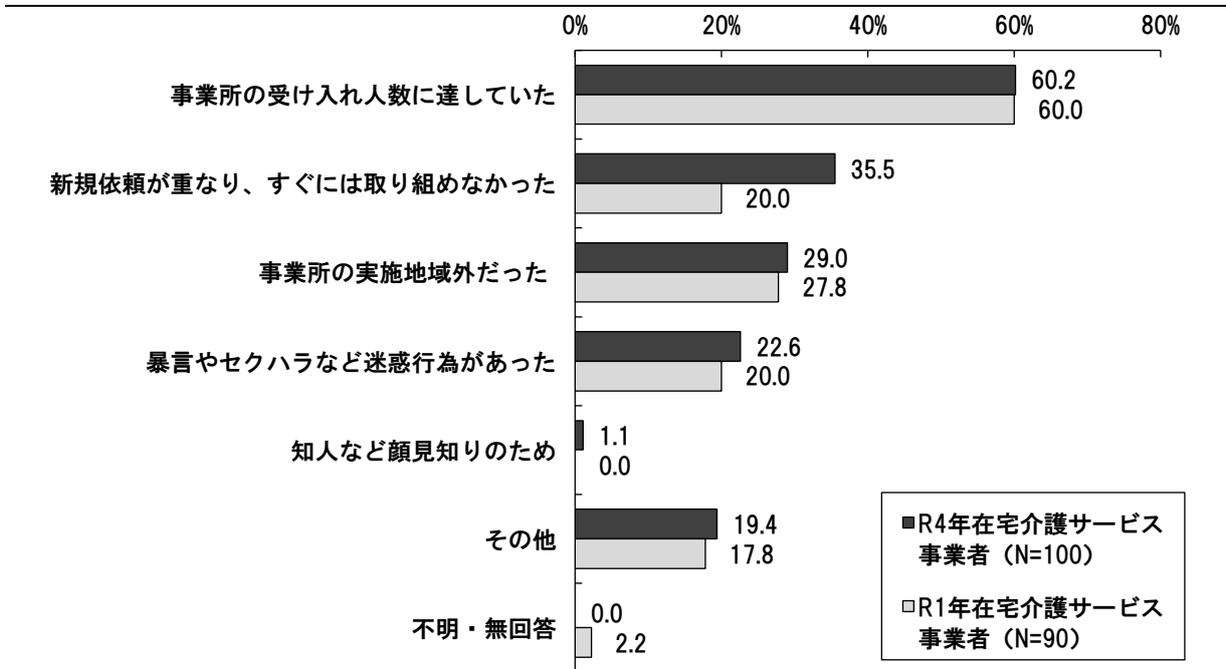


【問 15 において「ある」と回答した事業所のみ】

①それはどのような内容でしたか。【複数回答】

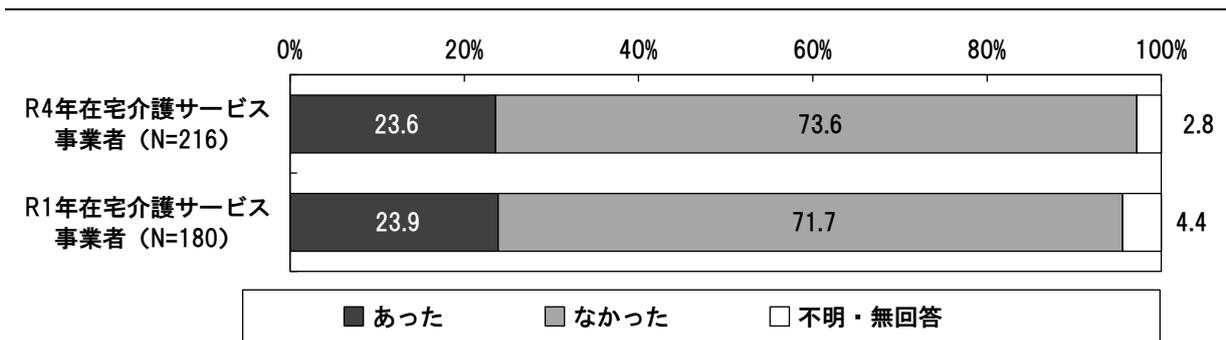
「事業所の受け入れ人数に達していた」が 60.2%で最も多く、次いで「新規依頼が重なり、すぐには取り組めなかった」が 35.5%となっています。

前回調査と比べると、「新規依頼が重なり、すぐには取り組めなかった」が増加しています。



問 16. 適切な介護サービスを提供することが困難であると自ら認めた場合は、居宅介護支援事業者への連絡や適当な他の事業所の紹介など、必要な措置を講じることになっていますが、貴事業所でサービス提供が困難な事例がありましたか。

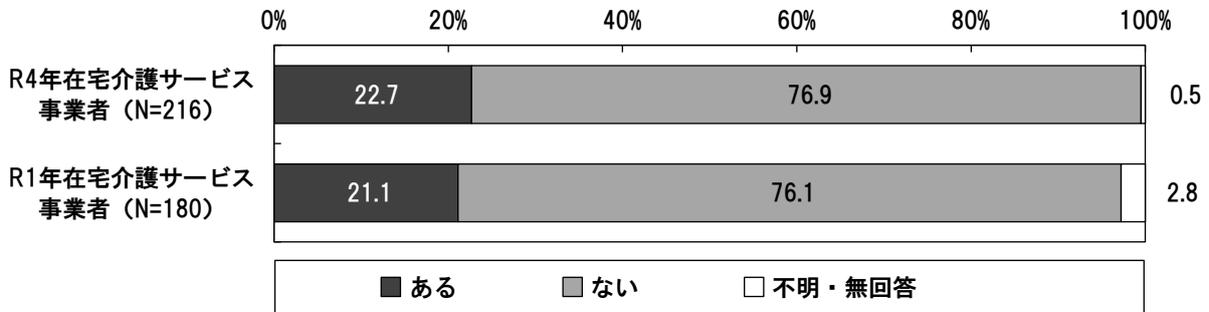
「あった」が 23.6%となっています。



3. 高齢者虐待・リスクマネジメントについて

問 17. サービスを提供している要介護者の中で、高齢者虐待を受けている又は受けていると思われる事例がありますか。

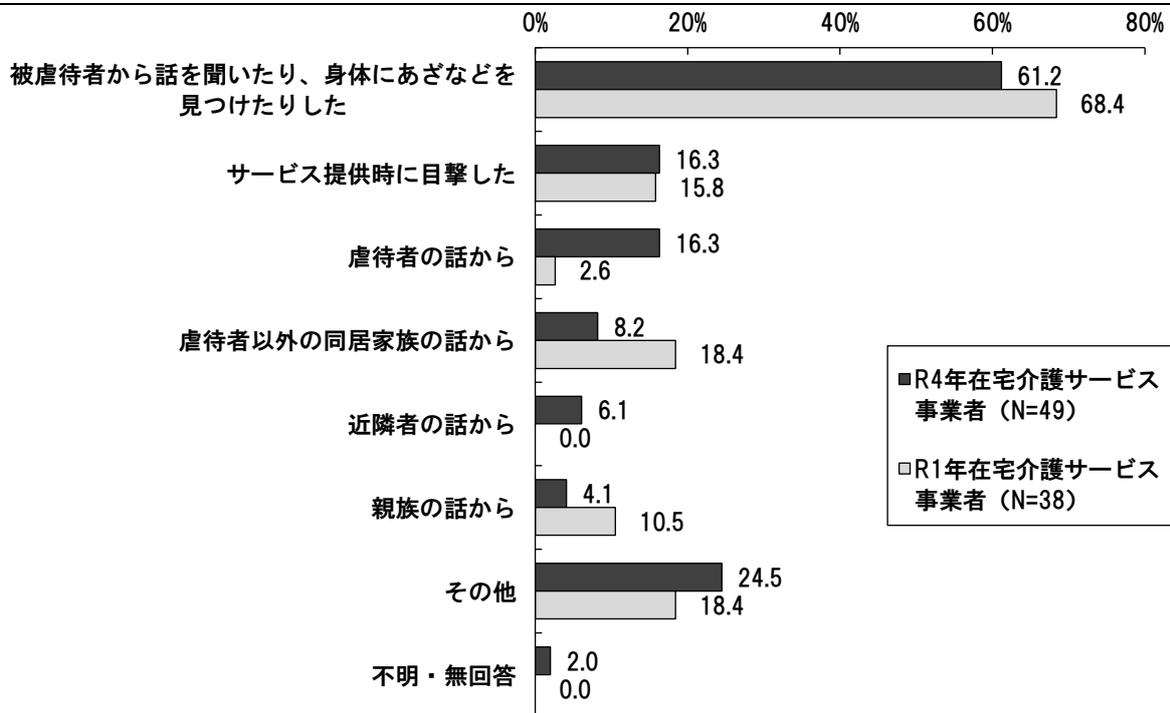
「ある」が22.7%となっています。



【問 17 において「ある」と回答した事業所のみ】

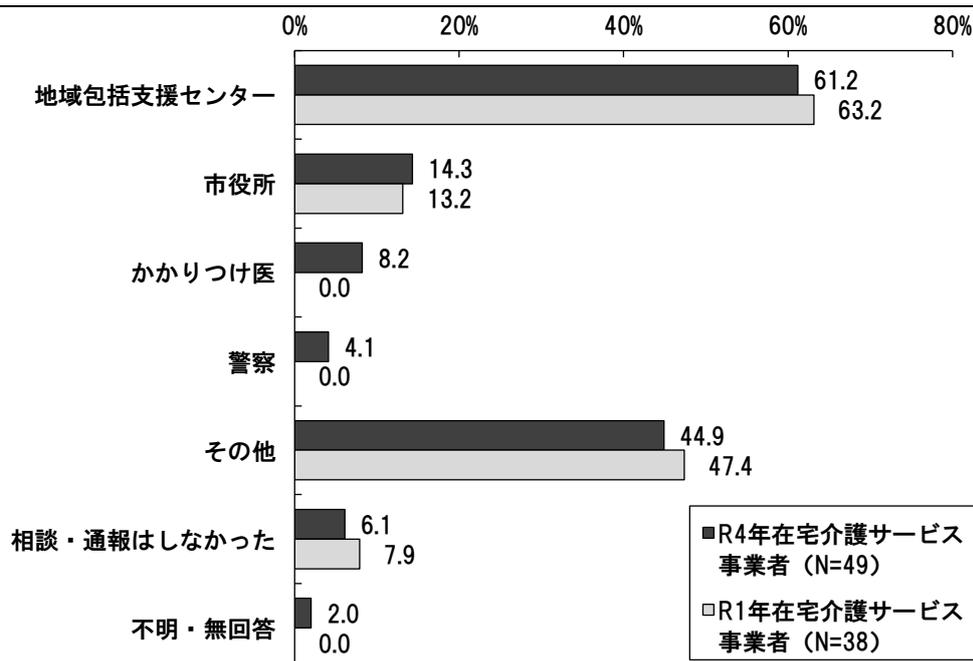
①それは、どのようにしてわかりましたか。【複数回答】

「被虐待者から話を聞いたり、身体にあざなどを見つけたりした」が61.2%で最も多く、次いで「サービス提供時に目撃した」「虐待者の話から」が16.3%となっています。



②相談・通報先はどこですか。【複数回答】

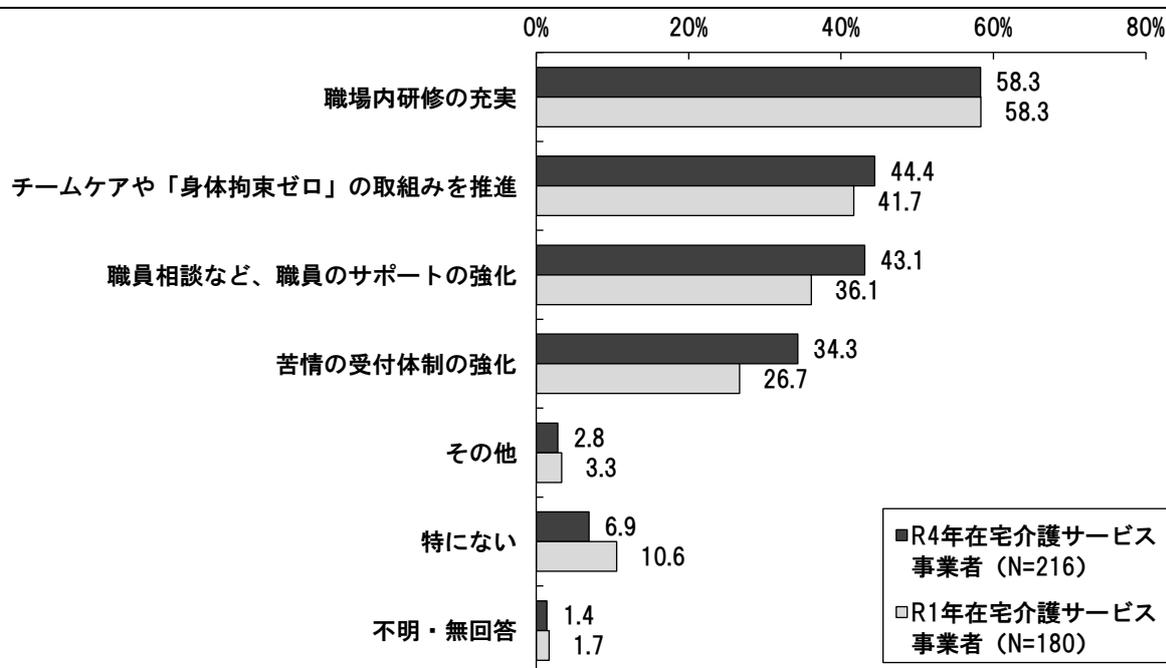
「地域包括支援センター」が61.2%で最も多くなっています。



※「市役所」は R1 年調査では「市の長寿課・介護保険課」

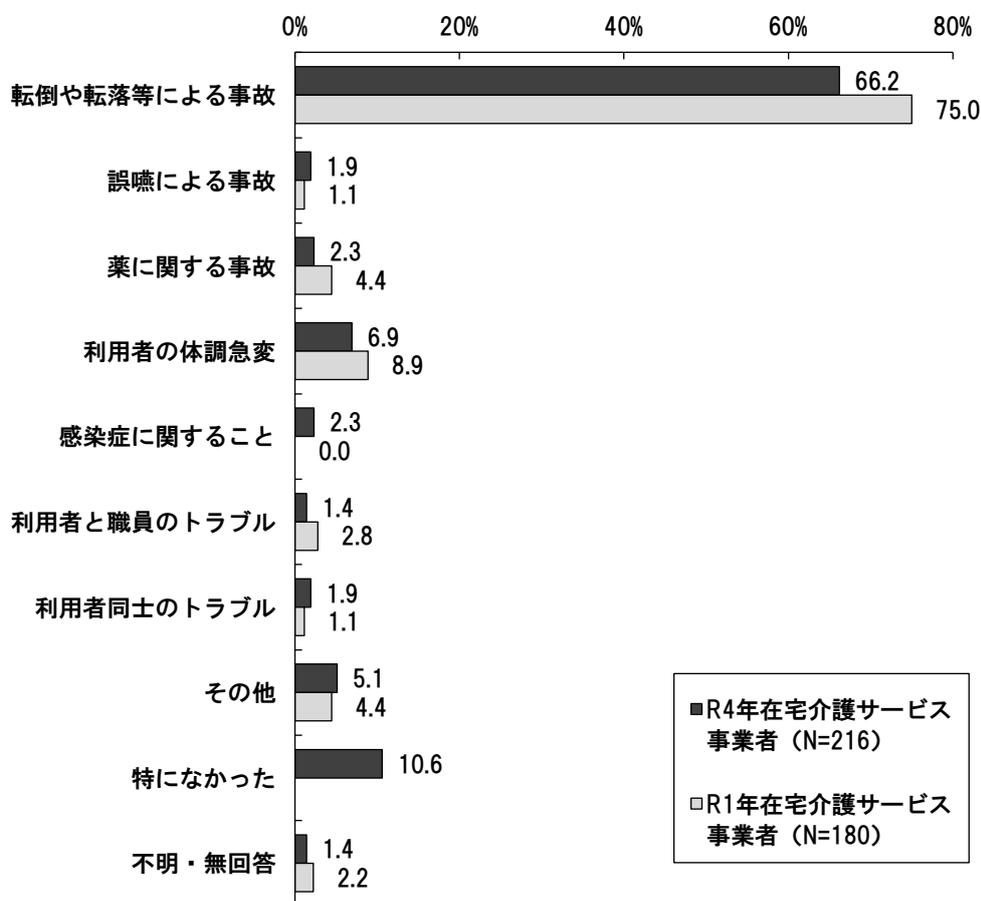
問 18. 虐待予防に関して、どのような取り組みをしていますか。【複数回答】

「職場内研修の充実」が58.3%で最も多く、次いで「チームケアや『身体拘束ゼロ』の取り組みを推進」が44.4%、「職員相談など、職員のサポートの強化」が43.1%となっています。



問 19. 事故や事故につながりかねない事柄（ヒヤリハット）についての報告で、最も多かった報告事例は何ですか。

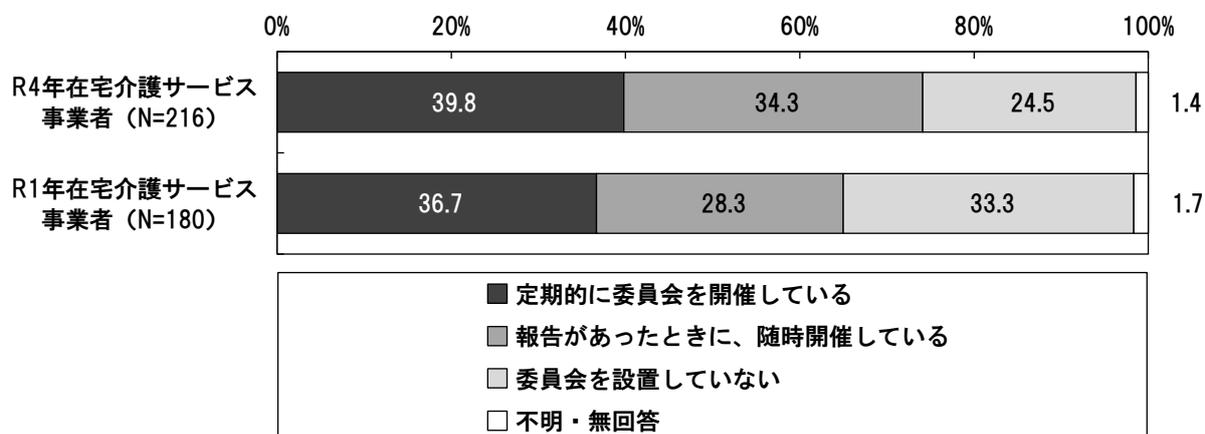
「転倒や転落等による事故」が66.2%で最も多くなっています。



問 20. 現場から出された報告書を分析・検討する安全管理のための委員会（またはリスク管理委員会）を開催していますか。

「定期的に委員会を開催している」が39.8%で最も多く、次いで「報告があったときに、随時開催している」が34.3%となっています。

前回調査と比べると、「委員会を設置していない」が減少しています。

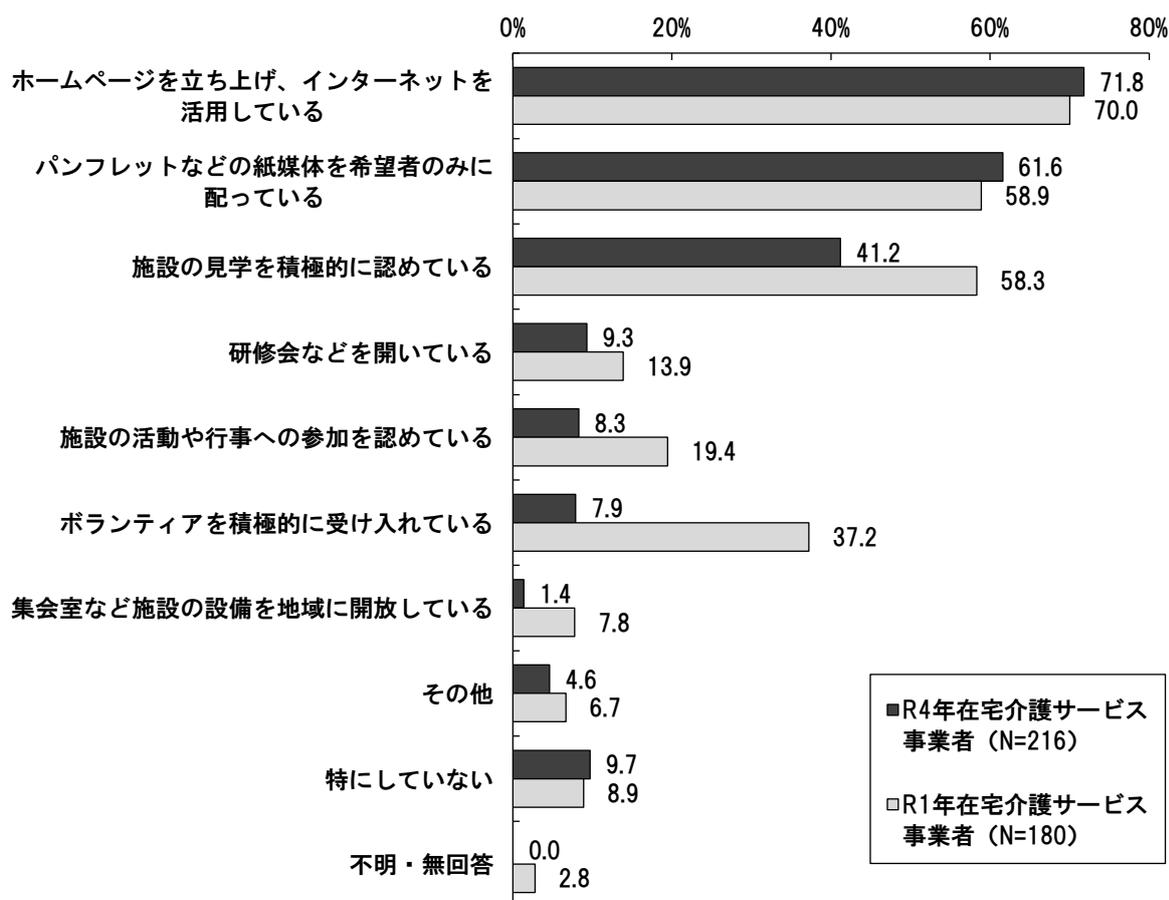


4. 情報発信等について

問 21. 施設やサービスについて、どのように情報発信していますか。【複数回答】

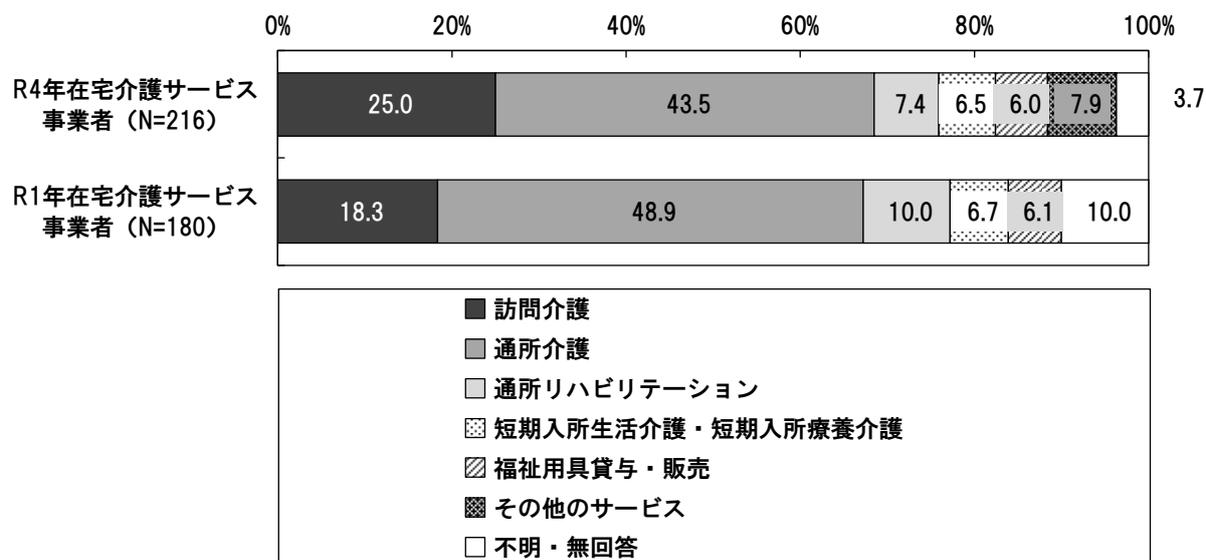
「ホームページを立ち上げ、インターネットを活用している」が71.8%で最も多く、次いで「パンフレットなどの紙媒体を希望者のみに配っている」が61.6%、「施設の見学を積極的に認めている」が41.2%となっています。

前回調査と比べると、「施設の見学を積極的に認めている」「施設の活動や行事への参加を認めている」「ボランティアを積極的に受け入れている」「集会室など施設の設備を地域に開放している」が減少しており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がうかがえます。



問 22. 貴事業所の事業種別をお答えください。

「通所介護」が43.5%で最も多く、次いで「訪問介護」が25.0%となっています。

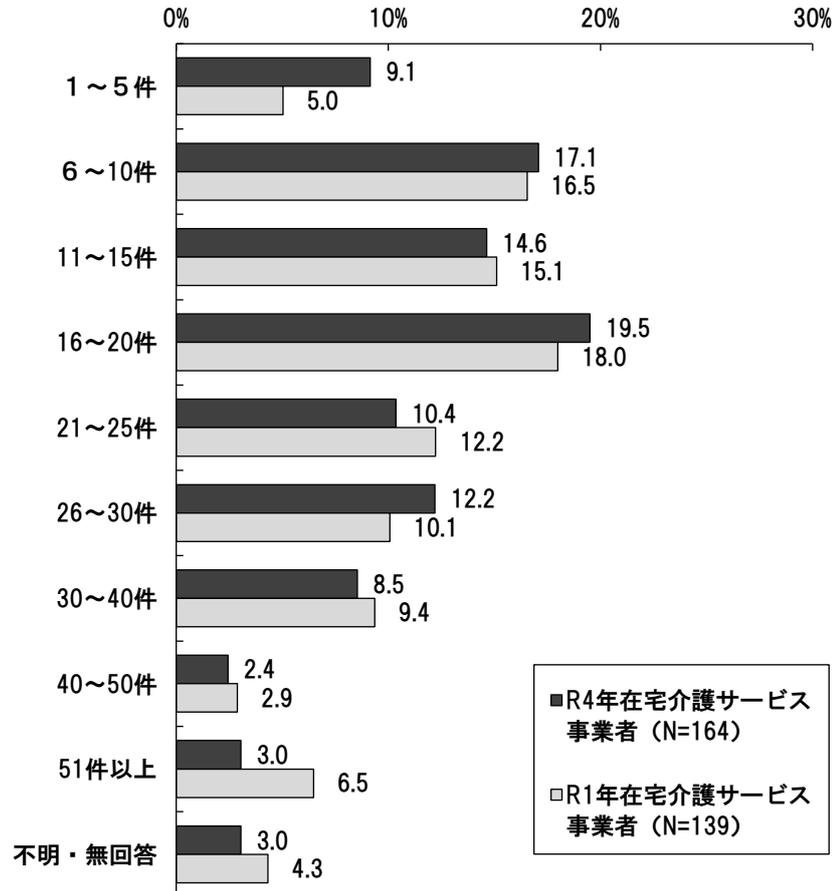


5. 事業種別の状況について

【訪問介護事業者、通所介護事業者、通所リハビリテーション事業者のみ】

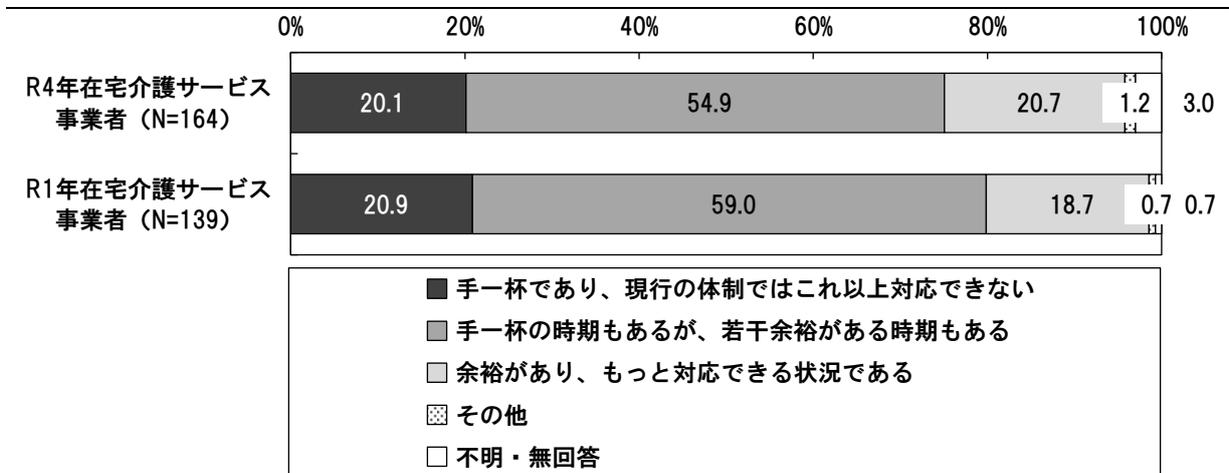
問 23. 貴事業所全体における1日あたりのサービス実施件数（人数）は、平均で何件（人）程度ですか。

「16～20件」が19.5%で最も多く、次いで「6～10件」が17.1%となっています。



問 24. サービスの提供状況について、次のどれに近いですか。

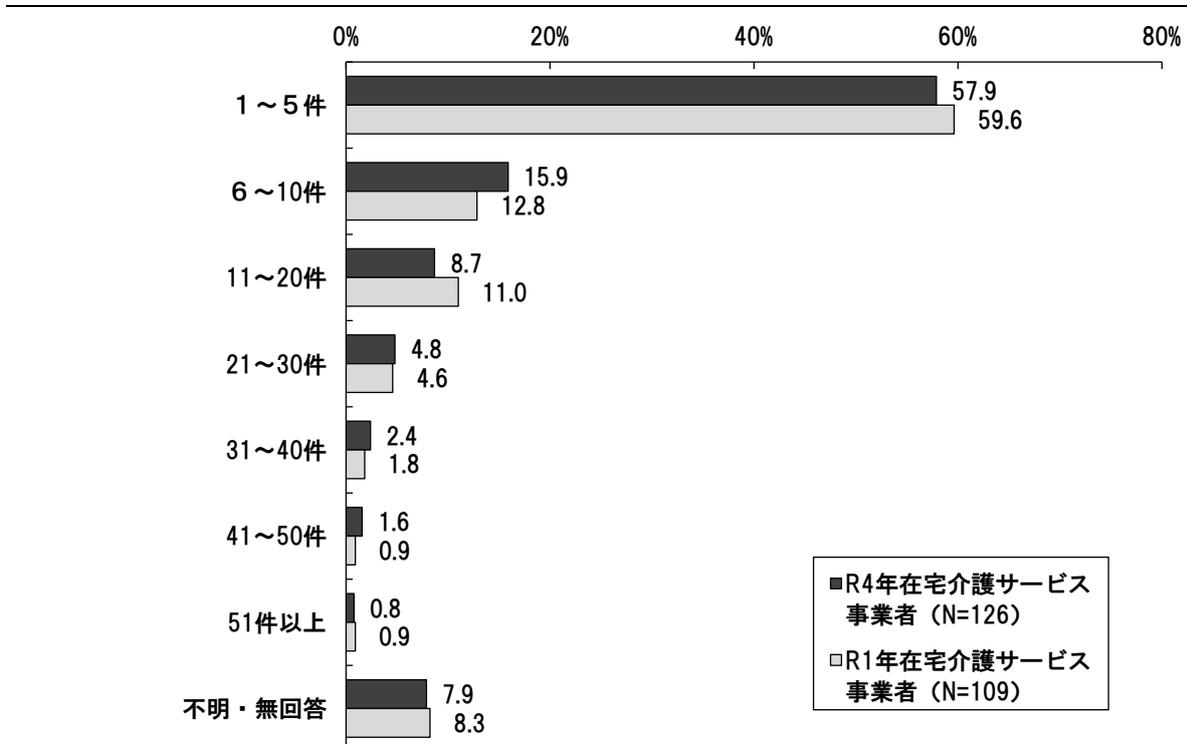
「手一杯の時期もあるが、若干余裕がある時期もある」が 54.9%で最も多く、次いで「余裕があり、もっと対応できる状況である」が 20.7%、「手一杯であり、現行の体制ではこれ以上対応できない」が 20.1%となっています。



【問 24 において「手一杯であり、現行の体制ではこれ以上対応できない」以外のいずれかを回答した事業所のみ】

①事業所全体で、1日あたりあと何件（人）程度のサービス提供が可能ですか。

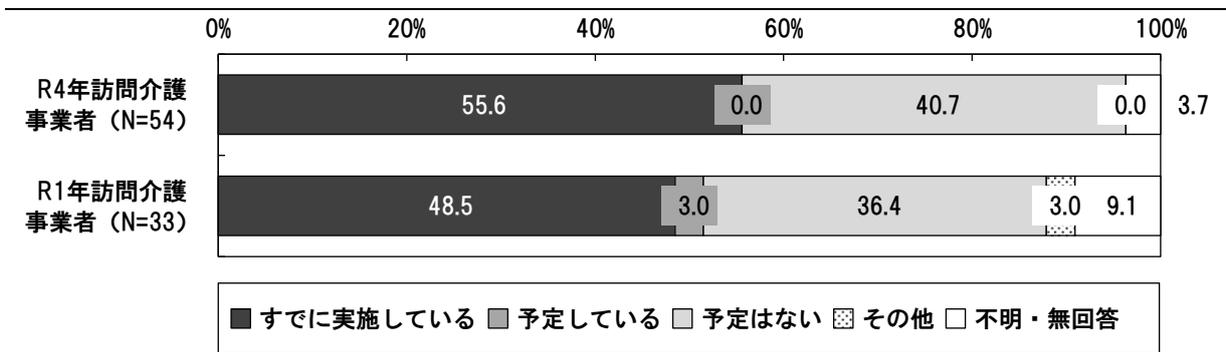
「1～5件」が 57.9%で最も多く、次いで「6～10件」が 15.9%となっています。



【訪問介護事業者のみ】

問 25. 夜間、早朝、深夜の訪問介護の実施予定はありますか。

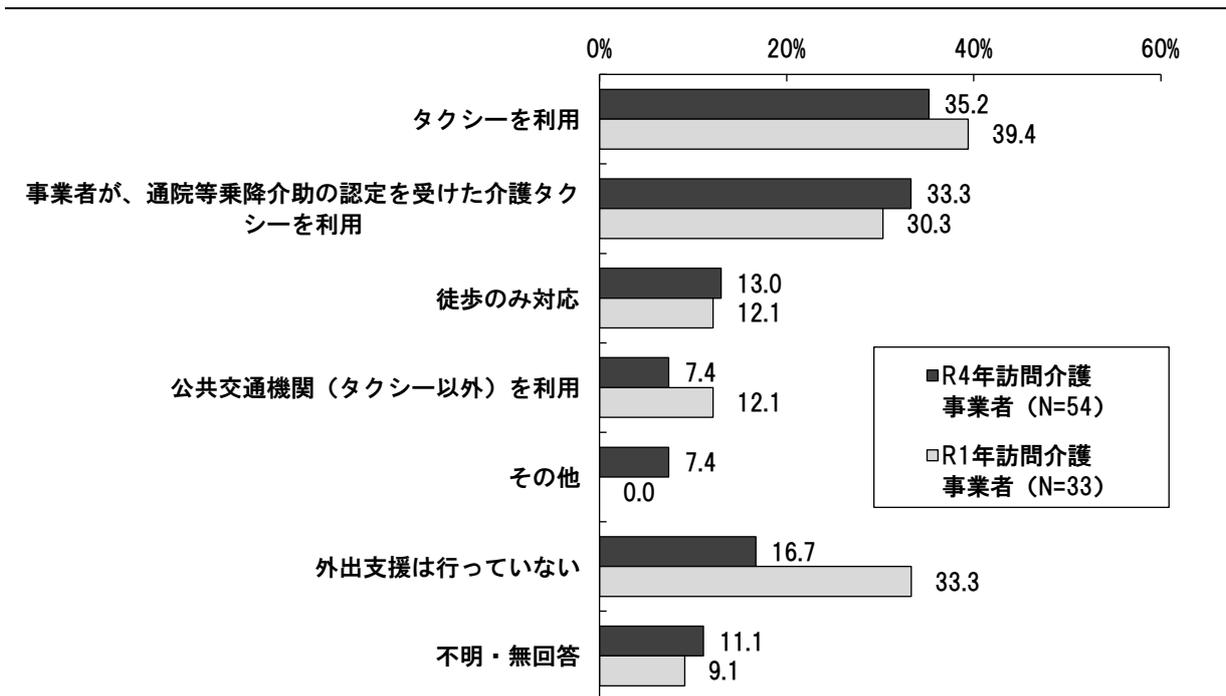
「すでに実施している」が55.6%で最も多く、次いで「予定はない」が40.7%となっています。



【訪問介護事業者のみ】

問 26. 通院等の外出支援時の交通手段について、どのように対応していますか。

「タクシーを利用」が35.2%で最も多く、次いで「事業者が、通院等乗降介助の認定を受けた介護タクシーを利用」が33.3%となっています。



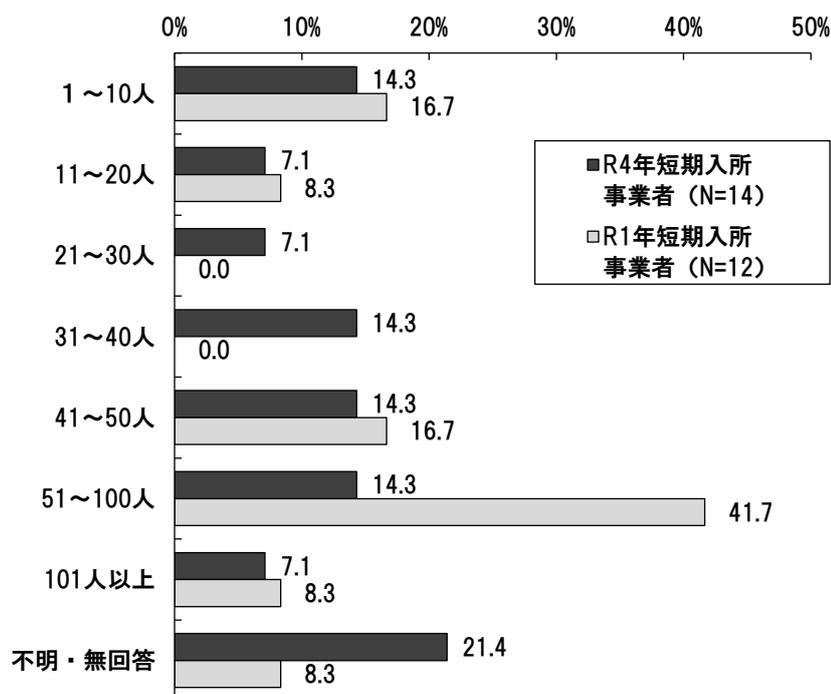
【短期入所生活介護事業者・短期入所療養介護事業者のみ】

問 27. 貴事業所におけるサービス実施件数について、月あたりの実利用人数は平均で何人くらいですか。

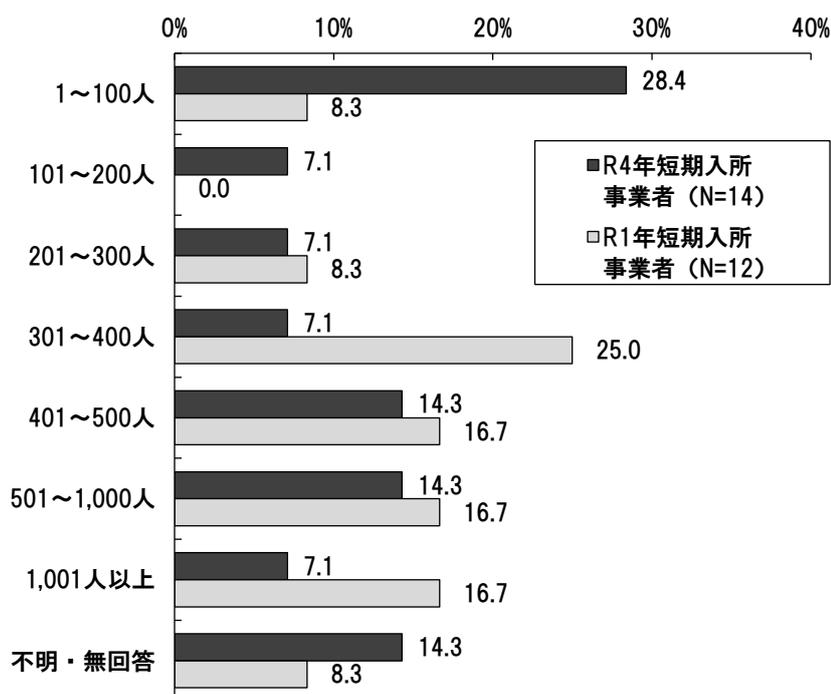
実利用人数については、回答にばらつきがあります。

延べ利用人数については、「1～100人」が4件（28.4%）で最も多い一方、「401～500人」と「501～1,000人」がそれぞれ2件（14.3%）あります。

①月あたり実利用人数



①月あたり延べ利用人数

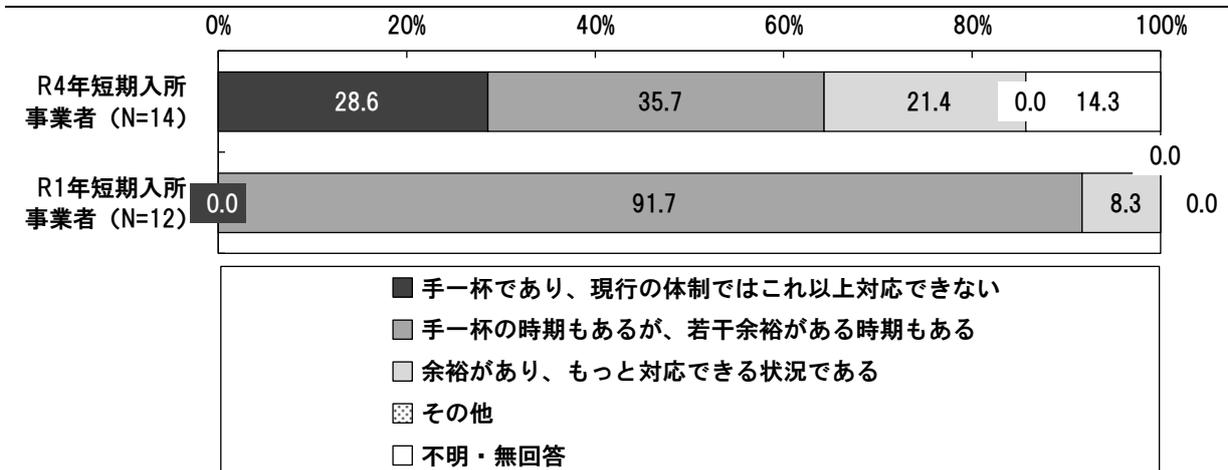


【短期入所生活介護事業者・短期入所療養介護事業者のみ】

問 28. サービスの提供状況について、次のどれに近いですか。

「手一杯の時期もあるが、若干余裕がある時期もある」が35.7%で最も多く、次いで「手一杯であり、現行の体制ではこれ以上対応できない」が28.6%となっています。

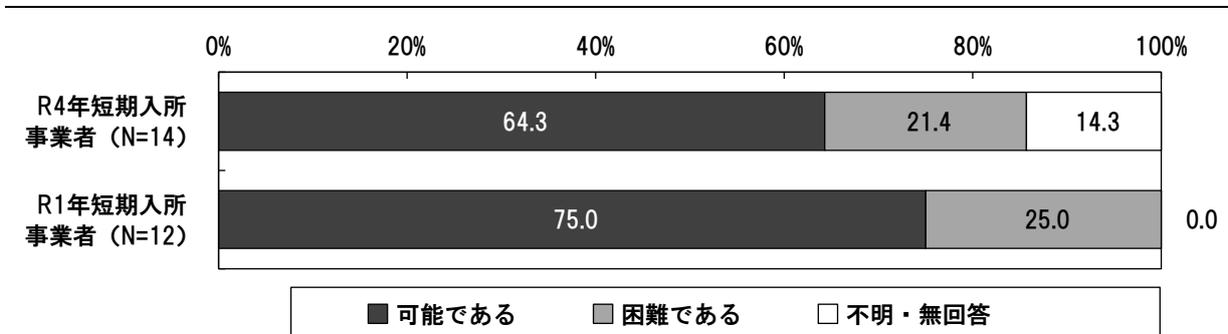
前回調査と比べると、「手一杯であり、現行の体制ではこれ以上対応できない」「余裕があり、もっと対応できる状況である」のいずれもが増加しています。



【短期入所生活介護事業者・短期入所療養介護事業者のみ】

問 29. 緊急に利用が必要となった時の対応は可能ですか。

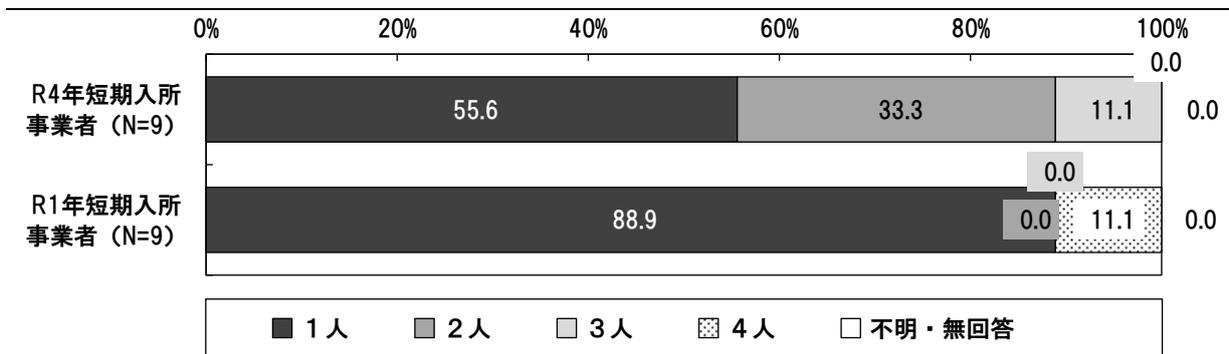
「可能である」が64.3%となっています。



【問 29 において「可能である」と回答した事業所のみ】

①緊急時に1日あたり何人程度のサービス提供が可能ですか。

「1人」が5件（55.6%）、「2人」が3件（33.3%）となっています。



【福祉用具貸与・販売事業者のみ】

問 30. 貸与件数の多い上位5種目について、その名称、月あたりの平均貸与件数、平均貸与金額をお答えください。

回答のあった16事業所の合計で、最も貸与件数が多かったのは「手すり」の7,720件で、平均貸与金額は4,871円、次いで「特殊寝台付属品」が6,336件で平均貸与金額は2,220円となっています。

回答事業所数：16	月あたりの平均貸与件数合計（件）	平均貸与金額（円）
手すり	7,720	4,871
特殊寝台付属品	6,336	2,220
歩行器	2,913	4,979
特殊寝台	1,511	8,594
車いす	1,316	14,361
スロープ	1,115	6,511
歩行補助杖	67	345

【福祉用具貸与・販売事業者のみ】

問 31. 販売件数の多い上位5種目について、その名称、月あたりの平均販売件数、平均販売金額をお答えください。

回答のあった16事業所の合計で、最も販売件数が多かったのは「入浴補助器」の94.5件で、平均販売金額は24,118円、次いで「腰掛便座」が29.5件で平均販売金額は48,348円となっています。

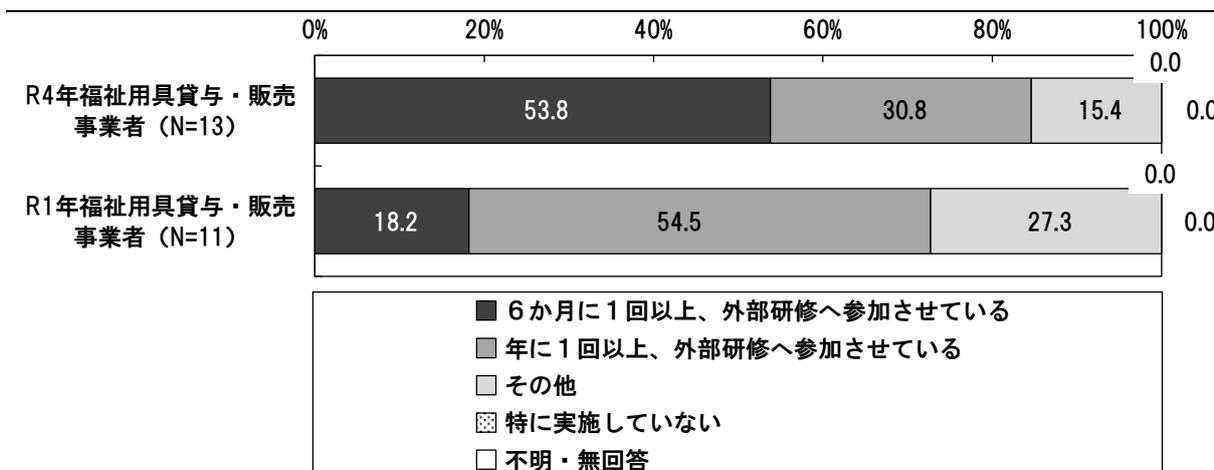
回答事業所数：16	月あたりの平均販売件数合計（件）	平均販売金額（円）
入浴補助器	94.5	24,118
腰掛便座	29.5	48,348
シャワーチェア	18.5	25,971
ポータブルトイレ	10.5	52,345
浴槽台	9.1	20,299
浴槽手すり	3.1	21,849
入浴グリップ	4.0	20,800
浴槽内すのこ	0.1	18,810

【福祉用具貸与・販売事業者のみ】

問 32. 最新の福祉用具の構造や使用方法等の専門的な知識を習得するため、福祉用具専門相談員の研修を実施していますか。

「6か月に1回以上、外部研修へ参加させている」が53.8%で最も多く、次いで「年に1回以上、外部研修へ参加させている」が30.8%となっています。

前回調査と比べると、「6か月に1回以上、外部研修へ参加させている」が増加し、「年に1回以上、外部研修へ参加させている」が減少しています。

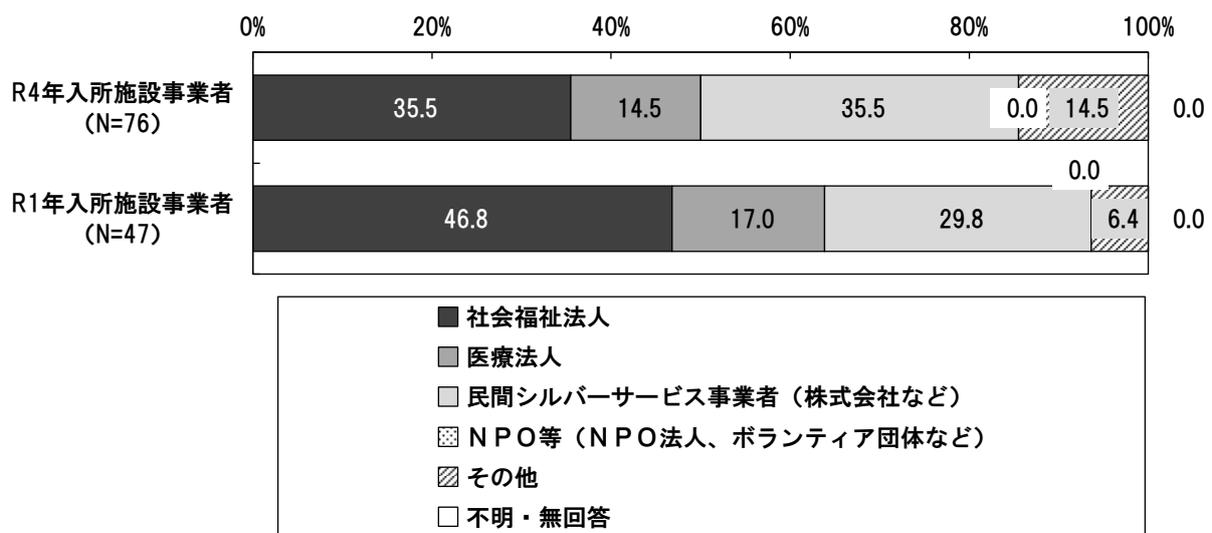


Ⅷ 入所施設事業者の調査結果

1. サービス事業者の運営形態や状況について

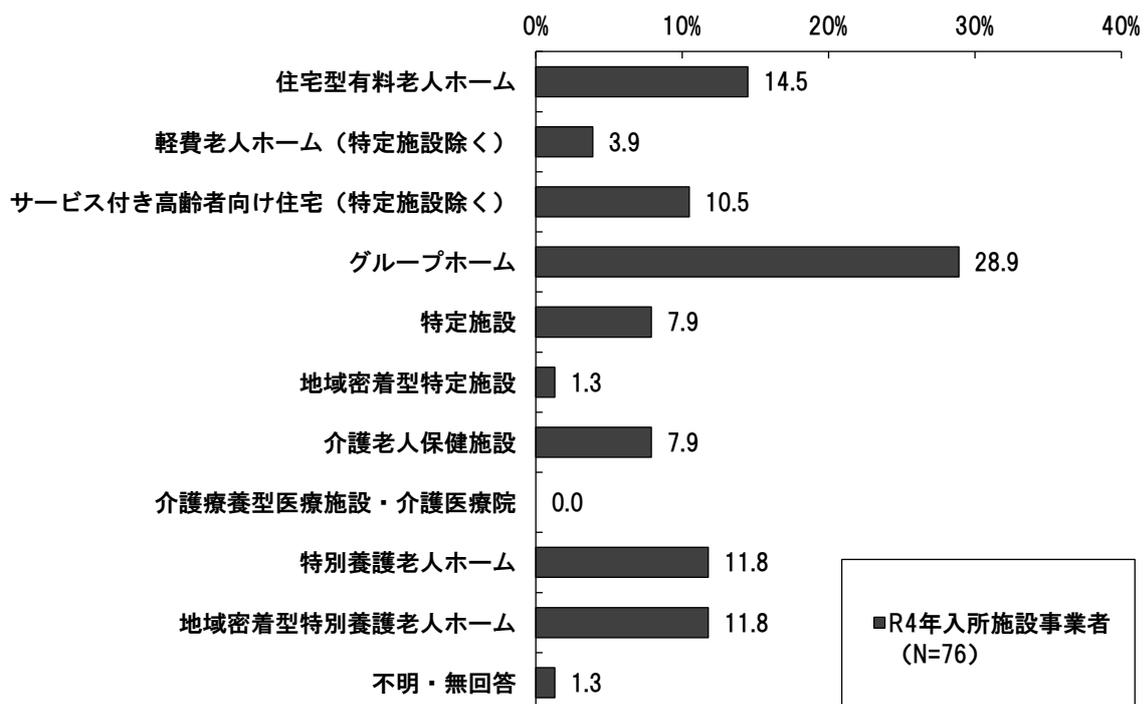
問1. 運営形態はどれにあてはまりますか。

「社会福祉法人」と「民間シルバーサービス事業者（株式会社など）」が35.5%で最も多くなっています。前回調査では介護保険の施設のみ調査対象としていましたが、今回調査では住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅を調査対象に加えたため、件数が増えています。



問2. 貴事業所が該当するサービス種別を、ご回答ください。

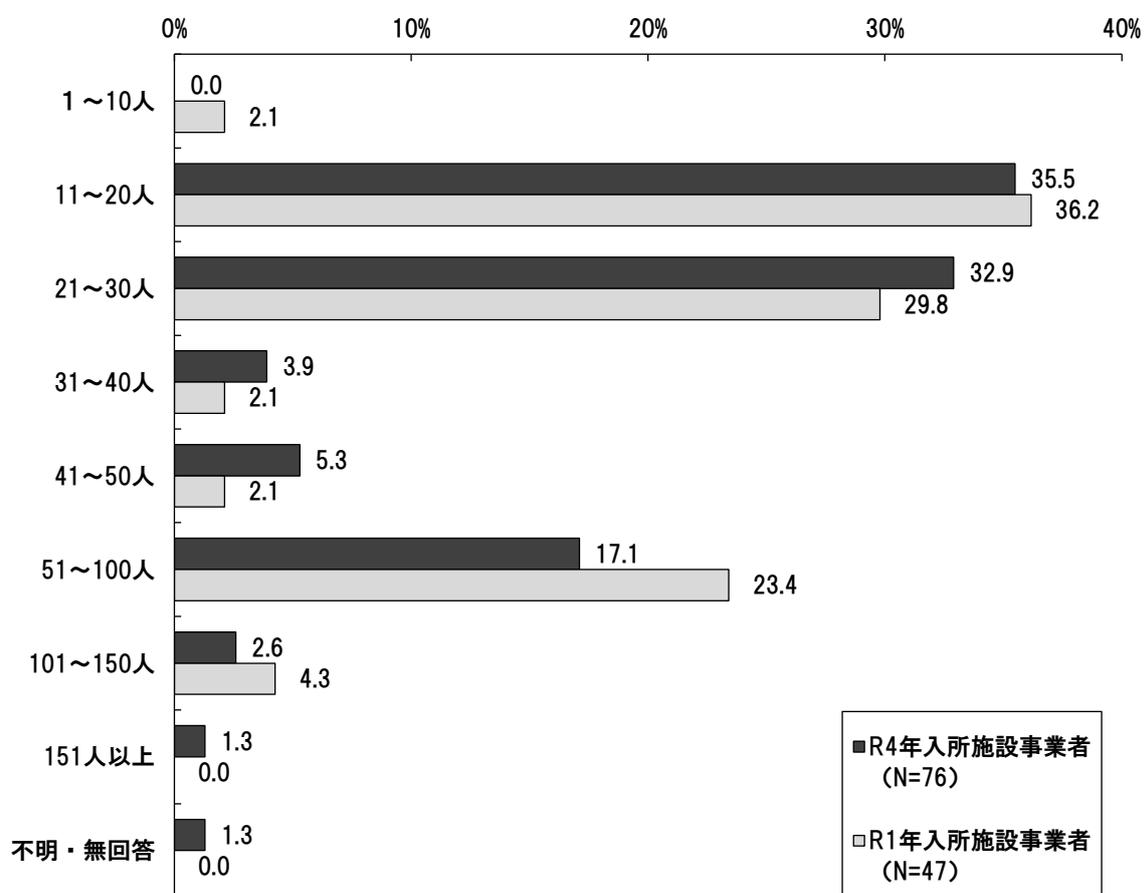
「グループホーム」が28.9%で最も多くなっています。



問3. 入所定員、部屋数等について数字でご記入ください。

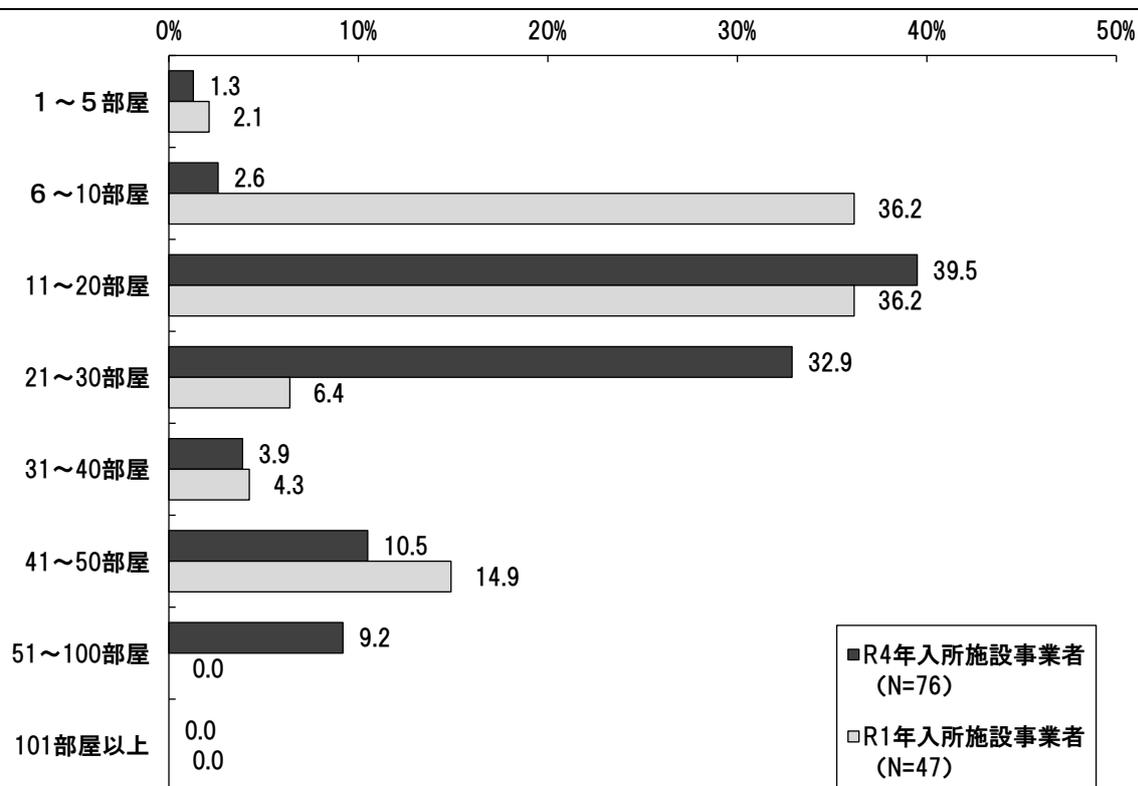
①入所定員数

「11～20人」が35.5%で最も多く、次いで「21～30人」が32.9%となっています。



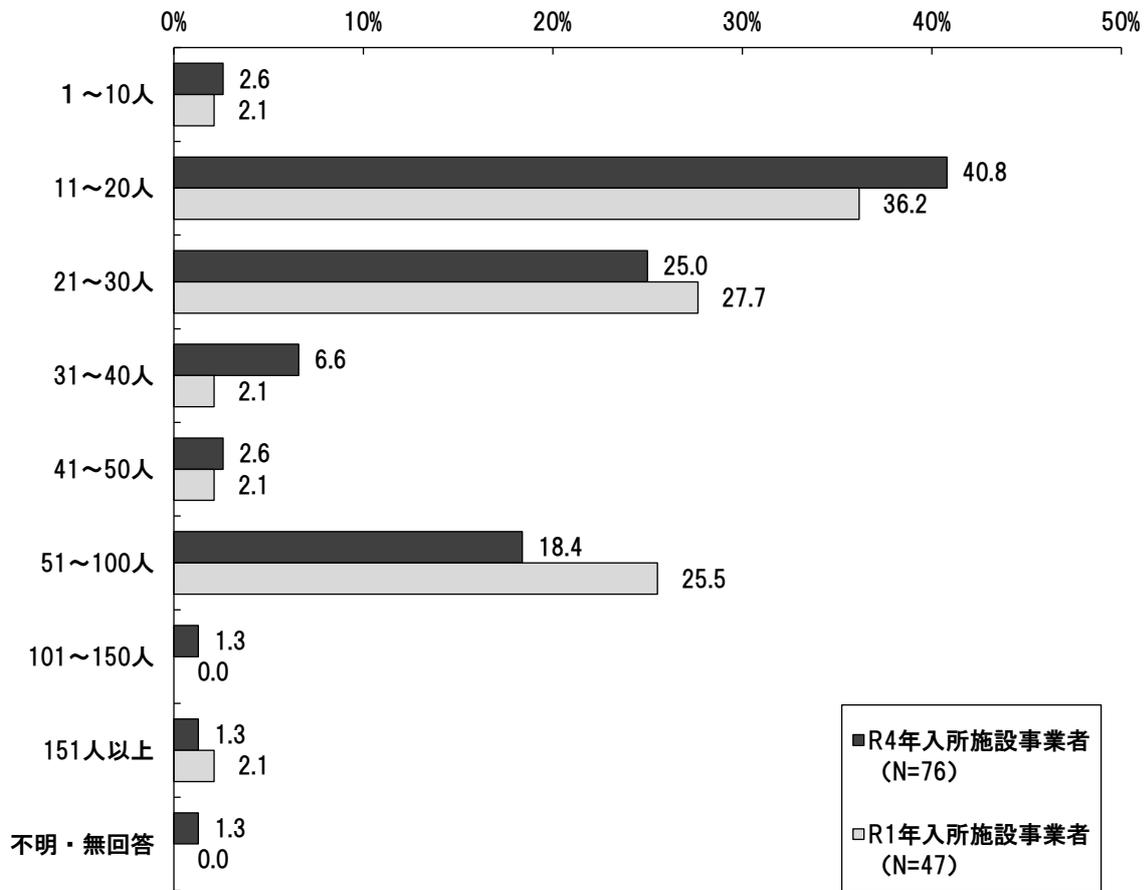
②部屋数

「11～20 部屋」が39.5%で最も多く、次いで「21～30 部屋」が32.9%となっています。
前回調査と比べると、「21～30 部屋」が増加し、「6～10 部屋」が減少しています。



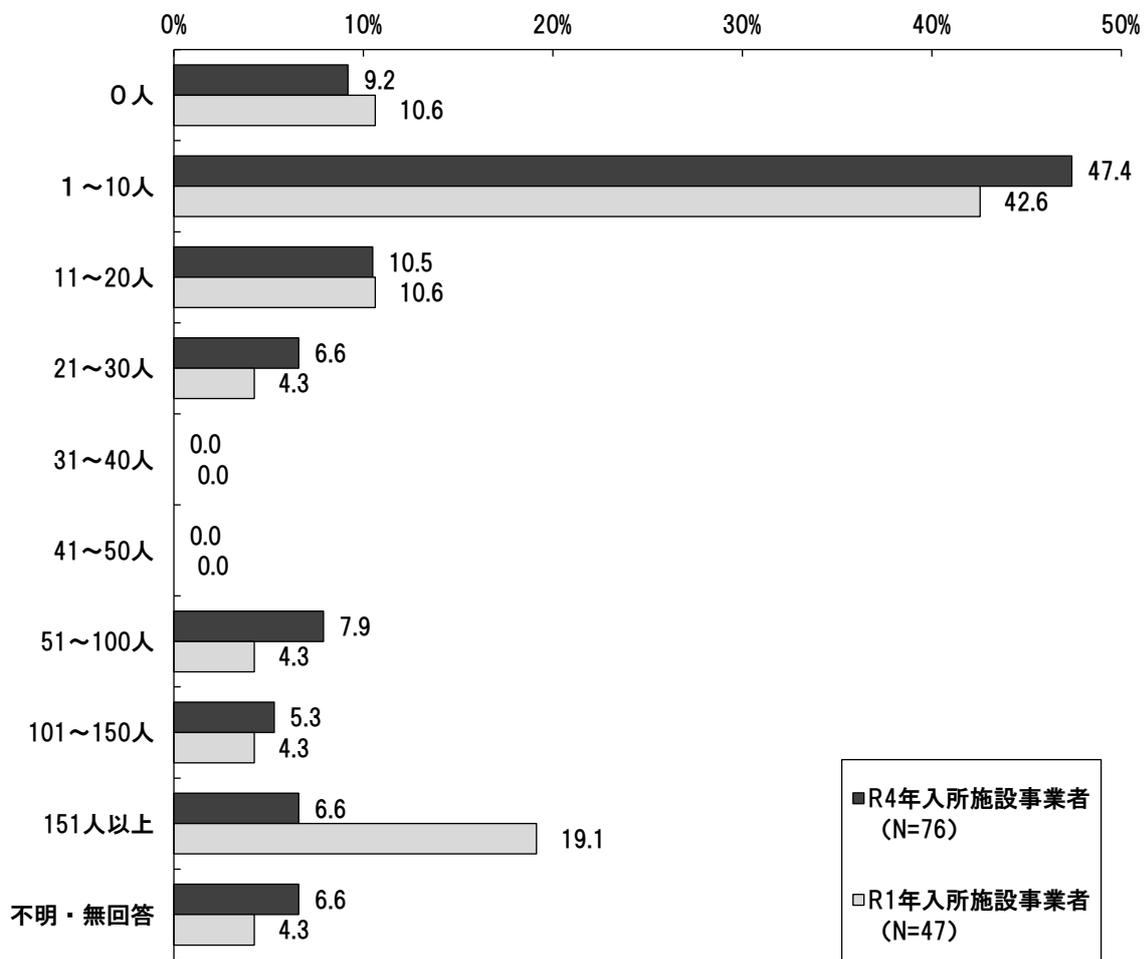
③入所者数（令和4年11月1日現在）

「11～20人」が40.8%で最も多く、次いで「21～30人」が25.0%となっています。



④入所を申し込んでいる人数（待機者）

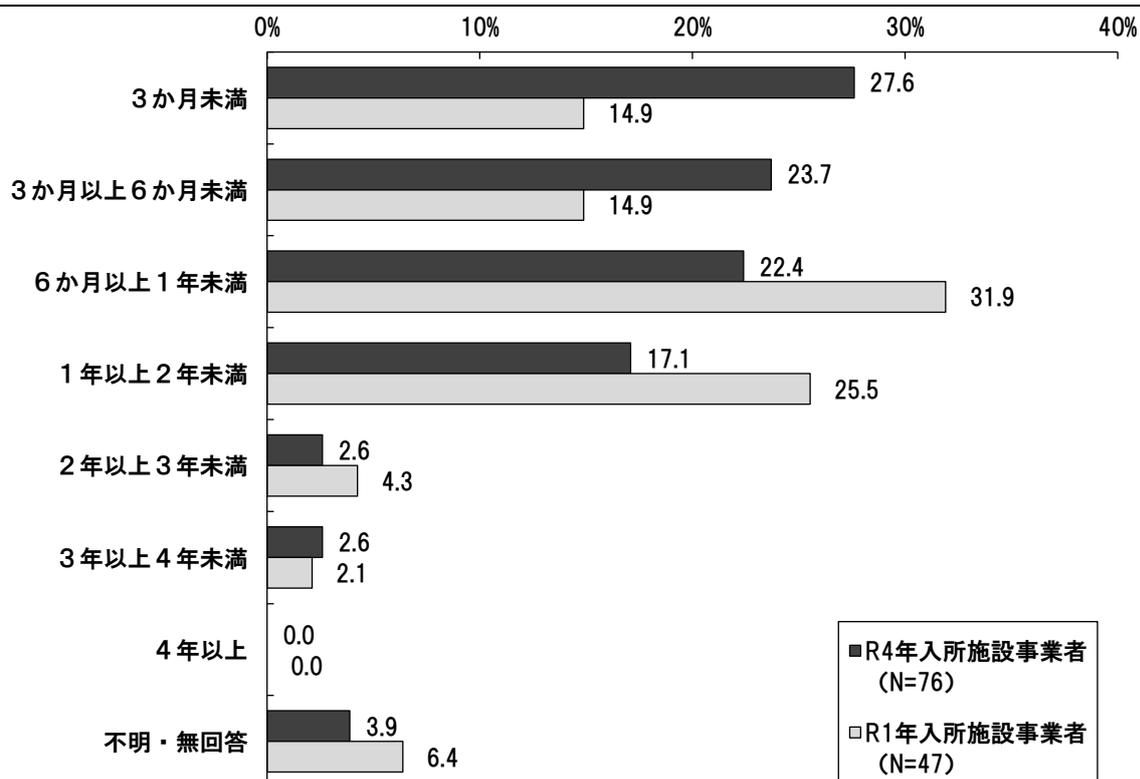
「1～10人」が47.4%で最も多く、次いで「11～20人」が10.5%となっています。
前回調査と比べると、「151人以上」が減少しています。



問4. 入所申込みを受け付けてから実際に入所できるまでに、平均でどのくらいかかりますか。

「3か月未満」が27.6%で最も多く、次いで「3か月以上6か月未満」が23.7%、「6か月以上1年未満」が22.4%となっています。

前回調査と比べると、「3か月未満」「3か月以上6か月未満」が増加し、「6か月以上1年未満」「1年以上2年未満」が減少しており、全体的に入所までの期間が短くなっていますが、住宅型有料老人ホームなどの介護保険外の施設を調査対象に追加した影響と考えられます。

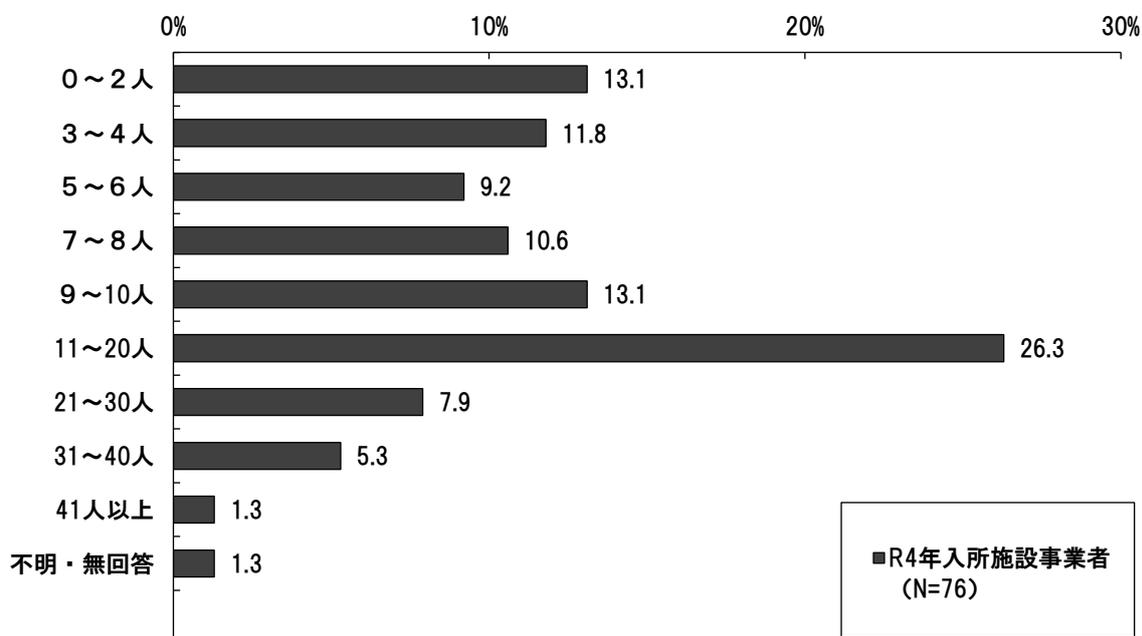


問5. 介護職員の総数を数字でお答えください。

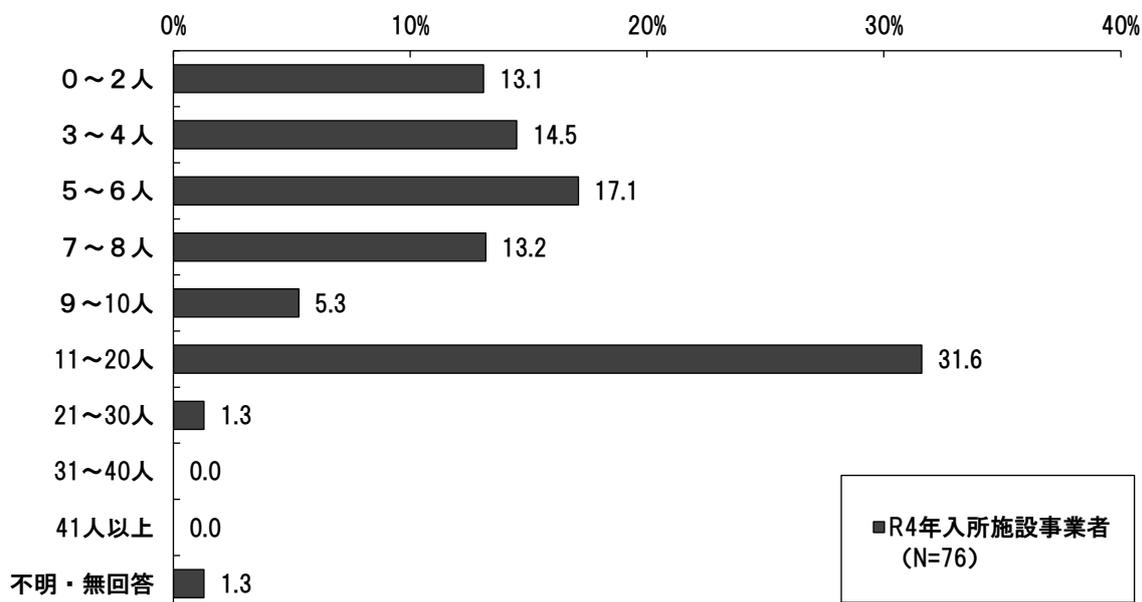
正規職員は、10人以下が57.8%、「11～20人」が26.3%となっています。

非正規職員は10人以下が63.2%、「11～20人」が31.6%となっています。

①正規職員



②非正規職員

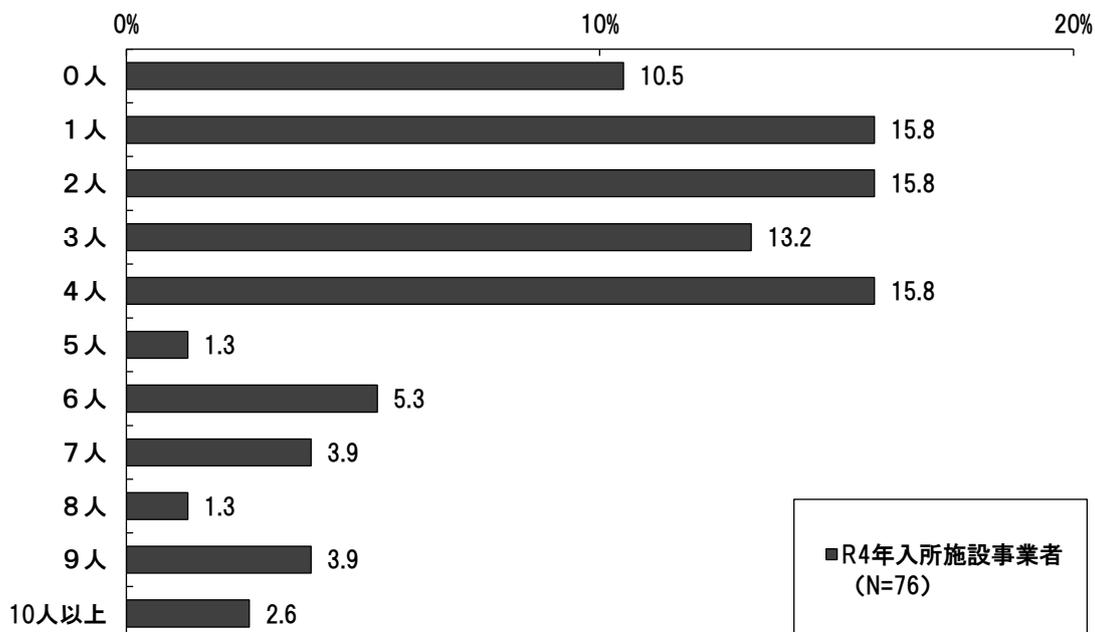


問6. 令和4年11月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお聞きします。過去1年間（令和3年11月1日～令和4年10月31日）の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。

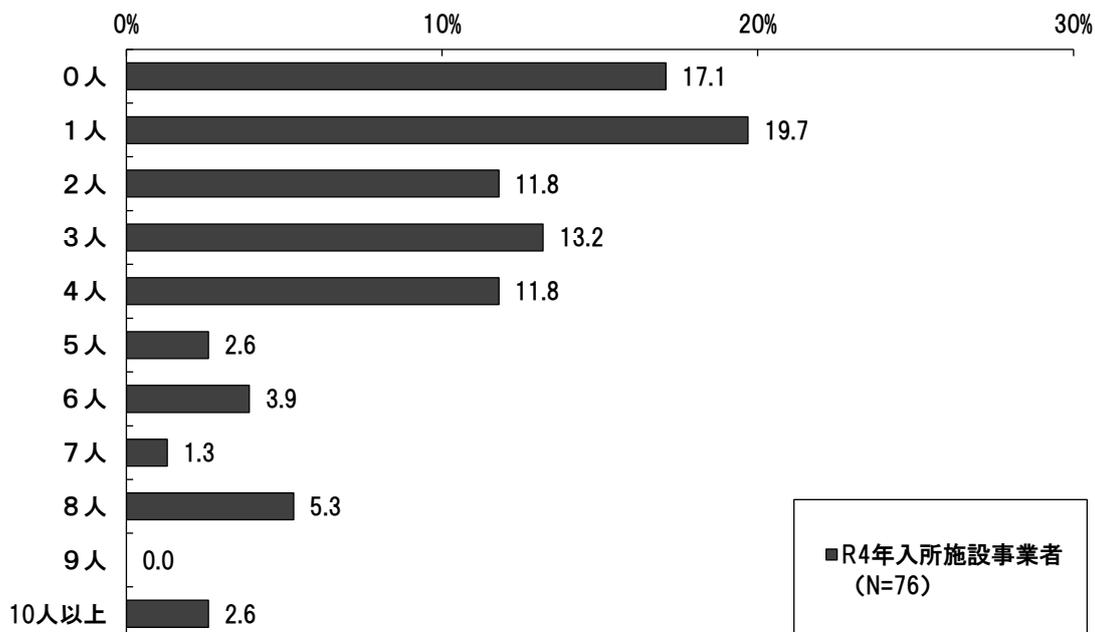
採用者数については、「0人」が10.5%で、4人以下の回答が71.1%となっています。

離職者数については、「0人」が17.1%で、4人以下の回答が73.6%となっています。

①採用者数（総数）



②離職者数（総数）

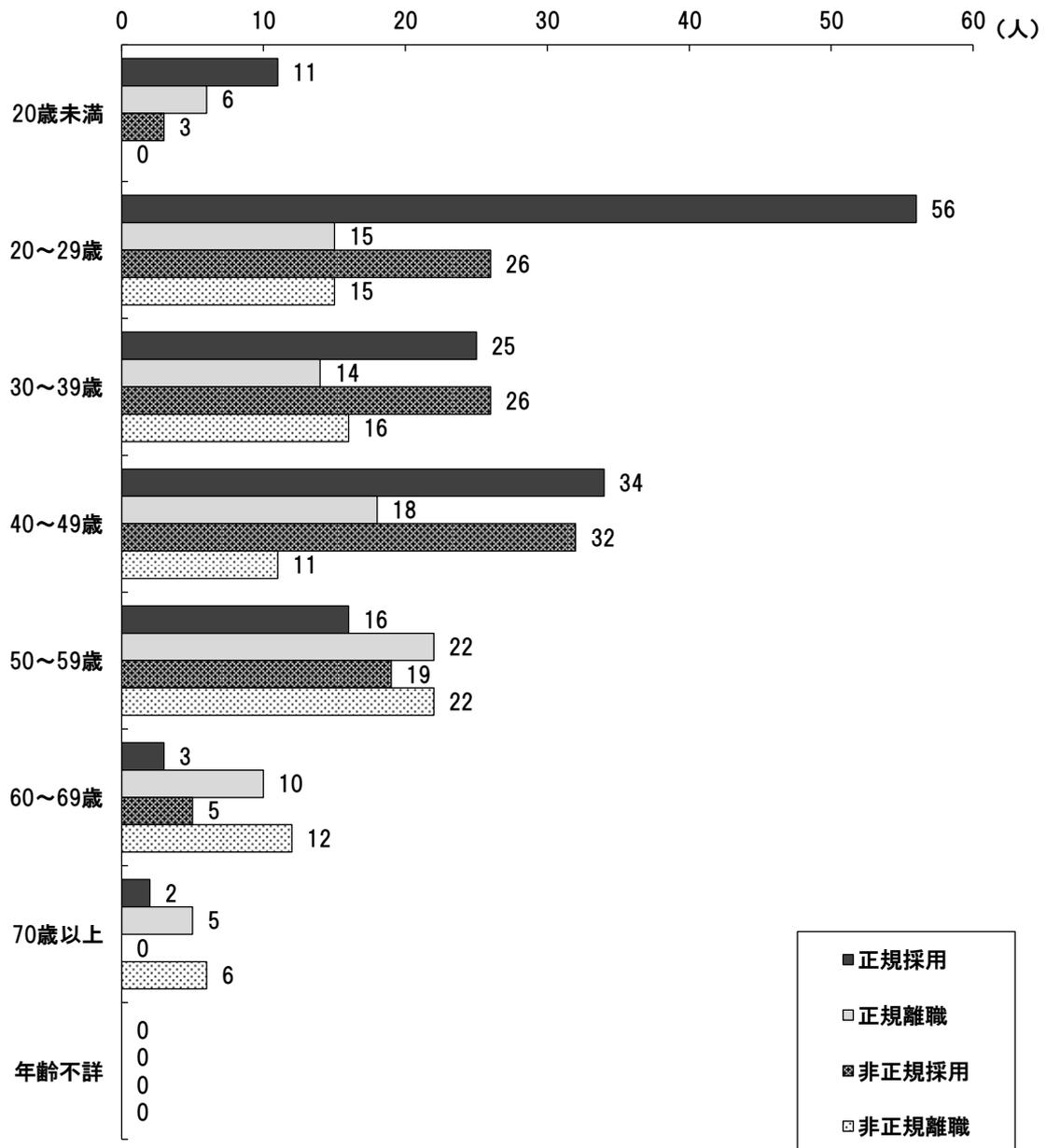


問7. 問6の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。

採用者または離職者のいずれかに1人以上の回答のあった69事業所の年齢別、正規・非正規別の採用者数と離職者数の合計は以下のとおりです。

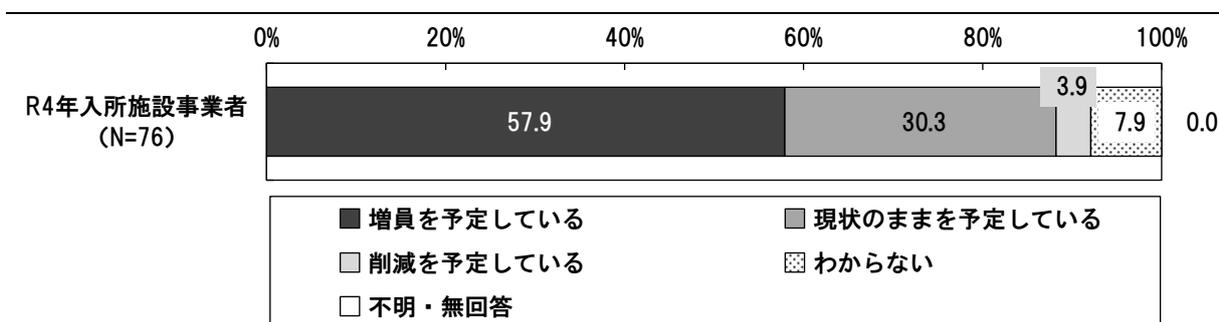
採用者は、正規では20歳代、非正規では40歳代が最も多くなっています。

離職者数は正規・非正規ともに50歳代が最も多く、次いで正規は40歳代、非正規は30歳代が多くなっています。



問8. 今後の介護職員の雇用人数の予定をお答えください。

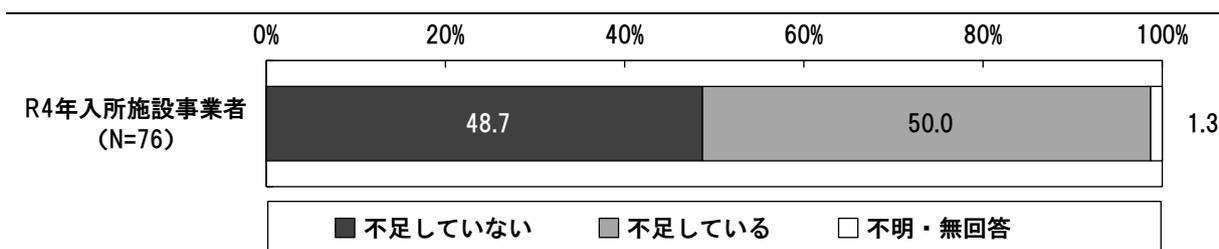
「増員を予定している」が57.9%で最も多く、次いで「現状のままを予定している」が30.3%となっています。



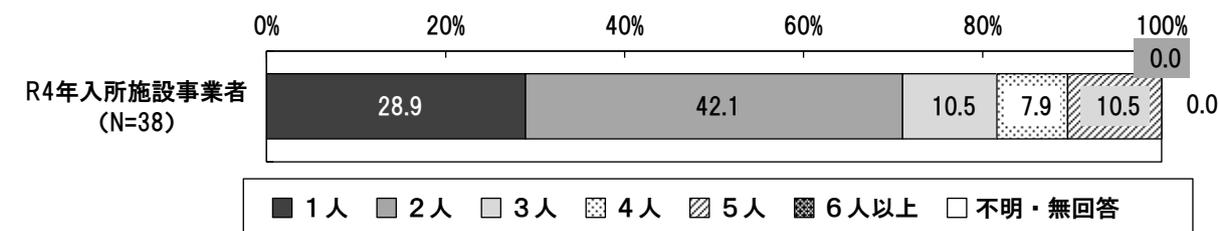
問9. 現在の業務を行ううえで、介護職員の人数が不足していますか。不足している場合は、不足人数（常勤職員）もお答えください。

「不足している」は50.0%で、約半数の事業所で介護職員の人数が不足していると回答されています。

不足している事業所の不足人数については、「2人」が42.1%で最も多く、次いで「1人」が28.9%となっています。



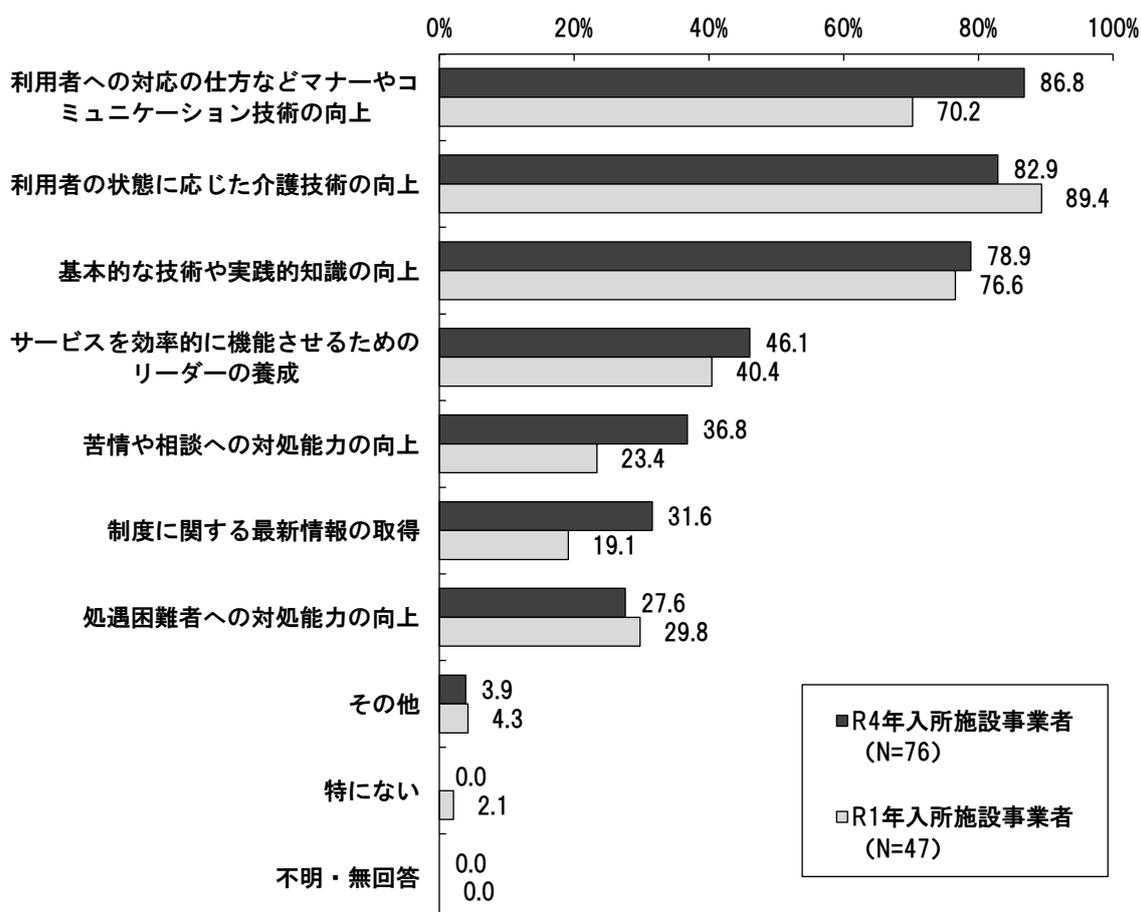
①不足人数



問 10. 職員の質の確保・向上を図るために、どのような点を重視して取り組んでいますか。【複数回答】

「利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上」が86.8%で最も多く、次いで「利用者の状態に応じた介護技術の向上」が82.9%、「基本的な技術や実践的知識の向上」が78.9%となっています。

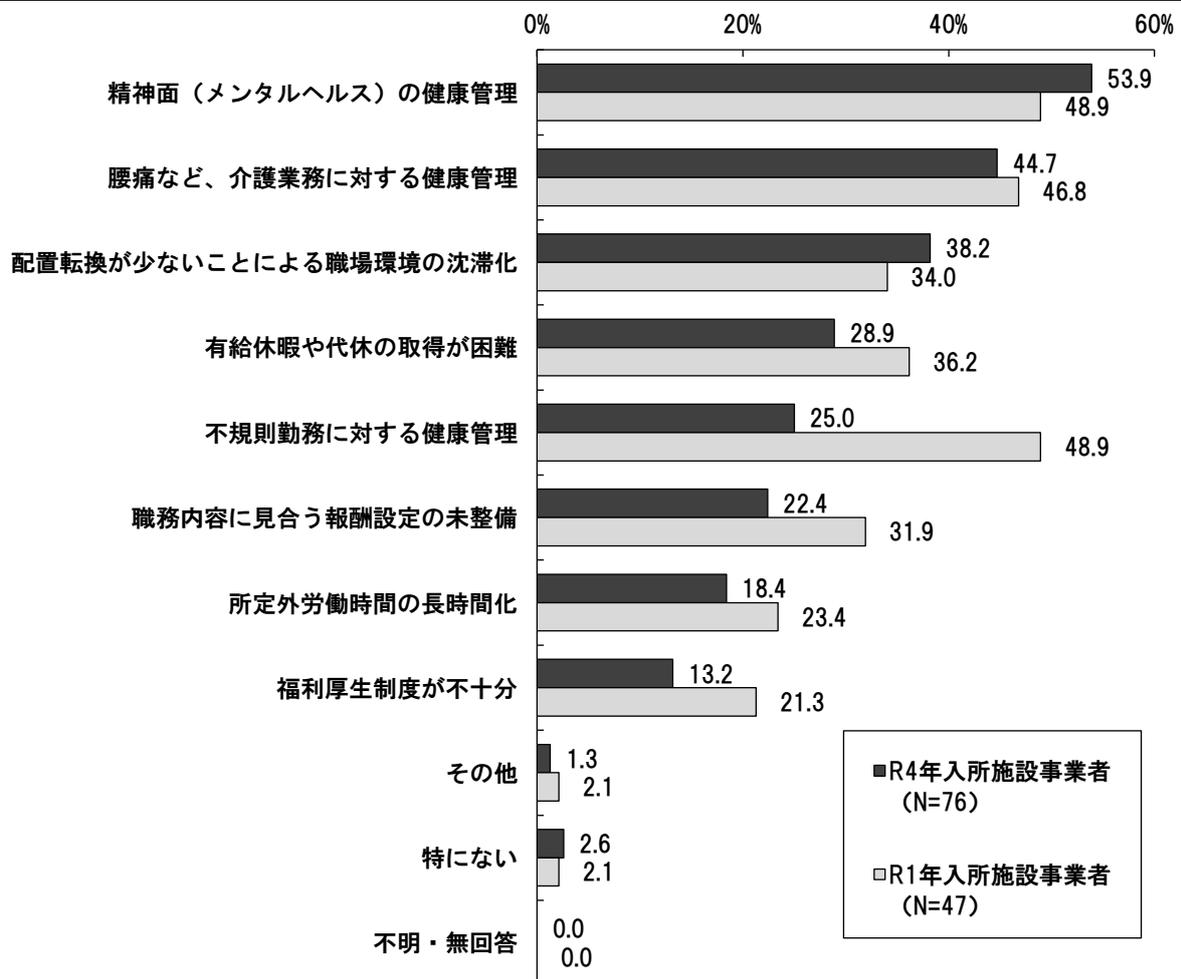
前回調査と比べると、「利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上」「苦情や相談への対処能力の向上」「制度に関する最新情報の取得」が増加しています。



問 11. 職員の処遇における課題は何ですか。【複数回答】

「精神面（メンタルヘルス）の健康管理」が53.9%で最も多く、次いで「腰痛など、介護業務に対する健康管理」が44.7%、「配置転換が少ないことによる職場環境の沈滞化」が38.2%となっています。

前回調査と比べると、「不規則勤務に対する健康管理」が減少しています。

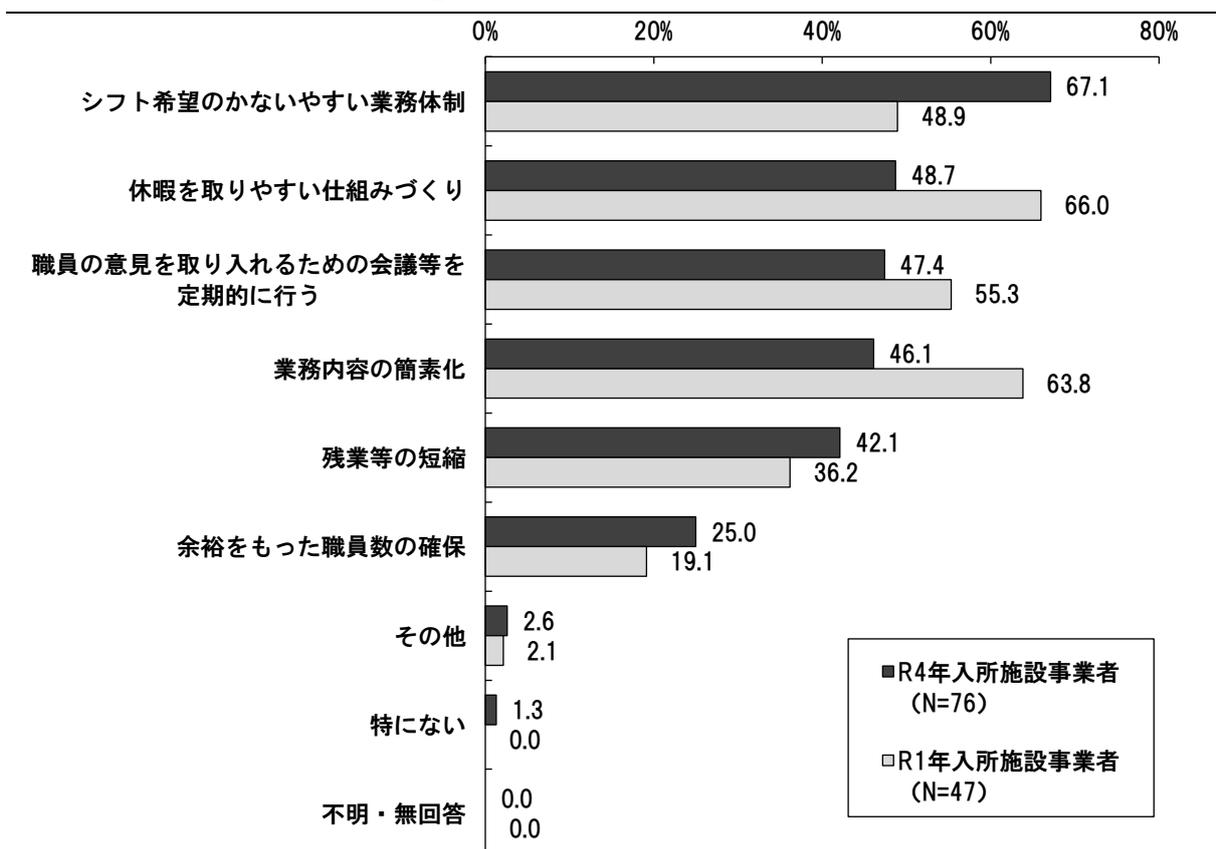


問 12. 職員の労働条件、労働環境を改善するために工夫していることは何ですか。

【複数回答】

「シフト希望のかないやすい業務体制」が67.1%で最も多く、次いで「休暇を取りやすい仕組みづくり」が48.7%、「職員の意見を取り入れるための会議等を定期的に行う」が47.4%となっています。

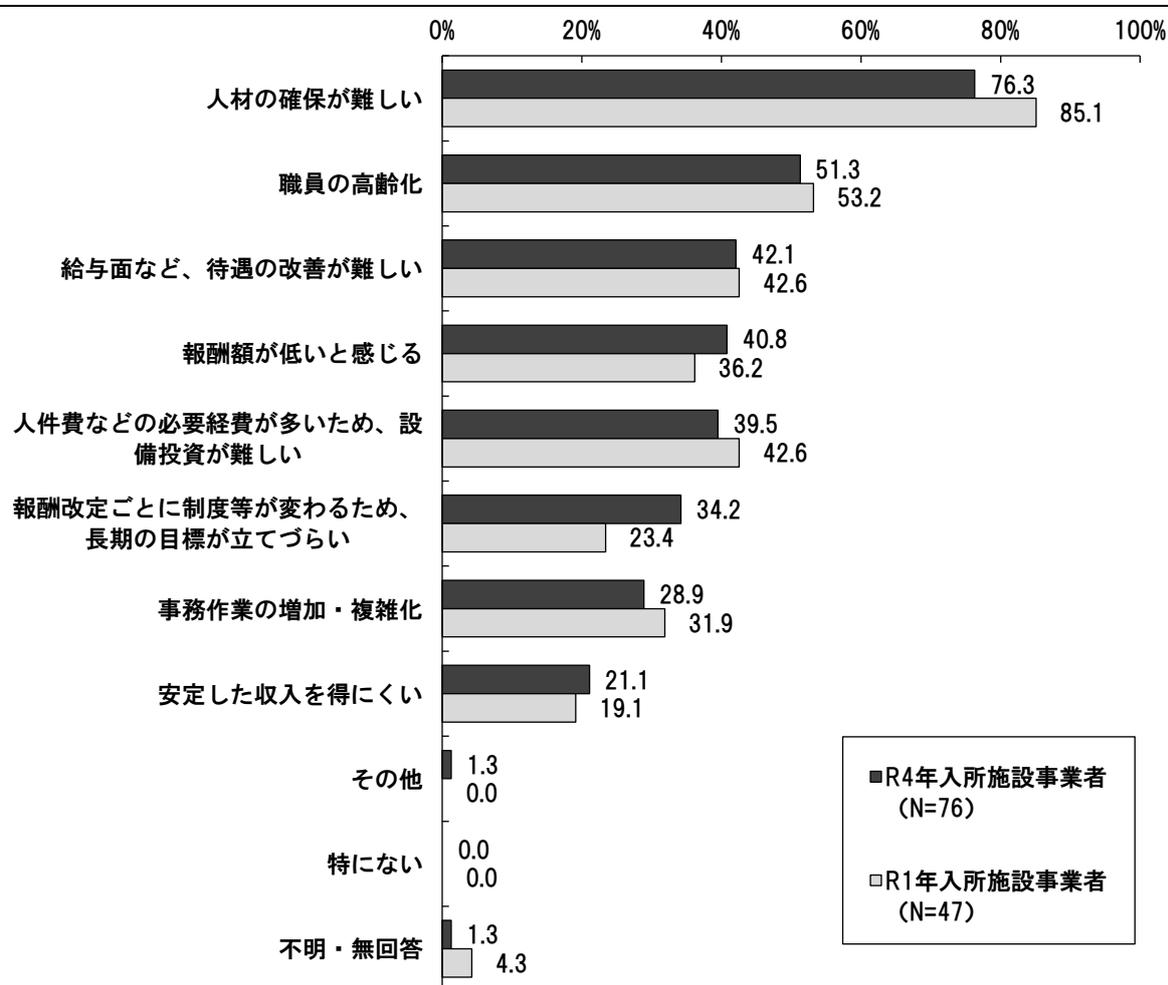
前回調査と比べると、「休暇を取りやすい仕組みづくり」「業務内容の簡素化」が減少し、「シフト希望のかないやすい業務体制」が増加しています。



問 13. 経営面における問題点や課題は何ですか。【複数回答】

「人材の確保が難しい」が76.3%で最も多く、次いで「職員の高齢化」が51.3%となっています。

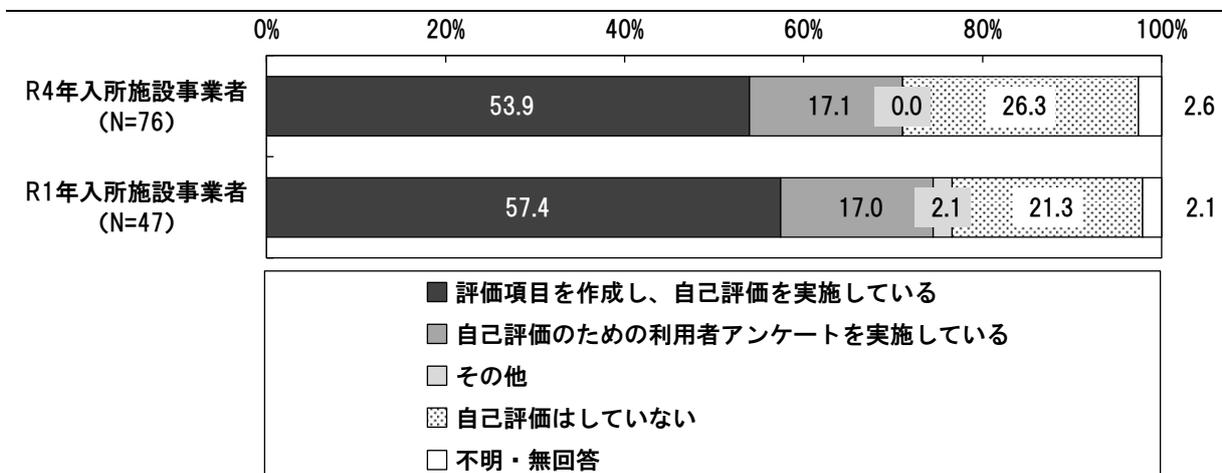
前回調査と比べると、「報酬改定ごとに制度等が変わるため、長期の目標が立てづらい」が増加しています。



2. 提供サービスの状況について

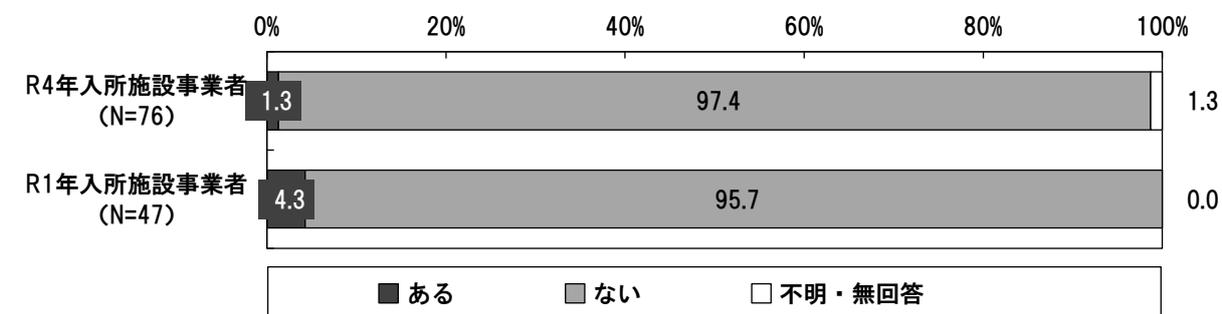
問 14. サービスの自己評価をしていますか。

「評価項目を作成し、自己評価を実施している」が53.9%で最も多く、次いで「自己評価はしていない」が26.3%となっています。



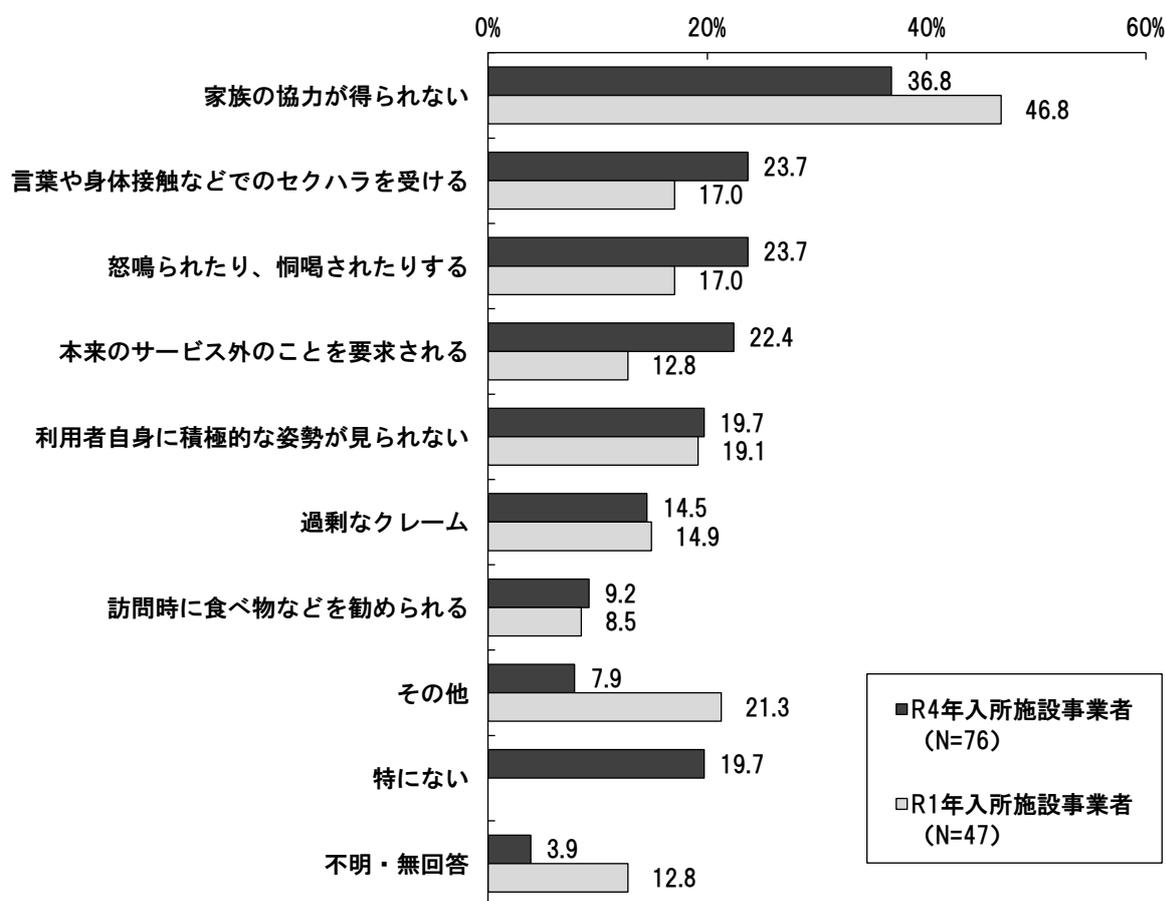
問 15. 利用者等の苦情から、第三者機関の介入や訴訟などに発展した事例はありますか。

「ある」が1.3%となっています。



問 16. 利用者に関することで、お困りのことは何ですか。【複数回答】

「家族の協力が得られない」が36.8%で最も多く、次いで「言葉や身体接触などでのセクハラを受ける」「怒鳴られたり、恫喝されたりする」が23.7%となっています。

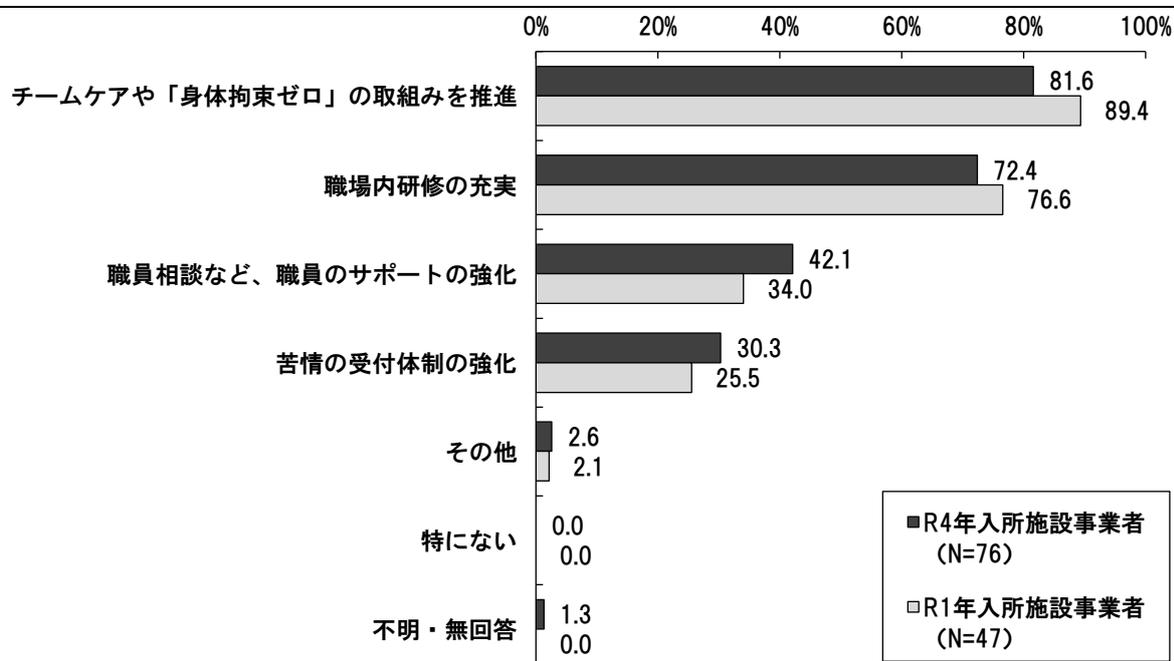


※「特にない」はR4年調査のみ。

3. 高齢者虐待防止について

問 17. 虐待予防に関して、どのような取組みをしていますか。

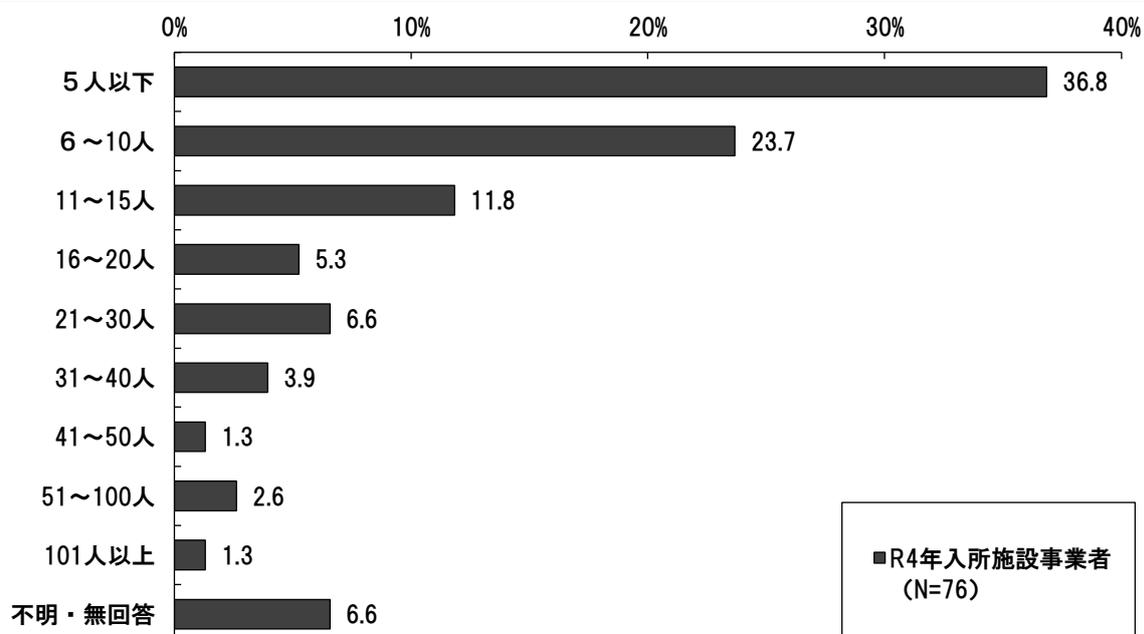
「チームケアや『身体拘束ゼロ』の取組みを推進」が81.6%で最も多く、次いで「職場内研修の充実」が72.4%となっています。



4. 過去1年間の新規の入居者・退去者について

問 18. 過去1年間（令和3年11月1日～令和4年10月31日）に貴施設等に、新規で入所・入居した人の人数をお答えください。

過去1年間の入所・入居者数については、「5人以下」が36.8%で最も多く、次いで「6～10人」が23.7%となっています。



問 19. 問 18 でご記入いただいた過去 1 年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。

入所・入居者数について、1 人以上の回答のあった 71 事業所の合計の内訳は以下のとおりです。入居する前の居場所については、「自宅」が最も多く、次いで「その他」が多くなっています。

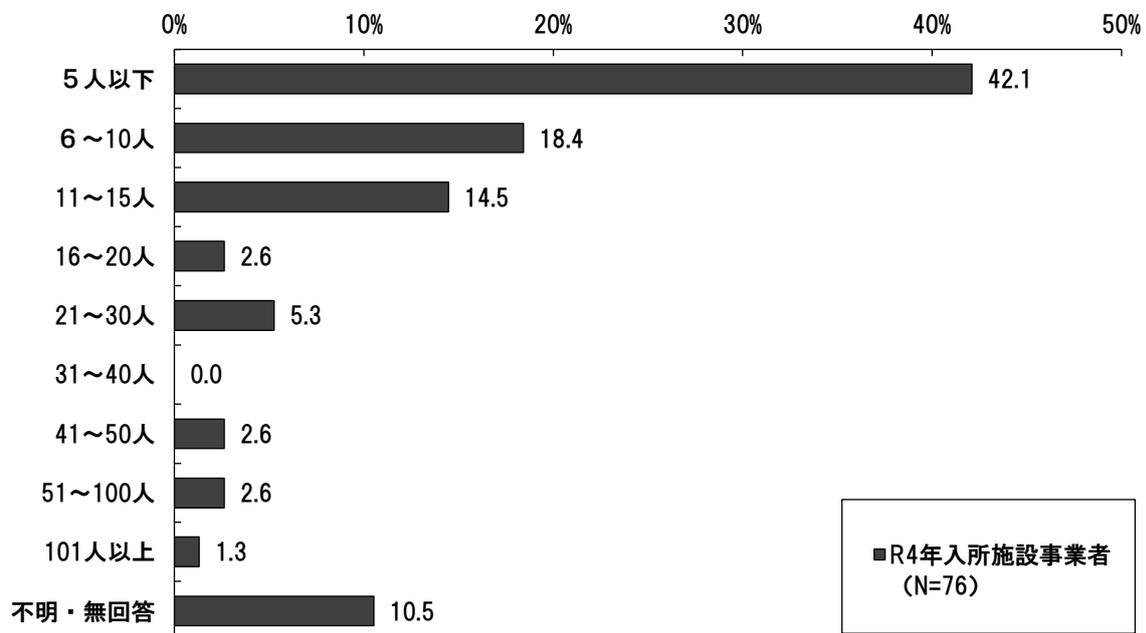
①入居者数内訳（人）

入所・入居前の居場所	岡崎市内	岡崎市外
1)自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）	438	29
2)住宅型有料老人ホーム	15	1
3)軽費老人ホーム（特定施設除く）	3	0
4)サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	19	1
5)グループホーム	11	0
6)特定施設	4	0
7)地域密着型特定施設	0	0
8)介護老人保健施設	42	3
9)療養型・介護医療院	47	1
10)特別養護老人ホーム	4	1
11)地域密着型特別養護老人ホーム	30	1
12)その他	296	13
13)入居・入所する前の居場所を把握していない	3	
14)合計	961	

※回答結果をそのまま合算しているため、内訳の合計と「14)合計」の数値が合いません。

問 20. 過去1年間（令和3年11月1日～令和4年10月31日）に貴施設等を退去した人の人数をお答えください。

過去1年間の退去者数については、「5人以下」が42.1%で最も多く、次いで「6～10人」が18.4%となっています。



問 21. 問 20 でご記入いただいた過去 1 年間の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。

退去者数について、1 人以上の回答のあった 68 事業所の合計の内訳は以下のとおりです。退去先については、「死亡」が最も多く、次いで「病院・診療所」「自宅」が多くなっています。

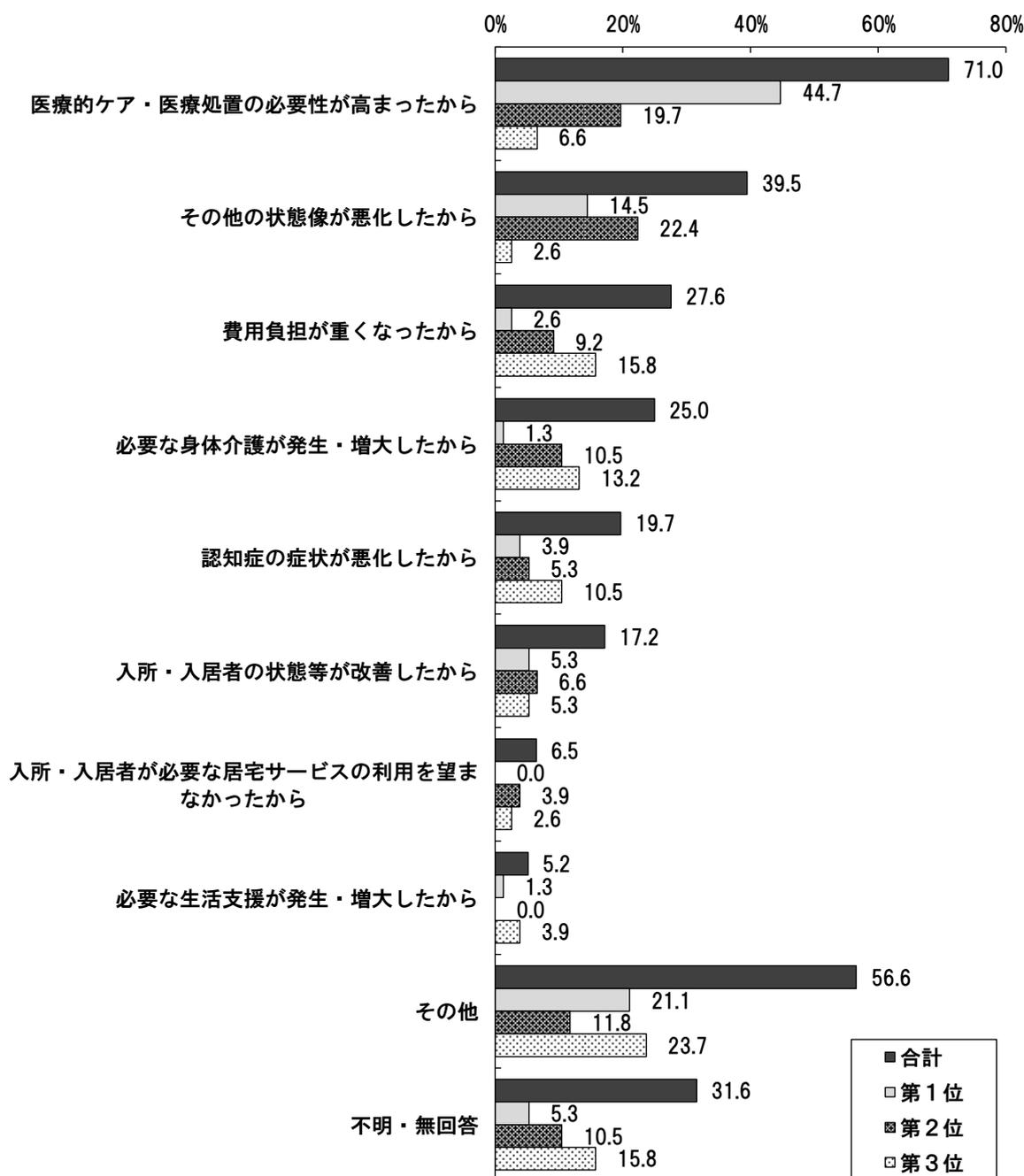
①退去者数内訳（人）

退去先	岡崎市内	岡崎市外
1)自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）	123	2
2)住宅型有料老人ホーム	12	5
3)軽費老人ホーム（特定施設除く）	0	0
4)サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	3	9
5)グループホーム	6	2
6)特定施設	2	0
7)地域密着型特定施設	3	0
8)介護老人保健施設	13	2
9)療養型・介護医療院	58	1
10)「9」を除く病院・診療所（一時的な入院を除く）	151	4
11)特別養護老人ホーム	46	6
12)地域密着型特別養護老人ホーム	9	0
13)その他	50	0
14)行先を把握していない	1	
15)死亡（搬送先での死亡を含む）	362	
16)合計	857	

※回答結果をそのまま合算しているため、内訳の合計と「14)合計」の数値が合いません。

問 22. 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまでお答えください。

上位3つの合計で見ると、「その他」を除くと「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」が71.0%で最も多く、理由の第1位でも最も多くなっています。次いで「その他の状態像が悪化したから」が39.5%となっています。

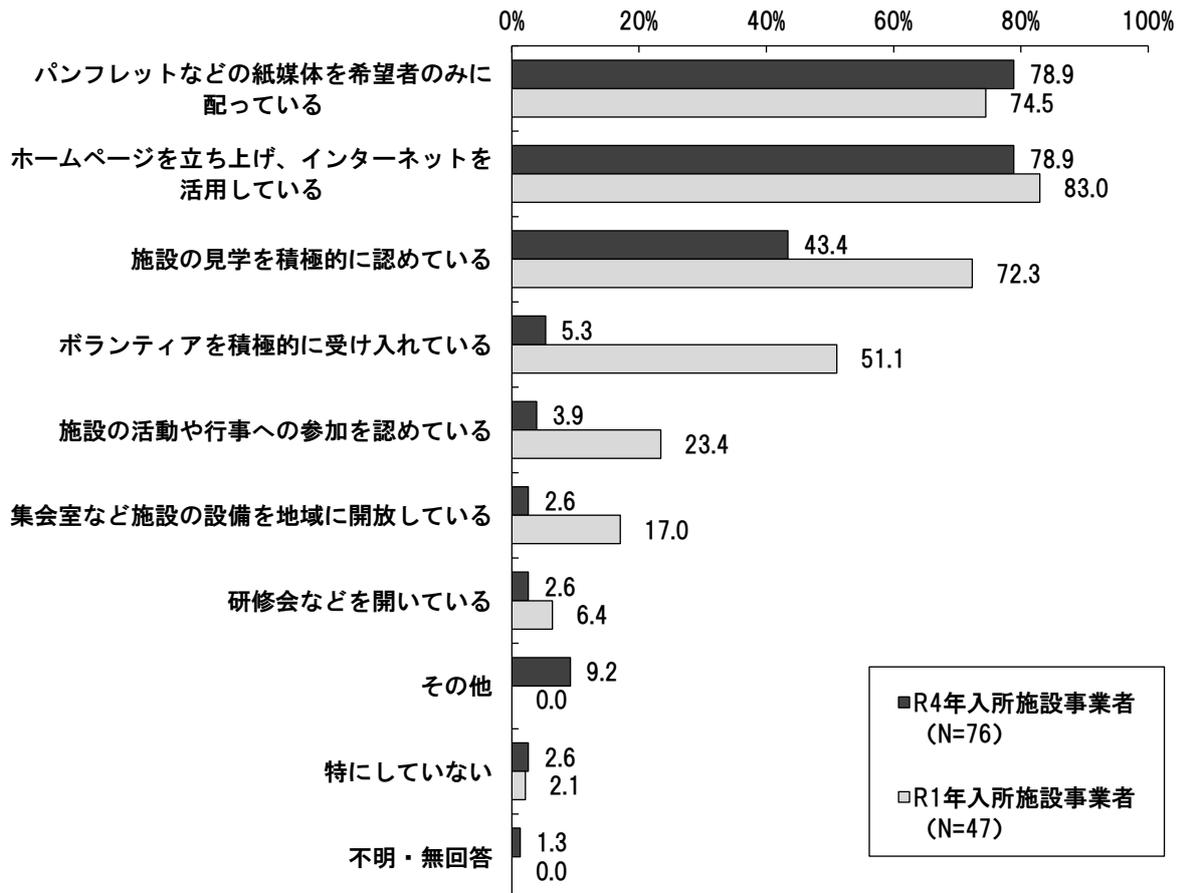


5. その他

問 23. 施設やサービスについて、どのように情報発信していますか。

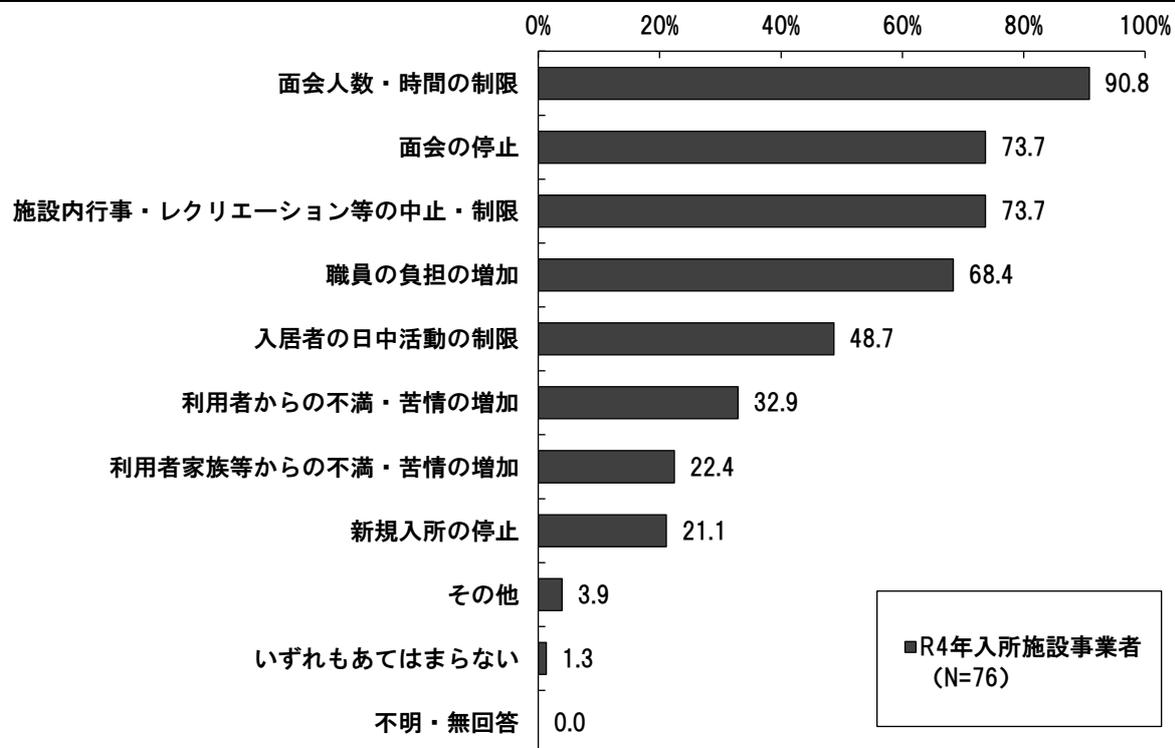
「パンフレットなどの紙媒体を希望者のみに配っている」と「ホームページを立ち上げ、インターネットを活用している」が78.9%で最も多くなっています。

前回調査と比べると、「施設の見学を積極的に認めている」「ボランティアを積極的に受け入れている」「施設の活動や行事への参加を認めている」「集会室など施設の設備を地域に開放している」が減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響がうかがえます。



問 24. 過去1年間の、新型コロナウイルス感染症の影響として、あてはまるものをお答えください。【複数回答】

「面会人数・時間の制限」が90.8%で最も多く、次いで「面会の停止」「施設内行事・レクリエーション等の中止・制限」が73.7%、「職員の負担の増加」が68.4%となっています。

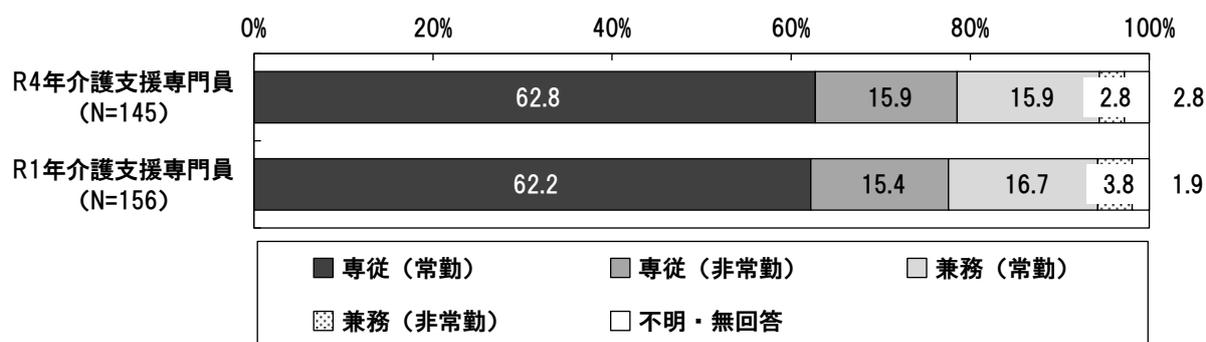


IX 介護支援専門員の調査結果

1. ケアプラン業務の状況について

問1. 勤務形態はどれにあてはまりますか。

「専従（常勤）」が62.8%で最も多く、次いで「専従（非常勤）」「兼務（常勤）」が15.9%となっています。

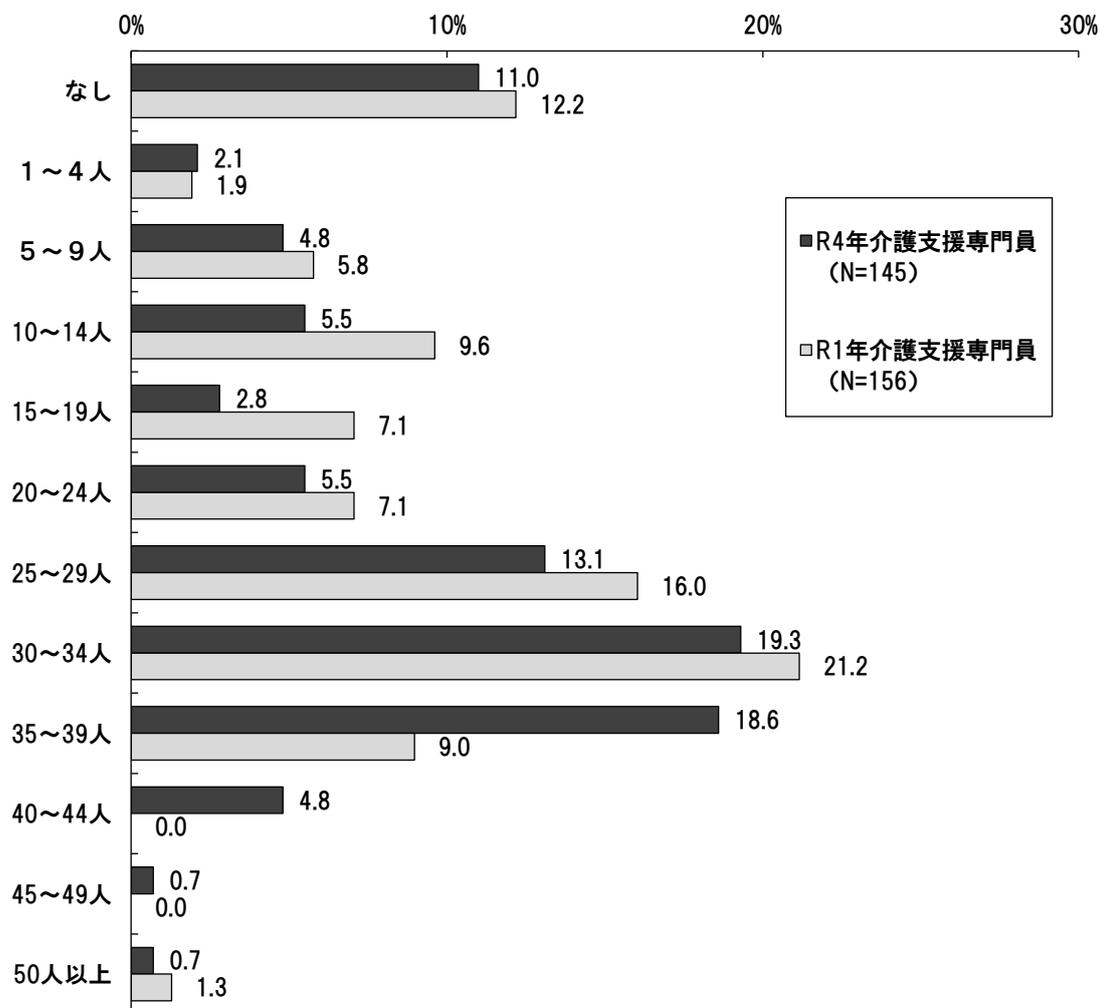


問2. 令和4年11月1日現在、何人の給付管理を行っていますか。

①介護給付

介護給付については、「30～34人」が19.3%で最も多く、次いで「35～39人」が18.6%となっています。

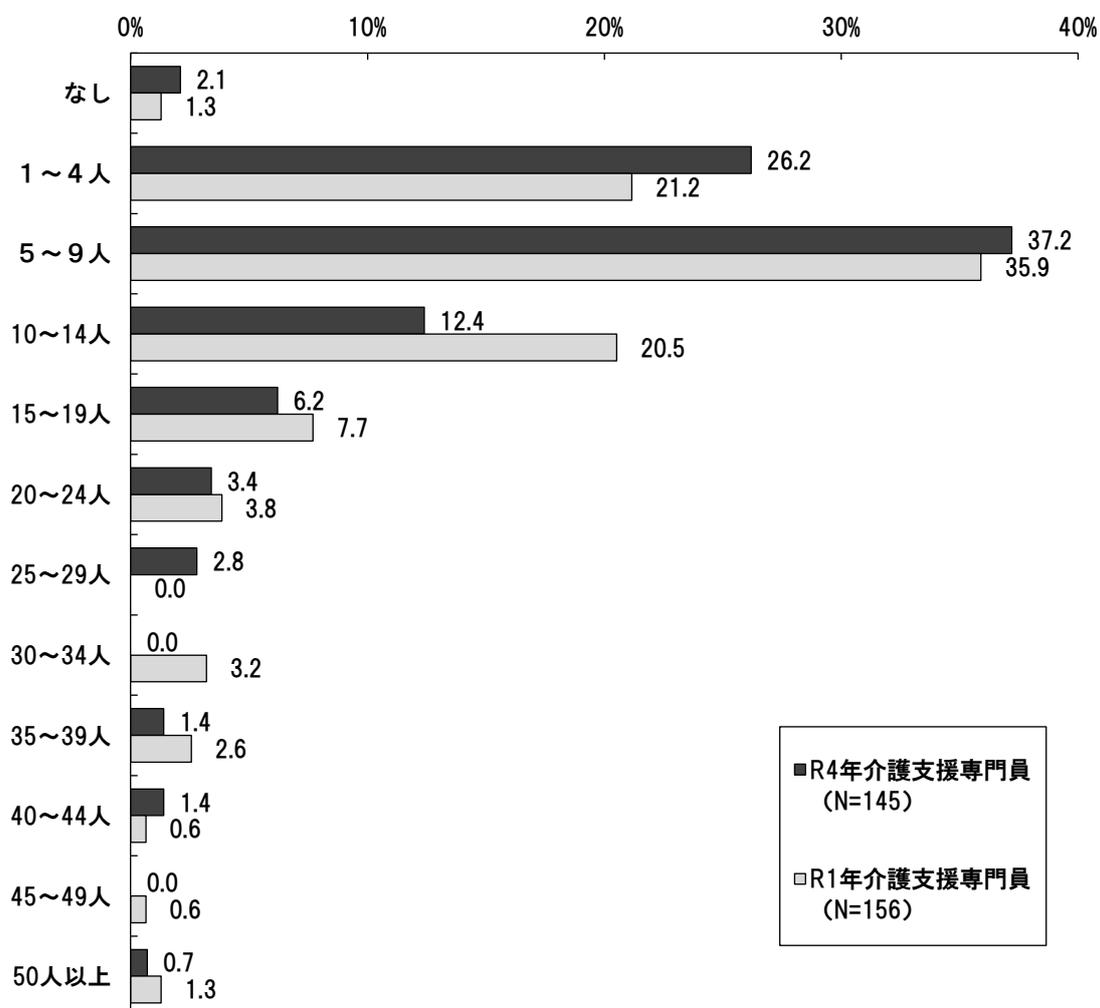
前回調査と比べると、「10～14人」「15～19人」が減少し、「35～39人」「40～44人」が増加しています。



②予防給付

予防給付については、「5～9人」が37.2%で最も多く、次いで「1～4人」が26.2%となっています。

前回調査と比べると、「1～4人」が増加し、「10～14人」が減少しています。

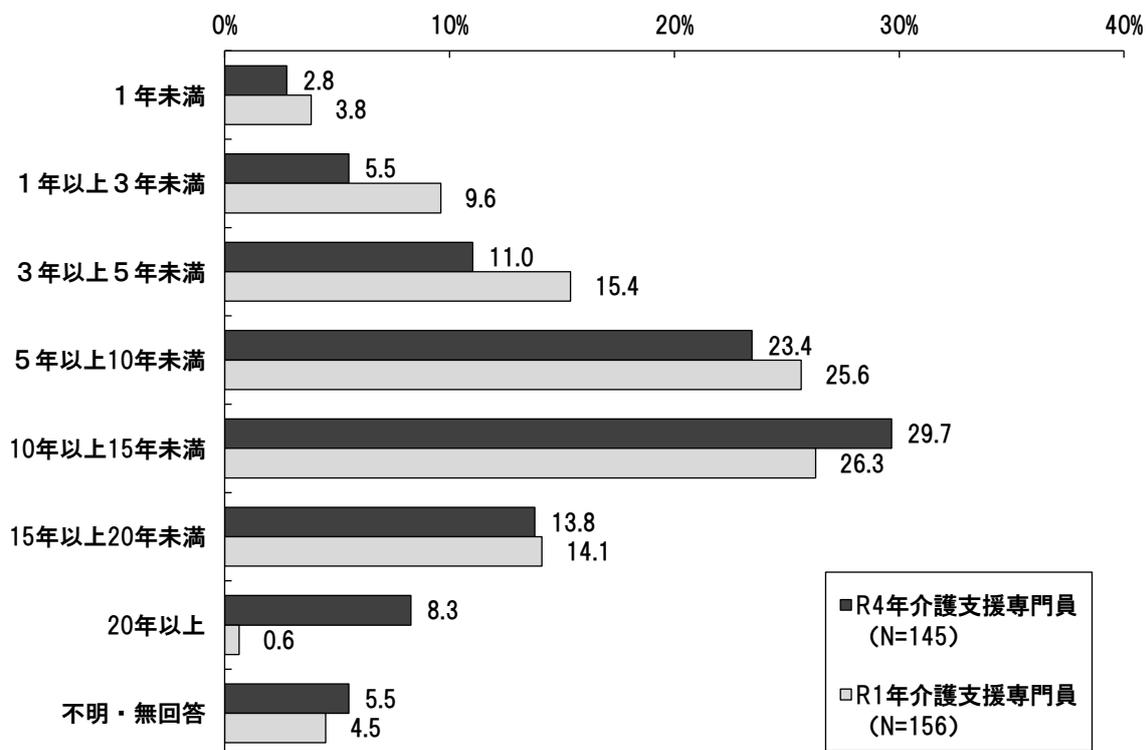


問3. 令和4年11月1日現在、介護支援専門員としての経験はどれくらいになりますか。

①介護支援専門員としての通算経験

「10年以上15年未満」が29.7%で最も多く、次いで「5年以上10年未満」が23.4%となっています。

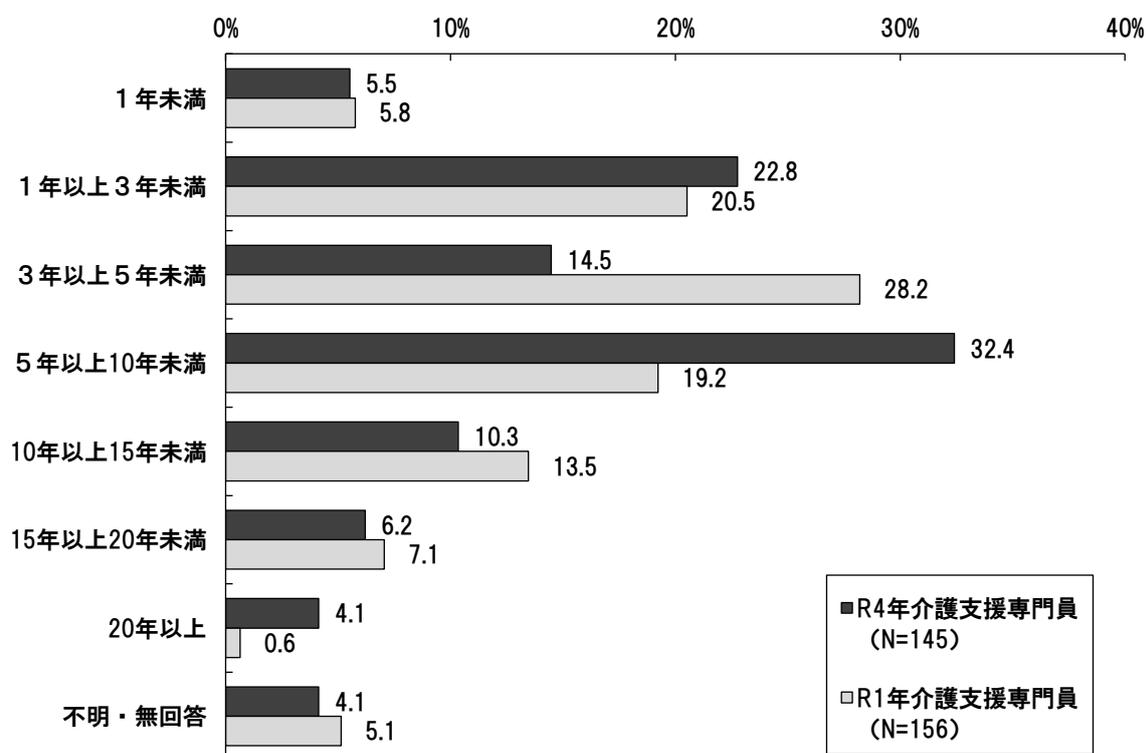
前回調査と比べると、5年未満の回答が減少しています。



②現在の事業所における介護支援専門員としての経験

「5年以上10年未満」が32.4%で最も多く、次いで「1年以上3年未満」が22.8%となっています。

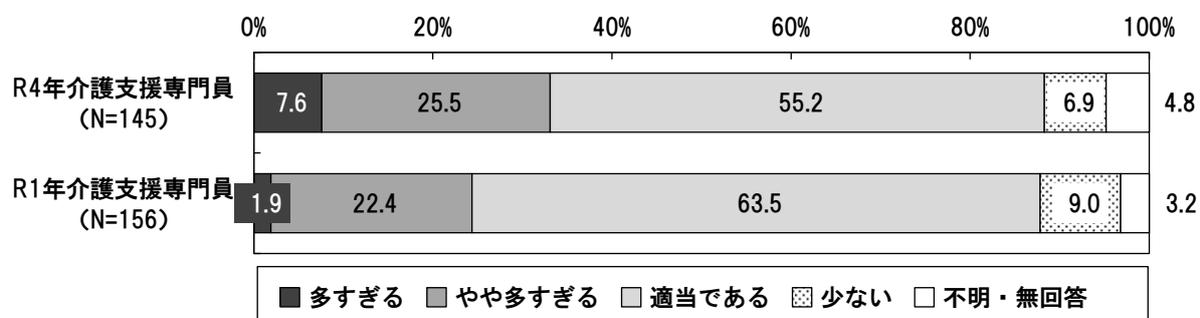
前回調査と比べると、「3年以上5年未満」が減少し、「5年以上10年未満」が増加しています。



問4. 担当している利用者の人数は、適当ですか。

「多すぎる」が7.6%、「やや多すぎる」が25.5%となっており、全体の約3分の1が多すぎると回答しています。

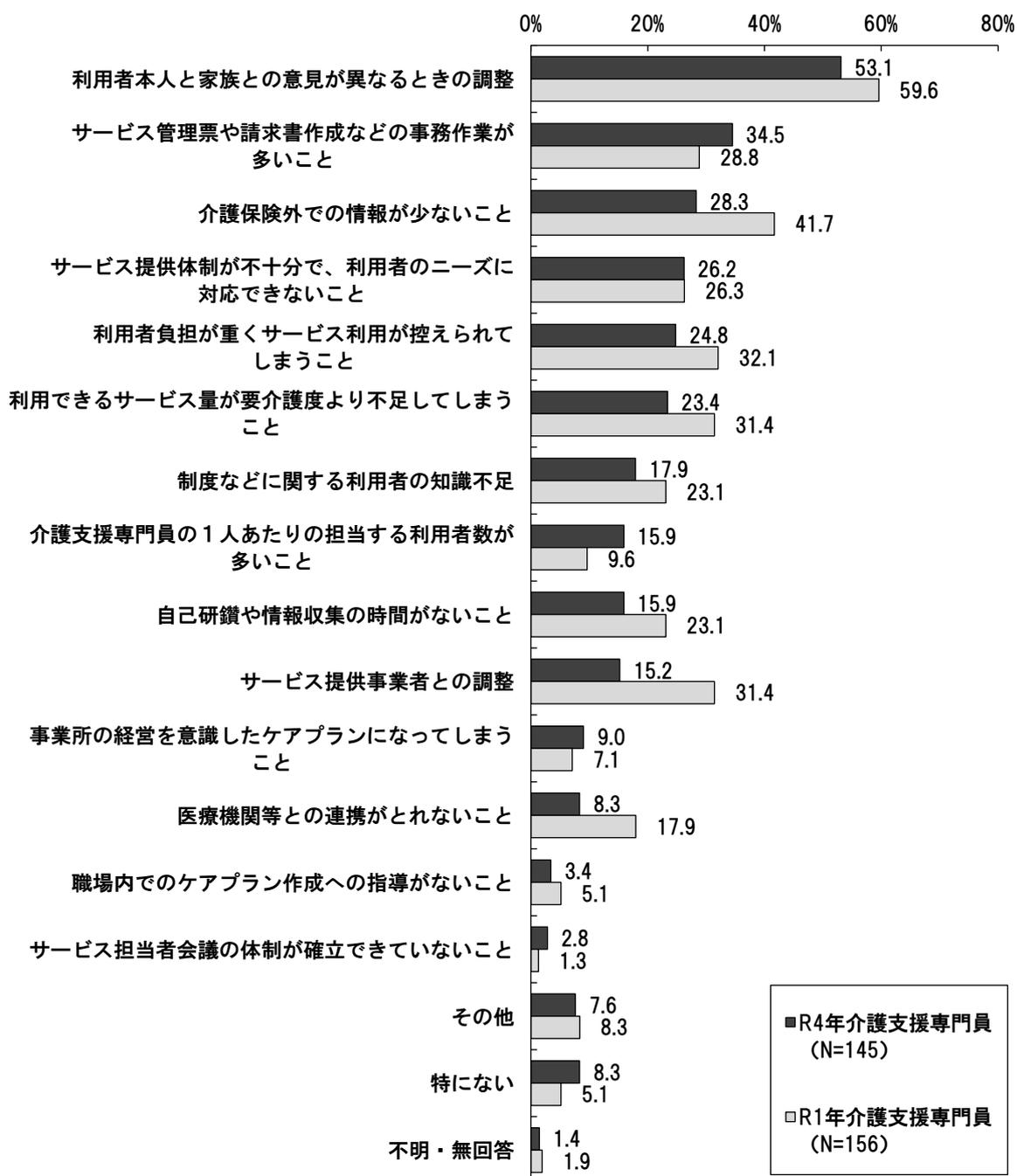
前回調査と比べて「多すぎる」または「やや多すぎる」が増加しています。



問5. ケアプランの作成時に困っていることは何ですか。【複数回答】

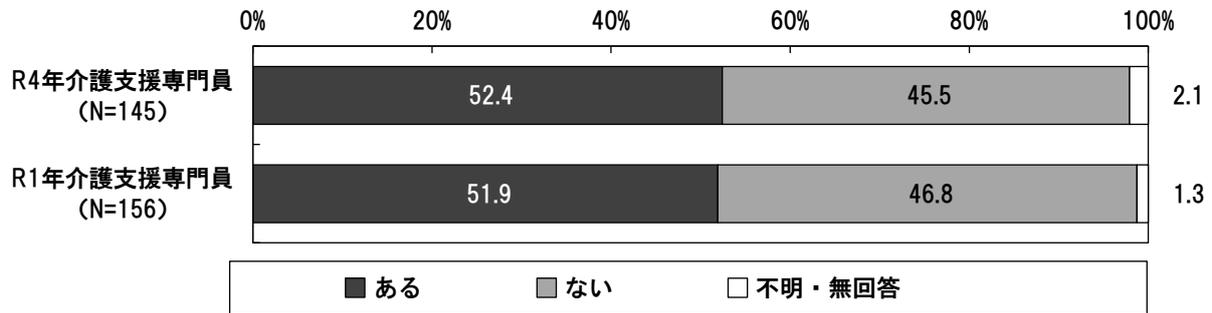
「利用者本人と家族との意見が異なるときの調整」が53.1%で最も多く、次いで「サービス管理票や請求書作成などの事務作業が多いこと」が34.5%となっています。

前回調査と比べると、「介護保険外での情報が少ないこと」「サービス提供事業者との調整」が減少し、「介護支援専門員の1人あたりの担当する利用者数が多いこと」がやや増加しています。



問6. これまでに、居宅サービス計画の作成の依頼を断ったことはありますか。

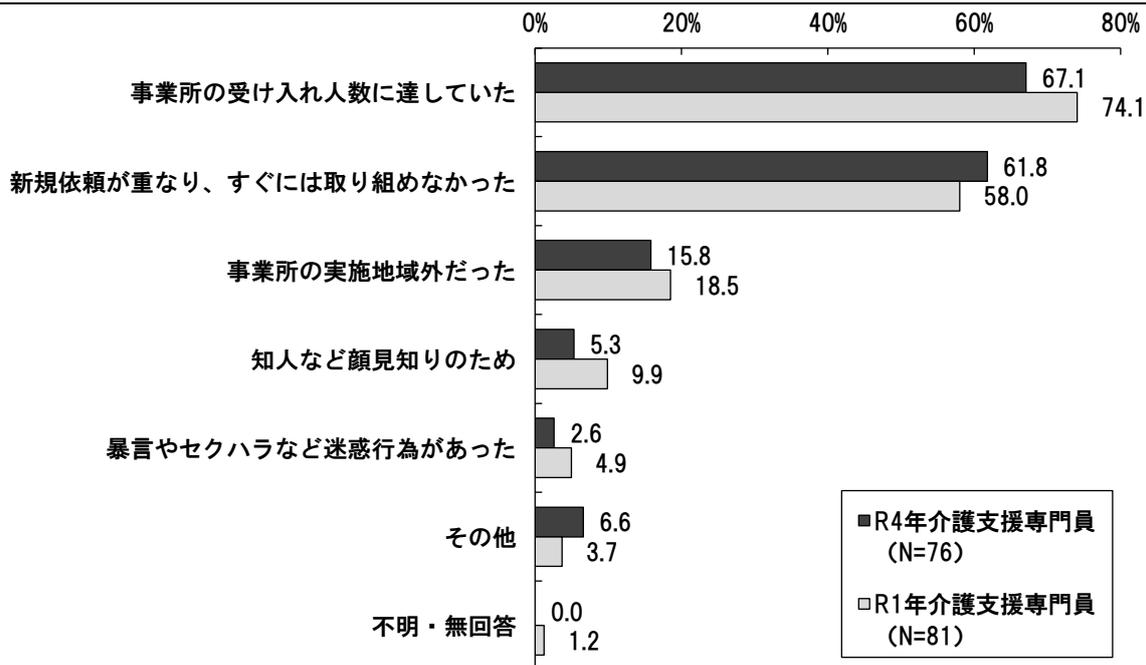
「ある」が52.4%となっています。



【問6において「ある」と回答した人のみ】

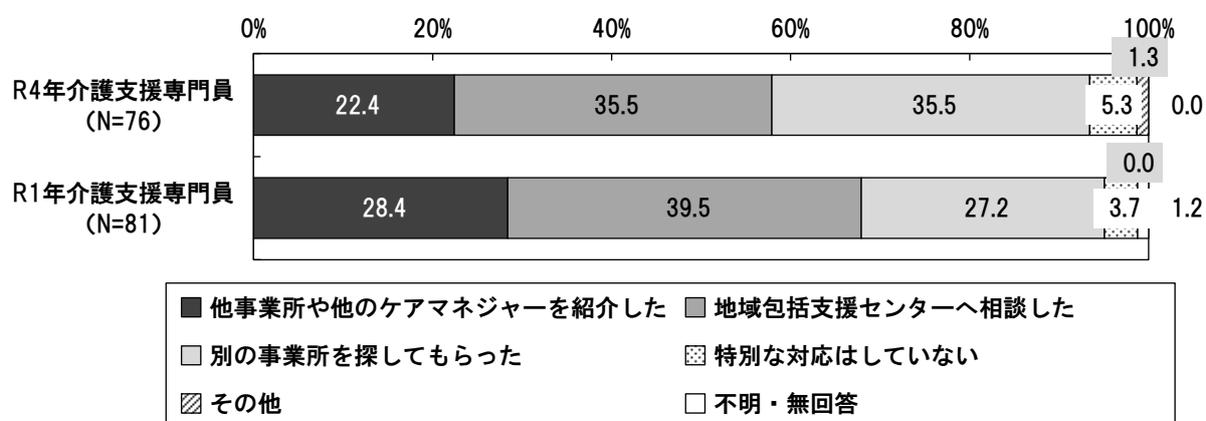
①それはどのような理由でしたか。【複数回答】

「事業所の受け入れ人数に達していた」が67.1%で最も多く、次いで「新規依頼が重なり、すぐには取り組めなかった」が61.8%となっています。



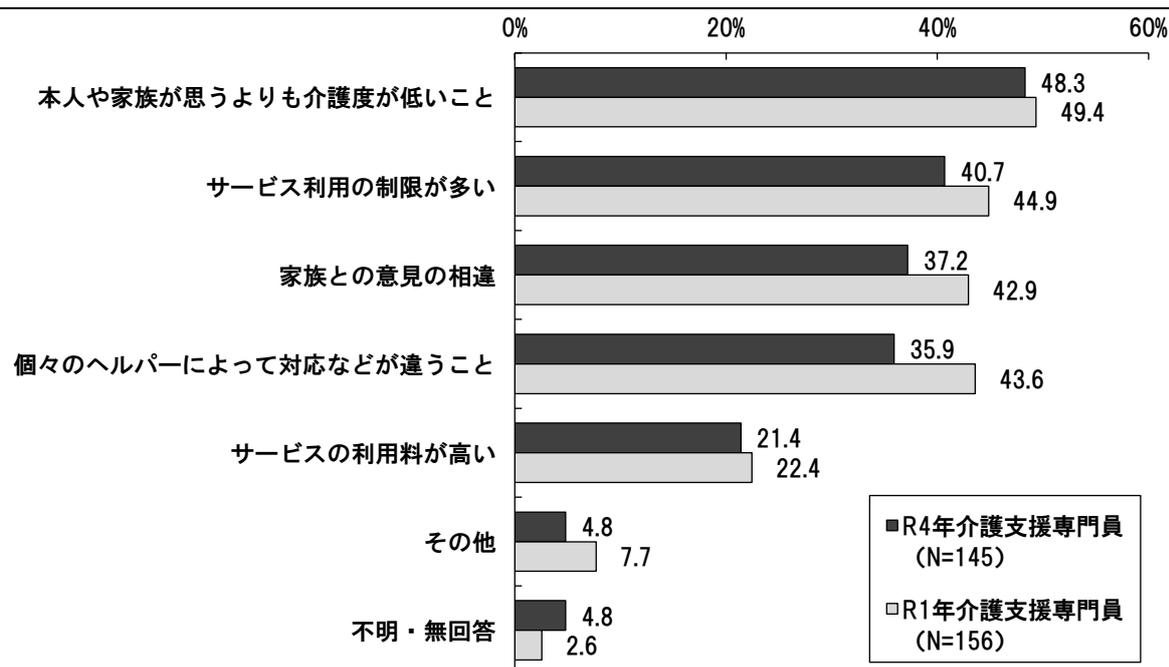
②その後の対応はどうされましたか。

「地域包括支援センターへ相談した」と「別の事業所を探してもらった」が35.5%で最も多くなっています。



問7. 利用者の不満は、どのような内容が多いですか。【複数回答】

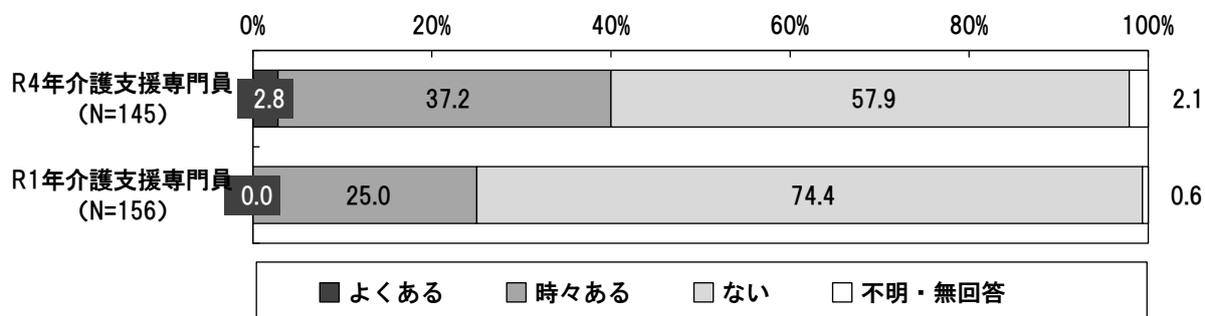
「本人や家族が思うよりも介護度が低いこと」が48.3%で最も多く、次いで「サービス利用の制限が多い」が40.7%、「家族との意見の相違」が37.2%となっています。



問8. サービス提供事業者から、利用者が希望していないサービスを、利用票・提供票に組み入れるよう求められたことはありますか。

「よくある」が2.8%、「時々ある」が37.2%となっています。

前回調査と比べると「よくある」または「時々ある」が増加しています。

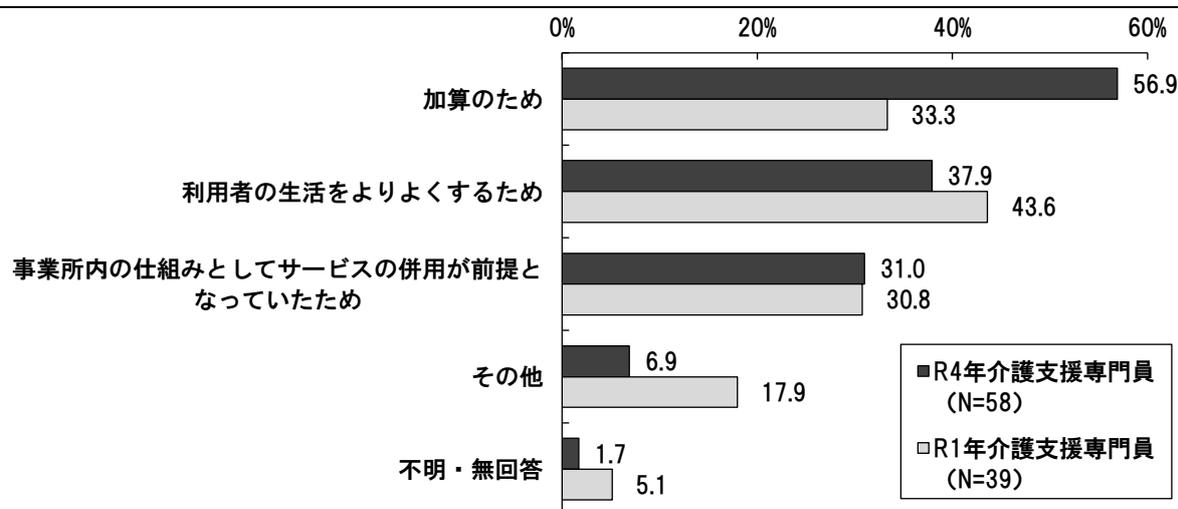


【問8において「よくある」または「時々ある」と回答した人のみ】

①組み入れるよう求められた理由は何ですか。

「加算のため」が56.9%で最も多く、次いで「利用者の生活をよりよくするため」が37.9%となっています。

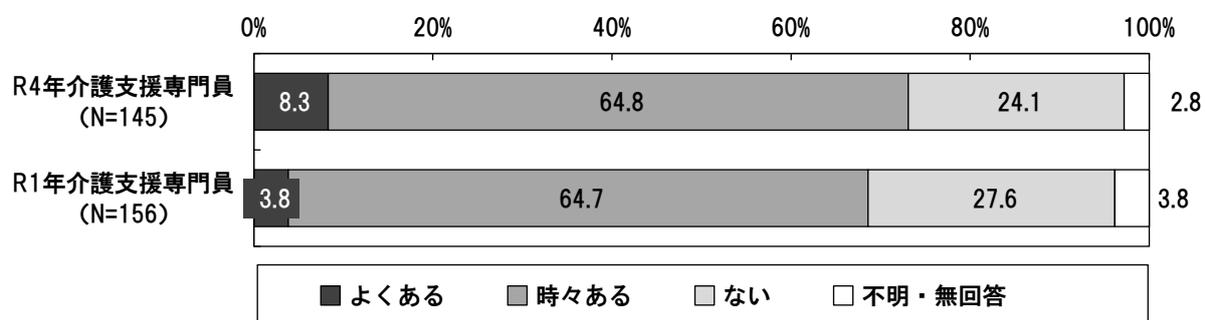
前回調査と比べると「加算のため」が増加しています。



問9. サービス提供事業者から、サービスを拒否されたことはありますか。

「よくある」が8.3%、「時々ある」が64.8%となっています。

前回調査と比べると「よくある」がやや増加しています。

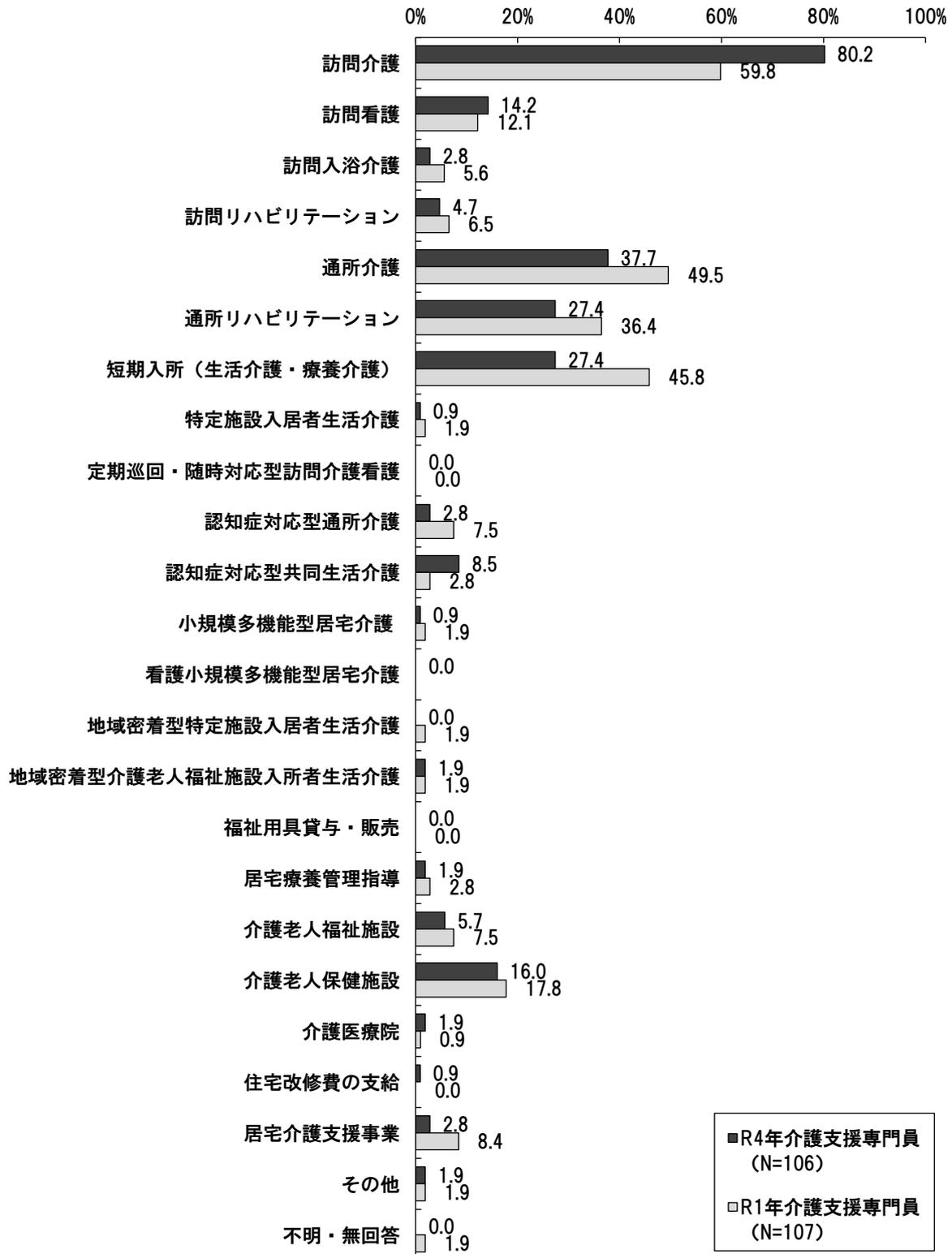


【問9において「よくある」または「時々ある」と回答した人のみ】

①拒否されたサービスは何ですか。【複数回答】

「訪問介護」が80.2%で最も多く、次いで「通所介護」が37.7%となっています。

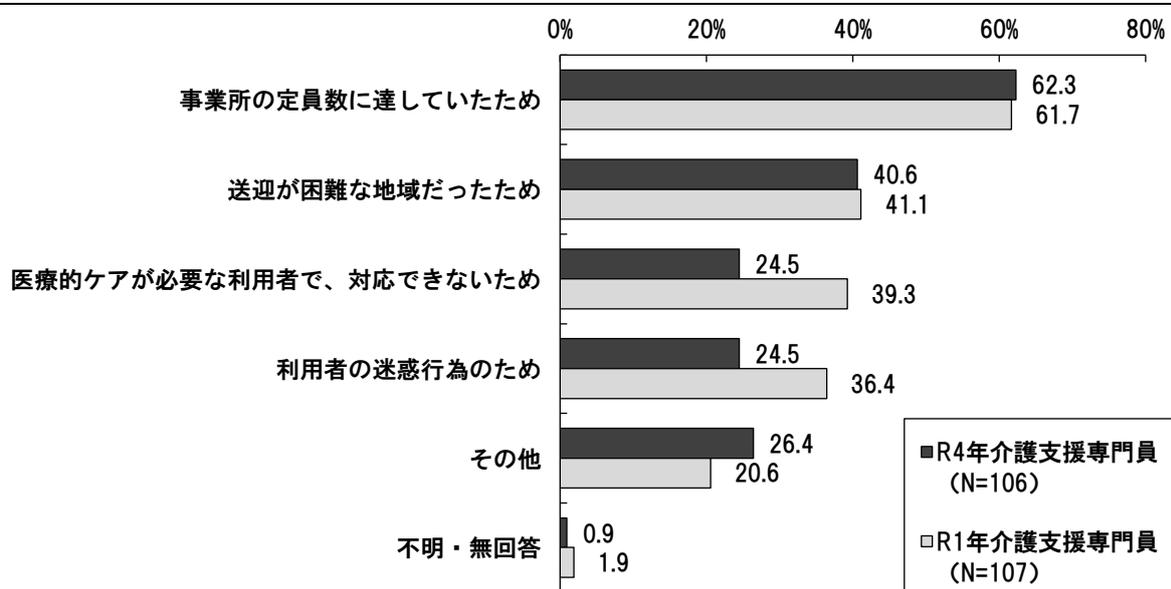
前回調査と比べて、「訪問介護」が増加し、「通所介護」「短期入所（生活介護・療養介護）」が減少しています。



②拒否された理由は何ですか。

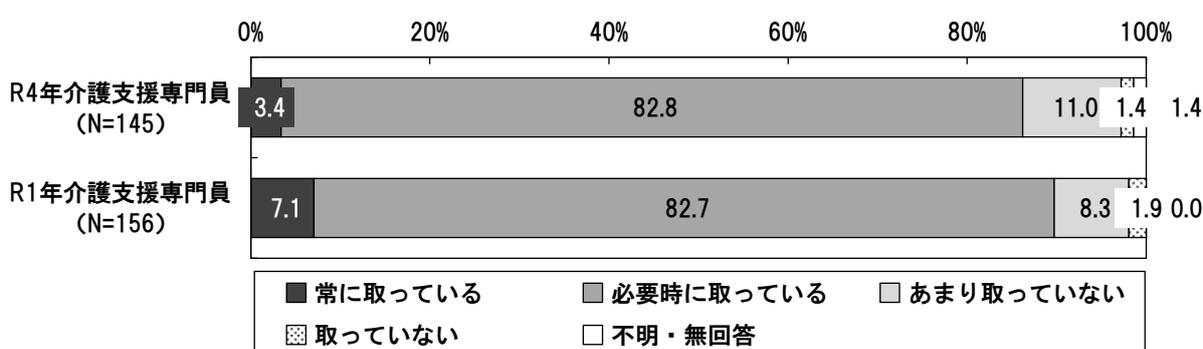
「事業所の定員数に達していたため」が62.3%で最も多く、次いで「送迎が困難な地域だったため」が40.6%となっています。

前回調査と比べると、「医療的ケアが必要な利用者で、対応できないため」「利用者の迷惑行為のため」が減少しています。



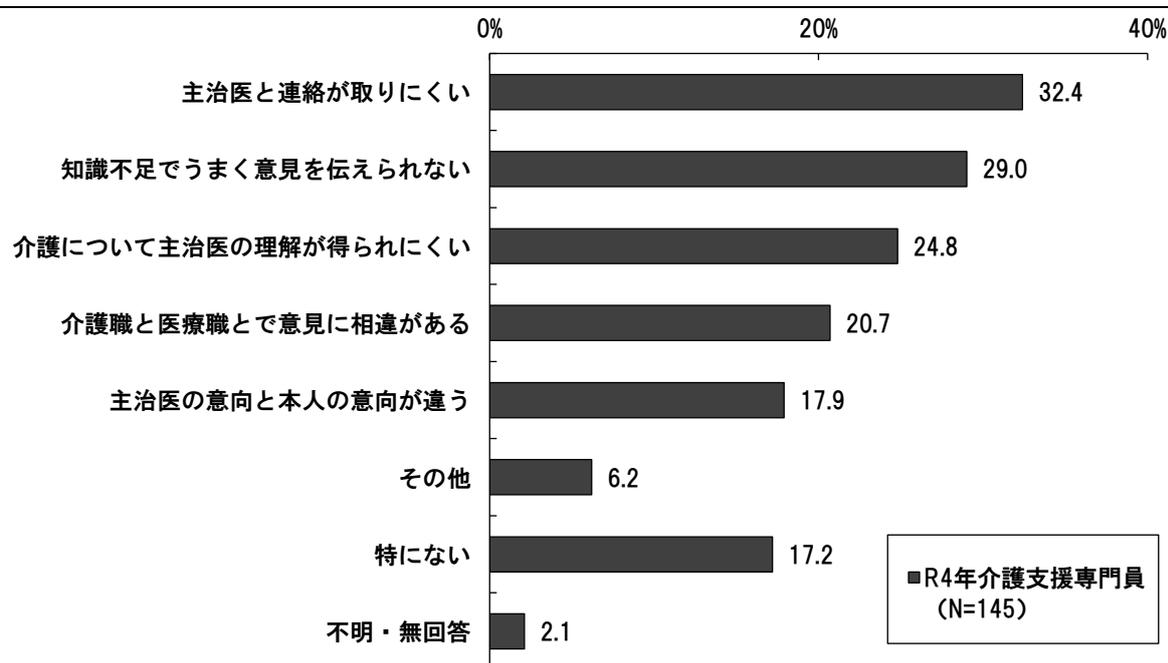
問 10. 利用者の病状や健康状態について、主治医と連絡を取っていますか。

「必要時に取っている」が82.8%で最も多く、「常に取っている」と合わせると86.2%が主治医と連絡を取っていると回答しています。



問 11. 主治医との連携が困難に感じるのはどのような場合ですか。【複数回答】

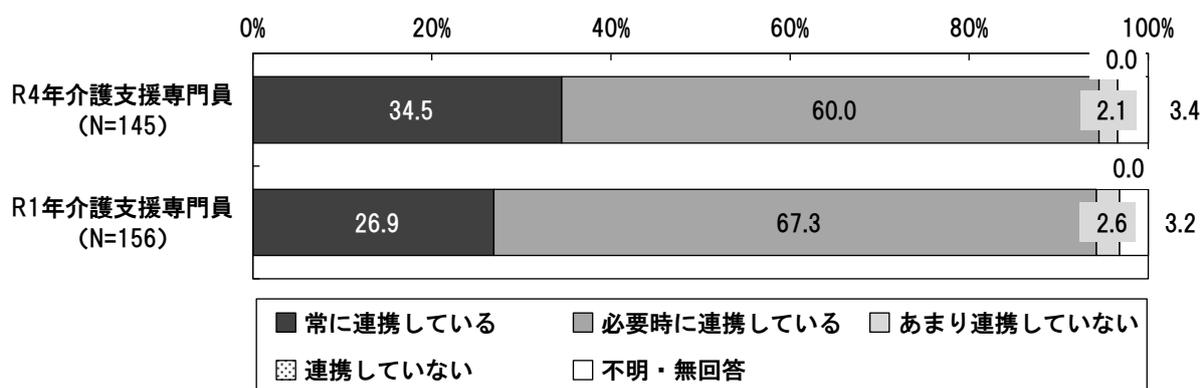
「主治医と連絡が取りにくい」が32.4%で最も多く、次いで「知識不足でうまく意見を伝えられない」が29.0%となっています。



問 12. 地域包括支援センターと連携していますか。

「常に連携している」が34.5%、「必要時に連携している」と合わせると、90%以上が連携していると回答しています。

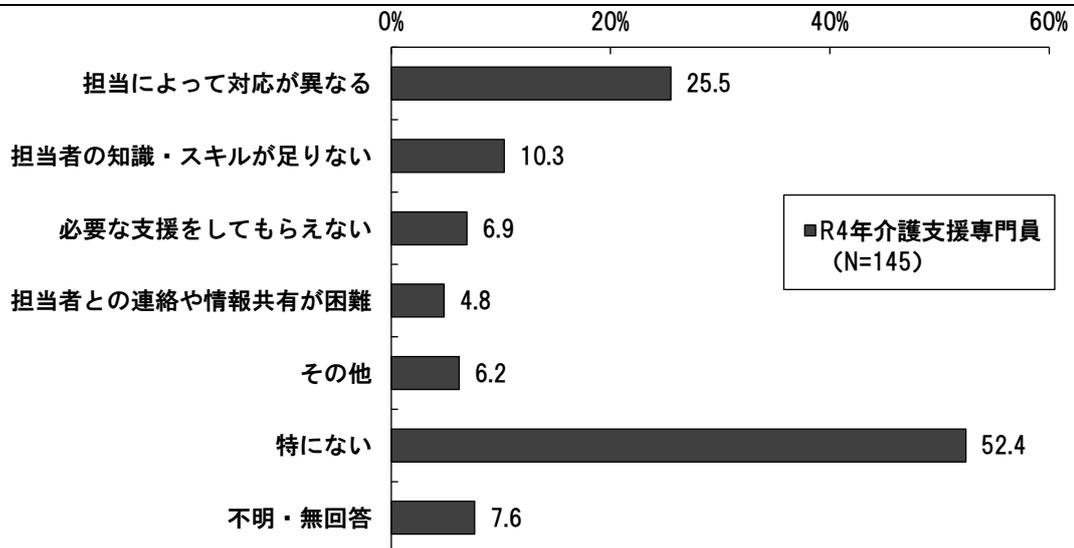
前回調査と比べると、「常に連携している」がやや増加しています。



問 13. 地域包括支援センターとの連携が困難に感じるのはどのような場合ですか。

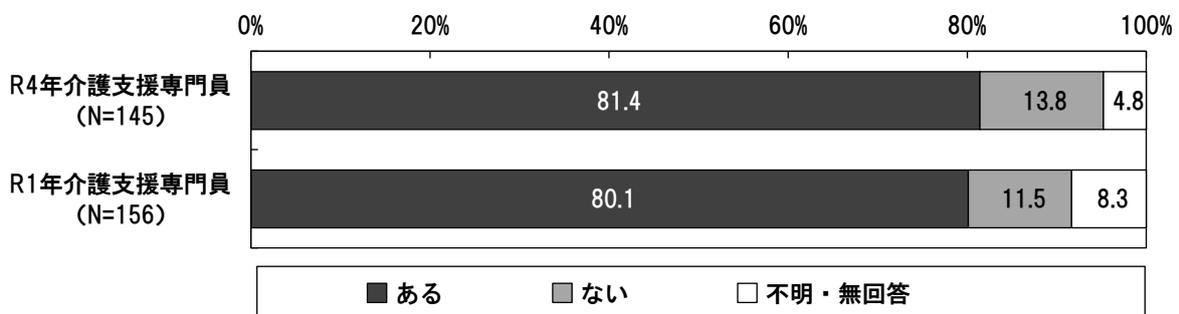
【複数回答】

「特にない」が52.4%で最も多くなっています。困難に感じる場合については、「担当によって対応が異なる」が25.5%で最も多くなっています。



問 14. 困難事例などを地域包括支援センターに相談したことはありますか。

「ある」が81.4%となっています。

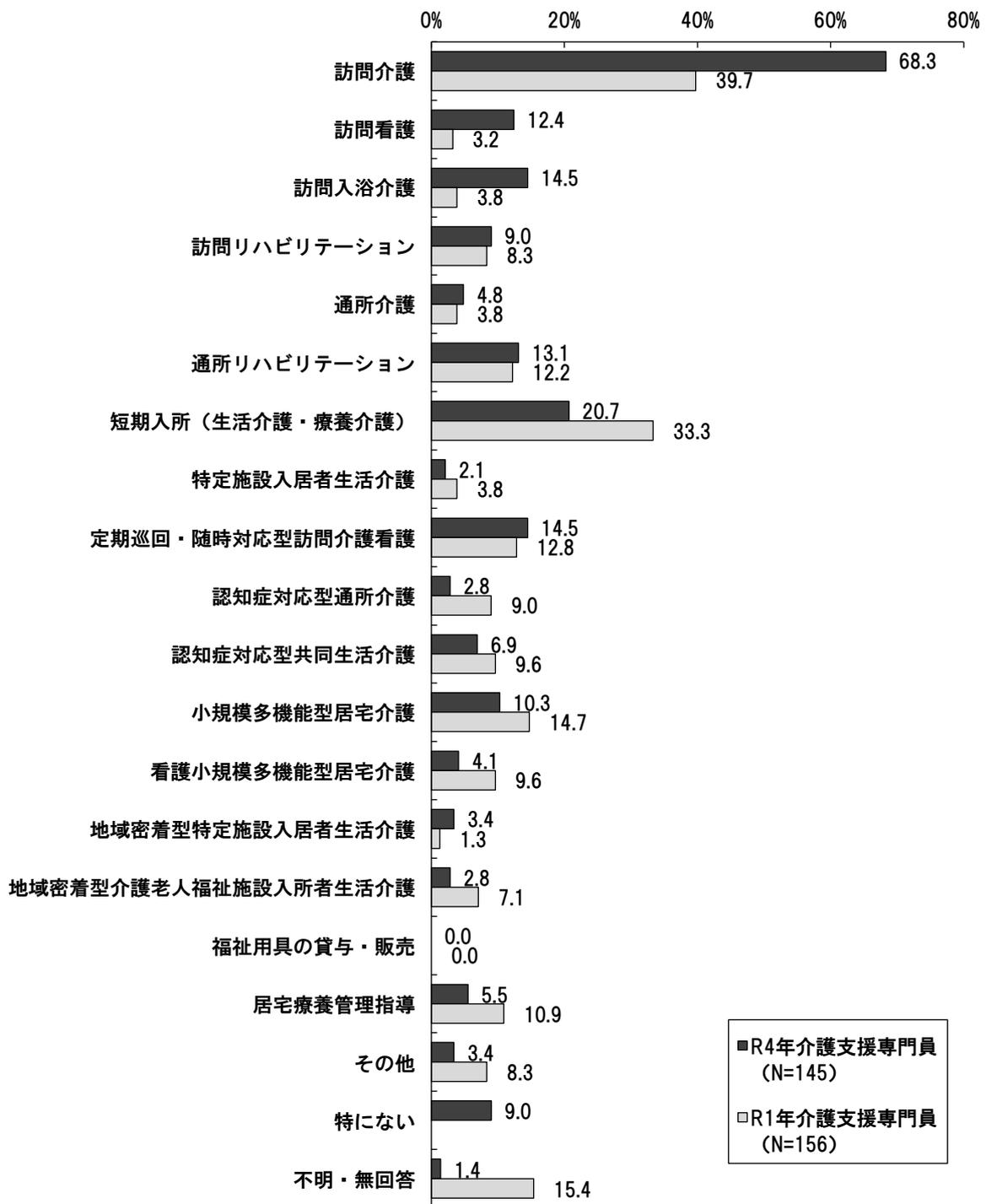


2. 介護サービス提供に対する評価・要望等について

問 15. 介護・福祉サービスのうち、供給が不足していると感じるサービスは何ですか。

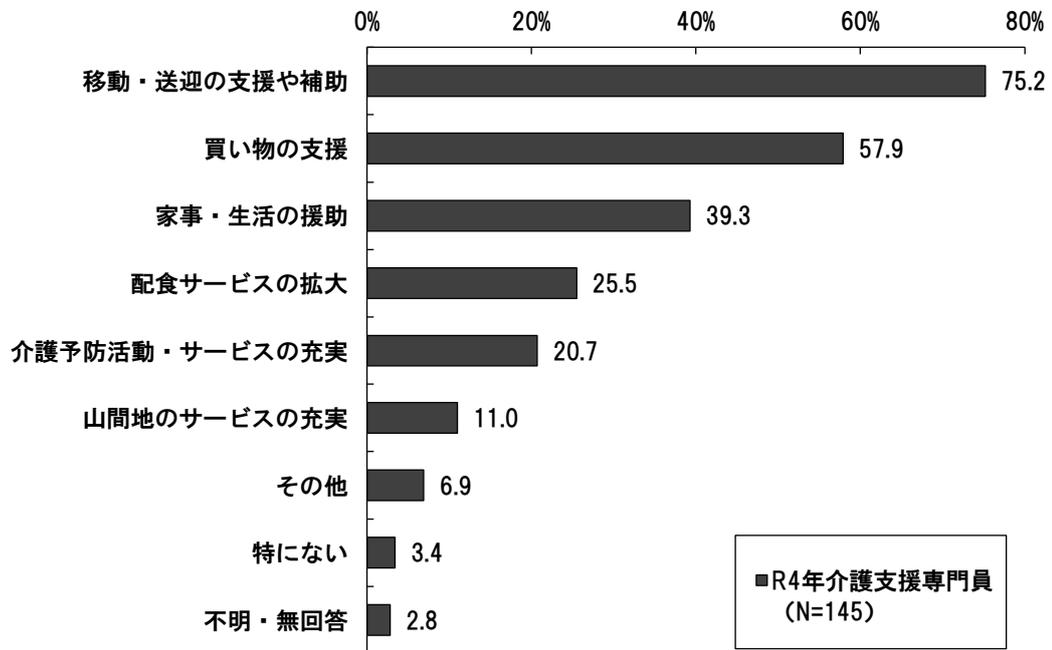
「訪問介護」が68.3%で最も多く、次いで「短期入所（生活介護・療養介護）」が20.7%となっています。

前回調査と比べると、「訪問介護」「訪問看護」「訪問入浴介護」が増加しており、コロナ禍における訪問系サービスのニーズの増加がうかがえます。



問 16. 法定の介護保険サービス以外で、市独自で給付してほしいサービスはありますか。【複数回答】

「移動・送迎の支援や補助」が75.2%で最も多く、次いで「買い物の支援」が57.9%となっています。

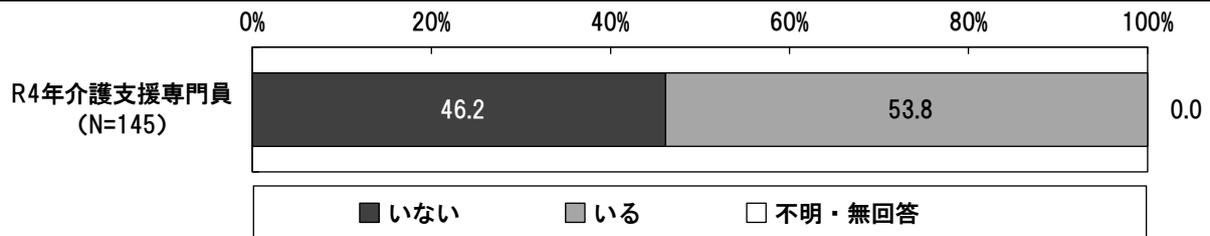


3. 在宅介護の継続について

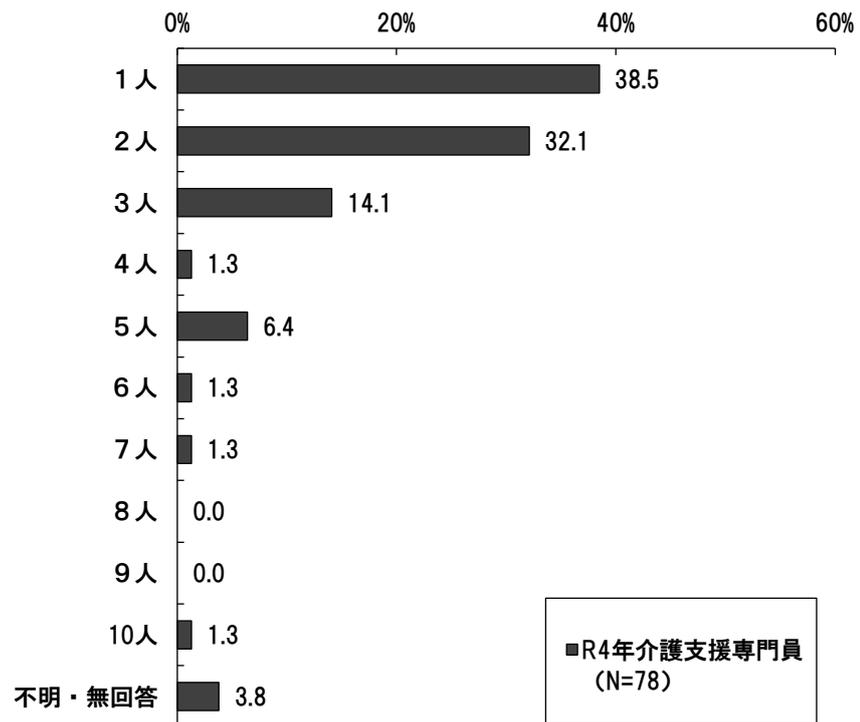
問 17. 現在担当している利用者のうち、「自宅」、「サ高住」、「住宅型有料」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方で、生活の維持が難しくなっている人はいますか。いる場合は人数もお答えください。

「いる」が 53.8%となっています。

生活の維持が難しくなっている人数については、「1人」が 38.5%で最も多く、次いで「2人」が 32.1%となっています。



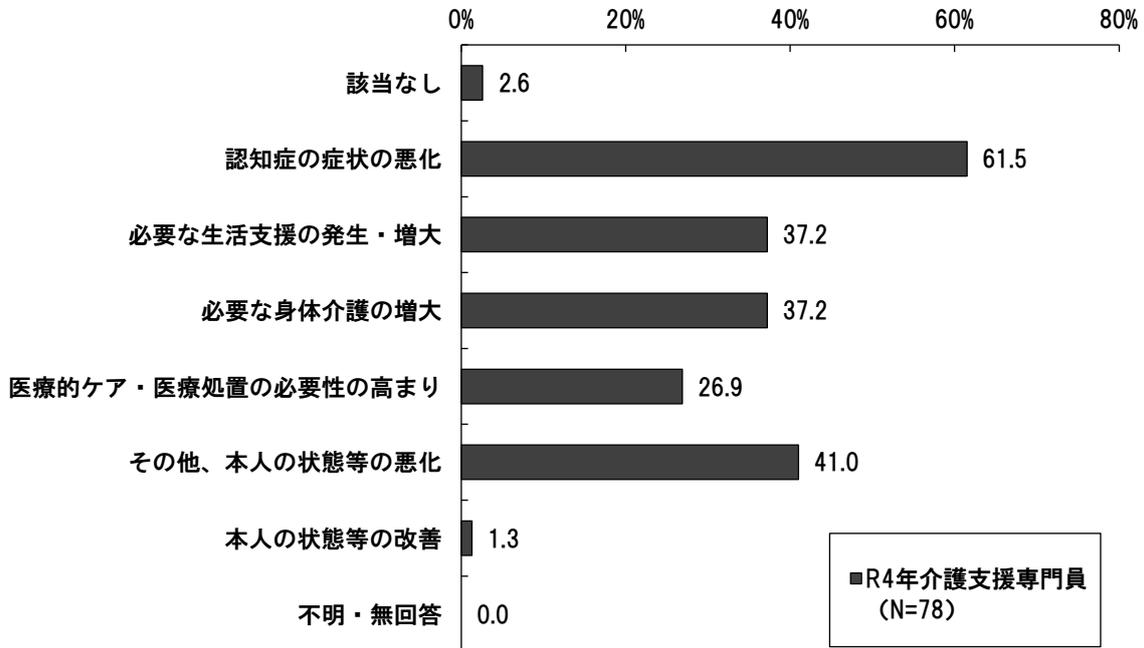
生活の維持が難しくなっている人の人数



【問 17 において「いる」と回答した人のみ】

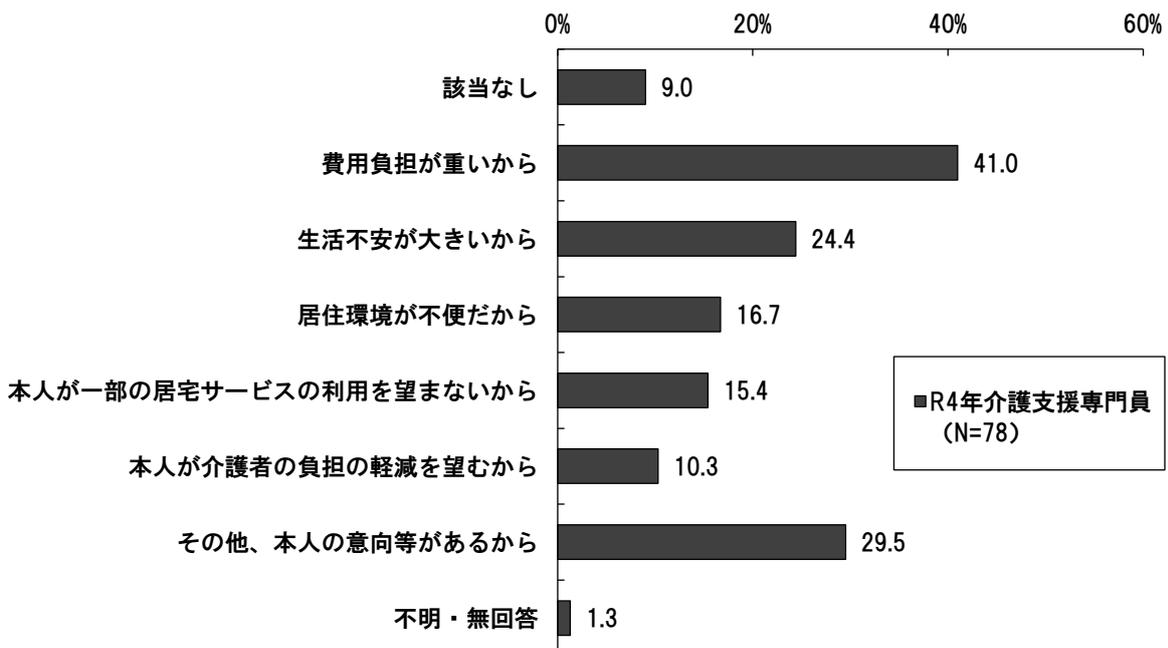
①生活の維持が難しくなっている理由のうち、本人の状態等に属するものは何ですか。
【複数回答】

「認知症の症状の悪化」が 61.5% で最も多くなっています。



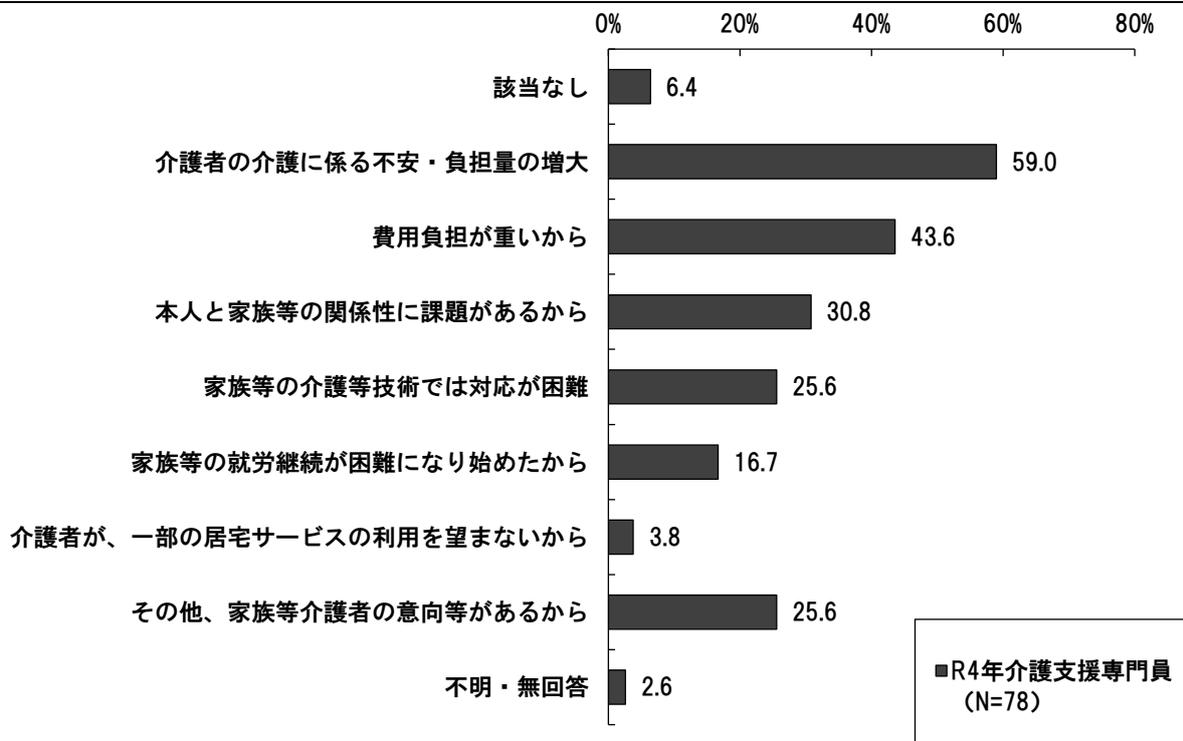
②生活の維持が難しくなっている理由のうち、主に本人の意向等に属するものは何ですか。【複数回答】

「費用負担が重いから」が 41.0% で最も多くなっています。



③生活の維持が難しくなっている理由のうち、主に家族等介護者の意向・負担等に属するものは何ですか。【複数回答】

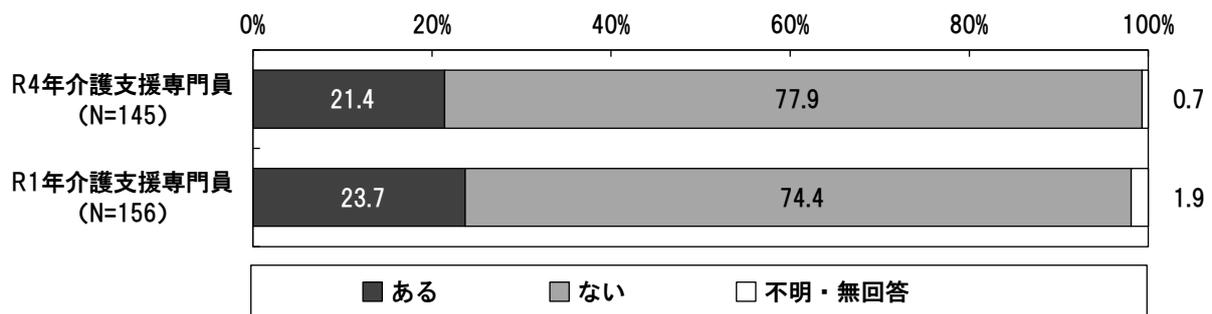
「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が59.0%で最も多くなっています。



4. 高齢者虐待の状況について

問 18. 受けもっている要介護者の中で、高齢者虐待を受けている又は受けていると思われる事例がありますか。

「ある」が21.4%となっています。

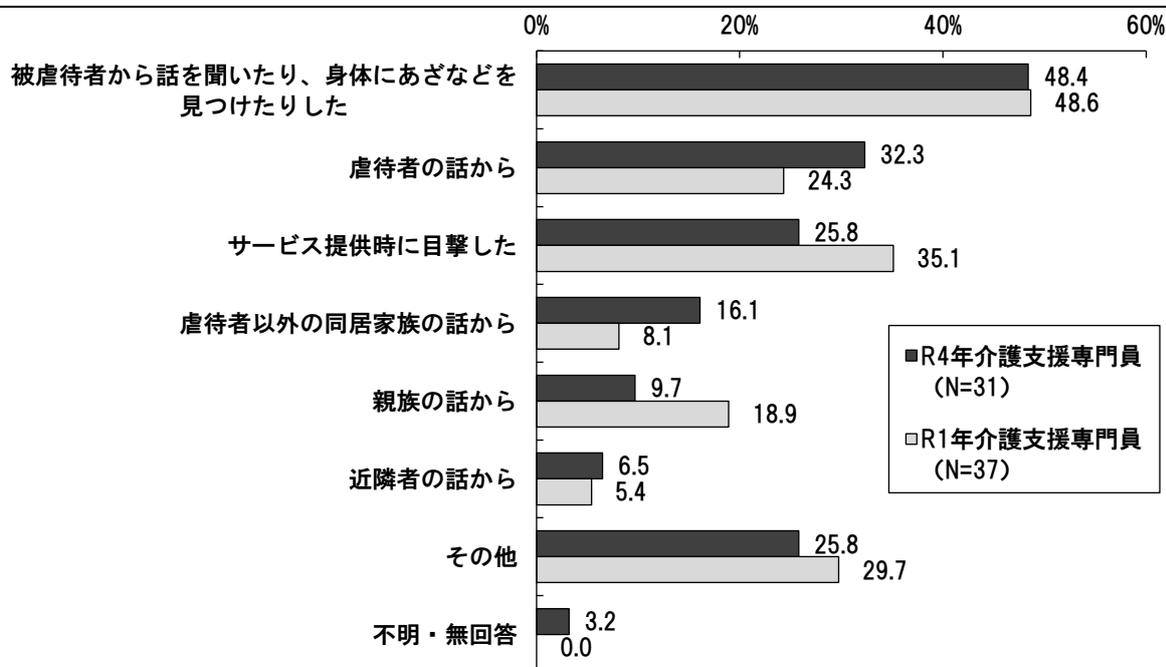


【問18において「ある」と回答したひとのみ】

①それは、どのようにしてわかりましたか。【複数回答】

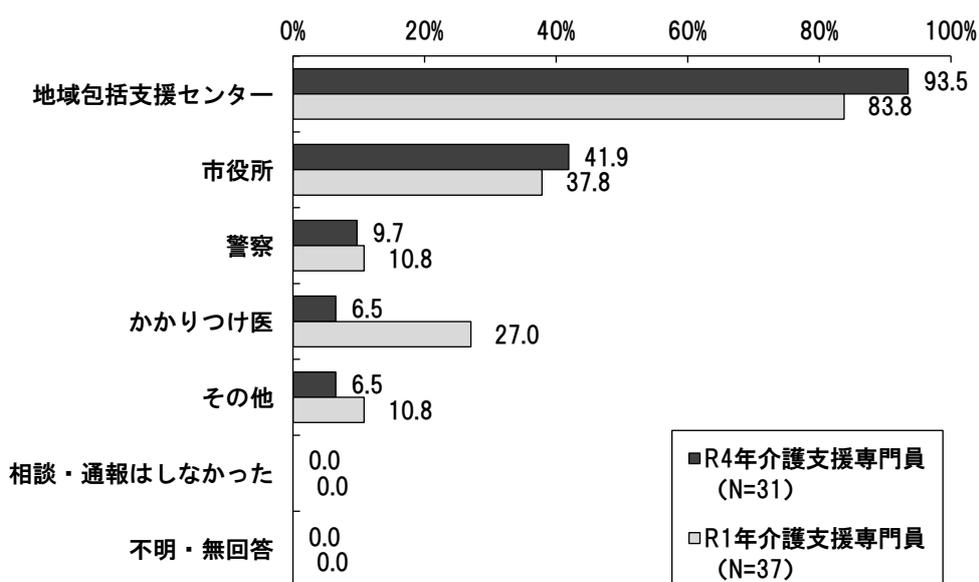
「被虐待者から話を聞いたり、身体にあざなどを見つけたりした」が48.4%で最も多く、次いで「虐待者の話から」が32.3%、「サービス提供時に目撃した」が25.8%となっています。

前回調査と比べると、「サービス提供時に目撃した」「親族の話から」が減少し、「虐待者の話から」「虐待者以外の同居家族の話から」がやや増加しています。



②相談・通報先はどこですか。【複数回答】

「地域包括支援センター」が93.5%で最も多く、次いで「市役所」が41.9%となっています。



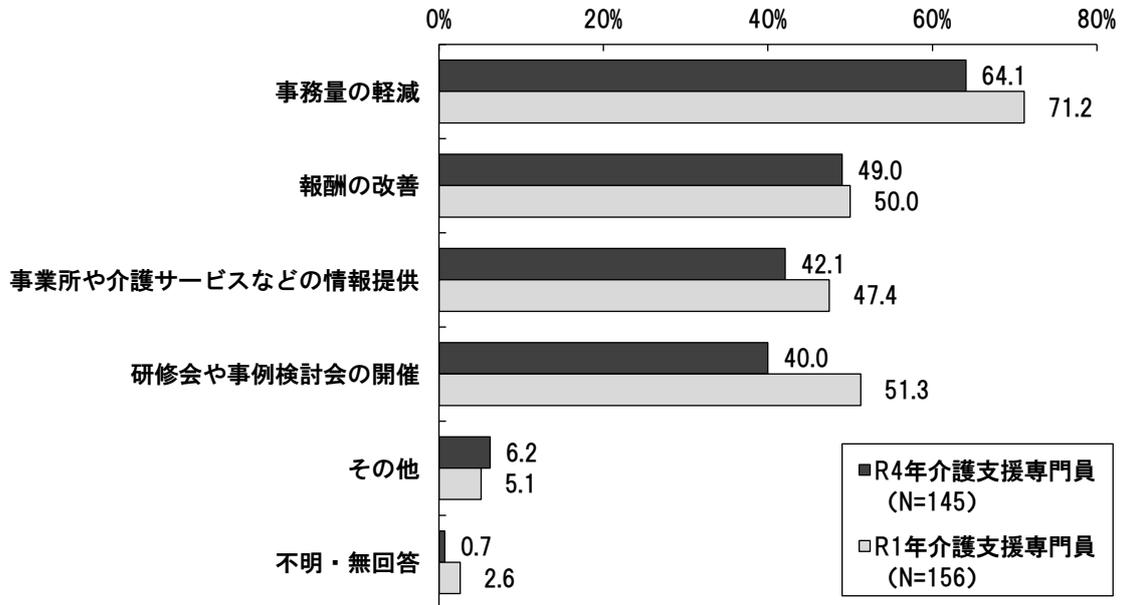
※「市役所」はR1年調査では「市の長寿課・介護保険課」

5. 介護支援専門員の資質向上のための対策について

問 19. ケアマネジャーの資質向上のため、市や事業所に求めることは何ですか。

【複数回答】

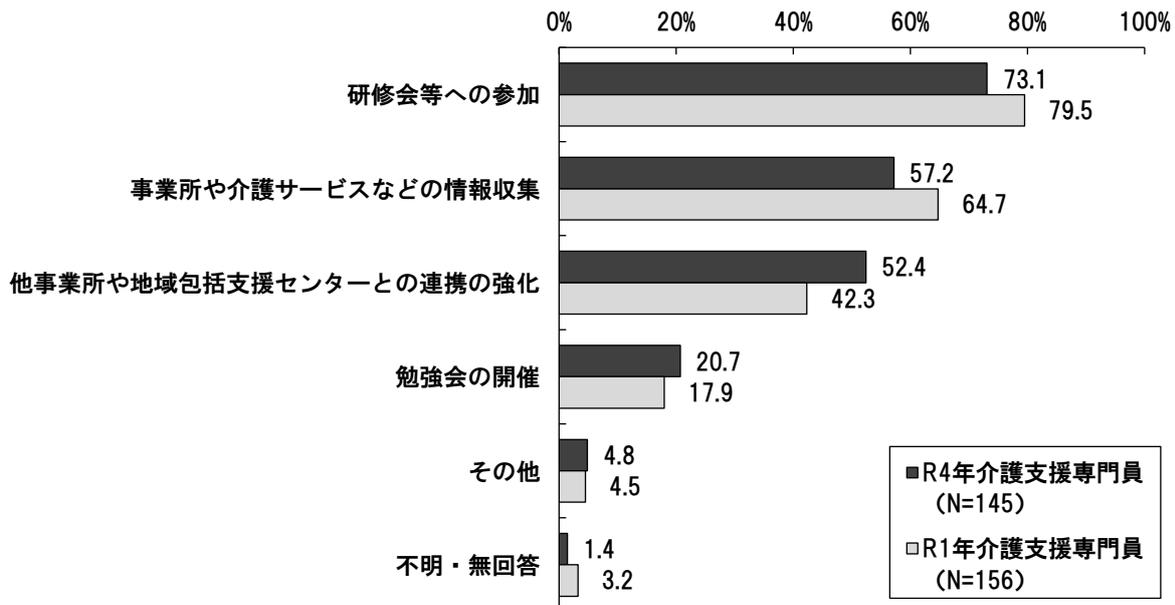
「事務量の軽減」が64.1%で最も多く、次いで「報酬の改善」が49.0%、「事業所や介護サービスなどの情報提供」が42.1%となっています。



問 20. ケアマネジャーの資質向上のため、ご自身が工夫していることは何ですか。

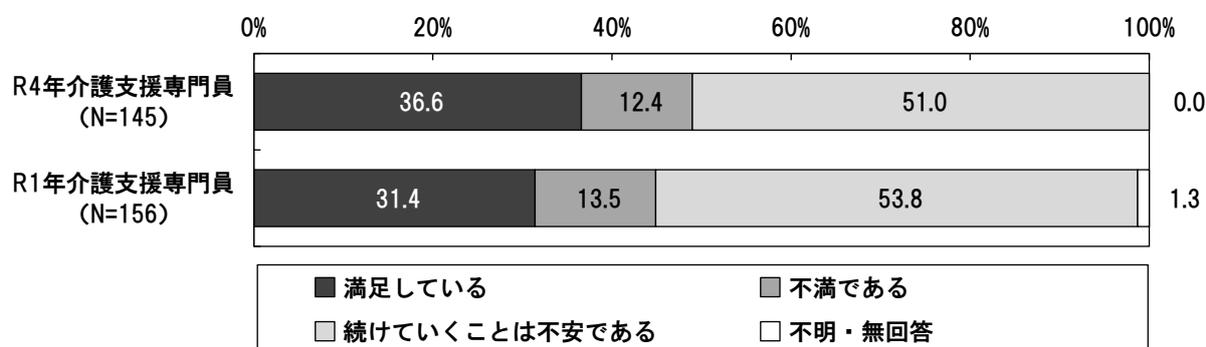
【複数回答】

「研修会等への参加」が73.1%で最も多く、次いで「事業所や介護サービスなどの情報収集」が57.2%、「他事業所や地域包括支援センターとの連携の強化」が52.4%となっています。



問 21. ケアマネジャーとして、仕事に満足していますか。

「続けていくことは不安である」が51.0%で最も多く、次いで「満足している」が36.6%となっています。

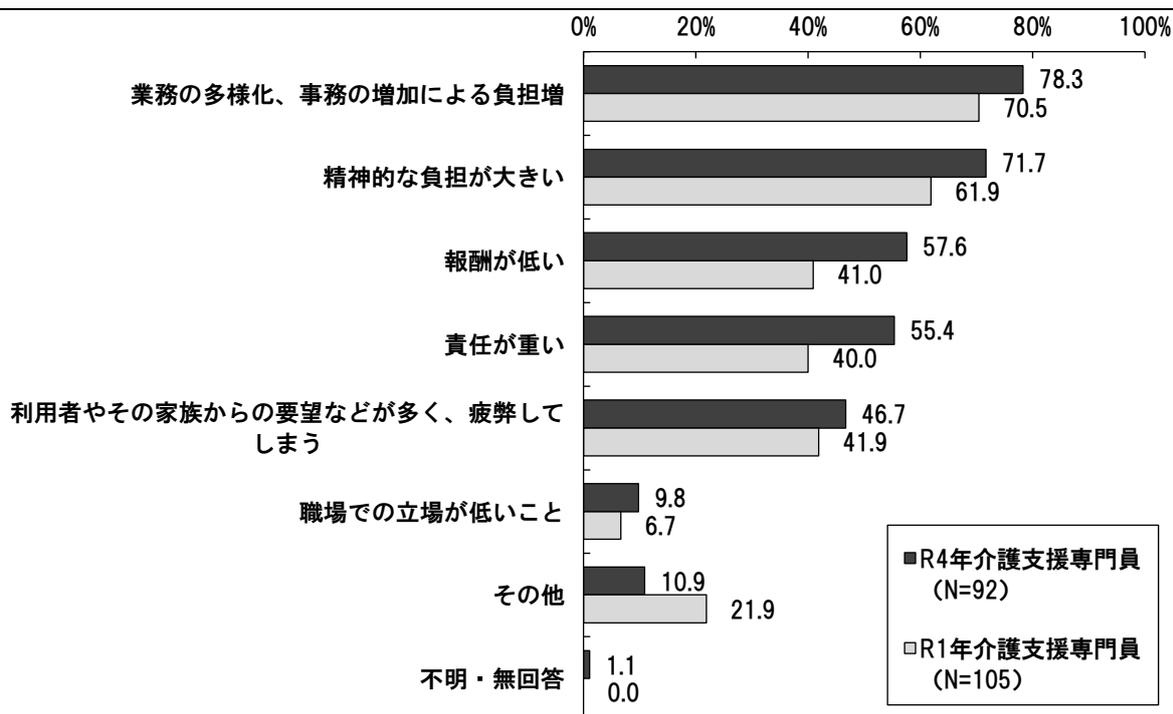


【問 21 において「不満である」または「続けていくことは不安である」と回答した人のみ】

①不満や不安の理由は何ですか。【複数回答】

「業務の多様化、事務の増加による負担増」が78.3%で最も多く、次いで「精神的な負担が大きい」が71.7%、「報酬が低い」が57.6%となっています。

前回調査と比べると、「報酬が低い」「責任が重い」がやや増加しています。



X 調査結果のまとめ

(1) 本市の高齢者の状況

- 前回調査と比べて、回答者の年齢構成がやや高齢化し、単身世帯、夫婦のみ世帯の割合がわずかに増加しています。在宅サービス利用者においても、単身世帯の割合がやや増加しています。
- 運動機能の低下、認知機能の低下、IADLの低下等の判定において、前回調査と比べて低下ありと判定される割合がわずかに増加しています。
- 一般高齢者の日常生活で困っていることについては、「困っていることは特にない」という回答が減少しています。
- 在宅サービス利用者における家族・親族の主な介護者については、約4割が70歳以上となり、前回調査よりやや減少しているものの、老老介護の状況が広がっています。

⇒団塊の世代が75歳以上となるなど、人口の多い世代が高齢化していくに従い、単身または高齢者のみの世帯の増加や、支援を必要とする高齢者の増加が見込まれます。

(2) 新型コロナウイルス感染症の高齢者の生活への影響

- 感染症の拡大前と比べて、外出の回数が減っていると回答した高齢者は約5割となっています。
- 外出の際の移動手段を見ると、「電車」「路線バス」という回答が減少しており、不特定多数が利用する交通機関を避ける傾向がうかがえます。
- 心身の状態により外出を控えている高齢者の割合は、前回調査の約1.5倍となっており、控えている理由を見ても感染症拡大の影響がうかがえます。誰かと食事を共にする機会についても前回調査より全体的に頻度が下がっています。
- 外出が週1回以下である閉じこもり傾向のある高齢者の割合もわずかに増加しています。
- 若年者調査においても「親戚や友人との交流が減った」「外出や運動の回数が減った」という回答が5割を超えています。

⇒感染症対策により外出を控える高齢者が増加しており、閉じこもり傾向の増加による運動機能の低下や生活の質の低下、フレイルの増加が懸念され、対策の強化が求められます。

(3) 情報通信機器の活用状況

- ウィズコロナにおける高齢者支援において活用が期待される情報通信機器については、「よく利用している」「ときどき利用している」の合計が、若年者では9割以上、75～79歳でも5割以上となっていますが、80歳代では利用が少なくなっています。
- 「メール・ライン等を利用した家族・知人との連絡・通信」は75～79歳の約半数、「ウェブサイト等の利用による調べものや情報収集」は70～74歳の約半数が利用しており、情報通信機器を用いた発信にアクセスする基盤がある程度できているといえます。

⇒今後、情報通信機器の活用に慣れた世代が高齢化していくことで、積極的に機器を活用できる高齢者の増加が見込まれます。

(4) 介護サービス等の状況

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、8割以上の居宅介護支援事業者、在宅介護サービス事業者においては「訪問／支援回数・時間数の縮小」「利用者・家族希望による利用控え・キャンセル」をはじめとする様々な事業所運営への影響が出ています。
- 在宅サービス利用者においても約2割が必要なサービスを受けられない経験をしており、3.1%は現在も受けられないサービスがあると回答しています。
- 在宅サービス事業者、入所施設事業者の5割以上が、今後の介護職員の増員を予定していると回答しています。また、現在の業務を行ううえで、介護職員の人数が不足しているという回答も約5割となっています。
- 居宅介護支援事業所においては、現在の業務を行ううえで、ケアマネジャーの人数が不足していると回答した事業所が3割を超えています。ケアプランの作成について、「手一杯であり、現行の体制ではこれ以上対応できない」という回答が、前回調査と比べてやや増加しています。
- ケアマネジャーの調査においても、担当している人数が「多すぎる」または「やや多すぎる」という回答が増加しています。

⇒感染症の拡大や人材不足の状況が、介護サービスの供給体制に与える影響について引き続き注視するとともに、事業者と連携した課題解決の取組が求められます。

【問4において「1.」～「3.」のいずれかに回答された方にお聞きします。】

- ① 近くに住んでいる息子や娘がいますか。(○は最も近い1つだけ)
1. 片道15分未満の場所に住んでいる
 2. 片道1時間未満の場所に住んでいる
 3. 片道1時間以上の場所に住んでいる
 4. 子どもはいない

【問4において「4. 息子・娘との2世帯」または「5. その他」と回答された方にお聞きします。】

- ② ご自分を含めて何人で暮らしていますか。数字でご記入ください。

()人

- ③ また、同居されている方はどなたですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者(夫・妻)
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 孫
6. 兄弟・姉妹
7. 親
8. その他()

問5. 現在、収入のある仕事をしていますか。(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

問6. 今の暮らしは、経済的にみてどう感じますか。(○は1つだけ)

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

問7. 新型コロナウイルス感染症の拡大であなたの暮らしには経済的な影響がありましたか。(○はいくつでも)

1. 収入が減った
2. 収入が増えた
3. 支出が減った
4. 支出が増えた
5. 変わらない

問8. 普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つだけ)

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに、家族などの介護を受けている場合も含む)

2 からだを動かすことや食べることについてお聞きします。

問9. 階段をすすりや壁をつたわらずに昇っていますか。(○は1つだけ)

1. できるし、している
2. できるが、していない
3. できない

問10. 椅子に座った状態から何にもつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つだけ)

1. できるし、している
2. できるが、していない
3. できない

問11. 15分くらい続けて歩いていきますか。(○は1つだけ)

1. できるし、している
2. できるが、していない
3. できない

問12. 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つだけ)

1. 何度もある
2. 1度ある
3. ない

問13. 転倒することへの不安は大きいですか。(○は1つだけ)

1. とても不安である
2. やや不安である
3. あまり不安ではない
4. 不安ではない

問14. 週に1回以上は外出していますか。(○は1つだけ)

1. ほとんど外出しない
2. 週1回
3. 週2～4回
4. 週5回以上

問15. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つだけ)

1. とても減っている
2. 減っている
3. あまり減っていない
4. 減っていない

問16. 新型コロナウイルス感染症の拡大前(令和2年2月より前)と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つだけ)

1. とても減っている
2. 減っている
3. あまり減っていない
4. 減っていない

問17. 身長・体重をご記入ください。
(小数点以下は切り捨て、整数でご記入ください)

身長 cm 体重 kg

問 18. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

問 19. お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

問 20. 口の渇きが気になりますか。(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

問 21. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○は1つだけ)

〔※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。〕

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用はなし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用はなし

問 22. どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つだけ)

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない

3 毎日の生活についてお聞きします。

問 23. 心身の状態により、外出を控えていますか。(○は1つだけ)

1. 控えている
2. 控えていない ⇒ 問 24 へ

【問 23 において「1. 控えている」と回答された方にお聞きします。】

① 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

1. 病氣
2. 体の障がい(脳卒中の後遺症など)
3. 足腰などの痛み
4. トイレの心配(失禁など)
5. 耳の障がい(聞こえの問題など)
6. 目の障がい
7. 外での楽しみがない
8. 経済的に出られない
9. 移動手段がない
10. その他()

問 24. 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

1. 徒歩
2. 自転車
3. バイク
4. 自動車(自分で運転する)
5. 自動車(人に乗せてもらう)
6. 電車
7. 路線バス
8. 病院や施設のバス
9. 車いす
10. 電動車いす(カート)
11. 歩行器・シルバーカー
12. タクシー
13. その他()

問 25. 物忘れが多いと感じますか。(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

問 26. バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)

(○は1つだけ)

1. できるし、している
2. できるが、していない
3. できない

問 27. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(○は1つだけ)

1. できるし、している
2. できるが、していない
3. できない

問 28. 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つだけ)

1. できるし、している
2. できるが、していない
3. できない

問 29. 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つだけ)

1. できるし、している
2. できるが、していない
3. できない

問 30. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つだけ)

1. できるし、している
2. できるが、していない
3. できない

問 31. 日常生活において困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

1. 高いところの作業(電球の交換等)
2. 重いものの運搬(布団、灯油、米、粗ごみなど)
3. 屋外作業(草刈、庭木の手入れ等)
4. 部屋の掃除
5. 電化製品の操作
6. 書類整理・事務手続き
7. 食事の支度
8. 外出の移動手段(買い物・通院等)
9. 話し相手・相談相手がない
10. ペットの世話
11. その他()
12. 困っていることは特になし

問 32. あなたは、パソコン、スマートフォンやタブレット端末等の情報通信機器を利用していますか。(○は1つだけ)

1. よく利用している
2. ときどき利用している
3. ほとんど利用していない
4. 利用していない

問 33. あなたは普段、パソコンやスマートフォンなどの情報通信機器を利用して、次のようなことをしていますか。(○はいくつでも)

1. メール・ライン等を利用した家族・知人との連絡・通信
2. ウェブサイト等による調べものや情報収集
3. フェイスブック・インスタグラム・ツイッター等のSNS(会員交流サイト)の利用
4. 動画サイトの利用やインターネット配信による講演・演奏等の視聴
5. 買い物・ショッピング
6. オンラインの相談や診療の利用
7. その他()
8. 利用していない

4 地域での活動についてお聞きします。

問 34. 以下のような会、グループ等にとどのくらいの頻度で参加していますか。

- ① ホランティアのグループ
 1. 週4回以上
 2. 週2～3回
 3. 週1回
 4. 月1～3回
 5. 年に数回
 6. 参加していない
- ② スポーツ関係のグループやクラブ
 1. 週4回以上
 2. 週2～3回
 3. 週1回
 4. 月1～3回
 5. 年に数回
 6. 参加していない
- ③ 趣味関係のグループ
 1. 週4回以上
 2. 週2～3回
 3. 週1回
 4. 月1～3回
 5. 年に数回
 6. 参加していない
- ④ 学習・教養サークル
 1. 週4回以上
 2. 週2～3回
 3. 週1回
 4. 月1～3回
 5. 年に数回
 6. 参加していない

⑤ 介護予防のための通いの場

※「通いの場」とは、地域に住む高齢者が定期的に集まり、さまざまな運動やレクリエーションを通じて仲間と楽しんでたりフレッシュアップしたりと、日々の生活に活気をとり入れでもらうための地域の皆さんの取組みです。岡崎市では「岡崎ごまんてく体操」「いきいきクラブ」等の名称で実施されています。また、地域の茶話会等も含みます。

1. 週4回以上
2. 週2～3回
3. 週1回
4. 月1～3回
5. 年に数回
6. 参加していない

⑥ 老人クラブ

1. 週4回以上
2. 週2～3回
3. 週1回
4. 月1～3回
5. 年に数回
6. 参加していない

⑦ 町内会・自治会

1. 週4回以上
2. 週2～3回
3. 週1回
4. 月1～3回
5. 年に数回
6. 参加していない

⑧ 収入のある仕事

1. 週4回以上
2. 週2～3回
3. 週1回
4. 月1～3回
5. 年に数回
6. 参加していない

問 35. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. ぜひ参加したい
 2. 参加してもよい
 3. 参加したくない
 4. 既に参加している
- 問 36. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。
(○は1つだけ)

1. ぜひ参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

5 たすけあいについてお聞きします。

問 37. あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣の人
6. 友人
7. その他()
8. そのような人はいない

問 38. 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人は誰ですか。

(○はいくつでも)

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣の人
6. 友人
7. その他()
8. そのような人はいない

問 39. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣の人
6. 友人
7. その他()
8. そのような人はいない

問 40. 反対に、あなたが看病や世話をしてくれる人は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣の人
6. 友人
7. その他()
8. そのような人はいない

問 41. 地域住民の力を生かしたたすけあい活動で、あなたがやってみたいと思うことはどれですか。(○はいくつでも)

1. ゴミ出し・電球交換などの軽作業
2. 高齢者や子どもの見守り
3. 買い物支援
4. 移動支援
5. 食事の支度
6. ペットの世話
7. 交通安全立哨や防犯パトロール
8. 地域の防災活動
9. 地域の美化清掃活動
10. その他()
11. 特にない(できない)

6 健康についてお聞きします。

問 42. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つだけ)

1. とてもよい
2. まあよい
3. あまりよくない
4. よくない

問 43. あなたは、現在のどの程度幸せですか。(○は1つだけ)
 「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として回答してください

とても不幸	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点
				ふつう							とても幸せ

問 44. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つだけ)

1. あった
2. なかった

問 45. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つだけ)

1. あった
2. なかった

問 46. タバコは吸っていますか。(○は1つだけ)

1. はは毎日吸っている
2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた
4. もともと吸っていない

問 47. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

1. ない
2. 高血圧
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞など)
4. 心臓病
5. 糖尿病
6. 高脂血症(脂質異常)
7. 呼吸器の病気(肺炎・気管支炎など)
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気
10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症など)
11. 外傷(転倒・骨折など)
12. がん(悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気
14. うつ病
15. 認知症(アルツハイマー病など)
16. パーキンソン病
17. 目の病気
18. 耳の病気
19. その他()

問 48. かかりつけの医師がいますか。(○は1つだけ)

1. いる
2. いない

問 49. 認知症についてどうお考えですか。(○は1つだけ)

1. 自分は認知症にならないと思っている
2. 自分も認知症になるかもしれないので、予防対策をしたいと思っている
3. 自分も認知症になるかもしれないが、防ぎようがないと思っている
4. 認知症という病気を知らないでわからない
5. その他()

問 50. 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

問 51. 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

問 52. 福祉の総合相談窓口「ふくサボ」を知っていますか。(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

7 施設や通いの場の利用についてお聞きします。

問 53. 市内に老人福祉センター（地域福祉センター、高齢者センター岡崎）があることを知っていますか。また、利用していますか。(○は1つだけ)

〔※老人福祉センターとは、高齢者の方の生きがいづくり、教養、娯楽等の場として利用していたいただける和室や集會室、浴室、カラオケ設備、囲碁将棋コーナー等を備えた施設です。〕

1. 利用している
2. 知っているが利用していない
3. 知らない

【問 53 において「1. 利用している」または「2. 知っているが利用していない」と回答された方にお聞きします。】

① 老人福祉センターについて、あなたの考えは次のどれに近いですか。

(○は1つだけ)

1. 利用者を子どもや多世代に広げる
2. イベントや催しを充実する
3. 今のままでよい
4. わからない
5. その他()

問 54. 高齢者の生活について相談ができる「地域包括支援センター」が市内にあるのを知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らない

地域包括支援センターはこんな仕事をしています。

- ア 介護に関することをはじめ、健康や福祉、医療、生活に関する相談
- イ 自立して生活するための相談や、福祉サービスの利用の支援
- ウ 成年後見制度の利用の申立てなどの支援
- エ 高齢者虐待の早期発見・把握と対応
- オ 高齢者を対象とした悪質な詐欺商法や消費者金融などの消費者被害の防止
- カ 状態に合わせた介護予防の支援

〔※小学校区ごとの担当の地域包括支援センターは、以下の表のとおりです。困り事がある場合は、お近くの地域包括支援センターにお気軽にご相談ください。〕

名称	電話	所在地	担当地域(小学校区)
中央地域福祉センター	25-3199	梅園町	梅園
ひな	65-8555	日名南町	広幡、井田
岡崎東	84-5003	洞町	根石、男川、生平、秦梨
真福	66-2667	真福寺町	常磐南、常磐東、常磐
社会福祉協議会	23-1105	康生通南	愛宕
竜美	55-0751	竜美西	三島、竜美丘
さくら5の里	22-3030	中岡崎町	六名、連尺
なのはな苑	57-8087	福岡町	岡崎、福岡
スクエアガーデン	57-1133	羽根町	羽根、城南
ふじ	55-0192	美合町	上地、小豆坂
高齢者センター岡崎	55-8399	美合町	美合、緑丘
北部地域福祉センター	45-1699	岩津町	恵田、奥殿、細川、岩津
さくら	73-3377	堂前町	大樹寺、大門
やはぎ苑	34-2345	上佐々木町	矢作南
西部地域福祉センター	32-0199	宇頭町	矢作東、矢作西
はしめ	33-5610	橋目町	矢作北、北野
南部地域福祉センター	43-6299	下青野町	六ツ美北部、六ツ美西部
むつみ	57-6288	合戦木町	六ツ美中部、六ツ美南部
東部地域福祉センター	48-8099	山綱町	竜谷、藤川、山中、本宿
額田	82-3129	夏山町	豊富、夏山、宮崎、形埜、下山

問 55. 自宅以外で居場所（通いの場）はありますか。（○はいくつでも）

1. 趣味の講座
2. スポーツジム
3. グラウンド・ゴルフなど地域の運動の場
4. 地域の茶話会
5. 岡崎ごまんぞく体操
6. いきいきクラブ
7. 図書館
8. 喫茶店
9. その他()
10. どこにも行っていない ⇒ 問 56 へ

【問 55 において「1.」～「9.」のいずれかに回答された（どこかに行っている）方にお聞きします。】

① 通いの場に行く理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 仲間づくり
2. 知識などの習得
3. 健康づくり
4. 特にないが、時間があるため
5. その他()

問 56. 近所に気軽に集まることのできる「通いの場」があったら、行ってみたいと思えますか。（○は1つだけ）

1. 行ってみたい
2. 行きたくない ⇒ 問 57 へ

【問 56 において「1. 行ってみたい」と回答された方にお聞きします。】

① どのような「通いの場」が欲しいと思えますか。（○はいくつでも）

1. おしゃべり
2. 体操
3. 食事
4. その他()

② どれくらいの頻度で通いたいと思えますか。（○は1つだけ）

1. 週4回以上
2. 週2～3回
3. 週1回
4. 月1～3回
5. 年に数回

8 介護サービス・介護保険料についてお聞きします。

問 57. 介護が必要となった場合、主としてどのような介護を受けたいですか。（○は1つだけ）

1. 介護保険などのサービスは利用せずに自宅で介護してほしい
2. 介護保険などのサービスを利用しながら自宅で介護してほしい
3. 特別養護老人ホームなどの施設に入所したい
4. その他()
5. わからない

問 58. 介護保険料は、市全体の介護サービスの利用量に比例して決まります。あなたの考えは次のどれに近いですか。（○は1つだけ）

1. 保険料が高くなっても、サービス量を増やしてほしい
2. サービス量は増やさず、保険料を低く抑えてほしい
3. どちらとも言えない
4. その他()

問 59. 介護保険に関する情報について、どのような情報が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

1. サービスの利用方法について
2. サービスの利用料金について
3. 介護サービス事業者について
4. 介護の方法などについて
5. 苦情・相談窓口について
6. 施設サービスについて
7. その他()

問 60. 介護のことで相談するとしたら、誰に（どこに）相談しますか。（○はいくつでも）

1. 家族・親族
2. 友人
3. 近所の人、または町内の人（町内の役員を含む）
4. 民生委員
5. 学区福祉委員
6. 市役所の窓口
7. 地域包括支援センター
8. 医師・医療機関
9. 歯科医師・歯科医療機関
10. 薬剤師・薬局
11. その他()
12. わからない

9 最後に

問 61. 将来あなたが人生の最期を迎えるとき、それをどこで迎えたいですか。

(○は1つだけ)

1. 自宅
2. 子ども、兄弟姉妹など親族の家
3. 病院などの医療施設
4. 特別養護老人ホームなど介護保険施設
5. その他()

問 62. もし、あなたが終末期医療の希望を明示できなくなったり、あなたの代理人となる方は、あなたの人生最期の迎え方の希望(終末期医療や最期を迎えたい場所)を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らない

問 63. 充実した老後を過ごすために、あなたがしたいことは何ですか。

(○は1つだけ)

1. 介護予防、健康づくり
2. 仕事
3. 趣味
4. 地域活動やボランティア
5. その他()
6. わからない

問 64. 本市の介護保険、高齢者福祉について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。

同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

令和 4 年 11 月 25 日 (金) までに、郵便ポストへご投函ください。

2 日常生活の状況や介護予防についてお聞きします。

問4. 現在の健康状態はどのような状況ですか。(○は1つだけ)

- 1. 非常に健康
- 2. まあ健康
- 3. あまり健康ではない
- 4. 健康ではない

問5. 人間ドックや特定健診などの健康診査(検尿、血圧測定、血液検査等)を定期的に受けていますか。(○は1つだけ)

- 1. 毎年受けている ⇒問6へ
- 2. 受けたり受けなかったりする(最後に受けたのは__年前) ⇒問6へ
- 3. 受けたことがない

【問5で「3. 受けたことがない」と回答された方にお聞きします。】

① あなたが健康診査を受診しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1. 忙しいから
- 2. 費用がかかから
- 3. 自覚症状がないから
- 4. 医療機関で治療しているから
- 5. 受診方法がわからないから
- 6. 健診会場に行くのが大変だから
- 7. 必要と思わないから
- 8. 結果を知るのが不安だから
- 9. その他()

問6. 要介護状態にならないために、何を心がけていますか。(○はいくつでも)

- 1. できるだけ体を動かす
- 2. 食事の栄養バランスをとる
- 3. 飲酒量を減らす(飲酒をしない)
- 4. タバコの量を減らす(喫煙しない)
- 5. 十分な睡眠をとる
- 6. 体重の管理をする
- 7. その他()
- 8. 特に何もしていない

問7. 認知症についてどうお考えですか。(○は1つだけ)

- 1. 自分は認知症にならないと思っている
- 2. 自分も認知症になるかもしれないので、予防対策をしたいと思っている
- 3. 自分も認知症になるかもしれないが、防ぎようがないと思っている
- 4. 認知症という病気を知らないのではわからない
- 5. その他()

問8. 今後の生活で不安に思うことは何ですか。(○はいくつでも)

- 1. 仕事のこと
- 2. 経済的なこと
- 3. 財産等の管理のこと
- 4. 住宅のこと
- 5. 家族や親戚のこと
- 6. 近所の人や友人との人間関係
- 7. 子どもたちが独立し、夫婦だけ又は一人になってしまうこと
- 8. 自分の体力が衰えていくこと
- 9. 自分が寝たきりや認知症になったとき
- 10. 配偶者が寝たきりや認知症になったときのこと
- 11. 同居している両親、祖父母の介護
- 12. 離れて暮らす両親、祖父母の介護
- 13. その他()
- 14. 特にない

問9. 地域住民の力を生かしたすけあい活動で、あなたがやってみたくと思うことはどれですか。(○はいくつでも)

- 1. ゴミ出し・電球交換などの軽作業
- 2. 高齢者や子どもの見守り
- 3. 買い物支援
- 4. 移動支援
- 5. 食事の支度
- 6. ペットの世話
- 7. 交通安全立哨や防犯パトロール
- 8. 地域の防災活動
- 9. 地域の美化清掃活動
- 10. その他()
- 11. 特にない(できない)

問10. あなたは、パソコン、スマートフォンやタブレット端末等の情報通信機器を利用していますか。(○は1つだけ)

- 1. よく利用している
- 2. よく利用している
- 3. ほとんど利用していない
- 4. 利用していない

問11. あなたは、どのような情報通信機器を利用していますか。普段利用している機器をお答えください。(○はいくつでも)

- 1. パソコン
- 2. スマートフォン
- 3. 携帯電話(スマートフォン以外)
- 4. タブレット端末
- 5. その他の機器
- 6. 利用していない

問12. あなたは普段、パソコンやスマートフォンなどの情報通信機器を利用して、次のようなことをしていますか。(○はいくつでも)

- 1. メール・ライン等を利用した家族・知人との連絡・通信
- 2. ウェブサイト等の利用による調べものや情報収集
- 3. フェイスブック、インスタグラム、ツイッター等のSNS(会員交流サイト)の利用による講演・演奏等の視聴
- 4. 動画サイトの利用やインターネット配信
- 5. 買い物・ショッピング
- 6. オンラインの相談や診療の利用
- 7. その他()
- 8. 利用していない

3 介護サービス・介護保険料についてお聞きします。

問 13. 家族に介護が必要となった場合、主としてどのようなように介護したいですか。

(○は1つだけ)

1. 介護保険などのサービスは利用せず、家族等を中心に自宅で介護したい
2. 介護保険制度や保健福祉のサービスを活用しながら、自宅で介護したい
3. 特別養護老人ホームなどの施設に入所させたい
4. その他()
5. わからない

問 14. 介護保険料は、市全体の介護サービスの利用量に比例して決まります。あなたの場合は次のどれに近いですか。(○は1つだけ)

1. 保険料が高くなっても、サービス量を増やしてほしい
2. サービス量は増やさず、保険料を低く抑えてほしい
3. どちらとも言えない
4. その他()

4 地域包括支援センターについてお聞きします。

問 15. 高齢者の生活について相談ができる「地域包括支援センター」が市内にあるのを知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らない

地域包括支援センターはこんな仕事をしています。

- ア 介護に関することをはじめ、健康や福祉、医療、生活に関する相談
- イ 自立して生活するための相談や、福祉サービスの利用の支援
- ウ 成年後見制度の利用の申立てなどの支援
- エ 高齢者虐待の早期発見・把握と対応
- オ 高齢者を対象とした悪質な詐欺商法や消費者金融などの消費者被害の防止
- カ 状態に合わせた介護予防の支援

(※小学校区ごとの担当の地域包括支援センターは、以下の表のとおりです。困り事がある場合は、お近くの地域包括支援センターにお気軽にご相談ください。)

名称	電話	所在地	担当地域(小学校区)
中央地域福祉センター	25-3199	梅園町	梅園
ひな	65-8555	日名南町	広幡、井田
岡崎東	84-5003	洞町	根石、男川、生平、秦梨
真福	66-2667	真福寺町	常磐南、常磐東、常磐
社会福祉協議会	23-1105	康生通南	愛宕
竜美	55-0751	竜美西	三島、竜美丘
さくらの里	22-3030	中岡崎町	六名、連尺
なのほな苑	57-8087	福岡町	岡崎、福岡
スクエアガーデン	57-1133	羽根町	羽根、城南
ふじ	55-0192	美合町	上地、小豆坂
高齢者センター岡崎	55-8399	美合町	美合、緑丘
北部地域福祉センター	45-1699	岩津町	恵田、奥殿、細川、岩津
さくら	73-3377	堂前町	大樹寺、大門
やはぎ苑	34-2345	上佐々木町	矢作南
西部地域福祉センター	32-0199	宇頭町	矢作東、矢作西
はしめ	33-5610	橋目町	矢作北、北野
南部地域福祉センター	43-6299	下青野町	六ツ美北部、六ツ美西部
むつみ	57-6288	合歓木町	六ツ美中部、六ツ美南部
東部地域福祉センター	48-8099	山綱町	竜谷、藤川、山中、本宿
額田	82-3129	夏山町	豊富、夏山、宮崎、形基、下山

5 介護に関する情報についてお聞きします。

問 16. 介護保険に関する情報について、どのような情報が必要だと思いますか。

(〇はいくつでも)

- 1. サービスの利用方法について
- 2. サービスの利用料金について
- 3. 介護サービス事業者について
- 4. 介護の方法などについて
- 5. 苦情・相談窓口について
- 6. 施設サービスについて
- 7. その他()

問 17. 介護のことで相談するとしたら、誰に(どこに)相談しますか。

(〇はいくつでも)

- 1. 家族・親族
- 2. 友人
- 3. 近所の人、または町内の人(町内の役員を含む)
- 4. 民生委員
- 5. 学区福祉委員
- 6. 市役所の窓口
- 7. 地域包括支援センター
- 8. 医師・医療機関
- 9. 歯科医師・歯科医療機関
- 10. 薬剤師・薬局
- 11. その他()
- 12. わからない

問 18. 福祉の総合相談窓口「ふくサボ」を知っていますか。(〇は1つだけ)

- 1. はい
- 2. いいえ

問 19. 新型コロナウイルス感染症の流行の拡大をきっかけにして、あなたの生活や考えに次のような変化はありましたか。(〇はいくつでも)

- 1. 収入や貯蓄の減少があった
- 2. 失業や望まない働き方の変化があった
- 3. 家事の負担が増えた
- 4. 子育てや介護の負担が増えた
- 5. 親戚や友人との交流が減った
- 6. 外出や運動の回数が減った
- 7. 地域での活動や交流の機会が減った
- 8. 以前より余暇を楽しめなくなった
- 9. インターネットや情報通信機器の利用が増えた
- 10. 気持ち落ち込むことや、イライラすることが増えた
- 11. 必要な医療が受けられるか不安を感じるようになった(感じた) ()
- 12. 必要な介護を受けられるか不安を感じるようになった(感じた) ()
- 13. 将来に不安を感じるようになった(感じる) ()
- 14. その他 ()
- 15. 特に生活や考えに変化はない

6 最後に

問 20. 充実した老後を過ごすために、あなたがしたいことは何ですか。

(〇は1つだけ)

- 1. 介護予防、健康づくり
- 2. 仕事
- 3. 趣味
- 4. 地域活動やボランティア
- 5. その他()
- 6. わからない

問 21. 本市の介護保険、高齢者福祉について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、今一度お確かめください。

同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

令和4年11月25日(金)までに、郵便ポストへご投函ください。

介護保険等実態調査（アンケート調査）

調査協力をお願い

日頃から、本市の高齢者福祉行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
 このたび、本市では、令和4年11月1日現在で「介護保険等実態調査」を実施します。
 この調査は、令和6年度を初年度とする第9期の「岡崎市地域包括ケア計画」の策定に向けた基礎資料とするものです。
 調査の実施にあたり、調査対象として、今年度になってから認定調査を受けた方で、在宅で介護サービスを利用されている市民1,500人の皆様を無作為に選ばせていただきました。ご記入いただいた内容につきましては、本事業の目的以外には使用しませんので、皆様の率直なご意見やご要望をお聞かせください。
 ご多用のところ、大変お手数をお掛けいたしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

令和4年11月

岡崎市長 中根 康浩

※対象者ご本人が何らかの事情により調査できない場合には、下の枠内のいずれかの番号に○をつけ、回答せずに返信用封筒に入れて郵便ポストへご投函ください。

- 1. 病院へ入院
- 2. 施設へ入所
- 3. 市外へ転居
- 4. その他()

ご記入にあたってのお願い

- この調査は**令和4年11月1日現在**の内容でご記入ください。
- 黒色の鉛筆又はボールペン等でご記入ください。
- 回答は、対象者ご本人がご記入ください。なお、ご本人お一人での回答が難しい場合は、ご家族の方などがお手伝いのうえ、ご回答ください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけていただくものと、数値などをご記入いただくものがあります。(○は1つだけ)。(○はいくつでも)などの指示にしたがってご回答ください。
- 回答が「その他」にあてはまる場合は、()内に具体的に記入ください。
- わからない点や質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。
- ご記入後、お手数ですが、このアンケートを同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、**令和4年11月25日(金)**までに郵便ポストへご投函ください。

<この調査に関するお問合せ先>

岡崎市 福祉部 長寿課 施策係
 電話：(0564) 23-6149 FAX：(0564) 23-6520

3. 在宅サービス利用者調査票

問1. 調査票の記入者は、ご本人(宛名の方)からみて、どれにあてはまりますか。
 (○は1つだけ)

- 1. 調査対象者本人
- 2. 主な介護者となっている家族・親族
- 3. 主な介護者以外の家族・親族
- 4. その他

1 対象者の方(宛名の方)についてお聞きします。

分析のため、直近の認定調査に係る要介護認定データについて、このアンケートの回答と組み合わせ使用することに同意いただけますか。どちらかに印をしてください。
 ・統計処理を行うため、個人を特定して情報を使用することはありません。
 ・この調査の目的(計画策定のための基礎資料)以外には使用しません。
 ・同意いただける場合は、調査票表紙の番号から要介護認定データを使用させていただきます。また、問2から問6までの回答は不要です。

同意します ⇒3ページの問7へ 同意しません ⇒問2へ

問2. 性別をお答えください。(○は1つだけ)

- 1. 男性
- 2. 女性

問3. どの小学校区にお住まいですか。(○は1つだけ)

本庁	1.梅園	2.根石	3.六名	4.三島
	5.竜美丘	6.常盤南	7.常盤東	8.常盤
	9.連尺	10.広幡	11.霧岩	12.井田
岡崎	13.上地	14.福岡	15.小豆坂	16.羽根
	17.岡崎	18.城南		
大平	19.生平	20.秦梨	21.男川	22.美合
	23.緑丘			
東部	24.竜谷	25.藤川	26.本宿	27.山中
岩津	28.岩津	29.恵田	30.大樹寺	31.大門
	32.奥殿	33.細川		
矢作	34.矢作西	35.矢作南	36.矢作東	37.矢作北
	38.北野			
六ツ美	39.六ツ美北部	40.六ツ美西部	41.六ツ美中部	42.六ツ美南部
額田	43.豊富	44.夏山	45.宮崎	46.形埜
	47.下山			
	48.わからない(町名を記入してください) 岡崎市 _____ 町			

問4. 年齢（令和4年11月1日現在）をお答えください。（○は1つだけ）

1. 64歳以下
2. 65～69歳
3. 70～74歳
4. 75～79歳
5. 80～84歳
6. 85歳以上

問5. 現在の要介護度はどれですか。（○は1つだけ）

1. 要支援1
2. 要支援2
3. 要介護1
4. 要介護2
5. 要介護3
6. 要介護4
7. 要介護5

問6. 次の介護サービスのうち、令和4年10月に利用した居宅サービスをお聞
きします。（○はいくつでも）

1. 訪問介護（ホームヘルプサービス）
2. 訪問看護
3. 訪問介護（ホームヘルプサービス）
4. 訪問リハビリテーション
5. 通所介護（デイサービス）
6. 通所リハビリテーション
7. 短期入所生活介護（ショートステイ）
8. 短期入所療養介護（ショートステイ）
9. 福祉用具貸与
10. 特定福祉用具販売（購入費の補助）
11. 住宅改修
12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
13. 地域密着型通所介護（デイサービス）
14. 認知症対応型通所介護
15. 小規模多機能型居宅介護
16. 看護小規模多機能型居宅介護

問7. 現在の世帯状況をお答えください。（○は1つだけ）

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし
（配偶者は65歳以上）
3. 夫婦2人暮らし
（配偶者は64歳以下）
4. 息子・娘との2世帯 ⇒問8へ
5. その他
（ ） ⇒問8へ

【問7において「1.」から「3.」のいずれかに回答された方にお聞きします。】

① 近くに住んでいる息子や娘がいますか。（○は最も近い1つだけ）

1. 片道15分未満の場所に住んでいる
2. 片道1時間未満の場所に住んでいる
3. 片道1時間以上の場所に住んでいる
4. 子どもはいない

2 普段受けている介護についてお聞きします。

問8. ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居してい
ない子どもや親族等からの介護を含む）。（○は1つだけ）

1. ない ⇒問9へ
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

【問8において「2.」から「5.」のいずれかに回答された方（現在ご家族やご親
族から介護を受けている方）にお聞きします。】

① 主な介護者の方は、どなたですか。（○は1つだけ）

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他（ ）

② 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（○は1つだけ）

1. 男性
2. 女性

③ 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（○は1つだけ）

1. 20歳未満
2. 20歳代
3. 30歳代
4. 40歳代
5. 50歳代
6. 60歳代
7. 70歳代
8. 80歳以上
9. わからない

④ 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。
(○はいくつでも)

1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べる時)
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗頭・歯磨き等)
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬
10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)
12. 食事の準備(調理等)
13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
15. その他()
16. わからない

⑤ ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。(○はいくつでも)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

3 高齢者福祉・介護サービスについてお聞きします。

問9. 市が実施している介護保険対象外のサービスの利用状況をお答えください。
(項目①～④について○はそれぞれ1つずつ)

※各サービスは、それぞれ利用するときに条件があります。

- ① さわやか(ごみ)収集 (ひとり暮らしで要介護認定を受けている方などを対象に、玄関先まで伺い、ごみや資源物を回収します。)
1. 利用している、または利用したことがある
2. 利用したことはないが知っている
3. 知らない
- ② 見守り配食サービス (日常的に見守りが必要な高齢者の方を対象に、毎日1食を、自宅までお届けし、手渡しによる安否の確認をします。)
1. 利用している、または利用したことがある
2. 利用したことはないが知っている
3. 知らない
- ③ 緊急通報システム設置(貸与) (ひとり暮らしで心臓等に持病がある方などを対象に、ボタンを押すと24時間体制の専門業者につながる緊急通報装置をお貸しします。)
1. 利用している、または利用したことがある
2. 利用したことはないが知っている
3. 知らない
- ④ 家具転倒防止金員の取付け (高齢者のみの世帯の方などを対象に、地震による家具転倒を防止する金員の取付けを行います。)
1. 利用している、または利用したことがある
2. 利用したことはないが知っている
3. 知らない

問10. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(○はいくつでも)

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物(宅配は含まない)
5. ゴミ出し
6. 外出同行(通院、買い物など)
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他()
11. 特になし

問 11. 現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つだけ)

1. 利用している
2. 利用していない

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含まれません。

問 12. 現在、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用していますか。(○は1つだけ)

1. 利用している ⇒問 13へ
2. 利用していない

【問 12 において「2. 利用していない」と回答された方にお聞きします。】

① 利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない
9. その他()

問 13. 介護サービスを利用する前と比べて、身体の状態は良くなりましたか。

(○は1つだけ)

1. 良くなった
2. やや良くなった
3. 変わらない
4. やや悪くなった
5. 悪くなった
6. わからない

問 14. 介護サービスに不満があるとき、どこに相談していますか。(○はいくつでも)

1. 介護サービス事業者
2. ケアマネジャー
3. 主治医(かかりつけ医)
4. 市役所の窓口
5. 国民健康保険団体連合会
6. 地域包括支援センター
7. その他()
8. どこに相談すればいいのかわからない ⇒問 15へ
9. 特に不満はない ⇒問 15へ

【問 14 において「1.」～「7.」のいずれかに回答された方にお聞きします。】

① 相談後、不満は解消しましたか。(○は1つだけ)

1. 解消した
2. ほぼ解消した
3. あまり解消していない
4. 解消していない
5. その他()

問 15. 今後、どのように介護を受けたいですか。(○は1つだけ)

1. 介護保険などのサービスは利用せずに自宅で介護してほしい
2. 介護保険などのサービスを利用しながら自宅で介護してほしい
3. 特別養護老人ホームなどの施設に入所したい
4. その他()
5. わからない

問 16. 介護保険料は、市全体の介護サービスの利用量に比例して決まります。

あなたの考えは次のどれに近いですか。(○は1つだけ)

1. 保険料が高くなっても、サービス量を増やしてほしい
2. サービス量は増やさず、保険料を低く抑えてほしい
3. どちらとも言えない
4. その他()

問 17. 今後の介護サービスの利用をどう考えていますか。(○は1つだけ)

1. 利用限度額を超えても増やしたい
(※利用限度額を超えた分については、全額自己負担となります)
2. 利用限度額の範囲内で増やしたい
3. 今のままでよい ⇒問 18へ
4. 減らしたい ⇒問 18へ

【問 17 において「1.」または「2.」と回答された方にお聞きします。】

① 介護サービスの利用を増やしたいと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 希望するサービス量を受けていないから
2. 希望するサービス(種類)を受けていないから
3. 現在の生活に不自由を感じるから
4. 介護者の負担をもっと軽減したいから
5. ケアマネジャーの勧めがあったから
6. その他()

問 18. 感染症拡大の影響で、必要な介護サービスを受けられないことがありますか。(○は1つだけ)

1. 現在受けられないサービスがある
サービス名()
2. 以前は受けられないことがあったが現在はない
3. ない

4 施設入所意向についてお聞きします。

問 19. 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

(○は1つだけ)

1. 入所・入居は検討していない⇒問 20 へ
2. 入所・入居を検討している⇒問 20 へ
3. すでに入所・入居申し込みをしている

【問 19 において「3. すでに入所・入居申し込みをしている」と回答された方にお聞きします。】

① 申込みをしている施設をお答えください。(○はいくつでも)

1. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
2. 介護老人保健施設
3. 介護医療院(旧 介護療養型医療施設)
4. 小規模特養(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)
5. グループホーム(認知症対応型共同生活介護)
6. 有料老人ホーム(特定施設入居者生活介護施設/地域密着型特定施設入居者生活介護)
7. わからない

② 最初の入所・入居の申込みから、どれくらいたちましたか。(○は1つだけ)

1. 6か月未満
2. 6か月以上、1年未満
3. 1年以上、2年未満
4. 2年以上、3年未満
5. 3年以上

③ 施設への入所を希望されている理由はどれですか。(○はいくつでも)

1. 介護する家族がいらないから
2. 家族はいるが、住居の都合で介護ができないから
3. 家族はいるが、住居の都合以外の理由で介護ができないから
4. 24 時間の介護が必要だから
5. 今すぐは必要ないが、先のこと心配だから
6. その他()

④ 施設への入所を希望する時期はどれですか。(○は1つだけ)

1. 今すぐでも入所したい
2. 今後、数か月以内には入所したい
3. 今後、1年以内には入所したい
4. 当面は入所するつもりはないが、必要となったら入所したい
5. その他()

※ここからは、普段、ご本人を介護されている方にお聞きします。

問 20. 介護をするようになってから、どのくらいになりましたか。(○は1つだけ)

1. 3か月未満
2. 3か月以上6か月未満
3. 6か月以上1年未満
4. 1年以上1年6か月未満
5. 1年6か月以上2年未満
6. 2年以上3年未満
7. 3年以上5年未満
8. 5年以上 10 年未満
9. 10 年以上

問 21. 主に介護をしている時間は、1日あたり何時間くらいですか。

(○は1つだけ)

1. 4時間未満
2. 4、5時間程度
3. 6、7時間程度
4. 8時間～12 時間
5. 12 時間以上

問 22. 主に介護をしている方の健康状態は、どれにあてはまりますか。

(○は1つだけ)

1. とてもよい
2. まあよい
3. あまりよくない
4. 健康ではない

問 23. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。

(○は1つだけ)

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない ⇒問 24 へ
4. 主な介護者に確認しないと、わからない ⇒問 24 へ

※「パートタイム」とは、「1 週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

【問 23 において「1.」または「2.」と回答された方にお聞きします。】

① 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(○はいくつでも)

1. 特に行っていない
2. 介護のために「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しなから、働いている
3. 介護のために「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

② 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他()
10. 特になし
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

③ 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(〇は1つだけ)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

問 24. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)。(〇は3つまで)

1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べる時)
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬
10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)
12. 食事の準備(調理等)
13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
15. その他()
16. 不安に感じていることは、特になし
17. 主な介護者に確認しないと、わからない

問 25. 主に介護をしている方は、介護のことで相談するとしたら、誰に(どこ)に相談しますか。(〇はいくつでも)

1. 家族・親族
2. 友人
3. 近所の人、または町内の人(町内の役員を含む)
4. 民生委員
5. 学区福祉委員
6. 市の長寿課・介護保険課
7. 地域包括支援センター
8. ケアマネジャー
9. 介護サービス事業者
10. 医師・医療機関
11. 歯科医師・歯科医療機関
12. 薬剤師・薬局
13. その他()
14. わからない

5 最後に

問 26. 本市の介護保険、高齢者福祉について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。
 記入もれがないか、今一度お確かめください。
同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、
令和4年11月25日(金)までに、郵便ポストへご投函ください。

4. 施設入所者調査票

施設入所者

問1. 調査票の記入者は、ご本人（宛名の方）からみて、どれにあてはまりますか。（○は1つだけ）

- 1. 本人
- 2. 家族
- 3. その他()

1 対象者の方（宛名の方）についてお聞きします。

問2. 性別をお答えください。（○は1つだけ）

- 1. 男性
- 2. 女性

問3. 年齢（令和4年11月1日現在）をお答えください。（○は1つだけ）

- 1. 64歳以下
- 2. 65～69歳
- 3. 70～74歳
- 4. 75～79歳
- 5. 80～84歳
- 6. 85歳以上

問4. 現在、入所されている施設は、どの施設ですか。（○は1つだけ）

- 1. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
- 2. 小規模特別養護老人ホーム(定員29人以下の特別養護老人ホーム)
- 3. 介護老人保健施設
- 4. 介護医療院(旧 介護療養型医療施設)
- 5. グループホーム(認知症対応型共同生活介護)
- 6. 有料老人ホーム(特定施設入居者生活介護/地域密着型特定施設入居者生活介護)

問5. 施設に入所（入院）してから、どのくらいになりますか。（○は1つだけ）

- 1. 1か月未満
- 2. 1か月以上3か月未満
- 3. 3か月以上6か月未満
- 4. 6か月以上1年未満
- 5. 1年以上1年6か月未満
- 6. 1年6か月以上2年未満
- 7. 2年以上3年未満
- 8. 3年以上4年未満
- 9. 4年以上5年未満
- 10. 5年以上

問6. 現在の施設に入所する前の状況をお答えください。（○は1つだけ）

- 1. 1人暮らし
- 2. 夫婦2人暮らし
- 3. 息子・娘との2世帯
- 4. 別の施設に入所
- 5. その他()

問7. ご本人の要支援・要介護度はどれですか。（○は1つだけ）

- 1. 要支援1
- 2. 要支援2
- 3. 要介護1
- 4. 要介護2
- 5. 要介護3
- 6. 要介護4
- 7. 要介護5

施設入所者

介護保険等実態調査（アンケート調査）

調査協力をお願い

日頃から、本市の高齢者福祉行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。このたび、本市では、令和4年11月1日現在で「介護保険等実態調査」を実施します。この調査は、令和6年度を初年度とする第9期の「岡崎市地域包括ケア計画」の策定に向けた基礎資料とするものです。

調査の実施にあたり、調査対象として施設介護サービス及び入所型の在宅介護サービスを利用されている市民1,500人の皆様の無作為に選ばせていただきました。ご記入いただいた内容につきましては、本事業の目的以外には使用しませんので、皆様の率直なご意見やご要望をお聞かせください。

ご多用のところ、大変お手数をお掛けいたしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月

岡崎市長 中根 康浩

※対象者ご本人が何らかの事情により調査できない場合には、下の枠内のいずれかの番号に○をつけ、回答せずに返信用封筒に入れて郵便ポストへご投函ください。

- 1. 退所後、在宅で生活
- 2. 他の施設に転所、又は病院に入院
- 3. その他()

ご記入にあたってのお願い

- この調査は**令和4年11月1日現在**の内容でご記入ください。
- 黒色の鉛筆又はボールペン等でご記入ください。
- 回答は、対象者ご本人がご記入ください。なお、ご本人お一人での回答が難しい場合は、ご家族の方などがお手伝いのうえ、ご回答ください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけていただくものと、数値などを記入いただくものがあります。（○は1つだけ）、（○はいくつでも）などの指示にしたがってご回答ください。
- 回答が「その他」にあてはまる場合は、()内に具体的に記入ください。
- わからない点や質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。
- ご記入後、お手数ですが、このアンケートを同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和4年11月25日（金）**までに郵便ポストへご投函ください。

<この調査に関するお問合せ先>

岡崎市 福祉部 福祉課 長寿課 施策係
電話：(0564)23-6149 FAX：(0564)23-6520

問 8. 施設入所を希望した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 介護する家族がいらないから
2. 家族はいるが、住居の都合で介護ができないから
3. 家族はいるが、住居の都合以外の理由で介護ができないから
4. 24時間の介護が必要だから
5. 施設に入所した方が安心だから
6. その他()

2 入所施設についてお聞きします。

問 9. 現在、入所している施設のサービスに満足していますか。(〇は1つだけ)

1. 満足している ⇒問 10へ
2. ほぼ満足している ⇒問 10へ
3. どちらともいえない ⇒問 10へ
4. やや不満である
5. 不満である

【問 9 において「4. やや不満である」または「5. 不満である」と回答された方にお聞きします。】

① 施設のサービスに不満な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 制度やサービスに関する説明が不十分である
2. はじめに説明された(契約した)内容と違う
3. 介護や食事など計画の時間を守らない(遅れる、早く切り上げるなど)
4. 悩みなどの相談に親身に親身になって応じてくれない
5. おむつ交換や入浴などの介護の内容に不満がある
6. 介護の仕方がおぼつかなくて、危なっかしい
7. 介護の内容や方法などについて、希望を聞き入れてくれない
8. 施設の職員や言葉づかいなどが悪い
9. 入所者の人権やプライバシーに対する配慮が足りない
10. 食事の内容に不満がある(メニューや食事のあたたかさなど)
11. 施設の建物や設備に不満がある(古い、狭い、使い勝手が悪いなど)
12. 施設のある場所が市街地から遠く、交通の便が悪い
13. その他()

問 10. 最近 1 年間の、親族や知人の訪問頻度はどのくらいですか。(〇は1つだけ)

1. 1週間に数回以上
2. 1週間に1回程度
3. 1か月に数回程度
4. 1か月に1回程度
5. 数か月に1回程度
6. 半年に1回程度
7. 1年に1回程度
8. ほとんどない

問 11. 最近 1 年間の、親族や知人の訪問頻度は新型コロナウイルス感染症の影響で減りましたか。(〇は1つだけ)

1. 訪問回数が増えた
2. 訪問回数が増えなくなった
3. 訪問回数が増えなくなった
4. 訪問回数が増えなくなった
5. 訪問回数は変わっていない
6. わからない

問 12. 施設のサービスの内容や職員の対応などに不満があるとき、ご本人やご家族の方は誰に(どこに)相談しますか。(〇はいくつでも)

1. 介護職員や看護師、事務職員など施設の職員
2. 施設の苦情受付窓口
3. 市役所の窓口
4. 県の介護保険担当窓口
5. 友人・知人
6. その他()
7. わからない

問 13. 1か月あたりの入所費用はいくらですか。具体的な数字をお書きください。

1か月あたり _____ 円

問 14. 介護サービス利用料(施設サービス費)は、現在、誰が負担していますか。(〇は1つだけ)

1. 本人がすべて負担している
2. 本人と家族で負担している
3. 家族がすべて負担している
4. その他()

3 最後に

問 15. 本市の介護保険、高齢者福祉について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。

同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

令和 4 年 11 月 25 日(金) までに、郵便ポストへご投函ください。

5. 居宅介護支援事業者調査票

居宅介護支援事業者

①居宅介護支援事業者

1 サービス事業者の運営形態や状況についてお聞きします。

介護保険等実態調査（アンケート調査）

問1. 運営形態はどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

1. 社会福祉法人
2. 医療法人
3. 民間シルバーサービス事業者(株式会社など)
4. NPO等(NPO法人、ボランティア団体など)
5. その他()

調査協力をお願いします

日頃から、本市の高齢者福祉行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。このたび、本市では、令和4年11月1日現在で「介護保険等実態調査」を実施します。この調査は、令和6年度を初年度とする第9期の「岡崎市地域包括ケア計画」の策定に向けた基礎資料とするものです。

調査の実施にあたり、調査対象として居宅介護支援事業者の皆様を選ばせていただきました。ご記入いただいた内容につきましては、本事業の目的以外には使用しませんので、皆様の率直なご意見やご要望をお聞かせください。ご多用のところ、大変お手数をお掛けいたしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月

岡崎市長 中根 康浩

問2. 所属するケアマネジャーの人数は何人ですか。(数字でご記入ください)

	1. 専従	2. 兼務
①常勤	()人	()人
②非常勤	()人	()人

問3. 1人のケアマネジャーが担当する月平均の実施件数は何件ですか。(数字でご記入ください)

	1. 要支援	2. 要介護
①事務所全体	()件	()件
常勤	()件	()件
非常勤	()件	()件
	②専従	()件
	③兼務	()件
	④専従	()件
	⑤兼務	()件

問4. ケアプランの作成について、貴事業所の現状をお答えください。(○は1つだけ)

1. 手一杯であり、現行の体制ではこれ以上対応できない → 問5へ
2. 手一杯の時期もあるが、若干余裕のある時期もある
3. 余裕があり、もっと対応できる状況である
4. その他()

【問4において「2.」～「4.」のいずれかに回答された方にお聞きします。】

① 事業所全体で、月あたりあと何件程度のケアプラン作成が可能ですか。(数字でご記入ください)

()件程度/月

<この調査に関するお問合せ先>

岡崎市 福祉部 福祉課 長寿課 施策係
 電話：(0564) 23-6149 FAX：(0564) 23-6520

問5. 今後のケアマネジャーの雇用人数の予定をお答えください。(○は1つだけ)

1. 増員を予定している
2. 現状のままを予定している
3. 削減を予定している
4. わからない

問6. 現在の業務を行ううえで、ケアマネジャーの人数が不足していますか。不足している場合は、不足人数(常勤・専従として)もお答えください。(○は1つだけ)

1. 不足していない
2. []人不足している

問7. 従業員の処遇における課題は何ですか。(○はいくつでも)

1. 所定外労働時間の長時間化
2. 有給休暇や代休の取得が困難
3. 職務内容に見合う報酬設定の未整備
4. 配置転換が少ないことによる職場環境の沈滞化
5. 腰痛など、介護業務に対する健康管理
6. 不規則勤務に対する健康管理
7. 精神面(メンタルヘルス)の健康管理
8. 福利厚生制度が不十分
9. その他()
10. 特になし

問8. ケアマネジャーを確保するために、取り組んでいることは何ですか。

(○はいくつでも)

1. ケアプランの作成支援などの個別指導・助言・相談体制
2. 正社員雇用など安定した給与の確保
3. 人間関係や産休・育休などの労働環境の整備
4. 勤務シフトや休日などの勤務体制の整備
5. 能力の向上に向けた研修機会の充実
6. 事故やトラブルへの対応体制の構築
7. 職員の要望を聞く機会の設定
8. その他()
9. 特になし

問9. 経営面における問題点や課題は何ですか。(○はいくつでも)

1. 安定した収入を得にくい
2. 報酬改定ごとに制度等が変わるため、長期の目標が立てづらい
3. 人材の確保が難しい
4. 給与面など、待遇の改善が難しい
5. 事務作業の増加・複雑化
6. 報酬額が低いと感じる
7. 職員の高齢化
8. 人件費などの必要経費が多いため、設備投資が難しい
9. その他()
10. 特になし

2 提供サービスの状況についてお聞きします。

問10. サービスの自己評価をしていますか。(○は1つだけ)

1. 評価項目を作成し、自己評価を実施している
2. 自己評価のための利用者アンケートを実施している
3. その他()
4. 自己評価はしていない

問11. 利用者等の苦情から、第三者機関の介入や訴訟などに発展した事例はありますか。

(○は1つだけ)

1. ある
2. ない →問12へ

【問11において「1. ある」と回答された方にお聞きします。】

① それとはどのような内容でしたか。具体的にお書きください。

[]

問 12. 利用者に関することで、お困りのことは何ですか。(○はいくつでも)

1. 過剰なクレーム
2. 家族の協力が得られない
3. 利用者自身に積極的な姿勢が見られない
4. 本来のサービス外のことを要求される
5. 言葉や身体接触などでのセクハラを受ける
6. 怒鳴られたり、呵喝されたりする
7. 訪問時に食べ物などを勧められる
8. その他()
9. 特にない

問 13. サービス提供を断っている事例はありますか。(○は1つだけ)

1. ある
2. ない ⇒問 14へ

【問 13 において「1. ある」と回答された方にお聞きします。】

- ④ それはどのような内容でしたか。(○はいくつでも)
1. ケアマネジャーの受け入れ状況がいつぱいのため
 2. 事業所の実施地域外だった
 3. 知人など顔見知りのため
 4. 新規依頼が重なり、すぐには取り組みなかった
 5. 暴言やセクハラなど迷惑行為があった
 6. その他()

問 14. 利用者への指定居宅介護支援の提供が困難なときの主な対応について、お答えください。(○は1つだけ)

1. 可能な範囲で待ってもらおう
2. 適当な他の居宅介護支援事業者を紹介している
3. 利用者に丁寧に断りして、特に何もしていない
4. その他()

問 15. ケアマネジャーの質の確保・向上を図るために、どのような点を重視して取り組んでいますか。(○はいくつでも)

1. 基本的な技術や実践的知識の向上
2. 利用者の状態に応じた介護技術の向上
3. ケアマネジメント技術の向上
4. 利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上
5. 苦情や相談への対応能力の向上
6. 処遇困難者への対応能力の向上
7. ケアマネジャーとしての基本姿勢の徹底
8. 制度に関する最新情報の取得
9. その他()
10. 特にない

問 16. かかりつけ医との連携を進めていますか。(○は1つだけ)

1. 十分に連携できている
2. まだ十分ではないが連携を進めており、今のところ業務に支障はない
3. 特に連携を進めていないが、今のところ業務に支障はない
4. 連携が進んでおらず、時折業務に支障が生じることがある
5. その他()

問 17. 過去1年間の、新型コロナウイルス感染症の、事業所運営への影響について、あてはまるものをお答えください。(○はいくつでも)

1. 行政からの要請により休業
2. 設置者(事業所)判断により休業
3. 利用者への利用自粛の働きかけ
4. 新規利用者受入の制限・停止
5. サービス提供日・提供時間の縮小
6. 訪問/支援回数・時間数の縮小
7. 訪問/支援回数・時間数の増加
8. 利用定員の縮小
9. 利用者・家族希望による利用控え・キャンセル
10. その他()
11. いずれもあてはまらない

問 18. 過去1年間にケアプランを作成した利用者のうち、感染症の影響により、必要な介護・支援が受けられず利用者の状況が悪化したり、家族の負担が過大になるといった問題があったのは何割くらいだったと恐れますか。(○は1つだけ)

1. 利用者の7割以上
2. 利用者の5～6割程度
3. 利用者の3～4割程度
4. 利用者の1～2割程度
5. あまりなかった
6. わからない

介護保険等実態調査（アンケート調査）

調査協力をお願い

日頃から、本市の高齢者福祉行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
このたび、本市では、令和4年11月1日現在で「介護保険等実態調査」を実施します。
この調査は、令和6年度を初年度とする第9期の「岡崎市地域包括ケア計画」の策定に向けた基礎資料とするものです。

調査の実施にあたり、調査対象として在宅介護サービス事業者の皆様を道はせていただき
ました。ご記入いただいた内容につきましては、本事業の目的以外には使用しませんの
で、皆様の貴重なご意見やご要望をお聞かせください。

ご多用のところ、大変お手数をお掛けいたしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力
くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月

岡崎市長 中根 康浩

ご記入にあたってのお願い

○この調査は**令和4年11月1日現在**の内容でご記入ください。

○黒色の鉛筆又はボールペン等でご記入ください。

○回答は、あてはまる番号に○をつけていただくものと、数値などをご記入いただく
ものがあります。(○は1つだけ)、(○はいくつでも)などの指示にしたがってご回
答ください。

○回答が「その他」にあてはまる場合は、() 内に具体的に記入ください。

○わからない点や質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。

○ご記入後、お手数ですが、このアンケートを同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、
令和4年11月25日(金)までに郵便ポストへご投函ください。

<この調査に関するお問合せ先>

岡崎市 福祉部 長寿課 施栄係

電話：(0564) 23-6149 FAX：(0564) 23-6520

6. 在宅介護サービス事業者調査票

在宅介護サービス事業者

※在宅介護サービス事業者には、「訪問介護事業者」「通所介護事業者」「通所リハビリテーション事業者」
「短期入所生活介護事業者」「短期入所療養介護事業者」「福祉用具貸与・販売事業者」が含まれます。

1 サービス事業者の運営形態や状況についてお聞きします。

問1～問22までは共通設問であり、全事業者の方が回答してください。

問1. 運営形態はどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

1. 社会福祉法人
2. 医療法人
3. 民間シルバーサービス事業者(株式会社など)
4. NPO等(NPO法人、ボランティア団体など)
5. その他()

問2. 介護職員の総数を数字でお答えください。(数字でご記入ください)

正規職員 []人 非正規職員 []人

問3. 令和4年11月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。
過去1年間(令和3年11月1日～令和4年10月31日)の介護職員の採用者数と
離職者数をご記入ください。(数値を記入)

採用者 []人 離職者 []人

問4. 問3の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。
(数値を記入)

年齢 (採用・離職時)	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満	[]人	[]人	[]人	[]人
20～29歳	[]人	[]人	[]人	[]人
30～39歳	[]人	[]人	[]人	[]人
40～49歳	[]人	[]人	[]人	[]人
50～59歳	[]人	[]人	[]人	[]人
60～69歳	[]人	[]人	[]人	[]人
70歳以上	[]人	[]人	[]人	[]人
年齢不明	[]人	[]人	[]人	[]人

問5. 今後の介護職員の雇用人数の予定をお答えください。(○は1つだけ)

1. 増員を予定している
2. 現状のままを予定している
3. 削減を予定している
4. わからない

問 6. 現在の業務を行ううえで、介護職員の人数が不足していますか。不足している場合は、不足人数（常勤職員として）もお答えください。（○は1つだけ）

1. 不足していない
2. []人不足している

問 7. 職員の質の確保・向上を図るために、どのような点を重視して取り組んでいますか。（○はいくつでも）

1. 基本的な技術や実践的知識の向上
2. 利用者の状態に応じた介護技術の向上
3. 利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上
4. 苦情や相談への対応力の向上
5. 処遇困難者への対応力の向上
6. サービスを効率的に機能させるためのリーダーの養成
7. 制度に関する最新情報の取得
8. その他()
9. 特にない

問 8. 職員の処遇における課題は何ですか。（○はいくつでも）

1. 所定外労働時間の長時間化
2. 有給休暇や代休の取得が困難
3. 職務内容に見合う報酬設定の未整備
4. 配置転換が少ないことによる職場環境の沈滞化
5. 腰痛など、介護業務に対する健康管理
6. 不規則勤務に対する健康管理
7. 精神面（メンタルヘルス）の健康管理
8. 福利厚生制度が不十分
9. その他()
10. 特にない

問 9. 職員の労働条件、労働環境を改善するために工夫していることは何ですか。（○はいくつでも）

1. 残業等の短縮
2. 休暇を取りやすい仕組みづくり
3. 業務内容の簡素化
4. 余裕をもった職員数の確保
5. 職員の意見を取り入れるための会議等を定期的に行う
6. シフト希望のいかないやすい業務体制
7. その他()
8. 特にない

2

問 10. 経営面における問題点や課題は何ですか。（○はいくつでも）

1. 安定した収入を得にくい
2. 報酬改定ごとに制度等が変わるため、長期の目標が立てづらい
3. 人材の確保が難しい
4. 給与面など、待遇の改善が難しい
5. 事務作業の増加・複雑化
6. 報酬額が低いと感じる
7. 職員の高齢化
8. 人件費などの必要経費が多いため、設備投資が難しい
9. その他()
10. 特にない

問 11. 過去 1 年間の、新型コロナウイルス感染症の、事業所運営への影響について、あてはまるものをお答えください。（○はいくつでも）

1. 行政からの要請により休業
2. 設置者(事業所)判断により休業
3. 利用者への利用自粛の働きかけ
4. 新規利用者受入の制限・停止
5. サービス提供日・提供時間の縮小
6. 訪問/支援回数・時間数の縮小
7. 訪問/支援回数・時間数の増加
8. 利用定員の縮小
9. 利用者・家族希望による利用控え・キャンセル
10. その他()
11. いずれもあてはまらない

2 提供サービスの状況についてお聞きします。

問 12. サービスの自己評価をしていますか。（○は1つだけ）

1. 評価項目を作成し、自己評価を実施している
2. 自己評価のための利用者アンケートを実施している
3. その他()
4. 自己評価はしていない

問 13. 利用者等の苦情から、第三者機関の介入や訴訟などに発展した事例はありますか。（○は1つだけ）

1. ある 2. ない ⇒問 14へ

3

【問 13 において「1. ある」と回答された方にお聞きします。】

- ① それはどのような内容でしたか。具体的に書きください。

[]

問 14. 利用者に関することで、お困りのことは何ですか。(○はいくつでも)

1. 過剰なクレーム
2. 家族の協力が得られない
3. 利用者自身に積極的な姿勢が見られない
4. 本来のサービス外のことを要求される
5. 言葉や身体接触などでのセクハラを受ける
6. 怒鳴られたり、同席されたりする
7. 訪問時に食べ物などを勧められる
8. その他()
9. 特になし

問 15. サービス提供を断っている事例はありますか。(○は1つだけ)

1. ある
2. ない ⇒問 16へ

【問 15 において「1. ある」と回答された方にお聞きします。】

- ① それはどのような内容でしたか。(○はいくつでも)

1. 事業所の受け入れ人数に達していた
2. 事業所の実施地域外だった
3. 知人など顔見知りのため
4. 新規依頼が重なり、すぐには取り組めなかった
5. 暴言やセクハラなど迷惑行為があった
6. その他()

問 16. 適切な介護サービスを提供することが困難であると自ら認めた場合は、居宅介護支援事業者への連絡や適当な他の事業所の紹介など、必要な措置を講じることになっていますが、貴事業所でサービス提供が困難な事例がありましたか。

(○は1つだけ)

1. あった
2. なかった ⇒問 17へ

【問 16 において「1. あった」と回答された方にお聞きします。】

- ① 困難な事例とはどのような内容でしたか。

[]

3 高齢者虐待・リスクマネジメントについてお聞きします。

問 17. サービスを提供している要介護者の中で、高齢者虐待を受けている又は受けていると思われる事例がありますか。(○は1つだけ)

1. ある
2. ない ⇒問 18へ

【問 17 において「1. ある」と回答された方にお聞きします。】

- ① それは、どのようにしてわかりましたか。(○はいくつでも)

1. サービス提供時に目撃した
2. 被虐待者から話を聞いたり、身体にあざなどを見つけたりした
3. 虐待者から話から
4. 虐待者以外の同居家族の話から
5. 親族の話から
6. 近隣者から
7. その他()

- ② 相談・通報先はどこですか。(○はいくつでも)

1. 市役所
2. 地域包括支援センター
3. 警察
4. かかりつけ医
5. その他()
6. 相談・通報はしなかった

問 18. 虐待予防に関して、どのような取組みをしていますか。(○はいくつでも)

1. チームケアや「身体拘束ゼロ」の取組みを推進
2. 苦情の受付体制の強化
3. 職場内研修の充実
4. 職員相談など、職員のカボートの強化
5. その他()
6. 特になし

問 19. 事故や事故につながりかからない事柄（ヒヤリハット）についての報告で、最も多かった報告事例は何ですか。（〇は1つだけ）

1. 転倒や転落等による事故
2. 誤嚥による事故
3. 薬に関する事故
4. 利用者の体調急変
5. 感染症に関すること
6. 利用者と職員のトラブル
7. 利用者同士のトラブル
8. その他()
9. 特になかった

問 20. 現場から出された報告書を分析・検討する安全管理のための委員会（またはリスク管理委員会）を開催していますか。（〇は1つだけ）

1. 定期的に委員会を開催している
2. 報告があったときに、随時開催している
3. 委員会を設置していない

4 情報発信等についてお聞きします。

問 21. 施設やサービスについて、どのように情報発信していますか。（〇はいくつでも）

1. パンフレットなどの紙媒体を希望者のみに配っている
2. ホームページを立ち上げ、インターネットを活用している
3. 施設の見学を積極的に認めている
4. 施設の活動や行事への参加を認めている
5. 集会室など施設の設備を地域に開放している
6. 研修会などを開いている
7. ボランティアを積極的に受け入れている
8. その他()
9. 特になかった

問 22. 貴事業所の事業種別をお答えください。（〇は1つだけ）

1. 訪問介護 ⇒問 23 へ
2. 通所介護 ⇒問 23 へ
3. 通所リハビリテーション ⇒問 23 へ
4. 短期入所生活介護・短期入所療養介護 ⇒問 27 へ
5. 福祉用具貸与・販売 ⇒問 30 へ
6. その他のサービス ⇒問 33 へ

5 ここからは事業種別の状況についてお聞きします。

▼訪問介護事業者、通所介護事業者、通所リハビリテーション事業者の方にお聞きします。

問 23. 貴事業所全体における1日あたりのサービス実施件数（人数）は、平均で何件（人）程度ですか。（数字でご記入ください）

()件(人)程度/日

問 24. サービスの提供状況について、次のどれに近いですか。（〇は1つだけ）

1. 手一杯であり、現行の体制ではこれ以上対応できない ⇒訪問介護事業者は問 25 へ
2. 手一杯の時期もあるが、若干余裕がある時期もある
3. 余裕があり、もっと対応できる状況である
4. その他()

【問 24 において「2.」～「4.」のいずれかに回答された方にお聞きします。】

① 事業所全体で、1日あたりあと何件（人）程度のサービス提供が可能ですか。（数字でご記入ください）

()件(人)程度/日

⇒通所介護事業者、通所リハビリテーション事業者の方は 問 33 へ

▼引き続き、訪問介護事業者の方にお聞きします。

問 25. 夜間、早朝、深夜の訪問介護の実施予定はありますか。(○は1つだけ)

- 1. すでに実施している
- 2. 予定している
- 3. 予定はない
- 4. その他()

問 26. 通院等の外出支援時の交通手段について、どのように対応していますか。

(○はいくつでも)

- 1. 事業者が、通院等乗降介助の認定を受けた介護タクシーを利用
- 2. タクシーを利用
- 3. 公共交通機関(タクシー以外)を利用
- 4. 徒歩のみ対応
- 5. その他()
- 6. 外出支援は行っていない

⇒訪問介護事業者の方は 問 33 へ

▼短期入所生活介護事業者・短期入所療養介護事業者の方にお聞きします。

問 27. 貴事業所におけるサービス実施件数について、月あたりの実利用人数は平均で何人くらいですか。(数字でご記入ください)

- ①月あたり実利用人数 ()人
- また、延べ利用人数は、平均で何人くらいですか。
- ②月あたり延べ利用人数 ()人

問 28. サービスの提供状況について、次のどれに近いですか。(○は1つだけ)

- 1. 手一杯であり、現行の体制ではこれ以上対応できない
- 2. 手一杯の時期もあるが、若干余裕がある時期もある
- 3. 余裕があり、もって対応できる状況である
- 4. その他()

問 29. 緊急に利用が必要となった時の対応は可能ですか。(○は1つだけ)

- 1. 可能である
- 2. 困難である ⇒問 33 へ

【問 29 において「1. 可能である」と回答された方にお聞きします。】

① 緊急時に1日あたり何人程度のサービス提供が可能ですか。(数字でご記入ください)

()人程度

⇒短期入所生活介護事業者・短期入所療養介護事業者の方は 問 33 へ

▼福祉用具貸与・販売事業者の方にお聞きます。

問 30. 貸与件数の多い上位5種目について、その名称、月あたりの平均貸与件数、平均貸与金額をお答えください。(数字でご記入ください)

(介護保険の範囲内で計算、金額は税込での記入をお願いします。)

福祉用具の種目	平均貸与件数	平均貸与金額 (1品あたり)
1	件/月	円
2	件/月	円
3	件/月	円
4	件/月	円
5	件/月	円

問 31. 販売件数の多い上位5種目について、その名称、月あたりの平均販売件数、平均販売金額をお答えください。(数字でご記入ください)

(介護保険の範囲内で計算、金額は税込での記入をお願いします。)

福祉用具の種目	平均販売件数	平均販売金額 (1品あたり)
1	件/月	円
2	件/月	円
3	件/月	円
4	件/月	円
5	件/月	円

問 32. 最新の福祉用具の構造や使用方法等の専門的な知識を習得するため、福祉用具専門相談員の研修を実施していますか。(○は1つだけ)

1. 6か月に1回以上、外部研修へ参加させている
2. 年に1回以上、外部研修へ参加させている
3. その他()
4. 特の実施していない

⇒福祉用具貸与・販売事業者の方は 問 33 も回答してください。

6 その他

▼全ての事業者の方にお聞きます。

問 33. 本市の介護保険、高齢者福祉について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。
同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、
令和4年11月25日(金)までに、郵便ポストへご投函ください。

介護保険等実態調査（アンケート調査）

調査協力をお願い

日頃から、本市の高齢者福祉行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
このたび、本市では、令和4年11月1日現在で「介護保険等実態調査」を実施します。
この調査は、令和6年度を初年度とする第9期の「岡崎市地域包括ケア計画」の策定に向けた基礎資料とするものです。

調査の実施にあたり、調査対象として入所施設事業者の皆様を選ばせていただきました。
ご記入いただいた内容につきましては、本事業の目的以外には使用しませんので、皆様の
率直なご意見やご要望をお聞かせください。
ご多用のところ、大変お手数をお掛けいたしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力
くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月

岡崎市長 中根 康浩

ご記入にあたってのお願い

- この調査は**令和4年11月1日現在**の内容でご記入ください。
- 黒色の鉛筆又はボールペン等でご記入ください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけていただくものと、数値などをご記入いただくものがあります。(○は1つだけ)、(○はいくつでも)などの指示にしたがってご回答ください。
- 回答が「その他」にあてはまる場合は、()内に具体的にご記入ください。
- わからない点や質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。
- ご記入後、お手数ですが、このアンケートを同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、**令和4年11月25日(金)**までに郵便ポストへご投函ください。

<この調査に関するお問合せ先>

岡崎市 福祉部 長寿課 施策係
電話：(0564) 23-6149 FAX：(0564) 23-6520

7. 入所施設事業者調査票

1 サービス事業者の運営形態や状況についてお聞きします。

問1. 運営形態はどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

1. 社会福祉法人
2. 医療法人
3. 民間シルバーサービス事業者(株式会社など)
4. NPO等(NPO法人、ボランティア団体など)
5. その他()

問2. 貴事業所が該当するサービス種別を、ご回答ください。(○は1つだけ)

1. 在宅型有料老人ホーム
2. 軽費老人ホーム(特定施設除く)
3. サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)
4. グループホーム
5. 特定施設
6. 地域密着型特定施設
7. 介護老人保健施設
8. 介護療養型医療施設・介護医療院
9. 特別養護老人ホーム
10. 地域密着型特別養護老人ホーム

問3. 入所定員、部屋数等について数字でご記入ください。

① 入所定員数	() 人
② 部屋数	() 部屋
③ 入所者数(令和4年11月1日現在)	() 人
④ 入所を申し込んでいる人数(待機者)	() 人

問4. 入所申込みを受け付けてから実際に入所できるまでに、平均でどのくらいかかりましたか。(○は1つだけ)

1. 3か月未満
2. 3か月以上6か月未満
3. 6か月以上1年未満
4. 1年以上2年未満
5. 2年以上3年未満
6. 3年以上4年未満
7. 4年以上5年未満
8. 5年以上

問5. 介護職員の総数を数字でお答えください。(数値を記入)

正規職員[]人 非正規職員[]人

問6. 令和4年11月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお聞きします。
過去1年間(令和3年11月1日～令和4年10月31日)の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。(数値を記入)

採用者[]人 離職者[]人

問7. 問6の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。
(数値を記入)

年齢 (採用・離職時)	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満	[]人	[]人	[]人	[]人
20～29歳	[]人	[]人	[]人	[]人
30～39歳	[]人	[]人	[]人	[]人
40～49歳	[]人	[]人	[]人	[]人
50～59歳	[]人	[]人	[]人	[]人
60～69歳	[]人	[]人	[]人	[]人
70歳以上	[]人	[]人	[]人	[]人
年齢不明	[]人	[]人	[]人	[]人

問8. 今後の介護職員の雇用人数の予定をお答えください。(○は1つだけ)

1. 増員を予定している
2. 現状のままを予定している
3. 削減を予定している
4. わからない

問9. 現在の業務を行ううえで、介護職員の人数が不足していますか。不足している場合は、不足人数(常勤職員)もお答えください。(○は1つだけ)

1. 不足していない
2. []人不足している

問10. 職員の質の確保・向上を図るために、どのような点を重視して取り組んでいますか。
(○はいくつでも)

1. 基本的な技術や実践的知識の向上
2. 利用者の状態に応じた介護技術の向上
3. 利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上
4. 苦情や相談への対応力の向上
5. 処遇困難者への対応力の向上
6. サービスを効率的に機能させるためのリーダーの養成
7. 制度に関する最新情報の取得
8. その他()
9. 特になし

問11. 職員の処遇における課題は何ですか。(○はいくつでも)

1. 所定外労働時間の長時間化
2. 有給休暇や代休の取得が困難
3. 職務内容に見合う報酬設定の未整備
4. 配置転換が少ないことによる職場環境の沈滞化
5. 腰痛など、介護業務に対する健康管理
6. 不規則勤務に対する健康管理
7. 精神面(メンタルヘルス)の健康管理
8. 福利厚生制度が不十分
9. その他()
10. 特になし

問12. 職員の労働条件、労働環境を改善するために工夫していることは何ですか。
(○はいくつでも)

1. 残業等の短縮
2. 休暇を取りやすい仕組みづくり
3. 業務内容の簡素化
4. 余裕をもった職員数の確保
5. 職員の意見を取り入れるための会議等を定期的に行う
6. シフト希望のいかないやすい業務体制
7. その他()
8. 特になし

問13. 経営面における問題点や課題は何ですか。(○はいくつでも)

1. 安定した収入を得にくい
2. 報酬改定ごとに制度等が変わるため、長期の目標が立てづらい
3. 人材の確保が難しい
4. 給与面など、待遇の改善が難しい
5. 事務作業の増加・複雑化
6. 報酬額が低いと感じる
7. 職員の高齢化
8. 人件費などの必要経費が多いため、設備投資が難しい
9. その他()
10. 特になし

問 23. 施設やサービスについて、どのように情報発信していますか。(〇はいくつでも)

1. パンフレットなどの紙媒体を希望者のみに配っている
2. ホームページを立ち上げ、インターネットを活用している
3. 施設の見字を積極的に認めている
4. 施設の活動や行事への参加を認めている
5. 集会所など施設の設備を地域に開放している
6. 研修会などを開いている
7. ポランテアを積極的に受け入れている
8. その他()
9. 特にしていない

問 24. 過去1年間の、新型コロナウイルス感染症の影響として、おてはまるものをお答えください。(〇はいくつでも)

1. 新規入所の停止
2. 面会の停止
3. 面会人数・時間の制限
4. 入居者の日中活動の制限
5. 施設内行事・レクリエーション等の中止・制限
6. 職員の負担の増加
7. 利用者からの不満・苦情の増加
8. 利用者家族等からの不満・苦情の増加
9. その他()
10. いずれもあてはまらない

問 25. 本市の介護保険、高齢者福祉について、ご意見などがありませんでしたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。
同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、
令和4年11月25日(金)までに、郵便ポストへご投函ください。

問 21. 問 20 でご記入いただいた過去1年間の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。(数字を記入)

※一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

退去先	岡崎市内	岡崎市外
1) 自宅(※兄弟・子ども・親戚等の家含む)	[]人	[]人
2) 住宅型有料老人ホーム	[]人	[]人
3) 軽費老人ホーム(特定施設除く)	[]人	[]人
4) サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	[]人	[]人
5) グループホーム	[]人	[]人
6) 特定施設	[]人	[]人
7) 地域密着型特定施設	[]人	[]人
8) 介護老人保健施設	[]人	[]人
9) 療養型・介護医療院	[]人	[]人
10) 「9」を除く病院・診療所(一時的な入院を除く)	[]人	[]人
11) 特別養護老人ホーム	[]人	[]人
12) 地域密着型特別養護老人ホーム	[]人	[]人
13) その他	[]人	[]人
14) 行先を把握していない	[]人	[]人
15) 死亡(搬送先での死亡を含む)	[]人	[]人
16) 合計 ※問 20 の人数と一致することを確認ください	[]人	[]人

問 22. 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまでお答えください。(第1位から第3位それぞれ1つに〇)

退去理由	第1位	第2位	第3位
1. 必要な生活支援が発生・増大したから	1	1	1
2. 必要な身体介護が発生・増大したから	2	2	2
3. 認知症の症状が悪化したから	3	3	3
4. 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	4	4	4
5. 1～4以外の状態が悪化したから	5	5	5
6. 入所・入居者の状態等が改善したから	6	6	6
7. 入所・入居者が必要な居守サービスの利用を望まなかったから	7	7	7
8. 費用負担が重くなったから	8	8	8
9. その他	9	9	9

介護保険等実態調査（アンケート調査）

調査協力をお願い

日頃から、本市の高齢者福祉行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。このたび、本市では、令和4年11月1日現在で「介護保険等実態調査」を実施します。この調査は、令和6年度を初年度とする第9期の「岡崎地域域包括ケア計画」の策定に向けた基礎資料とするものです。

調査対象として介護支援専門員の皆様を選ばせていただきました。ご記入いただいた内容につきましては、本事業の目的以外には使用しませんので、皆様の率直なご意見やご要望をお聞かせください。

ご多用のところ、大変お手数をお掛けいたしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月

岡崎市長 中根 康浩

ご記入にあたってのお願い

- この調査は**令和4年11月1日現在**の内容でご記入ください。
- 黒色の鉛筆又はボールペン等でご記入ください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけていただくものと、数値などをご記入いただくものがあります。（○は1つだけ、（○はいくつでも）などの指示にしたがってご回答ください。
- 回答が「その他」にあてはまる場合は、（ ）内に具体的に記入ください。
- わからない点や質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。
- ご記入後、お手数ですが、このアンケートを同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和4年11月25日（金）**までに郵便ポストへご投函ください。

<この調査に関するお問い合わせ先>

岡崎市 福祉部 長寿課 施策係
電話：(0564) 23-6149 FAX:(0564) 23-6520

8. 介護支援専門員調査票

1 ケアプラン業務の状況についてお聞きします。

問1. 勤務形態はどれにあてはまりますか。（○は1つだけ）

1. 専従(常勤)
2. 専従(非常勤)
3. 兼務(常勤)
4. 兼務(非常勤)

問2. 令和4年11月1日現在、何人の給付管理を行っていますか。それぞれ数字でご記入ください。

- ① 介護給付()人 ② 予防給付()人

問3. 令和4年11月1日現在、介護支援専門員としての経験はどれくらいになりますか。それぞれ数字でご記入ください。

- ① 介護支援員としての通算経験 約()年
② 現在の事業所における介護支援専門員としての経験 約()年

問4. 担当している利用者の人数は、適当ですか。（○は1つだけ）

1. 多すぎる
2. やや多すぎる
3. 適当である
4. 少ない

問5. ケアプランの作成時に困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

1. サービス提供事業者との調整
2. 利用者本人と家族との意見が異なること
3. 介護支援専門員の1人あたりの担当する利用者数が多いこと
4. サービス管理票や請求書作成などの事務作業が多いこと
5. 制度などに関する利用者の知識不足
6. サービス提供体制が不十分で、利用者のニーズに対応できないこと
7. 事業所の経営を意識したケアプランになってしまふこと
8. 利用できるサービス量が要介護度より不足してしまふこと
9. 利用者負担が重くサービス利用が控えられてしまふこと
10. サービス担当者会議の体制が確立できていないこと
11. 医療機関等との連携がとれないこと
12. 自己研鑽や情報収集の時間がないこと
13. 介護保険外での情報が少ないこと
14. 職場内でのケアプラン作成への指導がないこと
15. その他()
16. 特になし

問 12. 地域包括支援センターと連携していますか。(○は1つだけ)

1. 常に連携している
2. 必要時に連携している
3. あまり連携していない
4. 連携していない

問 13. 地域包括支援センターとの連携が困難に感じるのはどのような場合ですか。

(○はいくつでも)

1. 担当者との連絡や情報共有が困難
2. 必要な支援をしてもらえない
3. 担当によって対応が異なる
4. 担当者の知識・スキルが足りない
5. その他()
6. 特にない

問 14. 困難事例などを地域包括支援センターに相談したことはありますか。

(○は1つだけ)

1. ある
2. ない

2 介護サービス提供に対する評価・要望等についてお聞きします。

問 15. 介護・福祉サービスのうち、供給が不足していると感じるサービスはありますか。

(○はいくつでも)

1. 訪問介護
2. 訪問看護
3. 訪問入浴介護
4. 訪問リハビリテーション
5. 通所介護
6. 通所リハビリテーション
7. 短期入所(生活介護・療養介護)
8. 特定施設入居者生活介護
9. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
10. 認知症対応型通所介護
11. 認知症対応型共同生活介護
12. 小規模多機能型居宅介護
13. 看護小規模多機能型居宅介護
14. 地域密着型特定施設入居者生活介護
15. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
16. 福祉用具の貸与・販売
17. 居宅療養管理指導
18. その他()
19. 特にない

問 16. 法定の介護保険サービス以外で、市独自で給付してほしいサービスはありますか。

(○はいくつでも)

1. 移動・送迎の支援や補助
2. 買い物物の支援
3. 家事・生活の援助
4. 介護予防活動・サービスの充実
5. 配食サービスの拡大
6. 山間地のサービスの充実
7. その他()
8. 特にない

4

3 在宅介護の継続についてお聞きします。

問 17. 現在担当している利用者のうち、「自宅」、「サ高住」、「住宅型有料」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方で、生活の維持が難しくなっている人はいますか。

いる場合は人数をお答えください。(○は1つだけ)

1. いない ⇒問 18へ
2. []人いる

【問 17 において「2. いる」と回答された方にお聞きします。】

① 生活の維持が難しくなっている理由のうち、本人の状態等に属するものは何ですか。(○はいくつでも)

1. 該当なし
2. 必要な生活支援の発生・増大
3. 必要な身体介護の増大
4. 認知症の症状の悪化
5. 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり
6. その他、本人の状態等の悪化
7. 本人の状態等の改善

② 生活の維持が難しくなっている理由のうち、主に本人の意向等に属するものは何ですか。(○はいくつでも)

1. 該当なし
2. 本人が一部の居宅サービスの利用を望まないから
3. 生活不安が大きいため
4. 居住環境が不便だから
5. 本人が介護者の負担の軽減を望むから
6. 費用負担が重いから
7. その他、本人の意向等があるから

③ 生活の維持が難しくなっている理由のうち、主に家族等介護者の意向・負担等に属するものは何ですか。(○はいくつでも)

1. 該当なし
2. 介護者の介護に係る不安・負担量の増大
3. 介護者が、一部の居宅サービスの利用を望まないから
4. 家族等の介護等技術では対応が困難
5. 費用負担が重いから
6. 家族等の就労継続が困難になり始めたから
7. 本人と家族等の関係性に課題があるから
8. その他、家族等介護者の意向等があるから

5

岡崎市
介護保険等実態調査結果報告書

発行日 令和5年3月
発行 岡崎市 福祉部 長寿課
住所 〒444-8601 愛知県岡崎市十王町2丁目9番地
連絡先 TEL：0564-23-6149
FAX：0564-23-6520

